

みょう ぜん 遺 跡  
妙 前

2001年3月

長野県飯田市教育委員会

妙前遺跡報告書正誤表

頁・内容	誤	正
例言 5行目	⑭ジャステック	㊦ジャステック
P 1 6行目	前調査区	全調査区
P 5 9行目	低位段丘。では	低位段丘では
P 5 10行目	低位段丘「では	低位段丘では
P 11 ⑩SB02 出土遺物		打製石斧を加える
P 14 ⑨SB42 出土遺物		砥石 紡錘車を削除
P 27 26SB80 根拠	拠住居址形態	住居址形態
P 43 S K 48 出土遺物		打製石斧・磨製石斧を加える
P 112 第 56 図 21 縮尺	1 / 4	1 / 3
P 116 第 60 図 8		削除
P 138 第 82 図 24		削除
P 141 第 85 図 14・15 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 142 第 86 図 9・10 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 144 第 88 図 8・14 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 145 第 89 図	1～13SB101	1～12SB101 13SB02
P 146 第 90 図	3～5 SB42	3 SB42 4・5 遺構外
P 152 第 96 図 14・20～23 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 153 第 97 図 2・3 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 154 第 98 図 13・14・18 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 155 第 99 図 6・20 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 156 第 100 図 17 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 157 第 101 図	5 SB77	SB60
P 157 第 101 図 2・4 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 158 第 102 図 2・4 縮尺	1 / 4	1 / 1
P 161 第 105 図	13～15SK84	SK48
P 162 第 106 図 1～5・7 縮尺	1 / 4	1 / 1

みょう ぜん 遺 跡  
妙 前

2001年3月

長野県飯田市教育委員会



妙前遺跡及び松尾地区全景（平成4年11月撮影） 1 : 12,500



妙前遺跡出土縄文土器



妙前遺跡出土弥生土器



妙前遺跡出土古墳時代土器



妙前遺跡出土円面硯

# 序

飯田市は「人も自然も美しく、輝くまち飯田ー環境文化都市」として基本計画に示すとおり、山紫水明の自然環境に恵まれ、原始古代より多くの人々が生活を営んできた地域があります。しかし、この飯田市に於いても地域社会発展のために現在まで埋蔵されていた埋蔵文化財に開発工事の手をつけざるを得ない事態が生じてきております。本来ならば過去から現在まで保存されてきたと同様に地中に保存していくのが最善の方法であります。次善の策として発掘調査を行い記録保存することによって後世に埋蔵文化財を残すのはやむを得ないことと考えております。

今回発掘調査を実施した妙前遺跡は、飯田市松尾地区に所在し、周辺には県宝指定の眉庇付冑が出土した妙前大塚をはじめとする妙前古墳群や、弥生時代中期の標識土器が出土した寺所遺跡があり、埋蔵文化財が密集した箇所であります。この遺跡内にひまわり学園を改築するという事で発掘調査を行いました。この調査により、100軒を越える住居址が発見され、縄文時代から平安時代までの長い間に亘る集落の跡であることが確認されました。この調査結果から、当時の人々の暮らしぶりを垣間見た気が致します。このように、これらの発掘調査の積み重ねによって地域の歴史の再構築が行われ、ひいてはその成果が私たちの生活に還元されていくものであります。

最後になりましたが、調査実施にあたり文化財保護の本旨に厚い御理解を賜った飯田市保健福祉部・建設部、地元の皆様、現地・整理作業に従事された作業員の皆様に深甚なる謝意を申し上げます。

平成13年3月

飯田市教育委員会

教育長 富田 泰啓



# 例 言

1. 本報告書は、市立ひまわり学園改築に伴い実施された、飯田市松尾地区所在の埋蔵文化財包蔵地妙前遺跡の緊急発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は飯田市教育委員会が直営で行った。
3. 調査は、平成10年度現地調査を、12年度整理作業及び報告書作成作業を行った。
4. 発掘調査及び整理作業は、MY Z 5934を用いた。また、遺構には以下の記号を用いた。竪穴住居址・SB 掘立柱建物址・ST 溝址・SD 集石・SI 土坑・SK
5. 妙前遺跡に於ける発掘調査位置は国土基本図の区画、LC-85に位置し、(社団法人日本測量協会 1969 「国土基本図図式 同適用規定」 参照)、グリッド設定は飯田市埋蔵文化財基準メッシュ図に基づいて、⑭ジャステックに委託した。
6. 本書の記載については遺構の順とし、住居址については時代順とした。遺構図・遺物図・写真は本文末に一括した。
7. 表中の出土遺物記述に於いて、古墳時代以降の土器で器種のみのは土師器を示す。
8. 本遺跡の遺構は、重複関係が多く遺構出土遺物が多時期に及ぶ。よって明らかにその遺構に属さない遺物については時期外とした。しかし、完全に分けられなかったものがある。
9. 土層観察については小山正忠・竹原秀男 1996 『新版標準土色帖』による。
10. 遺物実測図の縮尺については、下記のとおりである。  
土器 復元実測図1/4 及び1/8・拓本及び断面1/3 と1/4  
土製品 1/2  
石器 小型石器1/1・他1/3  
鉄器 1/1・1/3
11. 石器実測図の表現については「T」刃潰し加工・「K」敲打・「S」研磨を示す。
12. 本書は担当者の協議の上、吉川金利が執筆・編集し、小林正春が総括した。
13. 本書に関連する出土品及び諸記録は飯田市教育委員会が管理し、飯田市考古資料館及び飯田市上郷考古博物館で保管している。

# 目 次

序	② S B 03	11
	③ S B 04	12
例 言	④ S B 10	12
	⑤ S B 15	12
目 次	⑥ S B 18	13
	⑦ S B 35	13
I 調査経過	⑧ S B 37	13
1. 調査に至るまでの経過	⑨ S B 42	14
2. 調査の経過	⑩ S B 45	14
3. 調査組織	⑪ S B 46	14
(1) 調査団	⑫ S B 50	15
(2) 事務局	⑬ S B 53	15
	⑭ S B 55	15
II 遺跡環境	⑮ S B 72	16
1. 自然環境	⑯ S B 76	16
2. 歴史環境	⑰ S B 82	16
	⑱ S B 83	17
III 調査結果	⑲ S B 84	17
1. 基本層序	⑳ S B 93	17
2. 竪穴住居址 (S B)	㉑ S B 95	18
(1) 縄文時代	㉒ S B 96	18
① S B 23	(3) 古墳時代	
② S B 24	① S B 01	18
③ S B 26	② S B 05	19
④ S B 40	③ S B 06	19
⑤ S B 43	④ S B 12	19
⑥ S B 47	⑤ S B 13	20
⑦ S B 49	⑥ S B 17	20
⑧ S B 63	⑦ S B 19	20
⑨ S B 69	⑧ S B 20	21
⑩ S B 101	⑨ S B 21	21
(2) 弥生時代	⑩ S B 25	21
① S B 02	⑪ S B 28	22

⑫ S B 30 .....	22	⑬ S B 74 .....	34
⑬ S B 32 .....	22	⑭ S B 79 .....	34
⑭ S B 34 .....	23	⑮ S B 81 .....	35
⑮ S B 36 .....	23	⑯ S B 85 .....	35
⑯ S B 38 .....	23	⑰ S B 87 .....	35
⑰ S B 48 .....	24	⑱ S B 88 .....	36
⑱ S B 56 .....	24	⑲ S B 89 .....	36
⑲ S B 57 .....	24	(6) 不明	
⑳ S B 59 .....	25	① S B 08 .....	36
㉑ S B 61 .....	25	② S B 09 .....	37
㉒ S B 68 .....	25	③ S B 11 .....	37
㉓ S B 75 .....	26	④ S B 16 .....	37
㉔ S B 77 .....	26	⑤ S B 22 .....	38
㉕ S B 78 .....	26	⑥ S B 27 .....	38
㉖ S B 80 .....	27	⑦ S B 29 .....	38
㉗ S B 86 .....	27	⑧ S B 39 .....	39
㉘ S B 90 .....	27	⑨ S B 41 .....	39
㉙ S B 91 .....	28	⑩ S B 52 .....	39
㉚ S B 92 .....	28	⑪ S B 54 .....	40
㉛ S B 97 .....	28	⑫ S B 58 .....	40
㉜ S B 98 .....	29	⑬ S B 64 .....	40
㉝ S B 99 .....	29	⑭ S B 70 .....	41
㉞ S B 100 .....	29	⑮ S B 71 .....	41
㉟ S B 102 .....	30	⑯ S B 94 .....	41
(5) 奈良・平安時代		⑰ S B 103 .....	42
① S B 07 .....	30	3. 建物址 (S T)	
② S B 14 .....	30	S T 01 .....	42
③ S B 31 .....	31	4. 溝址 (S D)	
④ S B 33 .....	31	S D 02~03 .....	42
⑤ S B 44 .....	31	5. 集石 (S I)	
⑥ S B 51 .....	32	S I 01 .....	42
⑦ S B 60 .....	32	6. 土坑 (S K)	
⑧ S B 62 .....	32	S K 01~81 .....	42
⑨ S B 65 .....	33	7. ピット .....	44
⑩ S B 66 .....	33	8. 土層観察表 .....	44
⑪ S B 67 .....	33		
⑫ S B 73 .....	34	IV まとめ	

1. 縄文時代 .....	49
2. 弥生時代 .....	50
3. 古墳時代 .....	50
4. 奈良・平安時代 .....	51
引用・参考文献 .....	52

図版

写真図版

報告書抄録

# I 調査経過

## 1 調査に至るまでの経過

平成9年6月10日付で飯田市建設部より埋蔵文化財発掘の届出が飯田市教育委員会に提出された。内容は松尾地区に所在するひまわり学園建替事業であった。当該地は埋蔵文化財包蔵地妙前遺跡内にあたり、前述の二者により協議を行った結果、埋蔵文化財の保存が望まれるが工事の変更は不可能であるとの結論に達し、発掘調査を行い記録保存をすることとなった。また、旧建造物を建設する際、大量の遺物が出土したとの話があったため、当初より本調査を行うこととした。

## 2. 調査の経過

平成10年3月17日に調査対象地西側の旧建造物の解体が終了したため、同日、重機により表土剥ぎを行い、19日より作業員による遺構検出作業を開始した。同月23日に基準点測量を委託した。調査区西側の調査がほぼ終了したため、5月15日にラジコンヘリコプターによる空中写真撮影を委託した。残りの東側については4月17日から21日まで重機にて表土剥ぎを行ったが、調査区東側の一部について表土が取りきれない箇所があったため、5月29日から6月2日まで再度重機にて表土剥ぎを行った。同年7月9日現場での一切の調査が終了した。調査区東側及び前調査区の空中写真については時間的制約と西側を撮影した写真の状況から撮影は行わなかった。

整理作業は平成12年度に行い、報告書刊行となった。

## 3. 調査組織

### (1) 調査団

調査主体者	飯田市教育委員会	教育長	小林恭之助（～平成11年12月）		
		教育長	富田 泰啓（平成11年12月～）		
調査担当者	吉川 金利	福澤 好晃			
調査員	佐々木嘉和	吉川 豊（～平成10年度）	山下 誠一（～平成10年度）		
	藤原 直人（平成11年度～）	馬場 保之	澁谷恵美子（平成11年度～）		
	下平 博行	伊藤 尚志	坂井 勇雄		
作業員	新井 幸子	池田 幸子	伊藤 孝人	伊東 裕子	井上 恵資
	太田 沢男	片山 祐介	金井 照子	木下 貞子	木下 早苗

木下 義男	小林 千枝	佐々木一平	佐々木真奈美	佐藤知代子
清水 三郎	下沢 和央	代田 和登	杉山 春樹	関島真由美
高木 純子	橋 千賀子	田中 薫	田中 博人	仲田 昭平
中平 隆雄	中山 敏子	服部 光男	林 勢紀子	原 昭子
原田四郎八	原田 洋子	樋本 宣子	福沢 育子	牧内 修
牧内喜久子	松下 省吾	松下 成司	松下 博子	宮内真理子
森藤美知子	吉川 悦子	吉川紀美子		

(2)事務局

飯田市教育委員会

関口 和雄	(教育次長	～平成11年度)
久保田裕久	( "	平成12年度～)
小畑伊之助	(博物館課 課長	～平成11年度)
米山 照美	( " "	平成12年度～)
小林 正春	( " 埋蔵文化財係長)	
吉川 豊	( " 埋蔵文化財係	～平成10年度)
山下 誠一	( " "	～平成10年度)
馬場 保之	( " "	)
澁谷恵美子	( " "	平成11年度～)
吉川 金利	( " "	)
福澤 好晃	( " "	)
伊藤 尚志	( " "	)
下平 博行	( " "	)
坂井 勇雄	( " "	平成11年度～)
今村 進	( " 庶務係長	平成12年度～)
牧内 功	( " 庶務係	～平成10年度)
松山登代子	( " "	平成11年度～)

## Ⅱ 遺跡環境

### 1. 自然環境 (第1～3図)

飯田市は伊那山脈と木曾山脈に挟まれた伊那谷の南端に位置し、両山脈の間を天竜川が南流する。天竜川や各支流による典型的な河岸段丘が見られるとともに、各山脈の前山より流下する河川により形成された扇状地や、山脈の形成に関わる断層地塊変動に伴う盆地・段丘崖があり、複雑な段丘地形を呈している。伊那谷の基本的な地形は天竜川の流れに沿ったほぼ南北方向への断層段丘地形を特徴としているが、後述するように天竜川の浸食作用も大きく影響を与えていると思われる。

飯田市松尾地区は、飯田市街地から南東に約2～5 kmに位置し、飯田市全域から見ればほぼ中央部にあたる。東は天竜川を挟み下久堅地区に、北は飯田松川（以下松川とする）で上郷地区と境を接する。南は毛賀沢川を挟み竜丘地区となり、西は段丘上で鼎地区と接する。地形的に見れば天竜川の氾濫原を含め8の段丘面で形成されている（下伊那地質誌編集委員会編 1976）。それらは、中位と低位とに大別でき、その境は鳩ヶ峯八幡宮の社叢を中心とした段丘崖である。各段丘面は、松川北岸の飯田市街地・上郷地区の段丘面とよく対応しており、松川により開析されたことがわかる。

中位段丘の八幡原面は小河川によりいくつかの開析され、北から南に、上の城・茶柄山、妙見山、八幡山、代田山、御射山原、松尾城址とそれぞれに名前が付いている。その標高は480 m前後でローム層に覆われた台地である。中位段丘の土壌については、「花崗岩の基盤の上に古生層・花崗岩の砂・砂礫・礫の互層が蓋い、その上に厚さ1～2 mの安山岩質火山灰が推積している」（松尾村誌編纂委員会 1982）。

低位の段丘は前述の段丘崖下から天竜川氾濫原に至る松尾地区の大半で、低位段丘Ⅰと低位段丘Ⅱがある。低位段丘Ⅰは主に八幡町から毛賀諏訪神社にかけて、低位段丘ⅡはほぼJR飯田線軌道敷東側で、両者の比高差は10mを測る。この中に各3面の小段丘があり、それぞれ2～5 mの比高差がある。標高は380～430 m程度である。それぞれの段丘面の広さは一様ではないが、いずれも南北方向の段丘崖が確認でき、東向きに湾曲している。これについては「松川の押し出しと妙前台地基盤の花崗岩の抵抗によって、天竜川が河道を東に移動させながら側侵蝕することにより作ったもの」（同前）と考えられる。低位段丘上には、中位段丘を開析する小河川が小扇状地を形成している箇所があり、その部分では段丘崖の把握は困難となっている。「段丘の縁辺部が高く、上位段丘の基部に向かってやや低く成っている。そして縁辺部は礫が多く土層の薄い浅層相で、基部は湧水の存在と相まって湿田が多い」（同前）。明河原付近は天竜川の氾濫原で、低位段丘と同様、内湾状を呈している。

妙前遺跡は、遺跡面積約15ha、標高400～407 mを測り、松尾地区の最北端、低位段丘Ⅱa1上に位置する。北側は松川を望み、東及び南側は同じ段丘面にある寺所遺跡と隣接する。両者は本遺跡が段丘の比高差6～7 mを測る微高地に立地し、それより低い所に寺所遺跡が立地する関係にある。西側から南西側にかけては比高差1.5～2 mを測る湿地帯となっている（これは平成10年度民間開発に伴う試掘調査の折に確認されている）。その湿地帯を挟んで水城遺跡が存在する。今次調査地点は、遺跡の南西

部に位置している。

## 2. 歴史環境 (第1～3図)

松尾地区の遺跡を概観すると、天竜川氾濫原及び段丘崖を除いてほぼ全域が包蔵地である。松尾地区での埋蔵文化財発掘調査は近年になって増大してきた。学術調査は、おかん塚古墳(2)(昭和41年)・毛賀がにが原遺跡(3)(昭和42年)・寺所遺跡(4)(昭和43・46年)・妙前大塚(3号)古墳(5)(昭和46年)・上溝天神塚古墳(6)(平成3年)があるが、近年は、諸開発に先立つ緊急調査が主になっている。天竜川護岸工事と一般国道152号付替に伴う清水遺跡の調査(7)(昭和49・50年)、工場建設に先立つ南ノ原遺跡調査(8)(昭和50年)・毛賀御射山遺跡調査(9)(昭和53年)、長野県飯田長姫高等学校建設に先立つ猿小場遺跡の調査(10)(昭和53・54年度)、都市計画公園整備に伴う松尾城跡の調査(11)(昭和54・55年)、集会所建設に先立つ上溝遺跡・上溝天神塚古墳の調査(昭和58年)、同じく集会所建設に先立つ八幡町古墳の調査(12)(昭和63年)、松尾公民館移転新築に伴う城遺跡調査(13)(平成元年)、市立病院建設に先立つ物見塚古墳の調査(14)(同年)、雇用促進住宅の建設に伴う清水遺跡の調査(15)(平成2年)、一般国道153号飯田バイパス建設に伴う八幡原遺跡・松尾北の原遺跡・茶柄山古墳群・上の城城跡の調査(16・17・18・19)(平成2～7年)、事務所兼住宅建設に先立つ八幡原遺跡・妙見山古墳の調査(20・21)(平成2・3年)、市立緑ヶ丘中学校プール建設及び校舎改築に先立つ田圃遺跡の調査(22・23)(平成3・7・8年)、送電線建設に先立つ久井遺跡の調査(24)(同年)、都市計画道路飯田下山線建設に先立つ猿小場遺跡の調査(25)(同年)、集会所建設に先立つ寺所遺跡の調査(26・27)(平成5・8年)、同集会所建設に先立つ水城遺跡の調査(28)(平成9年)がある。

松尾地区の歴史を概観すると、縄文時代以前の遺構・遺物は低位段丘で断片的に報告されているにすぎない。上溝遺跡では縄文時代草創期の有舌尖頭器が(下伊那誌編纂会 1991)、清水遺跡・明集会所付近(八幡 1972他)・寺所遺跡では早期前半の押型文土器が出土しており、上郷・座光寺地区と同様、相当早くからこうした低地で人々が生活した様子が確認できる。田圃遺跡では、中期後葉と考えられる小竪穴が調査されている(飯田市教委 1993)。これに対して、中位段丘上の遺跡では、それよりも古い旧石器時代の遺物の出土が報告されている。猿小場遺跡ではナイフ形石器、八幡原遺跡では彫器が出土している。また、縄文時代前期の八幡原遺跡では竪穴住居址・土坑が確認されている(同 1992)し、中期の遺構が猿小場遺跡にある。しかし、後期・晩期についてはいまだ報告がされていない。弥生時代では、中期前葉の寺所式の標式遺跡、寺所遺跡が著名である。さらに後期には低位段丘の田圃遺跡・城遺跡・清水遺跡のほか、猿小場遺跡・茶柄山遺跡など中位段丘上への進出がみられる。

古墳時代前期には、城遺跡・清水遺跡など前時代から継続した集落の姿がある。古墳時代後期の集落址は、久井遺跡・上溝遺跡・田圃遺跡など調査例は少ないが、現存する古墳の数から推察すればかなりの規模の集落が複数あったと考えるのが妥当である。

松尾地区に現存する古墳の数は、座光寺地区・竜丘地区と並んで多い。松尾地区にある古墳の中で最も古い古墳は、代田山に現存する前方後方墳、長野県史跡代田山狐塚古墳(29)(平成6年2月17日指



定、飯田市教委 1994) である。長野県内最古に属すると考えられる古墳で、県内いずれの地域においてもほぼ同時期に古墳が築造され始めたことが判ってきている。土器などの流れからみると、南信地方は弥生時代中期から東海地方との交流が活発になってきたようで、さらに弥生時代の終末にかけて全県下へと交流が拡大していく。こうした時代的な背景のもとに代田山狐塚古墳が築造されたと考えられる。続く5世紀代には、眉尻付冑が出土した妙前大塚(同 1971)、馬の副葬を伴う茶柄山古墳群など多くの古墳が築造される。地形と古墳群の関係をみると、中位段丘の縁辺には、帆立貝型古墳と見られる八幡山古墳(30)、八幡原に物見塚古墳・妙見山古墳があった。八幡原の一段下位の北の原には、前方後円墳である御射山獅子塚古墳(31)・茶柄山3号古墳とその周辺に点在する茶柄山古墳群がある。低位段丘では、天神塚古墳・おかん塚古墳・姫塚古墳(32)・羽場獅子塚古墳(33)の前方後円墳を中心とした上溝古墳群、代田獅子塚古墳を中心とした代田・上毛賀古墳群がある。低位段丘では、上溝古墳群の下位の妙前古墳群や水佐代・城古墳群、代田・上毛賀古墳群の下位に下毛賀古墳群があり、氾濫原を除く松尾地区全域に古墳が見られる。今次調査地点は、妙前古墳群と同一段丘面上にある。一方で、この時代には城遺跡(飯田市教委 1991)・八幡原遺跡(同 1992)・寺所遺跡などで、方形周溝墓・円形周溝墓といった墳墓群が営まれている。各遺跡では貼石をもつ方形周溝墓が確認されており、当時の墓制を研究する上で注目される。

奈良時代から平安時代にかけては、久井遺跡で2棟の掘立柱建物址が検出されている(同 1993)。もし、これが奈良時代のものとすれば、古代官衙址に関連する建物の可能性があり、伊那郡小村郷の郷庁もしくは東山道育良駅に比定することができるかもしれない。田圃遺跡では数軒の奈良時代の竪穴住居址が確認され、中に礎石を持つ竪穴住居址もある(同 1991)。この他、猿小場遺跡・八幡原遺跡・清水遺跡・田圃遺跡や隣接する水城遺跡で、平安時代の遺構が確認されている。猿小場遺跡では、25軒の住居址が調査され相当規模の大きな集落が営まれている。清水遺跡でも住居址や掘立柱建物址が確認されている。毛賀御射山遺跡は、布目瓦や瓦塔片が出土しており、古代寺院が存在した場所である。

中世には、松尾城址を信濃守護職である小笠原氏が本拠としており、毛賀沢川を挟んで対峙する鈴岡城跡とともに、県の史跡に指定されている。さらに松尾地区の東端に「城」という地名が残っており、松尾城移動前の小笠原氏の居館跡があったと言われている。松尾城跡や南ノ原遺跡では、陶磁器や建物址が確認されている。この他、調査された城跡として上の城跡があり、土塁などが把握されたが、築造・廃絶の時期や城主などについては不明な点が多い。また、茶柄山遺跡では中世から近代に至るまでの墳墓群が調査されている。

松尾地区の中央に鬱蒼とした社叢に囲まれた鳩ヶ嶺八幡宮があり、鎌倉時代には名がみえる。八幡町はその門前町として発達してきた。本尊として奉られている誉田別尊坐像は重要文化財に指定されている。八幡町には旧街道が2本通っていた。そのうち一本が秋葉街道と呼ばれるもので、現在の一般国道256号である。この街道は武田信玄の遠州侵攻により整備されたものである。もう一本は遠州街道で、現在の一般国道151号である。この道は中馬道として江戸時代に発達した。この2本の街道の分岐点は鳩ヶ嶺八幡宮の前であり、現在でも飯田市指定史跡の道標が立っており、交通の要所であることを示している。



## Ⅱ 調査結果

今次調査に於いて検出された遺構は、以下のとおりである。

・ 竪穴住居址 (S B)		・ 掘立建物址 (S T)		・ 土坑 (S K)	
縄文時代	10軒	時期不明	1棟	各時代	78基
弥生時代	22軒	・ 溝址 (S D)			
古墳時代	35軒	時期不明	2条		
奈良・平安時代	19軒	・ 集石 (S I)			
不明	17軒	時期不明	1基		

### 1. 基本層序 (第4図)

調査区の東西2箇所採取した。I・II・III層は後世の人為的な造成及び水田跡で、その下層はシルト質埴壤土と砂土との互層になり、興味深い埋没過程を示す。縄文時代から平安時代まで全ての時代の遺構がⅦ層上層で確認することができた。

## 2. 竪穴住居 (S B)

### (1) 縄文時代

#### ① S B 23 (第5図)

検出位置		B N-35		覆土					
重複	切る	SB24		床面		不明瞭			
	切られる			住居内施設	主柱穴	P1	埋場所	不明	
規模・形状	プラン	不明			周溝	不明			甕状況
	規模 m	不明			入口	不明			
	主軸	不明			炉・竈	形状	不明		
	壁高 cm	12				規模 cm	不明		
状態	やや緩やか		特記事項						
出土遺物 (第52図) 深鉢片									
特記事項									
時期	縄文中期後葉			根拠	出土遺物				

#### ② S B 24 (第5図)

検出位置		B N-30		覆土					
重複	切る			床面		不明瞭で軟弱			
	切られる	SB10・14・20・23		住居内施設	主柱穴	P1~P6	埋場所	なし	
規模・形状	プラン	(円形)			周溝	なし			甕状況
	規模 m	不明			入口	不明			
	主軸	不明			炉・竈	形状	不明		
	壁高 cm	18				規模 cm	不明		
状態	やや緩やか		特記事項						
出土遺物 (第52・84・85図) 深鉢・土偶 打製石斧・横刃型石器・粗製石匙・磨製石斧・敲打器・石錘・石鏃・スクレイパー									
特記事項									
時期	縄文中期中葉末~後葉			根拠	出土遺物				

#### ③ S B 26 (第5図)

検出位置		B T-29		覆土					
重複	切る	SB17・19・25		床面		不明瞭で軟弱			
	切られる			住居内施設	主柱穴	P1~P4	埋場所	P1西	
規模・形状	プラン	(円形)			周溝	なし			甕状況
	規模 m	不明			入口	不明			
	主軸	不明			炉・竈	形状	石囲炉か		
	壁高 cm	14				規模 cm	不明		
状態	緩やか		特記事項	抜石されている					
出土遺物 (第52・85・86図) 深鉢 打製石斧・横刃型石器									
特記事項									
時期	縄文中期後葉			根拠	出土遺物				

④SB40 (第6図)

検出位置		BU-36	覆土					
重複	切る		床面	不明瞭				
	切られる	SB33・36	住居内施設	主柱穴	不明	埋	場所	P6北西
規模・形状	プラン	不明		周溝	不明		甕	状況
	規模 m	不明		入口	不明			
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明		
	壁高 cm	0			規模 cm	不明		
	状態	不明		特記事項				
出土遺物 (第52・82・83・84・86図) 深鉢・土製円盤・土偶 打製石斧・石鏃								
特記事項								
時期	縄文中期後葉		根拠	出土遺物				

⑤SB43 (第6図)

検出位置		BQ-38	覆土					
重複	切る	SB101	床面	不明瞭で軟弱				
	切られる	SB30・37	住居内施設	主柱穴	P1~P3・P5・P7か	埋	場所	P5南東
規模・形状	プラン	(円形)		周溝	一部あり		甕	状況
	規模 m	478 × (458)		入口	P6か			
	主軸	N25° W		炉・竈	形状	石囲炉		
	壁高 cm	49			規模 cm	120 × 104		
	状態	やや緩やか		特記事項				
出土遺物 (第52・53・84・86・87・88図) 深鉢・土偶 打製石斧・横刃型石器・磨製石斧・敲打器・石鏃								
特記事項 重複 SB103								
時期	縄文中期後葉		根拠	出土遺物				

⑥SB47 (第7図)

検出位置		BU-32	覆土					
重複	切る		床面	明瞭であるが軟弱				
	切られる	SB19・31・45	住居内施設	主柱穴	P1~P6か	埋	場所	P4南東
規模・形状	プラン	不明		周溝	なし		甕	状況
	規模 m	不明		入口	不明			
	主軸	N3° E		炉・竈	形状	地床炉		
	壁高 cm	11			規模 cm	142 × 128		
	状態	やや緩やか		特記事項	抜石されている可能性あり			
出土遺物 (第53・88図) 深鉢 打製石斧・横刃型石器								
特記事項 重複 SB27・29								
時期	縄文中期後葉		根拠	出土遺物				

⑦ S B 49 (第7図)

検出位置	BQ-32	覆土				
重複	切る	床面	不明瞭で軟弱			
	切られる	SB18・31・32				
規模・形状	プラン	不明	住居内施設			
	規模 m	不明				
	主軸	N132° W				
	壁高 cm	0				
	状態	不明				
		主柱穴	P1~P3・P5・P6・P8か	埋	場所	P5北
		周溝	なし		甕	状況
		入口	不明			
		炉形状	地床炉(石囲炉の可能性あり)			
		規模 cm	157×100			
		竈	特記事項			
出土遺物(第53・88図)						
深鉢						
打製石斧・敲打器・使用痕のあるフレーク						
特記事項						
重複 SB39						
時期	縄文中期後葉	根拠	出土遺物			

⑧ S B 63 (第8図)

検出位置	BW-00	覆土				
重複	切る	床面	不明瞭で軟弱			
	切られる	SB50・55・59				
規模・形状	プラン	(円形)	住居内施設			
	規模 m	不明				
	主軸	N 0°				
	壁高 cm	27				
	状態	ほぼ垂直				
		主柱穴	P1~P3か	埋	場所	不明
		周溝	なし		甕	状況
		入口	不明			
		炉形状	不明			
		規模 cm	不明			
		竈	特記事項			
出土遺物(第53図)						
深鉢						
特記事項						
時期	縄文中期後葉	根拠	出土遺物			

⑨ S B 69 (第8図)

検出位置	BO-44	覆土				
重複	切る	床面				
	切られる	SB77・78				
規模・形状	プラン	不明	住居内施設			
	規模 m	不明				
	主軸	不明				
	壁高 cm	0				
	状態	不明				
		主柱穴		埋	場所	不明
		周溝			甕	状況
		入口				
		炉形状	石囲炉			
		規模 cm	68×90			
		竈	特記事項			
出土遺物(第53・88図)						
深鉢片						
特記事項						
炉のみ検出						
時期	縄文中期後葉	根拠	出土遺物			

⑩ S B 101 (第 8 図)

検出位置		B P - 39	覆土				
重複	切る		床面				
	切られる	SB30・35・42・43	住居内施設	主柱穴	埋場所 B P - 39 状況 正位で胴部のみ		
規模・形状	プラン	不明		周溝			
	規模 m	不明		入口			
	主軸	不明		炉・竈		形状	不明
	壁高 cm	0				規模 cm	不明
	状態	不明				特記事項	
出土遺物 (第54・89図) 深鉢 打製石斧・横刃型石器・粗製石匙・石錘							
特記事項 埋甕のみ検出							
時期	縄文中期後葉		根拠	出土遺物			

(2) 弥生時代

① S B 02 (第 9 図)

検出位置		B L - 23	覆土		単層	
重複	切る		床面		不明瞭で軟弱	
	切られる	SB01	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	隅丸長方形		貯蔵穴	不明	
	規模 m	4.4 × 3.3		入口	不明	
	主軸	N38° E		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	14			規模 cm	不明
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第54図) 高坏・甕						
特記事項 重複 SB08						
時期	縄文中期後葉		根拠	出土遺物		

② S B 03 (第 9 図)

検出位置		B O - 25	覆土		単層	
重複	切る		床面		スクリーントーン部貼床残る、全般的に軟弱	
	切られる	SB15	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	12			規模 cm	不明
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第54図) 甕						
特記事項						
時期	弥生後期		根拠	出土遺物		

③ S B 04 (第10図)

検出位置	BJ-23	覆土	なし
重複	切る		床面
	切られる	SB05・06	不明瞭
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	0	
	状態	不明	
		主柱穴	不明
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉・竈	形状
			不明
			規模 cm
			不明
			特記事項
出土遺物 (第54図)			
甕			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

④ S B 10 (第10図)

検出位置	BL-29	覆土	
重複	切る	SB24	床面
	切られる	SB11・12・20	明瞭で堅固な貼床
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	5.0×4.8	
	主軸	N51° W	
	壁高 cm	21	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	P1~P4
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉・竈	形状
			炉縁石を有する地床炉
			規模 cm
			56×50
			特記事項
出土遺物 (第54・89図)			
高坏・甕・台付甕・壺			
挟入打製石包丁・横刃型石器			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑤ S B 15 (第21図)

検出位置	BO-23	覆土	
重複	切る	SB03	床面
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	8	
	状態	緩やか	
		主柱穴	不明瞭
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉・竈	形状
			不明
			規模 cm
			不明
			特記事項
出土遺物 (第59・92図)			
高坏			
磨石			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物



⑥SB18 (第10図)

検出位置		BQ-30	覆土		
重複	切る	SB49	住居内施設	床面	不明瞭
	切られる	SB17・38		主柱穴	P1~P4か
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	不明	
	規模 m	4.2×3.8	入口	不明	
	主軸	N37° E	炉・竈	形状	土器埋設炉
	壁高 cm	11		規模 cm	65×58
	状態	やや緩やか		特記事項	埋甕
出土遺物 (第54図)					
甕 打製石斧・敲打器					
特記事項					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑦SB35 (第11図)

検出位置		BO-38	覆土		
重複	切る	SB101	住居内施設	床面	明瞭な貼床
	切られる	SB30・34		主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明	入口	不明	
	主軸	N46° W	炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	壁高 cm	14		規模 cm	54×50
	状態	やや緩やか		特記事項	
出土遺物 (第54・89図)					
甕 横刃型石器・挿入打製石庖丁					
特記事項 重複 SB42					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑧SB37 (第11図)

検出位置		BS-38	覆土		
重複	切る	SB43	住居内施設	床面	明瞭で堅固な貼床
	切られる	SB28・30・36		主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明	
	規模 m	(5.1) × (5.0)	入口	不明	
	主軸	N44° E	炉・竈	形状	土器埋設炉
	壁高 cm	23		規模 cm	炉1 : 60×52 炉2 : 53×(37)
	状態	ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第54・90図)					
甕 横刃型石器・磨製石斧					
特記事項 重複 SB103					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑨ S B 42 (第12図)

検出位置	B P - 41	覆土	
重複	切る	SB101	床面 明瞭な貼床
	切られる	SB48・61	
規模・形状	プラン	方形	住居内施設
	規模 m	6.1 × (5.3)	
	主軸	N144° W	
	壁高 cm	19	
	状態	ほぼ垂直	
出土遺物 (第54・55・90図) 高坏・台付甕・壺 挟入打製石庖丁・砥石・紡錘車			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑩ S B 45 (第12図)

検出位置	B T - 34	覆土	
重複	切る	SB47	床面 明瞭な貼床
	切られる	SB31	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	5.8 × 5.4	
	主軸	N52° W	
	壁高 cm	21	
	状態	やや緩やか	
出土遺物 (第55・90図) 甕・壺 挟入打製石庖丁・磨製石斧・敲打器			
特記事項 重複 SB27 炉 1: (46) × 42 炉 2: (32) × 32 炉 3: 45 × 37 炉 4: 66 × 52 炉 1: 地床炉 炉 2: 土器埋設炉 炉 3: 地床炉 炉 4: 炉縁石を有する地床炉			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑪ S B 46 (第13図)

検出位置	B Q - 35	覆土	
重複	切る		床面 明瞭な貼床
	切られる	SB28・31・32・34	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	3.3 × 3.9	
	主軸	N131° W	
	壁高 cm	25	
	状態	ほぼ垂直	
出土遺物 (第55・90図) 甕・台付甕・壺 打製石斧・敲打器			
特記事項 重複 SB39			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑫ S B 50 (第13図)

検出位置	BV-48	覆土	
重複	切る	SB63	床面 堅固で明瞭な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	3.8×3.7	
	主軸	N53° W	
	壁高 cm	22	
	状態	ほぼ垂直	
主柱穴 P1~P4 貯蔵穴 不明 入口 P5 炉形状 炉縁石を有する土器埋設炉 規模 cm 118×(106) 特記事項			
出土遺物 (第55・91図) 甕 磨製石斧			
特記事項 重複 SB53・54			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑬ S B 53 (第14図)

検出位置	BX-47	覆土	
重複	切る		床面 明瞭な貼床
	切られる	SB55・57	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	-×4.9	
	主軸	N18° E	
	壁高 cm	20	
	状態	やや緩やか	
主柱穴 P1・P2 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模 cm 不明 特記事項			
出土遺物 (第55・56図) 高坏・甕			
特記事項 重複 SB50			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑭ S B 55 (第14図)

検出位置	BX-00	覆土	
重複	切る	SB53・63	床面 明瞭で堅固な貼床
	切られる	SB59	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	-×4.4	
	主軸	N137° W	
	壁高 cm	9	
	状態	やや緩やか	
主柱穴 P1~P3 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 地床炉 規模 cm 55×43 特記事項			
出土遺物 (第56図) 甕・壺 91-2 時期外			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑮ S B 72 (第15図)

検出位置	B M-44	覆土	
重複	切る	SB70	床面 堅固な貼床
	切られる	SB75・81・85	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	22	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	不明
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	不明
		規模 cm	不明
		竈	特記事項
出土遺物 (第56・91図)			
甕・壺 横刃型石器			
特記事項 重複 SB83			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑯ S B 76 (第15図)

検出位置	B S-41	覆土	
重複	切る	SB61	床面 堅固な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	-×3.8	
	主軸	N135° E	
	壁高 cm	11	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	P1~P4か
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	不明
		規模 cm	不明
		竈	特記事項
出土遺物 (第56・91図)			
甕 打製石斧・磨製石鏃 91-7時期外			
特記事項 重複 SB41			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑰ S B 82 (第16図)

検出位置	B K-48	覆土	
重複	切る		床面 堅固な貼床
	切られる	SB65・75・79・80・81・91	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	4.1×4.5	
	主軸	N123° E	
	壁高 cm	32	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	P1~P4
		貯蔵穴	不明
		入口	P6
		炉形状	炉縁石を有する土器埋設炉
		規模 cm	68×54
		竈	特記事項
出土遺物 (第56・91図)			
高坏・甕 打製石斧・横刃型石器			
特記事項 P5は間仕切ピット			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑱ S B 83 (第16図)

検出位置		BN-45	覆土			
重複	切る		床面	堅固な貼床		
	切られる	SB75・77・78・85	住居内施設	主柱穴	P1	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	不明	
	規模 m	-×3.4		入口	不明	
	主軸	N48° W		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	23			規模 cm	不明
状態	やや緩やか	特記事項				
出土遺物 (第56・57・91図) 甕・壺 横刃型石器・抉入打製石庖丁・紡錘車						
特記事項 重複 SB70・72						
時期	弥生後期		根拠	出土遺物		

⑲ S B 84 (第17図)

検出位置		BR-49	覆土			
重複	切る		床面	堅固な貼床		
	切られる	SB66	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	不明	
	規模 m	4.6×4.6		入口	P5	
	主軸	N43° E		炉・竈	形状	炉縁石を有する土器埋設炉
	壁高 cm	28			規模 cm	72×36
状態	やや緩やか	特記事項				
出土遺物 (第57・92図) 甕・壺 抉入打製石庖丁・有肩扇状形石器・敲打器						
特記事項 重複 SB64・71						
時期	弥生後期		根拠	出土遺物		

⑳ S B 93 (第17図)

検出位置		BO-49	覆土			
重複	切る		床面	堅固な貼床		
	切られる	SB75・87	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	4.0×-		入口	不明	
	主軸	N40° W		炉・竈	形状	地床炉
	壁高 cm	28			規模 cm	40×32
状態	やや緩やか	特記事項			範囲のみ	
出土遺物 (第57・58・92図) 甕・壺 打製石斧						
特記事項 重複 SB94・95						
時期	弥生後期		根拠	出土遺物		

②SB95 (第18図)

検出位置		BP-48	覆土		
重複	切る		床面	不明瞭	
	切られる	SB75・78	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明
	規模 m	不明		入口	不明
	主軸	不明		炉形状	炉縁石を有する土器埋設炉
	壁高 cm	0		規模 cm	35×34
	状態	不明		竈	特記事項
出土遺物 (第58図) 甕					
特記事項 重複 SB93・96					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

②SB96 (第18図)

検出位置		BQ-47	覆土		
重複	切る		床面	不明瞭	
	切られる	SB78	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	不明
	規模 m	2.5×2.9		入口	不明
	主軸	不明		炉形状	不明
	壁高 cm	28		規模 cm	不明
	状態	やや緩やか		竈	特記事項
出土遺物 (第58・92図) 甕 打製石斧					
特記事項 重複 SB95					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

(3) 古墳時代

①SB01 (第19図)

検出位置		BL-20	覆土		
重複	切る	SB01	床面	単層 堅固な貼床	
	切られる	SB07	住居内施設	主柱穴	P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	不明
	規模 m	(8.3)×7.3		入口	不明
	主軸	N79° W		炉形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	24		規模 cm	(138)×166
	状態	やや緩やか		竈	特記事項
出土遺物 (第58・59・83・92・106 図) 須恵器蓋・坏・鉢・高坏・甕・甌・須恵器壺・紡錘車 編物石・勾玉・白玉					
特記事項 重複 SB08・09 P5~P7は間仕切ピットか					
時期	古墳後期		根拠	出土遺物	

②SB05 (第19図)

検出位置	BJ-24	覆土	単層
重複	切る	SB04	床面
	切られる	SB06	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	4.8×5.0	
	主軸	N55° W	
	壁高 cm	26	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	なし
		貯蔵穴	なし
		入口	不明
		炉形状	石芯粘土竈
		規模 cm	125×150
		竈	特記事項
出土遺物 (第59・106 図) 須恵器蓋・坏・高坏・甕 白玉			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

③SB06 (第20図)

検出位置	BK-25	覆土	
重複	切る	SB04・05	床面
	切られる		
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	4.6×4.8	
	主軸	N60° W	
	壁高 cm	18	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	なし
		貯蔵穴	なし
		入口	不明
		炉形状	石芯粘土竈
		規模 cm	190×130
		竈	特記事項
出土遺物 (第59・92 図) 坏・須恵器坏・鉢・高坏・須恵器高坏・甕・須恵器壺 横刃型石器			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

④SB12 (第20図)

検出位置	BJ-27	覆土	なし
重複	切る	SB10・13	床面
	切られる	SB11	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	0	
	状態	不明	
		主柱穴	不明
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	(粘土竈)
		規模 cm	不明
		竈	特記事項
出土遺物			
特記事項 重複 SB16			
時期	古墳後期	根拠	住居址形態

⑤ S B 13 (第21図)

検出位置		BI-27	覆土			
重複	切る		床面	明瞭で堅固		
	切られる	SB11・12	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴	不明	
	規模 m	3.6 × -		入口	P1か	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	23			規模 cm	不明
状態	やや緩やか	特記事項				
出土遺物 (第59図) 坏・甕・須恵器壺						
特記事項 重複 SB16						
時期	古墳後期		根拠	出土遺物		

⑥ S B 17 (第21図)

検出位置		BR-29	覆土			
重複	切る	SB18・26	床面	明瞭で堅固な貼床		
	切られる		住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	不明	
	規模 m	7.2 × (7.6)		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	26			規模 cm	不明
状態	緩やか	特記事項				
出土遺物 (第59・60図) 須恵器蓋・高坏・鉢・甑						
特記事項 重複 SB38						
時期	古墳後期		根拠	出土遺物		

⑦ S B 19 (第22図)

検出位置		BV-29	覆土			
重複	切る	SB26・47	床面	不明瞭ではあるが軟弱な貼床		
	切られる		住居内施設	主柱穴	P1~P3	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	不明	
	規模 m	5.5 × -		入口	不明	
	主軸	N38° W		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	35			規模 cm	不明
状態	ほぼ垂直	特記事項				
出土遺物 (第60図) 坏・甕						
特記事項 重複 SB25・29						
時期	古墳後期		根拠	出土遺物		



⑧SB20 (第22図)

検出位置	BN-28	覆土	
重複	切る	SB10・21・24	床面 不明瞭で軟弱
	切られる	SB14	
規模・形状	プラン	不整形	住居内施設 主柱穴 なし 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模cm 不明 竈 特記事項
	規模 m	5.5 × -	
	主軸	不明	
	壁高 cm	33	
	状態	やや緩やか	
出土遺物 (第60・61図) 坏・須恵器坏・高坏・甕 61-2~4 時期外			
特記事項 重複 SB22			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑨SB21 (第23図)

検出位置	BN-27	覆土	
重複	切る		床面
	切られる	SB20・22	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 主柱穴 貯蔵穴 入口 炉形状 不明 規模cm 不明 竈 特記事項
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	24	
	状態	ほぼ垂直	
出土遺物 (第61図) 甕			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑩SB25 (第22図)

検出位置	BU-28	覆土	
重複	切る	SB26	床面 不明瞭で軟弱
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模cm 不明 竈 特記事項
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	31	
	状態	ほぼ垂直	
出土遺物 (第61図) 高坏			
特記事項 重複 SB19			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑪ S B 28 (第23図)

検出位置	BR-36	覆土	なし						
重複	切る	SB37・43・45・46	床面	堅固な貼床					
	切られる	SB31							
規模・形状	プラン		住居内施設	主柱穴	なし				
	規模 m	不明			貯蔵穴	なし			
	主軸	N72° W				入口	不明		
	壁高 cm	0					炉・竈	形状	石芯粘土竈
	状態	不明						規模 cm	82×(90)
特記事項			西側は当址とは関係ないと思われる						
出土遺物 (第61・62・93図) 坏・高坏・甕・壺 挟入打製石庖丁・磨製石斧 61-19~21時期外									
特記事項 重複 SB30・39・103									
時期	古墳後期	根拠	出土遺物						

⑫ S B 30 (第23図)

検出位置	BQ-38	覆土							
重複	切る	SB35・37・43・101	床面	堅固な貼床					
	切られる								
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	主柱穴	なし				
	規模 m	4.6×5.0			貯蔵穴	なし			
	主軸	N40° E				入口	不明		
	壁高 cm	32					炉・竈	形状	(粘土竈)
	状態	やや緩やか						規模 cm	90×100
特記事項									
出土遺物 (第62・93図) 須恵器蓋坏・高坏・甕 磨製石庖丁・挟入打製石庖丁									
特記事項 重複 SB28・103									
時期	古墳後期	根拠	出土遺物						

⑬ S B 32 (第24図)

検出位置	BO-33	覆土							
重複	切る	SB46・49	床面	堅固な貼床					
	切られる	SB34・44							
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	主柱穴	不明				
	規模 m	不明			貯蔵穴	不明			
	主軸	不明				入口	不明		
	壁高 cm	28					炉・竈	形状	不明
	状態	緩やか						規模 cm	不明
特記事項									
出土遺物 (第62・93図) 高坏・甕 砥石?									
特記事項 重複 SB39									
時期	古墳後期	根拠	出土遺物						

⑭ S B 34 (第25図)

検出位置	BO-36	覆土	
重複	切る	SB32・35・46	床面 堅固な貼床
	切られる		住居内施設
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	
	規模 m	-×5.9	貯蔵穴 不明
	主軸	N10° E	入口 不明
	壁高 cm	35	炉形状 石芯粘土竈
	状態	ほぼ垂直	規模 cm 180×125
出土遺物 (第62・63図) 鉢・高坏・甕			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑮ S B 36 (第24図)

検出位置	BT-38	覆土	
重複	切る	SB37・40	床面 堅固な貼床
	切られる		住居内施設
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模 m	3.5×4.2	貯蔵穴 P2か
	主軸	N53° W	入口 不明
	壁高 cm	25	炉形状 石芯粘土竈
	状態	やや緩やか	規模 cm 65×70
出土遺物 (第63・64図) 甕・須恵器壺			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑯ S B 38 (第26図)

検出位置	BQ-38	覆土	
重複	切る	SB18・49	床面 堅固な貼床 (スクリーントーン部)
	切られる	SB31	住居内施設
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模 m	5.0×5.0	貯蔵穴 なし
	主軸	N37° E	入口 不明
	壁高 cm	16	炉形状 不明
	状態	やや緩やか	規模 cm 78×58
出土遺物 (第64・93図) 坏 有肩扇状形石器・横刃型石器			
特記事項 重複 SB17・39 カマド側を除く壁側に溝状の施設あり			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑰SB48 (第26図)

検出位置	BO-42	覆土	
重複	切る	SB42	床面 堅固な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設
	規模 m	5.4 × -	
	主軸	N61° W	
	壁高 cm	36	
	状態	ほぼ垂直	
		主柱穴	P1・P2
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	(粘土竈)
		規模 cm	122 × (165)
		竈	特記事項
出土遺物 (第64・93図) 坏・高坏 挟入打製石庖丁・環状石器・海浜石			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑱SB56 (第27図)

検出位置	BW-02	覆土	
重複	切る	SB58・63	床面 堅固な貼床
	切られる	SB51	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	14	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	不明
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	不明
		規模 cm	不明
		竈	特記事項
出土遺物 (第64図) 坏・高坏・甕・甑			
特記事項 重複 SB59			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑲SB57 (第27図)

検出位置	BW-45	覆土	
重複	切る	SB53	床面 堅固な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設
	規模 m	5.3 × -	
	主軸	不明	
	壁高 cm	21	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	不明
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	粘土竈
		規模 cm	不明
		竈	特記事項
出土遺物 (第64図) 甕			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸ S B 59 (第27図)

検出位置	BW-01	覆土	なし
重複	切る	SB55・63	床面
	切られる		不明瞭
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	0	
	状態	不明	
		主柱穴	不明
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	不明
		規模 cm	不明
		竈	特記事項
出土遺物 (第64図) 甕			
特記事項 重複 SB56			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸ S B 61 (第28図)

検出位置	BS-40	覆土	
重複	切る	SB42・76	床面
	切られる	SB41	部分的に堅固な貼床
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設
	規模 m	(6.2)×(4.6)	
	主軸	N56° W	
	壁高 cm	26	
	状態	ほぼ垂直	
		主柱穴	不明
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	石芯粘土竈
		規模 cm	82×-
		竈	特記事項
出土遺物 (第64・93図) 坏・高坏・甕 環状石器			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸ S B 68 (第29図)

検出位置	BR-43	覆土	
重複	切る	SD03	床面
	切られる		堅固な貼床
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	N66° W	
	壁高 cm	0	
	状態	不明	
		主柱穴	P1~P4
		貯蔵穴	なし
		入口	不明
		炉形状	不明
		規模 cm	不明
		竈	特記事項
出土遺物 (第65・66・83・93図) 坏・甕・紡錘車 磨石			
特記事項 重複 SB60			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸ S B 75 (第30図)

検出位置	BM-47	覆土		
重複	切る	SB72・82・83・93・95	床面	
	切られる	SB65・79・80・81・85	面堅固な貼床	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模 m	8.1 × 7.8		
	主軸	N65° W		
	壁高 cm	31		
	状態	ほぼ垂直		
		主柱穴	P1~P3・P8	
		貯蔵穴	なし	
		入口	なし	
		炉・竈	形状	石芯粘土竈
			規模 cm	155 × 100
		特記事項		
出土遺物 (第65・94図) 須恵器蓋・坏・甕・甌・壺 打製石斧				
特記事項 重複 SB70・78				
時期	古墳後期	根拠	出土遺物	

㊸ S B 77 (第31図)

検出位置	BO-45	覆土		
重複	切る	SB69・83	床面	
	切られる	SB78	部分的に堅固な貼床	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模 m	3.1 × 3.8		
	主軸	N55° W		
	壁高 cm	27		
	状態	ほぼ垂直		
		主柱穴	なし	
		貯蔵穴	なし	
		入口	不明	
		炉・竈	形状	(粘土竈)
			規模 cm	222 × 105
		特記事項		
出土遺物 (第65・66・106図) 甕・須恵器壺 不明鉄製品				
特記事項 重複 SB70				
時期	古墳後期	根拠	出土遺物	

㊸ S B 78 (第31図)

検出位置	BP-46	覆土		
重複	切る	SB69・83・95・96	床面	
	切られる	SB75・77	堅固な貼床	
規模・形状	プラン	(方形)	住居内施設	
	規模 m	3.8 × -		
	主軸	N42° W		
	壁高 cm	12		
	状態	緩やか		
		主柱穴	不明	
		貯蔵穴	不明	
		入口	不明	
		炉・竈	形状	石芯粘土竈
			規模 cm	- × 110
		特記事項		
出土遺物 (第94図) 敲打器				
特記事項				
時期	古墳後期	根拠	住居址形態	

②⑥ S B 80 (第29図)

検出位置	BM-47	覆土	不明	
重複	切る	SB65・75・82	床面	
	切られる		不明	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模 m	不明		主柱穴
	主軸	不明		貯蔵穴
	壁高 cm	0		入口
	状態	不明		炉・竈
		形状	石芯粘土竈	
		規模 cm	78×68	
		特記事項		
出土遺物 (第66図) 甕				
特記事項 重複 SB79 竈のみ				
時期	古墳後期	根拠	掘住居址形態	

②⑦ S B 86 (第32図)

検出位置	BK-49	覆土		
重複	切る		床面	
	切られる	SB65	堅固な貼床	
規模・形状	プラン	(方形)	住居内施設	
	規模 m	4.5×-		主柱穴
	主軸	N30° E		貯蔵穴
	壁高 cm	14		入口
	状態	やや緩やか		炉・竈
		形状	石芯粘土竈	
		規模 cm	125×125	
		特記事項		
出土遺物 (第66・67・94図) 坏・鉢・高坏・甕 有肩扇状形石器 67-2 時期外				
特記事項 重複 SB92				
時期	古墳後期	根拠	出土遺物	

②⑧ S B 90 (第32図)

検出位置	BH-46	覆土	不明	
重複	切る	SB100	床面	
	切られる		スクリーントーン部貼床	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模 m	不明		主柱穴
	主軸	不明		貯蔵穴
	壁高 cm	0		入口
	状態	不明		炉・竈
		形状	不明	
		規模 cm	不明	
		特記事項		
出土遺物 (第67図) 須恵器高坏・甕				
特記事項 重複 SB91 一部床を検出したのみ				
時期	古墳後期	根拠	出土遺物	

㊸ S B 91 (第33図)

検出位置		B I - 48		覆 土			
重複	切 る	SB82		床 面		堅固な貼床	
	切られる			住居内施設	主 柱 穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形			貯 蔵 穴	不明	
	規 模 m	4.7 × 4.7			入 口	不明	
	主 軸	N87° W			炉・竈	形 状	石芯粘土竈
	壁 高 cm	24				規 模 cm	100 × 125
状 態	ほぼ垂直		特記事項				
出土遺物 (第67・94図) 高坏・甕・須恵器壺 打製石斧・磨製石斧							
特記事項 重複 SB90・99							
時 期	古墳後期			根 拠	出土遺物		

㊹ S B 92 (第34図)

検出位置		B I - 02		覆 土			
重複	切 る	SB97		床 面		堅固な貼床	
	切られる			住居内施設	主 柱 穴	不明	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)			貯 蔵 穴	不明	
	規 模 m	— × 7.8			入 口	不明	
	主 軸	N62° W			炉・竈	形 状	石芯粘土竈
	壁 高 cm	50				規 模 cm	176 × 132
状 態	ほぼ垂直		特記事項				
出土遺物 (第67・68・94図) 坏・甕 紡錘車・環状石器							
特記事項 重複 SB86							
時 期	古墳後期			根 拠	出土遺物		

㊺ S B 97 (第32図)

検出位置		B F - 01		覆 土			
重複	切 る			床 面		堅固な貼床	
	切られる			住居内施設	主 柱 穴	不明	
規模・形状	プラン	不明			貯 蔵 穴	不明	
	規 模 m	不明			入 口	不明	
	主 軸	不明			炉・竈	形 状	不明
	壁 高 cm	31				規 模 cm	不明
状 態	ほぼ垂直		特記事項				
出土遺物 (第68図) 甕							
特記事項 重複 SB92							
時 期	古墳後期			根 拠	出土遺物		



⑳ SB98 (第35図)

検出位置	BF-48	覆土	
重複	切る	SB99	床面 堅固な貼床
	切られる	SB102	住居内施設 主柱穴 P1・P2 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 (粘土竈) 規模cm 310×140 竈 特記事項
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	
	規模 m	不明	
	主軸	N34° E	
	壁高 cm	52	
	状態	やや緩やか	
出土遺物 (第68・94・95・106 図) 環・高環・甕 抉入打製石庖丁・編物石・石製模造品			
特記事項 重複 SB100			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㉑ SB99 (第35図)

検出位置	BH-47	覆土	
重複	切る		床面 貼床あり
	切られる	SB91・98・100	住居内施設 主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模cm 不明 竈 特記事項
規模・形状	プラン	不明	
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	20	
	状態	やや緩やか	
出土遺物 (第68・94図) 環・甕 砥石			
特記事項 重複 SB102			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㉒ SB100(第32図)

検出位置	BH-46	覆土	
重複	切る		床面 貼床あり
	切られる	SB100	住居内施設 主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模cm 不明 竈 特記事項
規模・形状	プラン	不明	
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	15	
	状態	やや緩やか	
出土遺物 (第95図) 打製石斧			
特記事項 重複 SB90・98・99・102			
時期	古墳後期	根拠	住居址形態

㊦ S B 102(第35図)

検出位置	B G - 46	覆土	
重複	切る	SB98	床面 堅固な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 石芯粘土竈 規模cm 不明 竈 特記事項
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	26	
	状態	ほぼ垂直	
出土遺物 (第68・95図) 坏・甕 打製石斧			
特記事項 重複 SB99・100			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

(4) 奈良・平安時代

① S B 07 (第36図)

検出位置	B O - 20	覆土	なし
重複	切る	SB01	床面 スクリーントーン部堅固な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模cm 不明 竈 特記事項
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	0	
	状態	不明	
出土遺物 (第69図) 須恵器坏・甕			
特記事項 重複 SB09			
時期	平安 (8 C 後 ~ 9 C 初)	根拠	出土遺物

② S B 14 (第36図)

検出位置	B N - 29	覆土	なし
重複	切る	SB20・27	床面 不明瞭であるが部分的に貼床あり
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 主柱穴 なし 貯蔵穴 なし 入口 不明 炉形状 石芯粘土竈 規模cm 55×70 竈 特記事項
	規模 m	不明	
	主軸	N19° E	
	壁高 cm	0	
	状態	不明	
出土遺物 (第69・95・106 図) 坏・須恵器坏・甕 敲打器・鎌			
特記事項			
時期	平安時代 (9 C 後)	根拠	出土遺物

③ S B31 (第37図)

検出位置		BS-34	覆土	なし		
重複	切る	SB28・38・45・46・47	床面	不明瞭		
	切られる		住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	なし	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	N55° W		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	0			規模 cm	105 × 150
状態	不明	特記事項				
出土遺物 (第69図) 碗・皿・灰釉陶器皿・甕						
特記事項 重複 SB27・39						
時期	平安時代 (9 C後)		根拠	出土遺物		

④ S B33 (第37図)

検出位置		BU-36	覆土	なし		
重複	切る	SB40	床面	スクリーントーン部堅固な貼床		
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	0			規模 cm	(60) × 126
状態	不明	特記事項				
出土遺物 (第69図) 灰釉陶器皿・甕						
特記事項						
時期	平安時代 (9 C後)		根拠	出土遺物		

⑤ S B44 (第38図)

検出位置		BN-33	覆土	なし		
重複	切る	SB32	床面			
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
状態	不明	特記事項				
出土遺物 (第69図) 坏・甕						
特記事項 竈のみ						
時期	平安時代 (9 C初)		根拠	出土遺物		

⑥ S B 51 (第38図)

検出位置	BW-03	覆土	
重複	切る	SB53・56	床面 堅固な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	N44° W	
	壁高 cm	35	
	状態	ほぼ垂直	
		主柱穴	P1・P2
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炬形	形状 石芯粘土竈
		規模 cm	不明
		特記事項	
出土遺物 (第69図) 須恵器蓋・甕			
特記事項 重複 SB52・58			
時期	奈良時代 (8 C 中)	根拠	出土遺物

⑦ S B 60 (第38図)

検出位置	BT-44	覆土	
重複	切る		床面 明瞭で堅固な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	0	
	状態	不明	
		主柱穴	なし
		貯蔵穴	なし
		入口	不明
		炬形	形状 不明
		規模 cm	不明
		特記事項	中央部に焼土あり
出土遺物 (第69・70図) 坏・甕			
特記事項 重複 SB62・68			
時期	平安時代 (9 C 中)	根拠	出土遺物

⑧ S B 62 (第38図)

検出位置	BT-45	覆土	
重複	切る		床面 明瞭な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	0	
	状態	不明	
		主柱穴	不明
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炬形	形状 不明
		規模 cm	不明
		特記事項	
出土遺物 (第70図) 甕			
特記事項 重複 SB60			
時期	平安時代	根拠	出土遺物

⑨ S B 65 (第36図)

検出位置	BL-00	覆土	
重複	切る	SB75・82・86	床面
	切られる	SB80	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設
	規模 m	3.8 × -	
	主軸	N24° E	
	壁高 cm	13	
	状態	緩やか	
		主柱穴	なし
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	石芯粘土竈
		規模 cm	52 × (120)
		竈特記事項	
出土遺物 (第70図) 須恵器坏・須恵器甕			
特記事項			
時期	奈良時代 (8C中)	根拠	出土遺物

⑩ S B 66 (第39図)

検出位置	BL-48	覆土	
重複	切る		床面
	切られる		
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模 m	3.3 × 4.1	
	主軸	N108° E	
	壁高 cm	30	
	状態	やや緩やか	
		主柱穴	なし
		貯蔵穴	なし
		入口	P1か
		炉形状	石芯粘土竈
		規模 cm	70 × 120
		竈特記事項	
出土遺物 (第70図) 坏・須恵器坏・甕			
特記事項 重複 SB67・71			
時期	平安時代 (9C後)	根拠	出土遺物

⑪ S B 67 (第39図)

検出位置	BU-47	覆土	
重複	切る		床面
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模 m	不明	
	主軸	不明	
	壁高 cm	17	
	状態	ほぼ垂直	
		主柱穴	なし
		貯蔵穴	不明
		入口	不明
		炉形状	不明
		規模 cm	不明
		竈特記事項	中央部やや北西部に焼土あり
出土遺物 (第70図) 須恵器坏・甕			
特記事項 重複 SB66			
時期	平安時代 (9C後)	根拠	出土遺物

⑫SB73 (第40図)

検出位置	BR-03	覆土	
重複	切る	SB74	床面 スクリーントーン部堅固な貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 主柱穴 なし 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模cm 不明 竈 特記事項 北側壁そばに焼土あり
	規模m	不明	
	主軸	不明	
	壁高cm	0	
	状態	不明	
出土遺物 (第70・71図) 皿・甕			
特記事項 重複 SB88			
時期	平安時代(9C後)	根拠	出土遺物

⑬SB74 (第40図)

検出位置	BR-02	覆土	
重複	切る		床面 堅固な貼床
	切られる	SB73・88	
規模・形状	プラン	方形	住居内施設 主柱穴 なし 貯蔵穴 なし 入口 不明 炉形状 石芯粘土竈 規模cm 74×72 竈 特記事項
	規模m	5.0×-	
	主軸	N20°W	
	壁高cm	22	
	状態	やや緩やか	
出土遺物 (第71図) 坏・須恵器坏・甕			
特記事項 墨書「東」のある坏が出土			
時期	平安時代(9C後)	根拠	出土遺物

⑭SB79 (第29図)

検出位置	BL-47	覆土	
重複	切る	SB75・82	床面 スクリーントーン部貼床
	切られる		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模cm 不明 竈 特記事項 焼土あり
	規模m	不明	
	主軸	不明	
	壁高cm	0	
	状態	不明	
出土遺物 (第71図) 坏・須恵器坏・灰釉陶器段皿・甕			
特記事項 重複 SB80・81・85			
時期	平安時代(9C後)	根拠	出土遺物

⑮ S B 81 (第29図)

検出位置		BK-46	覆土			
重複	切る	SB72・75・82	床面 不明瞭			
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	10			規模 cm	不明
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第71図) 坏・甕						
特記事項 重複 SB79・85						
時期	平安時代 (9 C後)		根拠	出土遺物		

⑯ S B 85 (第40図)

検出位置		BL-46	覆土			
重複	切る	SB72・75・81・83	床面 部分的に堅固な貼床			
	切られる		住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	なし	
	規模 m	2.8×2.6		入口	不明	
	主軸	N119° E		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	39			規模 cm	100×95
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第71・106 図) 坏・須恵器坏・甕 管玉						
特記事項 重複 SB79						
時期	平安時代 (9 C後)		根拠	出土遺物		

⑰ S B 87 (第41図)

検出位置		BO-02	覆土			
重複	切る	SB94	床面 部分的に堅固な貼床			
	切られる		住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴	なし	
	規模 m	(3.9)×4.3		入口	不明	
	主軸	N51° E		炉・竈	形状	粘土竈
	壁高 cm	21			規模 cm	122×135
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第71・72・95・106 図) 須恵器坏・甕・須恵器壺 敲打器・編物石・不明鉄製品						
特記事項 重複 SB89・94						
時期	平安時代 (8 C中)		根拠	出土遺物		

⑩ S B 88 (第41図)

検出位置		BQ-02	覆土			
重複	切る	SB74	床面	スクリーンストーン部貼床		
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	11			規模 cm	不明
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第72図) 須恵器坏・甕						
特記事項 重複 SB73						
時期	奈良時代 (8C中)		根拠	出土遺物		

⑩ S B 89 (第41図)

検出位置		BO-03	覆土			
重複	切る		床面	明瞭な貼床		
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(方形)		貯蔵穴	不明	
	規模 m	2.8 × -		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	22			規模 cm	不明
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第72図) 須恵器坏・甕						
特記事項 重複 SB87						
時期	奈良～平安時代 (8C中～9C初)		根拠			

(6) 不明

① S B 08 (第36図)

検出位置		BN-22	覆土			
重複	切る		床面	なし		
	切られる	SB01	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明			特記事項	
出土遺物						
特記事項 重複 SB02・09						
時期	古墳後期以前か		根拠	重複関係		



②SB09 (第36図)

検出位置		BN-20	覆土	なし		
重複	切る		床面	堅固な貼床		
	切られる	SB01	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明			特記事項	
出土遺物						
特記事項 重複 SB07・08						
時期	古墳後期以前か		根拠	重複関係		

③SB11 (第42図)

検出位置		BJ-29	覆土			
重複	切る	SB10・12・13	床面	不明瞭で軟弱		
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	N62° W		炉・竈	形状	粘土竈
	壁高 cm	0			規模 cm	74×86
	状態	不明			特記事項	
出土遺物 (第77・102 図) 甕 磨製石庖丁・石鏃						
特記事項 重複 SB16						
時期	古墳後期以降か		根拠	重複関係		

④SB16 (第42図)

検出位置		BI-27	覆土			
重複	切る		床面	不明瞭で軟弱		
	切られる		住居内施設	主柱穴	P1か	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	13			規模 cm	不明
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物						
特記事項 重複 SB11・12・13						
時期	不明		根拠	重複関係		

⑤SB22 (第23図)

検出位置		BN-27	覆土			
重複	切る	SB21	床面		不明瞭	
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン			貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明			特記事項	
出土遺物						
特記事項 重複 SB20						
時期	古墳後期以降か		根拠	重複関係		

⑥SB27 (第42図)

検出位置		BT-33	覆土			
重複	切る		床面		スクリーントーン部堅固な貼床	
	切られる		住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	なし	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明			特記事項	
出土遺物 (第77・102 図) 鉢・高坏 打製石斧						
特記事項 重複 SB29・31・45・47						
時期	古墳後期以前か		根拠	重複関係		

⑦SB29 (第42図)

検出位置		BU-31	覆土			
重複	切る		床面		貼床あり	
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明			特記事項	
出土遺物						
特記事項 重複 SB19・27・47						
時期	古墳後期以前か		根拠	重複関係		

⑧ S B 39 (第43図)

検出位置		BS-33		覆土			
重複	切る			床面		不明瞭	
	切られる			住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明			貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明			入口	不明	
	主軸	不明			炬・竈	形状	不明
	壁高 cm	0				規模 cm	168 × 88
	状態	不明				特記事項	
出土遺物 (第102図) 石鏃							
特記事項 重複 SB28・31・32・38・46・49							
時期	古墳後期以降か			根拠	重複関係		

⑨ S B 41 (第43図)

検出位置		BT-40		覆土			
重複	切る			床面		不明瞭	
	切られる			住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明			貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明			入口	不明	
	主軸	不明			炬・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	26				規模 cm	104 × 84
	状態	やや緩やか				特記事項	
出土遺物 (第77・102図) 坏・甕 打製石斧・粗製石匙・挟入打製石庖丁・石錘							
特記事項 重複 SB61・76							
時期	不明			根拠			

⑩ S B 52 (第43図)

検出位置		BU-04		覆土			
重複	切る			床面		不明瞭	
	切られる			住居内施設	主柱穴	P1	
規模・形状	プラン	不明			貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明			入口	不明	
	主軸	N57° W			炬・竈	形状	粘土竈
	壁高 cm	32				規模 cm	不明
	状態	ほぼ垂直				特記事項	
出土遺物 (第102図) 坏・高坏 打製石斧・横刃型石器・磨製石斧							
特記事項 重複 SB51・58							
時期	奈良時代以前か			根拠	重複関係		

⑪ S B 54 (第44図)

検出位置		BU-48	覆土			
重複	切る		床面	明瞭		
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明			特記事項	
出土遺物						
特記事項 重複 SB50						
時期	弥生後期以前か		根拠	重複関係		

⑫ S B 58 (第38図)

検出位置		BV-03	覆土			
重複	切る	SB51・53・63	床面	明瞭な貼床		
	切られる	SB59	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明			特記事項	
出土遺物						
特記事項						
時期	奈良時代以前か		根拠	重複関係		

⑬ S B 64 (第44図)

検出位置		BS-00	覆土			
重複	切る		床面	明瞭		
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明			特記事項	
出土遺物						
特記事項 重複 SB71・84						
時期	不明		根拠			

⑭ S B 70 (第15図)

検出位置		B N - 45		覆土		
重複	切る			住居内施設	床面	堅固な貼床
	切られる				主柱穴	P1・P2か
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	9			規模 cm	不明
	状態	緩やか		特記事項		
出土遺物						
特記事項 重複 SB72・75・77・83						
時期	弥生後期以前か			根拠	重複関係	

⑮ S B 71 (第44図)

検出位置		B S - 49		覆土		
重複	切る			住居内施設	床面	明瞭
	切られる				主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0			規模 cm	不明
	状態	不明		特記事項		
出土遺物						
特記事項 重複 SB64・66・84						
時期	平安時代以前			根拠	重複関係	

⑯ S B 94 (第41図)

検出位置		B P - 00		覆土		
重複	切る			住居内施設	床面	明瞭な貼床
	切られる				主柱穴	なし
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	なし	
	規模 m	不明		入口	不明	
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	9			規模 cm	不明
	状態	やや緩やか		特記事項		
出土遺物						
特記事項 重複 SB87・93						
時期	奈良時代以前か			根拠	重複関係	

⑰ S B 103(第44図)

検出位置	B R - 37	覆 土	なし	
重複	切 る	床 面	スクリーントーン部貼床	
	切られる			
規模・形状	プラン	住居内施設	主 柱 穴	不明
	規模 m		貯 蔵 穴	不明
	主 軸		入 口	不明
	壁 高 cm		炉 形 状	不明
	状 態		規模 cm	不明
特記事項				
出土遺物				
特記事項 重複 SB28・30・37・43				
時 期	古墳時代以前か	根 拠	重複関係	

3. 掘立柱建物址 (S T)

No.	図No.	検出位置	重 複	規 模 (桁行×梁行) 桁 行 方 向	柱間 m 上 桁 下 梁	覆 土	時代・時期	出土遺物	備 考
01	45	B N - 44	SB70	3.0 × 不明	1.4 ~ 1.6		弥生時代 後期か	弥生壺 ・甕	出土遺物より時期決定

4. 溝址 (S D)

No.	図No.	検出位置	重 複	規 模 (長×大横×大深) (小横×小深)	主 軸	覆 土	時代・時期	出土遺物	備 考
02	45	B Y - 45		(2.0)×0.8×0.2 0.7×0.2	N15° E				
03	45	B Q - 43	SB68・42	(7.6)×2.0×0.2 0.4×0.2	N32° E N66° E				

5. 集石 (S I)

No.	図No.	検出位置	規模(長軸×短軸)	形 態	時代・時期	出 土 遺 物	備 考
01	45	B M - 01	304 × 140 × 36	不定形		深鉢 磨斧 磨斧未成品	

6. 土坑 (S K)

No.	図No.	検出位置	規模(長×短×深)cm	形 態	覆 土	重 複	時代・時期	出 土 遺 物	備 考
01	46	B K - 22	118×104×89	楕円形			古墳・混	ミニチュア土器 打斧	
02	46	B I - 26	64×59×38	円 形			縄文?	打斧	
03	46	B I - 26	70×66×26	楕円形			縄文中期後	深鉢片	
04	46	B L - 26	102×84×66	不整形			縄文中期後・混	深鉢片 横刃	

No.	図No.	検出位置	規模(長×短×深)cm	形態	覆土	重複	時代・時期	出土遺物	備考
05	46	BM-25	68×66×35	橢円形				打斧	
06	46	BN-25	142×100×41	橢円形				横刃	
07	46	BM-24	71×68×49	円形			縄文中期・混	深鉢片	
08		欠番							
09	46	BO-31	64×56×40	円形			縄文中期	横刃	
10	46	BO-31	50×48×28	円形			縄文中期後	深鉢片	
11	46	BN-31	80×70×20	橢円形			縄文中期		
12	46	BO-30	84×70×72	橢円形			縄文中期?・混	打斧	
13	46	BO-30	53×48×32	橢円形			縄文中期?・混		
14	46	BO-30	36×36×30	円形			弥生後期?		
15	46	BO-30	108×75×40	瓢箪形			混	深鉢片 打斧	
16	46	BO-29	62×47×22	橢円形			混	深鉢片 打斧	
17	46	BO-29	66×62×28	円形			混		
18	47	BR-29	66×52×12	橢円形			混		
19	47	BR-30	59×54×27	円形			混		
20	47	BS-29	(57)×70×32	橢円形				打斧	
21	47	BS-29	43×41×43	円形			混		
22		欠番							
23	47	BN-24	82×75×50	円形			混		
24	47	BN-24	48×45×45	円形			混	深鉢片	
25	47	BP-27	70×56×41	橢円形					
26	47	BP-30	84×82×37	円形			混	深鉢片 打斧	
27	47	BT-31	85×78×49	円形			縄文中期初頭	深鉢	
28	47	BO-31	83×70×41	橢円形			弥生	打斧 敲打器	
29	47	BP-37	70×64×35	橢円形			弥生後期		
30	47	BP-37	58×55×27	円形			弥生後期		
31	47	BT-39	43×40×44	円形			弥生後期		
32	47	BS-39	50×48×30	円形			弥生後期		
33	47	BS-39	(62)×60×40	橢円形				打斧	
34	47	BO-32	152×(84)×41	不整形					
35	48	BT-36	(98)×103×40	橢円形			混	深鉢 打斧	
36	48	BQ-36	282×123×68	橢円形			混	深鉢片 打斧 横刃	
37	48	BR-35	72×55×20	橢円形			弥生～古墳	深鉢片 打斧	
38	48	BR-34	75×60×30	橢円形			混		
39	48	BR-34	65×62×36	円形			混		
40	48	BT-37	75×62×50	橢円形			縄文中期後	深鉢片	
41	48	BT-36	75×64×46	橢円形			縄文中期後		
42	48	BU-35	57×53×38	橢円形			縄文中期後	打斧	
43	48	BT-31	60×55×24	橢円形			古墳後期	須恵器壺 甕	
44	48	BS-36	75×64×47	橢円形			縄文中期後		
45	48	BR-36	57×53×38	円形			縄文中期後		
46	48	BR-37	60×55×24	円形			縄文中期後	深鉢 打斧	
47	48	BP-33	138×98×66	不整形			混	打斧 横刃	
48	48	BS-39	78×52×79	橢円形			縄文中期後	深鉢	
49	48	BR-39	38×38×36	円形			古墳		
50	48	BY-45	(120)×(50)×40	(長方形)			縄文・古墳		
51	49	BQ-49	65×58×65	橢円形				打斧	
52	49	BW-46	150×(105)×64	橢円形			縄文中期後	深鉢片	
53	49	BW-49	220×160×147	橢円形			縄文中期後	深鉢片 打斧 石錘	
54	49	BS-47	324×260×99	不整形			縄文中期後	深鉢	
55	49	BO-01	74×56×55	橢円形					
56	49	BQ-48	(88)×78×46	橢円形					

No.	図No.	検出位置	規模(長×短×深)cm	形態	覆土	重複	時代・時期	出土遺物	備考
57	49	B I -46	(150)×(60)×32	不整形			混	深鉢片 スクレイパー	
58	50	B P -49	158×115×61	楕円形					
59	50	B M -01	74×(44)×24	楕円形					
60	50	B M -02	120×90×68	不整形			混	深鉢片	
61	50	B M -02	(78)×80×49	不整形			混		
62	50	B G -01	40×37×48	円形			古墳		
63	50	B F -49	73×60×32	楕円形			古墳後期	打斧	
64	50	B G -49	36×35×45	円形			縄文中期中葉	磨石	
65	50	B G -01	45×42×53	円形					
66	50	B Q -47	117×100×40	楕円形					
67	50	B Q -47	110×90×48	楕円形					
68	50	B G -01	45×37×49	楕円形			古墳後期		
69	50	B G -01	73×70×55	円形					
70		欠番							
71	50	B E -01	74×38×26	楕円形			古墳後期	甕	
72	50	B E -01	(55)×42×16	楕円形			縄文・古墳		
73	50	B F -00	120×104×39	楕円形			古墳後期		
74	50	B F -00	48×44×64	円形			古墳後期		
75	51	B F -00	66×55×66	楕円形			縄文・弥生		
76	51	B G -00	85×(72)×48	不整形			?	深鉢片	
77	51	B G -00	(84)×93×38	不整形			縄文・古墳		
78	51	B G -00	(75)×62×49	不整形			縄文中期後半		
79	51	B F -00	81×76×67	楕円形			古墳後期		
80	51	B H -49	223×115×57	不整形			縄文・平安	深鉢片 須恵器環	
81	51	B G -49	94×86×61	円形					

## 7. ピット

各遺構についての説明は省略する。

## 8. 土層観察表

遺構名	層	JIS標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘性	備 考
SB-26 埋壘	1	10YR5/6	黄褐色土	SCL	○	×	4層が1%混じる
	2	10YR5/4	鈍い黄褐色土	SCL	○	×	
	3	10YR5/6	黄褐色土	SCL	○	×	
	4	10YR4/4	褐色土	SCL	○	×	
SB-40 埋壘	1	10YR3/3	暗褐色土	SiC	△	×	
	2	10YR4/3	鈍い黄褐色土	LS	△	×	
SB-43 埋壘	1	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL	△	×	
	2	10YR3/3	暗褐色土	LS	△	×	
	3	10YR4/3	鈍い黄褐色土	LS	△	×	
SB-47 埋壘	1	10YR3/3	暗褐色土	SiC	△	×	
	2	10YR4/3	鈍い黄褐色土	LS	○	×	
SB-49 埋壘	1	10YR3/3	暗褐色土	SiC	△	×	
	2	10YR4/4	褐色土	LS	△	×	
SB-101 埋壘	1	10YR3/2	黒褐色土	SiC	△	×	2.5Y5/4(黄褐色土) Sが20%混じる
	2	10YR3/2	黒褐色土	SiC	△	×	
SB-18 埋壘	1	10YR3/1	黒褐色土	SiCL	○	△	砂土
	2	5YR4/4	鈍い赤褐色土	S	△	×	



遺構名	層	JIS標準色票	土 壌 色	土 性	しまり	粘性	備 考
SB-35 炉	1	7.5 YR3/2	黒褐色土	SiCL	○	×	
SB-37 炉	1	7.5 YR3/2	黒褐色土	SiCL	○	×	
	2	10YR3/2	黒褐色土	SiCL	○	×	
SB-45 炉1・2	1	10YR2/1	黒褐色土	SiC	×	×	
	2	7.5 YR4/2	灰褐色土	LS	×	×	
SB-45 炉3・4	1	10YR3/1	黒褐色土	SiC	×	×	焼土40% 混じる
	2	10YR3/1	黒褐色土	SiC	×	×	
	3	2.5 Y7/6	明黄褐色土	S	×	×	2層が10% 混じる
SB-46 炉	1	10YR3/2	黒褐色土	SiC	×	×	
	2	2.5 Y3/3	暗オリーブ褐色土	SL	△	×	
SB-50 炉	1	10YR4/2	灰黄褐色土	LS	○	×	10YR2/1 (黒色土) が30% 混じる
SB-82 炉	1	10YR3/1	黒褐色土	SiC	△	×	
	2	5YR3/4	暗赤褐色土	LS	○	×	
SB-84 炉	1	7.5 YR2/1	黒色土	LS	×	×	炭化物微量に含む
	2	5YR5/6	明赤褐色土(火床)	LS	△	△	
	3	7.5 YR2/2	黒褐色土	SiCL	△	×	
	4	7.5 YR4/6	褐色土	SL	○	×	
	5	10YR4/3	鈍い黄褐色土	LS	△	×	
SB-95 炉	1	10YR2/3	黒褐色土	LS	△	×	
	2	10YR6/4	鈍い黄橙色土	LS	△	×	焼土が50% 混じる
	3	10YR3/3	暗褐色	LS	○	×	貼り床
SB-01 竈	1	2.5 Y6/4	鈍い黄色土	HC	○	△	竈構築材の粘土
	2	10YR3/1	黒褐色土	SiCL	○	△	焼土粒、炭化物が5% 混じる
	3	10YR3/1	黒褐色土	SiCL	○	△	焼土粒、炭化物が20% 混じる
SB-05 竈	1	10YR3/2	黒褐色土	SiC	○	○	
	2		焼土				
	3	10YR3/2	黒褐色土	SiC	○	○	焼土が5% 混じる
	4	10YR3/1	黒褐色土	SiCL	○	△	
SB-12 竈	1		焼土				
	2	10YR4/1	灰褐色土	SiC	○	△	鉄分沈殿
	3	10YR5/4	鈍い黄褐色土	SiCL	△	×	10YR3/1 が20% 混じる
	4	10YR3/1	黒褐色土	SiC	○	△	掘り方、貼り床下の土
SB-20 竈	1	10YR6/6	明黄褐色土	SiC	○	◎	竈構築材の粘土、焼土が50% 混じる
	2	10YR6/6	明黄褐色土	SiC	○	◎	焼土が30% 混じる
SB-30 竈	1	2.5 Y7/4	浅黄色土	LiC	△	○	竈構築材、焼土が20% 混じる
SB-34 竈	1	2.5 Y7/4	浅黄色土	SiC	○	△	10YR3/1 が50% 混じる
	2	10YR3/1	黒褐色土	SiCL	○	×	焼土粒が30%, 1層が5% 混じる
	3		焼土				2層15% 混じる
	4	10YR3/1	黒褐色土	SiCL	○	×	
SB-38 竈?	1	10YR3/1	黒褐色土	SiC	×	△	焼土ブロック状に40% 混じる
	2						
SB-48 竈	1	10YR1/6	明黄褐色土	HC	○	○	10YR2/1(黒色土)が30% 混じり 焼土が10%混じる
	2	10YR2/1	黒色土	SC	○	○	10YR4/4 (褐色土) が15% 混じる
	3	10YR4/3	鈍い黄褐色土	LS	○	△	
	4		焼土				
SB-61 竈	1	10YR6/6	明黄褐色土	SiC	○	△	
	2	10YR3/2	黒褐色土	SiCL	△	×	10YR7/6(明黄褐色土) が15% 混じる
	3	10YR4/2	灰黄褐色土	SiCL	△	×	10YR7/6(明黄褐色土) が15% 混じる
	4	10YR4/2	灰黄褐色土	SiCL	△	×	焼土が40%,炭化物が10% 混じる
SB-75 竈	1	10YR3/3	暗褐色土	SiCL	○	×	粘土ブロック状に混じる
	2		焼土混じり粘土				
	3	10YR2/3	黒褐色土	SiCL	○	×	

遺構名	層	JIS標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘性	備 考
SB-77 竈	1	10Y R3/1	黒褐色土	S i C	○	△	
	2	10Y R7/6	明黄褐色土	S i C	○	○	
	3		焼土(火床)				
SB-78 竈	1	10Y R3/2	黒褐色土	S C	○	×	焼土10% 混じる
SB-86 竈	1	10Y R6/6	明黄褐色土	S i C	○	○	
	2	10Y R4/2	灰黄褐色土	S C L	○	△	
	3		焼土(火床)				
SB-91 竈	1	10Y R3/3	暗褐色土	S i C	△	○	10YR6/6(明黄褐色土、SiC)の竈構築材と焼土がそれぞれ15%混じる
	2		焼土				
SB-92 竈	1	10Y R4/4	褐色土	S i C L	○	×	粘土、焼土が混じる
	2	10Y R3/4	暗褐色土	S i C L	○	×	
	3	10Y R5/6	黄褐色土	S i C L	○	×	焼土が混じる
	4	10Y R3/4	暗褐色土	S i C L	○	×	焼土が混じる
	5	10Y R3/2	黒褐色土	砂質	×	×	
SB-98 竈	1	10Y R3/2	黒褐色土	S i C	○	△	10YR6/6(明黄褐色土)、焼土がそれぞれ20%混じる
	2		焼土				
	3	10Y R5/4	鈍い黄褐色土	S C	○	○	焼土が50% 混じる
SB-102 竈	1	10Y R2/3	黒褐色土	S i C	○	△	10YR5/6(黄褐色土)の竈構築粘土が30%、焼土が5%混じる
	2	10Y R2/3	黒褐色土	S i C	○	△	
SB-06 竈	1	10YR6/6 + 焼土	明黄褐色土	S C	○		竈構築材、10YR6/6 は粘土
	2		焼土				
	3	10Y R4/2	灰黄褐色土	S C L	○		焼土粒、粘土が粒子状に混じる
	4			鉄(ソフ)			
	5	10Y R6/6	明黄褐色土	S C	○		焼土粒がわずかに混じる
	6	10Y R6/6	明黄褐色土	S C	○		炭化物がわずかに混じる
SB-65 竈	1	10Y R4/2	灰黄褐色土	S i C	○	×	
	2	10Y R6/4	鈍い黄橙色土	S i C	○	△	
	3	10Y R6/4	鈍い黄橙色土	S i C	○	△	1層が20%、焼土が30% 混じる
	4		焼土				
SB-14 竈	1	10Y R4/2	灰黄褐色土	S i C	○	×	炭化物が3% 混じる
	2	10Y R4/2	灰黄褐色土	S i C	○	×	焼土粒が40% 混じる
	3		焼土				
	4	10Y R3/1	黒褐色土	S i C	○	×	
SB-31 竈	1	2.5 Y7/4	浅黄色土	S C	○	○	竈構築材、焼土がマーブル状に30%混じる
	2	2.5 Y7/4	浅黄色土	S C	○	○	竈構築材
SB-33 竈	1	2.5 Y6/6	明黄褐色土	L i C	○	△	焼土が30% 混じる
	2	10Y R3/1	黒褐色土	S i C L	○	×	焼土が粒子状に1% 混じる
	3	10Y R3/1	黒褐色土	S i C L	○	×	10YR5/6(黄褐色土)が25% 混じる
	4	2.5 Y6/6	明黄褐色土	L i C	○	△	焼土40%、10YR3/1(黒褐色土)が20% 混じる
SB-36 竈	1	10Y R3/1	黒褐色土	S i C	○	○	2.5Y6/6(明黄褐色土)の粘土と焼土がそれぞれ5%混じる
	2		焼土				
	3	10Y R4/2	灰黄褐色土	S L	×	×	5層がマーブル状に50% 混じる
	4	10Y R4/2	灰黄褐色土	S L	×	×	5層がマーブル状に30% 混じる
	5	10Y R3/1	黒褐色土	S i C L	○	×	
SB-44 竈	1	7.5 YR2/2	黒褐色土	S i C	○	△	焼土が40% 混じる
	2	7.5 YR2/2	黒褐色土	S i C	○	△	焼土が25% 混じる
	3	7.5 YR2/2	黒褐色土	S i C	○	△	
SB-66 竈	1	10Y R5/4	鈍い黄褐色土	S i C	○	○	竈構築材粘土
	2	10Y R2/2	黒褐色土	L i C	○	○	10YR6/4(鈍い黄橙色土)が10% 混じる
	3	10Y R2/2	黒褐色土	L i C	○	○	焼土が15% 混じる
	4		焼土				

遺構名	層	JIS標準色票	土壌色	土性	しまり	粘性	備考
SB-74 竈	1 2	7.5YR3/3	暗褐色土 火床	SL	○	×	粗砂多い、焼土若干含む
SB-80 竈	1 2	10YR3/3	黒褐色土	粘土 SiCL	×	×	炭、焼土混じる
SB-85 竈	1 2 3	10YR3/4 10YR2/3	暗褐色土 焼土混じり粘土 黒褐色土	SiCL SiCL	○ ○	×	
SB-87 竈	1 2 3 4	7.5YR4/6 7.5YR3/2 5YR4/8 10YR3/4	褐色土 黒褐色土 赤褐色土 暗褐色土	SL L SL SL	○ ○ ○ ○	△ △ ×	焼土混じり、炭化物微量に混じる、遺物(土器片)を含む 焼土が混じる よく焼けている 遺物(土器片)を含む
SB-11 竈	1 2 3 4	3層+4層 2.5Y6/4 10YR3/1	焼土 鈍い黄色土 黒褐色土	HC SiCL	○ ×	○ ×	焼土が粒子状に10%混じる 竈構築材の粘土
SB-39 竈?	1 2	10YR3/1	黒褐色土	SiC	×	△	2.5Y7/4(浅黄色土)の竈構築材と焼土粒がそれぞれ10%混じる
SB-52 竈	1 2	10YR3/2 10YR3/2	黒褐色土 黒褐色土	HC HC	×	×	10YR3/1(黒褐色土)が20%混じる 焼土が40%混じる



## VI ま と め

今次調査に於ける結果は以上のとおりである。発掘調査・整理作業共に限られた時間内でのものであったので十分なものであったとはいえない。今章では各時代毎気付いた点を述べ、まとめとしたい。

### 1. 縄文時代

当地域で確認された、沖積地に於ける縄文中期集落は非常に少ない。低位段丘Ⅱa<sub>3</sub>に位置する飯田市上郷の飯沼丹保遺跡では中期後葉期の住居址が2軒と土坑が確認されている（上郷町教委 1993）。本遺跡はこの飯沼丹保遺跡と比較してみると非常に興味深い。段丘面が2段ほど違うが、広義的に立地条件は類似している。本遺跡の該期の住居址は10軒確認されたが、編年の内訳は中期中葉末からⅠ期S B24で1軒、Ⅱ期S B23・26・40・47・49・63・101で7軒、Ⅲb期S B43で1軒、Ⅳb期S B69で1軒となる（編年は飯田市教委 1999 「三尋石遺跡Ⅳ」に準拠する）。今次調査区の面積及び調査区南側に集落の展開が予想されることから（平成11年度民間住宅開発に伴う立会調査時に確認）、未確認の多くの住居址の存在が考えられる。とすれば、一時期に7軒以上もの住居址が存在していたとなれば、当地方でも屈指の中期集落と思われる。過去に於ける縄文中期集落は洪積地の台地上に展開すると考えられていたが、このことは改めなければならないといえるであろう。

前述した飯沼丹保遺跡の報告書に於いて「大集落を構成するとは想定しにくい」としているが、発掘調査時、時間的制約及び担当者間の見解の相違があり、当該期の調査は十分にできなかった。それは「沖積段丘面において該期の遺構が検出されるのは少ないだけに、調査前には予想できなかった。」とあるように、無いだろう、という先入観がもたらした結果であるともいえる。本遺跡の結果を鑑みるに飯沼丹保遺跡の調査結果調査は担当した者として誠に恥ずかしく、遺憾である。今となっては詳細は不明であるが、未調査部分を含めて本遺跡と同様な様相であった可能性が非常に高い。今後の類例の増加と研究成果に期待したい。

他時期に於ける遺構は、時期が明確なものについては中期初頭の土坑がある。当地方に於いて、該期の遺構は土坑が圧倒的に多く、住居址は数軒ほどしか確認されていない。これらの様相から極めて小規模な集落形態だったことが想像できる。

縄文時代の遺物については、前述した中期後葉及び中期初頭がある。中期初頭については近年遺構と共に報告例が増加してきており、今後の検討が必要となろう。中期後葉については特筆すべきものは特にないが、S B26・49の埋甕は、同型式（東海中富・咲畑系）で同規格のものであり、両者の関係が興味深い。他では押型文土器・中期中葉の土器・後期初頭の土器が出土している。それぞれ断片的な資料のため詳細は不明であるが、押型文土器についてはⅡ-2「歴史環境」で前述したように、隣接した寺所遺跡では、それに伴う遺構は確認されていないが、比較的まとまって出土している。

## 2. 弥生時代

該期の遺構は住居址が22軒と古墳時代に続いて多く、本遺跡の中心になる時代のひとつである。土器様相から後期後半から終末期の2時期と考えられる。当地域では中期に沖積地に集落が営まれ、時間と共に洪積地の山麓（標高600 m以上）まで拡散されるとされている。沖積地の集落は、後期に於いては大規模で、長期間継続されるようである。このことは弥生経済が稲作と密接な関係を持つため、常に生産域である湿地帯が必要であったためといわれている。今次調査のみで本遺跡の当該期の集落様相を語るのは非常に危険であるが、今次調査区に限れば、後期のある時期のみに居住域として利用されていたようである。出土遺物も後期以外はほとんど確認されていない。しかし、隣接した寺所遺跡では中期の集落が確認されており、本遺跡の該期は、周辺の多くの遺跡を含めて巨視的に検討する必要がある。

弥生時代の遺物については前述した後期後半から終末にかけての土器及び石器が出土している。後期後半から終末にかけての当地域の特徴であるが、大量の東海系土器が出土している。今次調査資料の詳細な分析、他遺跡の出土比率など整理するに至っておらず、具体的には述べることはできないが、他遺跡に比べ在地の土器に対する比率が非常に高いと感じられる。本遺跡が当地域において、重要な位置付けを成すべきことを示す材料といえるかもしれない。

## 3. 古墳時代

当該期が今次調査の中心となる時代である。確認された住居址35軒は5世紀後半から7世紀にかけてのものである。

調査範囲内はすでに記したとおり、縄文時代中期から平安時代に至る各時代の住居址が重複し、その全体を把握し得ないものが多い。出土遺物も重複遺構との混在があり、詳細な検討を加える事により修正を要するが、それぞれの所属時期を整理すると、5世紀後半S B01・13・28・59・90の5軒、6世紀代S B05・17・21・25・30・32・38・48・56・57・61・68・75・86・91・98・99・100の18軒、7世紀代S B06・19・20・34・36・77・80・92・97・102の10軒、詳細時期不明S B12・78の2軒と捉えられる。

遺構の分布状況を見ると、5世紀代の住居址は調査範囲内に散在し、相互の切り合いは認められず、当時の住居分布をある程度示しているものと考えられる。6・7世紀代の住居址はその数も多く、調査範囲内全体に広がり、当該時期同士が重複しており、いくつかは時期細分される。なお、調査範囲内北東部に当該時期の確認されなかった部分があるが、他時代遺構との重複等により、本来所在したものが把握できなかった可能性があり、総体の住居数はさらに多かったと推定される。

以上から、本集落跡は5世紀後半に始まり、以後古墳時代全体を通じ多数の住居で構成された集落を形成していたといえる。

また、今次調査は約1,300 m<sup>2</sup>の限られた範囲であるが、遺構の検出状況から集落は四囲に広がっている事は確実といえる。その範囲については、微地形の変化及び古墳分布から、西側はほぼ限界に近いが、南側へ約100 m、北東側へ約50mの広がりがあり、40,000～50,000m<sup>2</sup>におよぶといえる。しかし、今次

調査の北側50mの位置で平成11年に実施した民間開発に伴う試掘調査箇所（第3図参照）からは、遺構等の存在はなく、集落範囲を特定するには今後の継続した周辺部の確認作業による他は術がないといえる。

集落範囲の特定は今後の課題であるが、地形等で捉えられる44,000㎡のうち、仮に半分の22,000㎡に集落が展開するとして、その面積比で今次調査1,300㎡で確認した34軒に対し、17倍約600軒の住居分布が考えられる。もちろん同一時期の存在数を示すものではなく、5世紀後半から7世紀まで連続したもので、仮に5時期に分割すると、同一時期は120軒程度の家で集落形成されていたと考えられる。

集落規模は当地方でも屈指の一つとして注目すべきは言うまでもないが、本集落についてはさらに、妙前古墳群との関連が注目される。妙前古墳群は、同一段丘上、同一遺跡内の北縁に位置している。妙前古墳群からの既出資料は、妙前3号（大塚）古墳出土の長野県宝の眉庇付甕に代表される5世紀中頃の遺物群があるのみで、それ以外は実体不明である。当地方に多い横穴式石室のないことから、古墳群の大半が5世紀代に属すと考えられている。

本集落の居住者は、古墳群形成に関わりをもつといえるが、今次調査の5世紀代住居址は、古墳群の盟主と推定される妙前3号古墳の築造時期よりは若干後出するもので、直接関わった住居群は今次調査地点外に分布するといえる。

さらにまた、本集落のもう一つの特徴として古墳時代全体にわたり、継続した人々の営みをたどれることがある。今次調査による弥生時代の終末から5世紀後半まで途切れる実態は、隣接する寺所遺跡の例などからしても、空白の期間を埋める住居群が本遺跡内別地点に存在する可能性が高く、弥生時代後期以降は律令期までの間、連綿と続く集落としての姿を保ち、かつ大規模であり、古墳群と直結することなどから、本遺跡が当地方における古代史解明にとって極めて重要な意味を有しているといえる。

#### 4. 奈良・平安時代

19軒の住居址を確認した。各時期別に見ると、8世紀中頃S B51・65、8世紀中～9世紀初頭S B89、9世紀初頭S B07、9世紀前半S B44・60、9世紀中頃S B44・60、9世紀後半S B14・31・33・60・67・73・74・79・81となっている。

当地方に於いて確認されている奈良時代の遺構は非常に少なく、座光寺地区の恒川遺跡群・同金井原瓦窯址・上郷地区堂垣外遺跡・同矢崎遺跡・松尾地区毛賀御射山遺跡・同久井遺跡・同田圃遺跡・竜丘地区安宅遺跡・下久堅地区内御堂遺跡がある。この中で注目すべき遺跡は久井遺跡で、奈良・平安時代と考えられる掘立柱建物址2棟が確認されている。この遺構は時期及び性格の詳細が不明であり、官衙関係若しくは東山道駅関係の施設とされている。この掘立柱建物址と本遺跡の関係は詳細に言及できないが、S B82時期外出土の円面硯と関連付けて考えると興味深い。また、地区全体で見た場合、座光寺地区は恒川遺跡群が伊那郡衙推定地であるため論外であるが、本遺跡のある松尾地区は当該期の遺構が多く確認されている地区である。このことは如何なる意味を持つのであろうか。前時代の古墳時代との関連、東山道ルートとの関係等、多方面から考察すべき問題であると考えられる。

平安時代は9世紀後半が主体となる。当地方に於いて当該期は全般的に遺構が多く、隣接する水城遺

跡でも竪穴住居址が2軒確認されている。同じ松尾地区の清水遺跡に於いても8軒ほど確認されている。他地区では座光寺地区の恒川遺跡群・上郷地区堂垣外遺跡・同矢崎遺跡・鼎地区天伯B遺跡・同日向田遺跡・同猿小場遺跡・伊賀良地区小垣内・辻垣内遺跡・山本地区高野遺跡・竜丘地区小池遺跡・龍江地区細新遺跡がある。また、この前段階である9世紀中頃も比較的多くの遺構が検出されており、9世紀中～後半が当地方の平安時代のピークと考えられる。

現在飯田市で進めている飯田市誌編纂委員会の原始古代史部奈良・平安時代班に於いて当該期の土器編年及び集落変遷等、詳細に研究している。そこでの成果に期待したい。

以上、各時代毎に気付いた点の概略を述べてきた。本遺跡調査区は重複していない遺構が1つもないほどの縄文から平安時代までの大規模な複合遺跡であり、調査面積の割に100軒以上もの住居址を確認した。当地方屈指の遺構密集遺跡といっても過言ではない。調査期間等、物理的な問題もあったが、担当者の努力不足が大きく、十分な成果が得られなかったことは誠に遺憾である。今後は前述した問題点等、一つでも解明していきたいと考えている。最後になりましたが、古墳時代遺物に対して國學院大学大学院片山祐介氏に、奈良・平安時代の遺物に対して駒ヶ根市立赤穂東小学校教諭小平和夫氏を中心に、飯田市誌編纂委員会原始古代史部奈良・平安時代班の皆様それぞれ御教示賜りました。記して感謝致します。

#### 《引用・参考文献》

- 飯田市教育委員会 1971 『妙前大塚（3）号古墳』  
飯田市教育委員会 1972・1974 『南の原遺跡』  
飯田市教育委員会 1976 『清水遺跡』  
飯田市教育委員会 1978 『毛賀御射山遺跡』  
飯田市教育委員会 1980 『猿小場遺跡』  
飯田市教育委員会 1986 『恒川遺跡群』  
飯田市教育委員会 1991 『恒川遺跡 田中・倉垣内地籍』  
飯田市教育委員会 1991 『清水遺跡』  
飯田市教育委員会 1991 『城遺跡』  
飯田市教育委員会 1992 『猿小場遺跡』  
飯田市教育委員会 1992 『八幡原遺跡 物見塚古墳』  
飯田市教育委員会 1992 『八幡原遺跡』  
飯田市教育委員会 1993 『田圃遺跡』  
飯田市教育委員会 1993 『久井遺跡』  
飯田市教育委員会 1994 『長野県飯田市代田山狐塚古墳の測量調査』



飯田市教育委員会 1995 『安宅遺跡』

飯田市教育委員会 1999 『田圃遺跡Ⅱ』

上郷町教育委員会 1993 『丹保遺跡』

下伊那地質誌編集委員会編 1976 『下伊那の地質解説』

(財)長野県史刊行会 1988 『長野県史』考古資料編全1巻(4)遺構・遺物

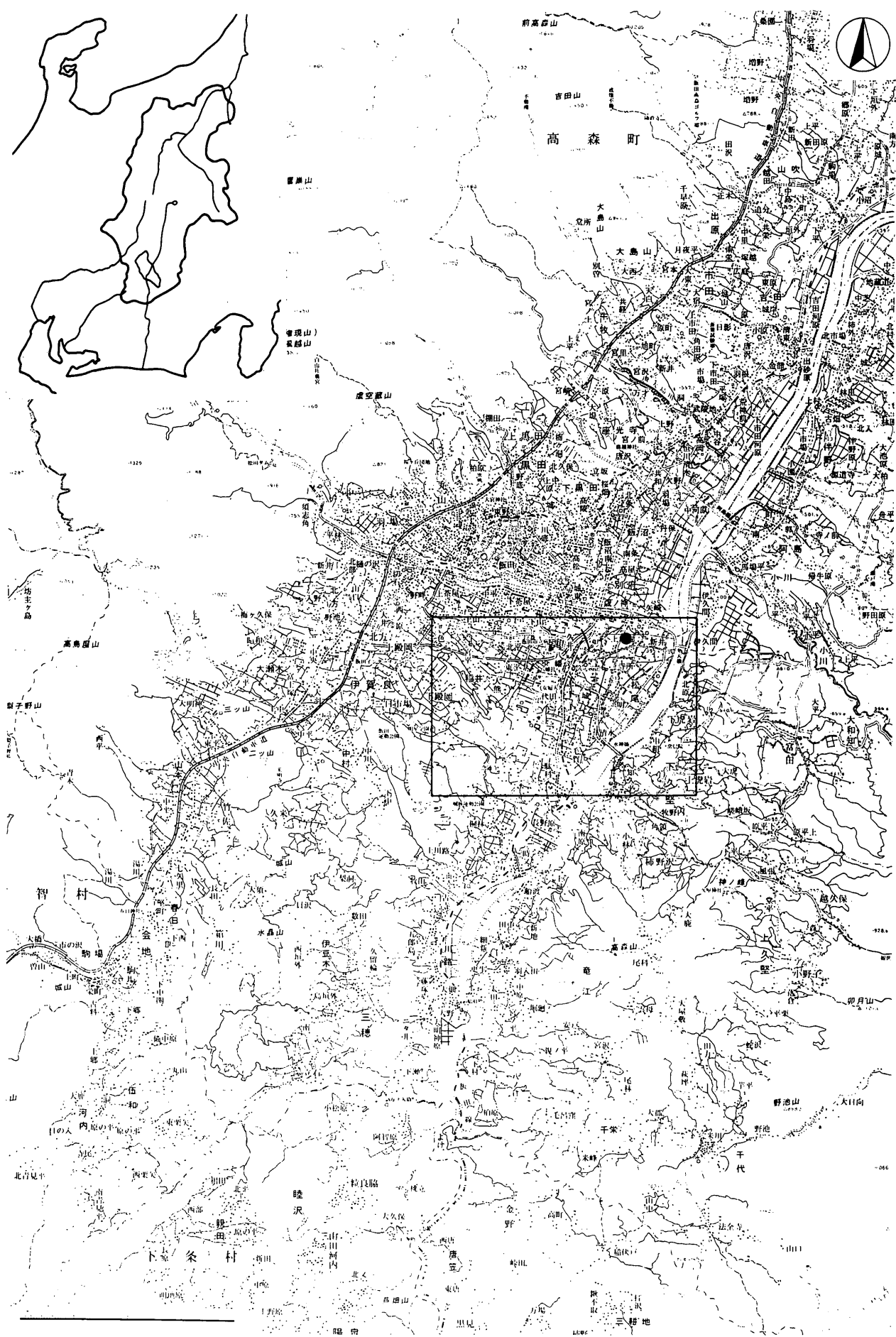
(財)長野県埋蔵文化財センター 1990 『総論編』中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書4

松尾村誌編纂委員会 1982 『松尾村誌』

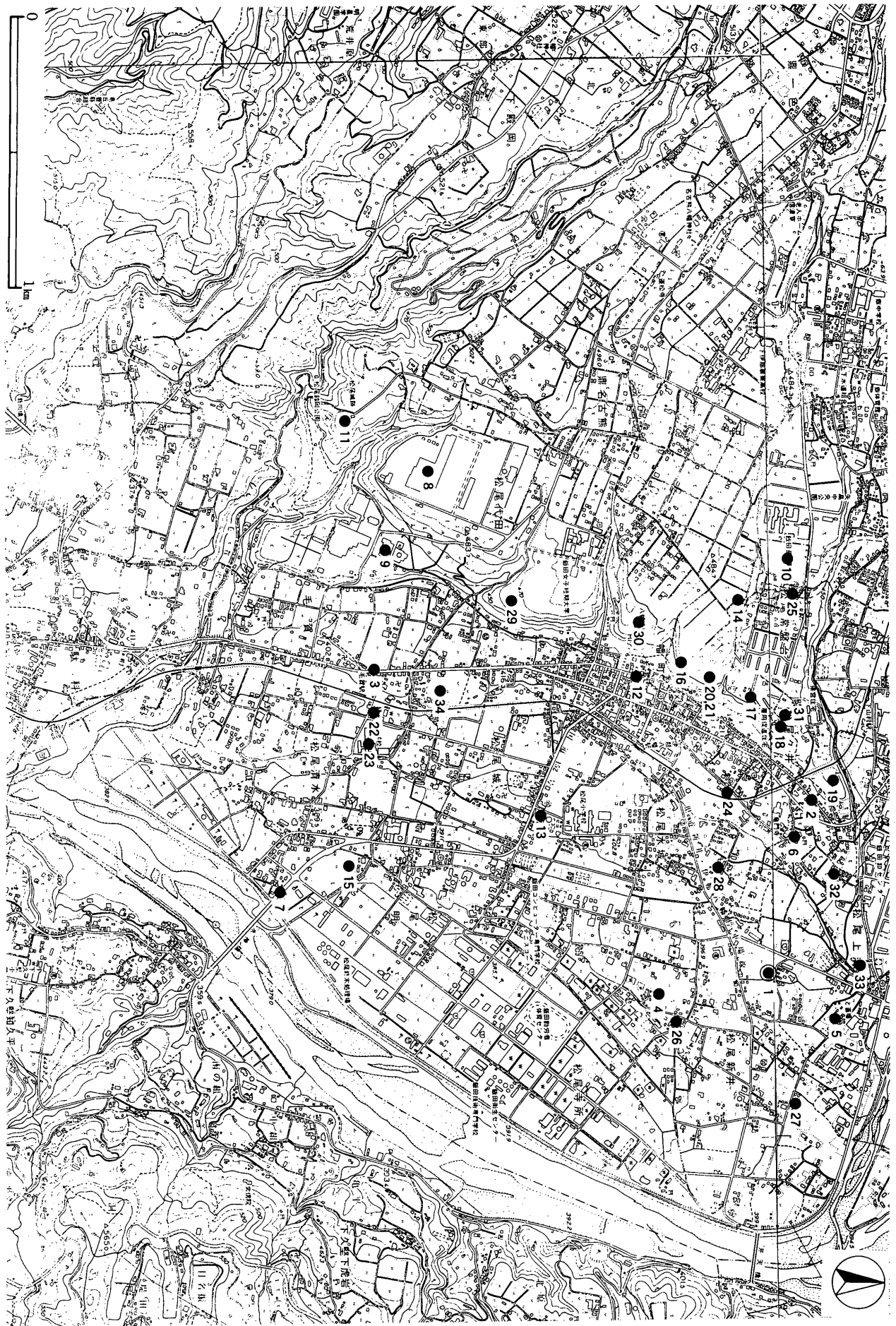


# 圖 版

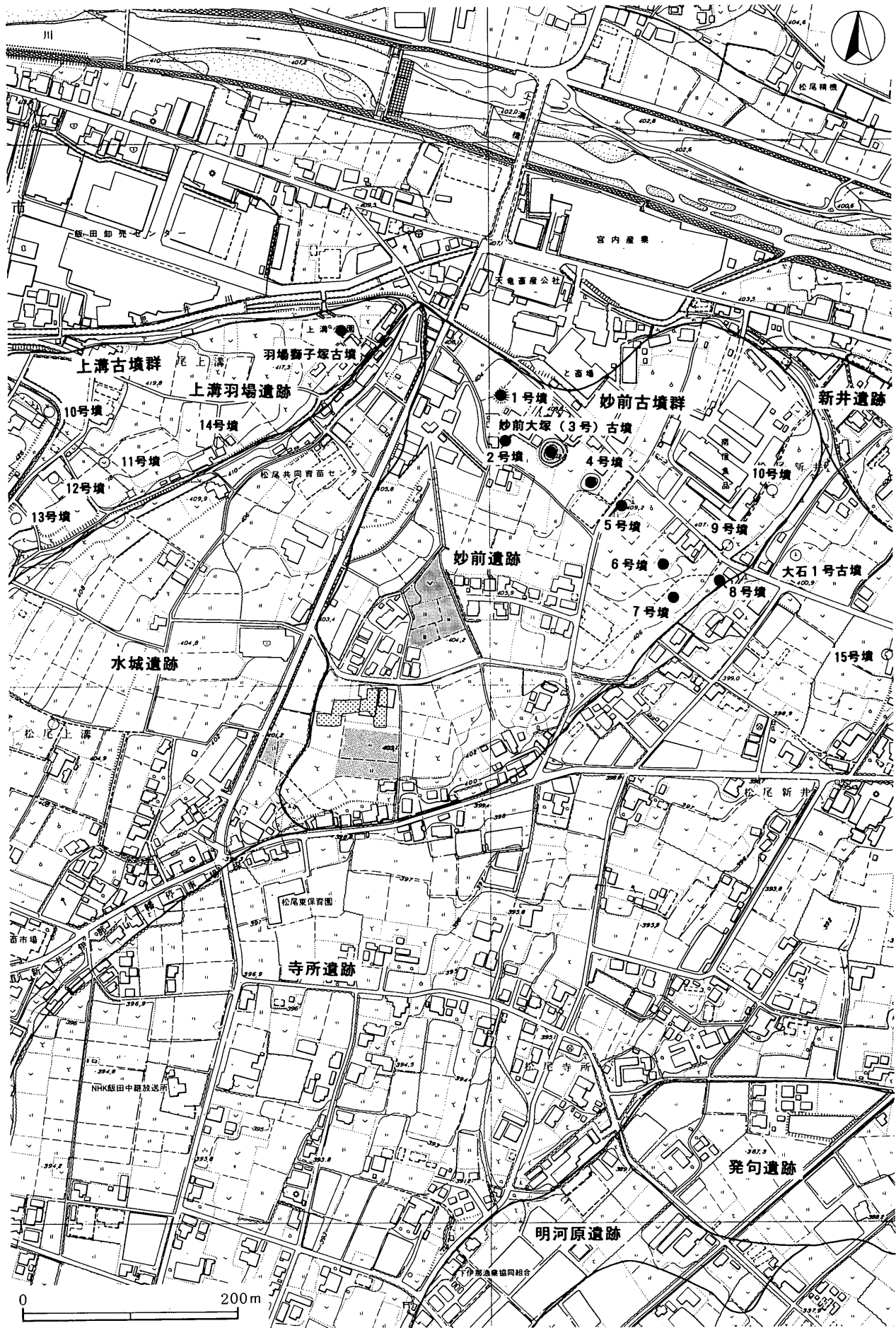




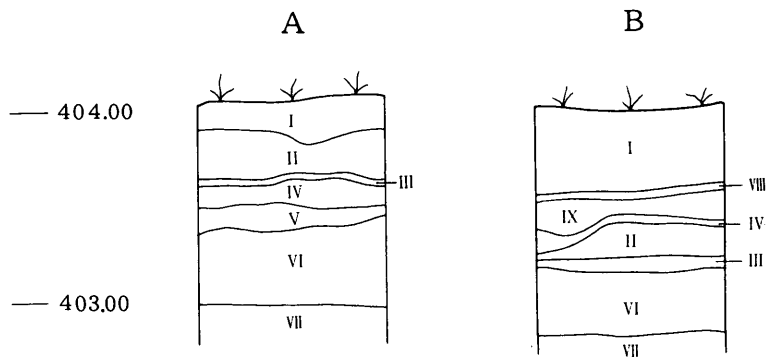
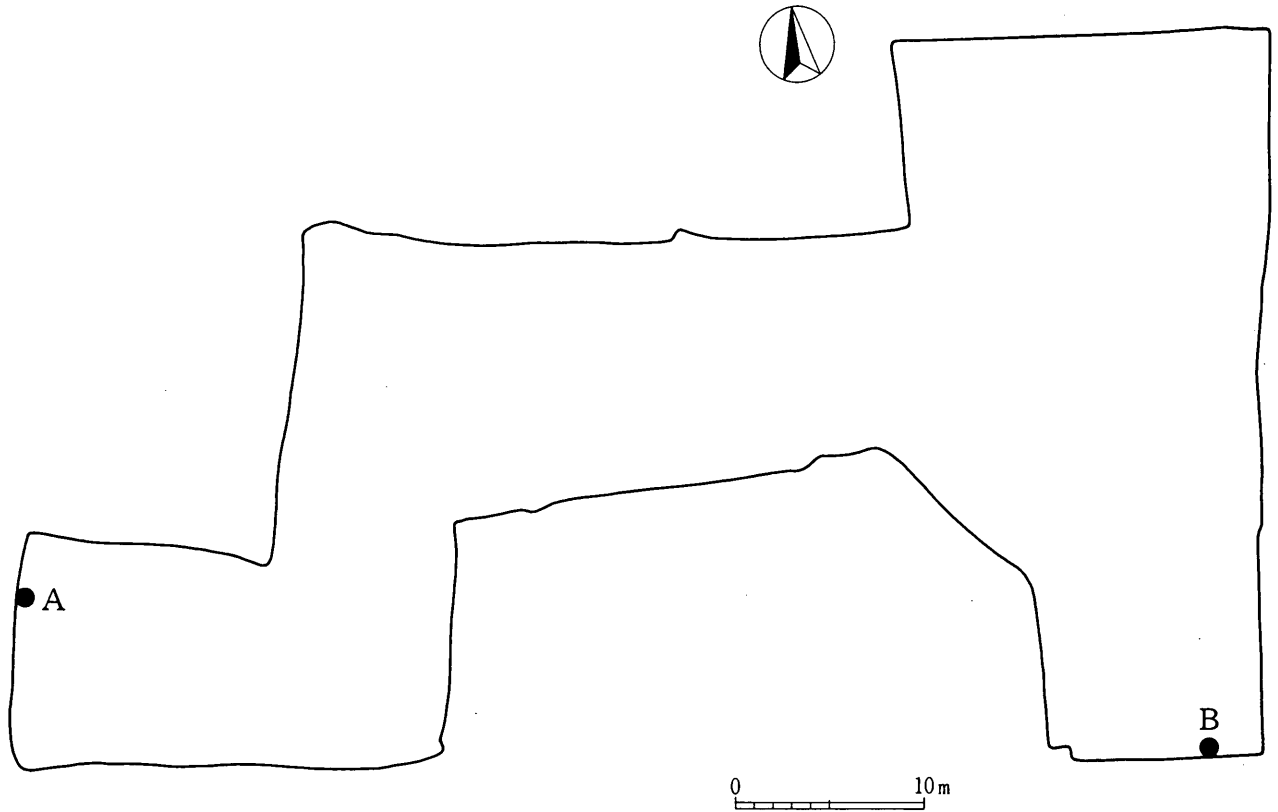
第1図 妙前遺跡位置図



第2図 周辺遺跡位置図



第3図 調査位置図及び周辺地図

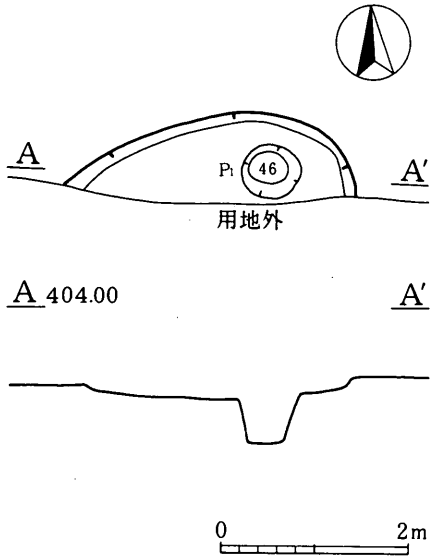


- |      |                   |        |     |     |  |
|------|-------------------|--------|-----|-----|--|
| I    | — 造成土             |        |     |     |  |
| II   | — 旧水田             |        |     |     |  |
| III  | — 旧水田鉄分沈澱土        |        |     |     |  |
| IV   | — 7.5YR4/2 (灰褐)   | SiCL   | 粘性△ | しまり |  |
| V    | — 2.5Y7/3 (浅黄)    | S      | 粘性× | しまり |  |
| VI   | — 10YR3/1 (黒褐)    | SiC    | 粘性△ | しまり |  |
| VII  | — 10YR6/6 (明黄褐)   | S      | 粘性× | しまり |  |
| VIII | — 7.5YR5/6 (明褐)   | S(鉄分混) | 粘性○ | しまり |  |
| IX   | — 10YR5/4 (にぶい黄褐) | CL     | 粘性○ | しまり |  |

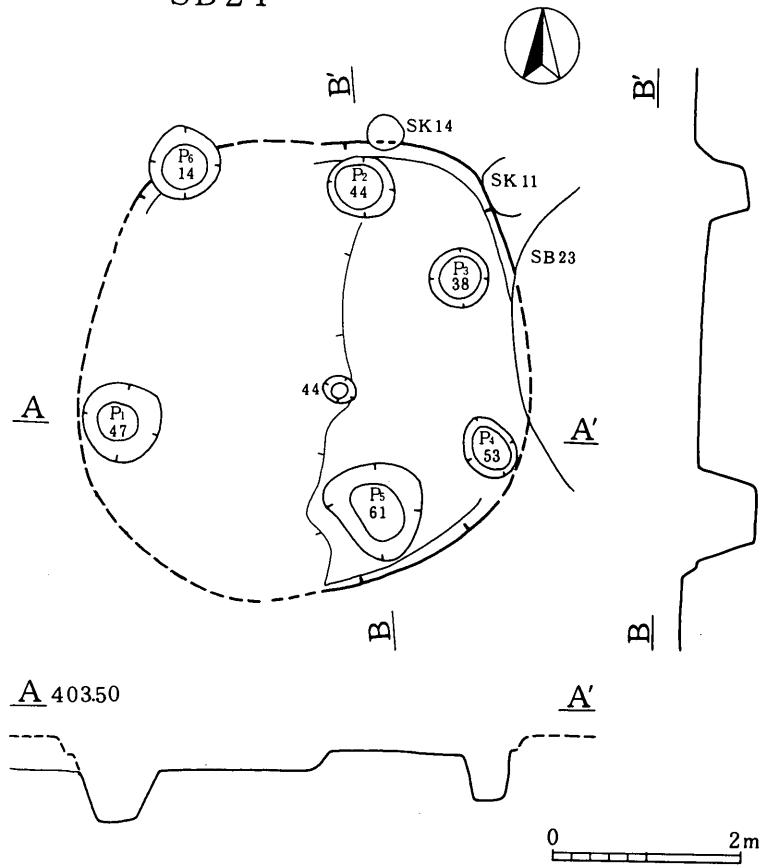
第4図 基本層序



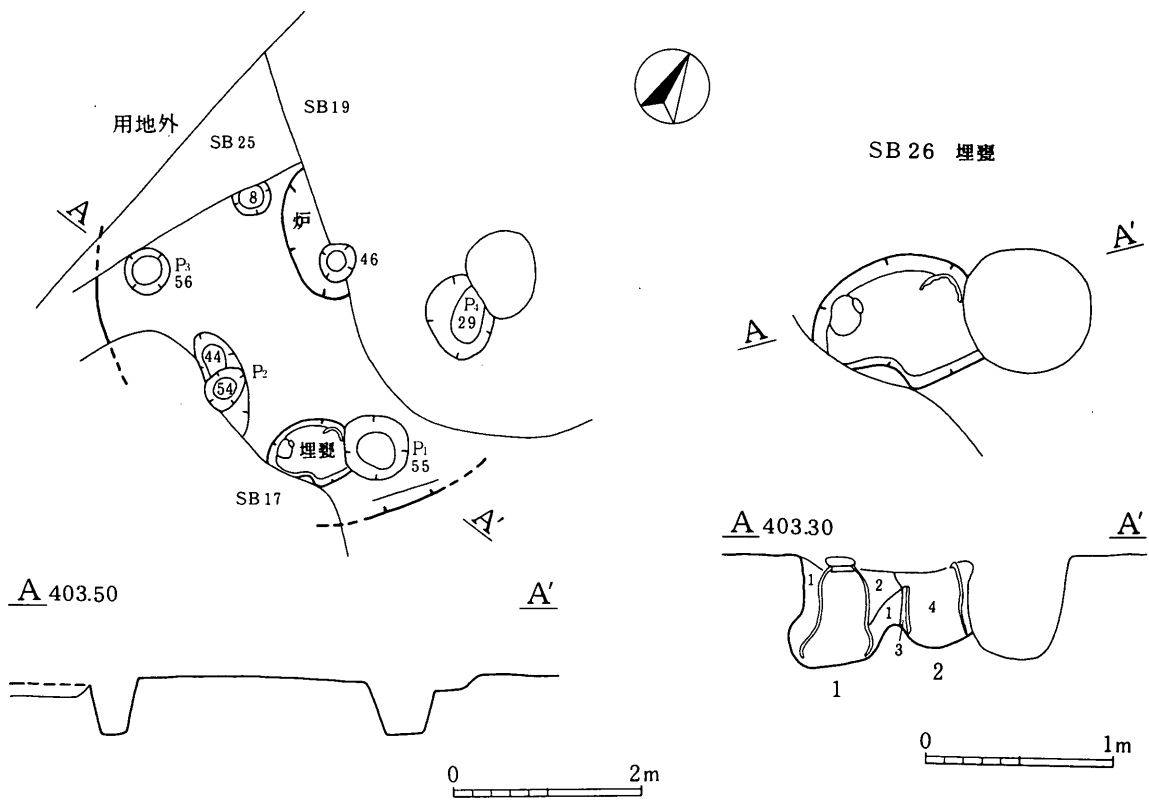
SB 23



SB 24

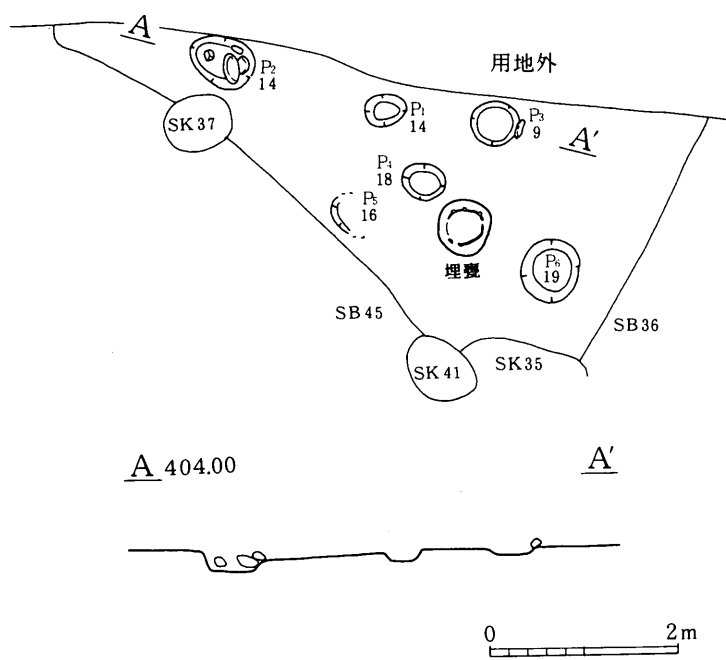


SB 26

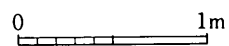
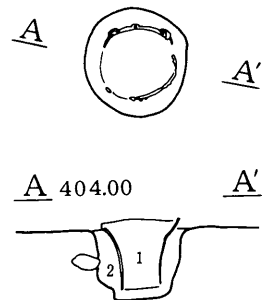


第5図 SB23・24・26

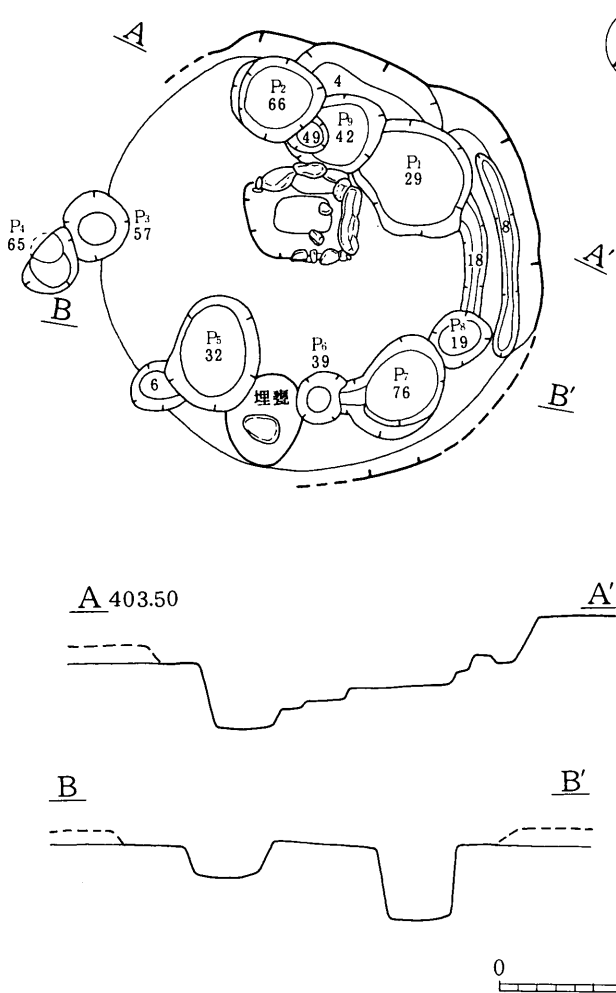
SB 40



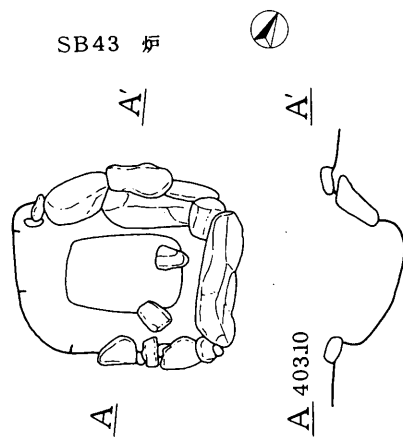
SB 40 埋甕



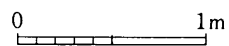
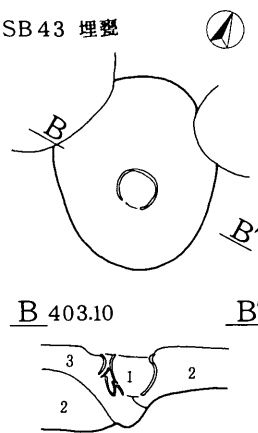
SB 43



SB 43 炉

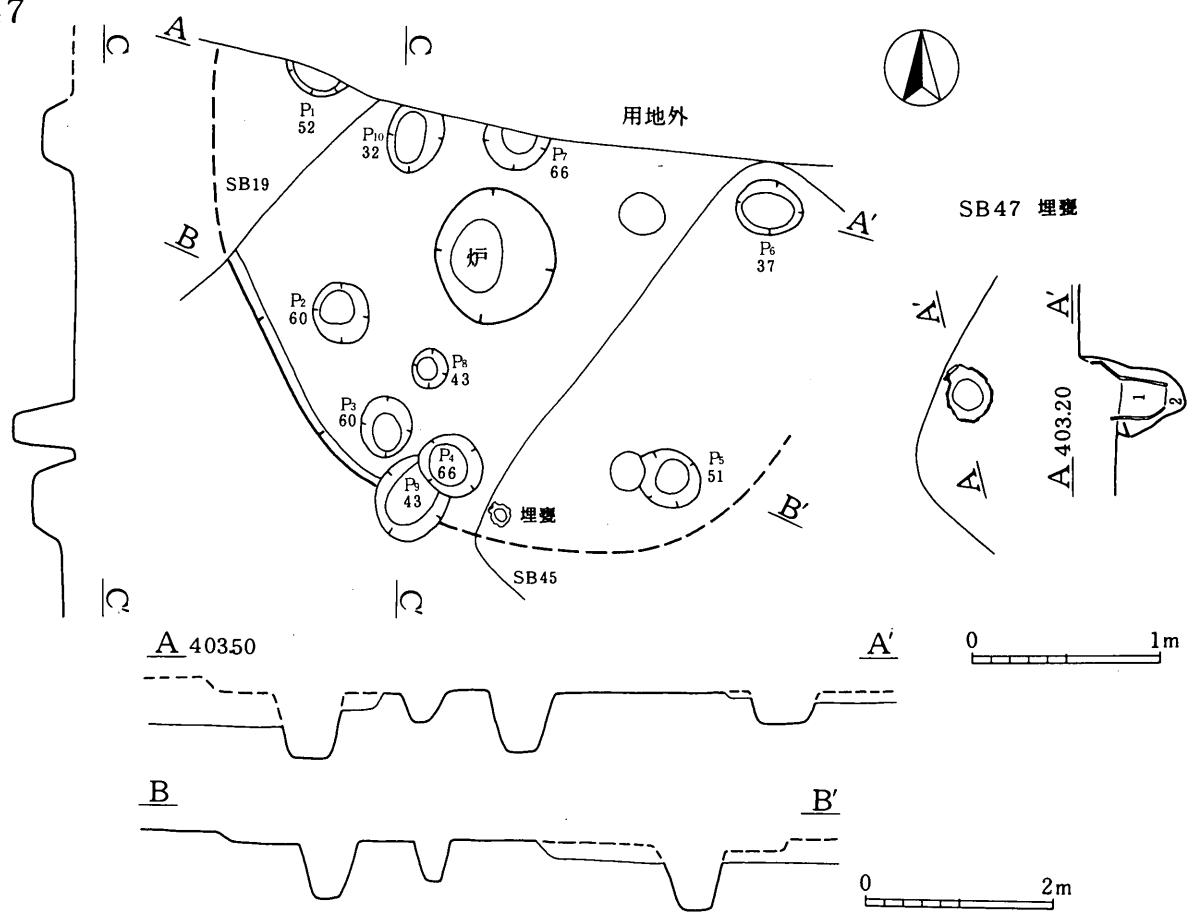


SB 43 埋甕

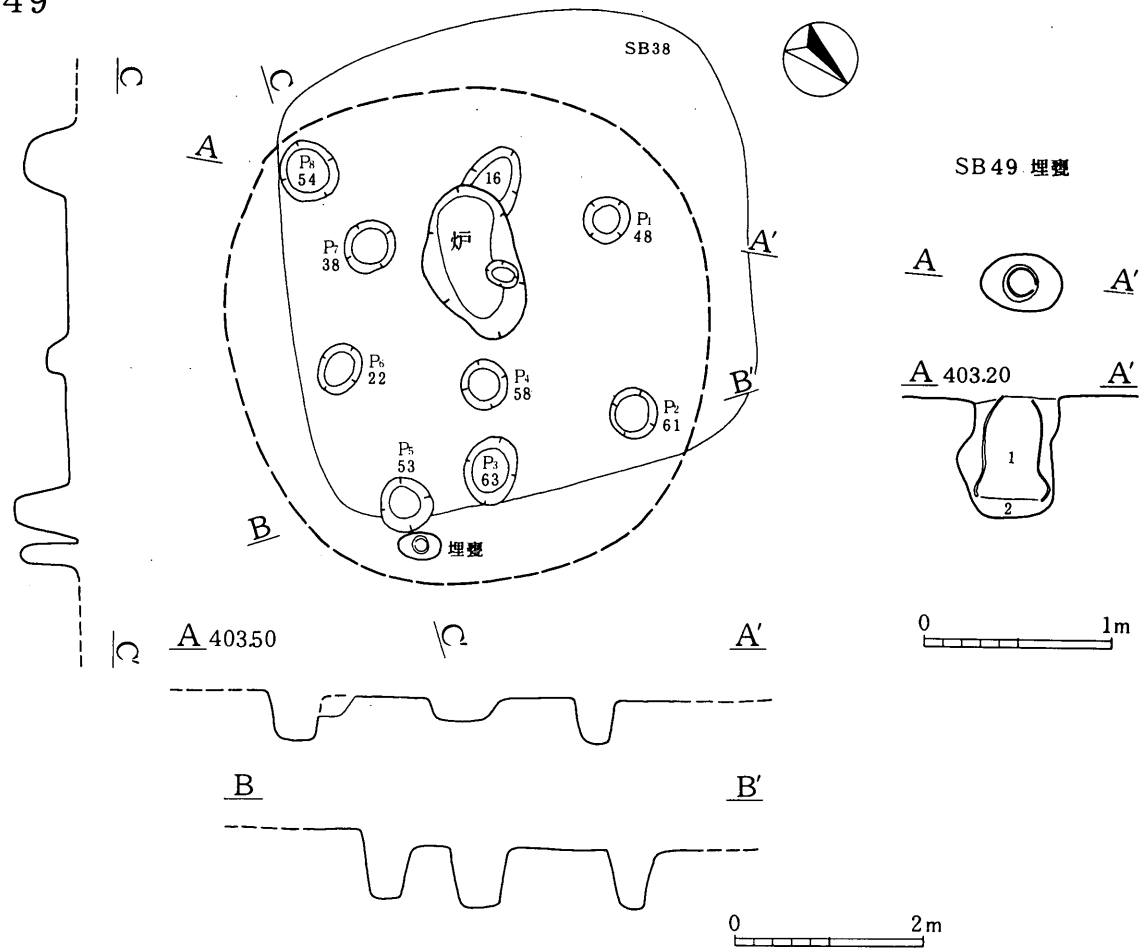


第 6 图 SB40 · 43

SB 47

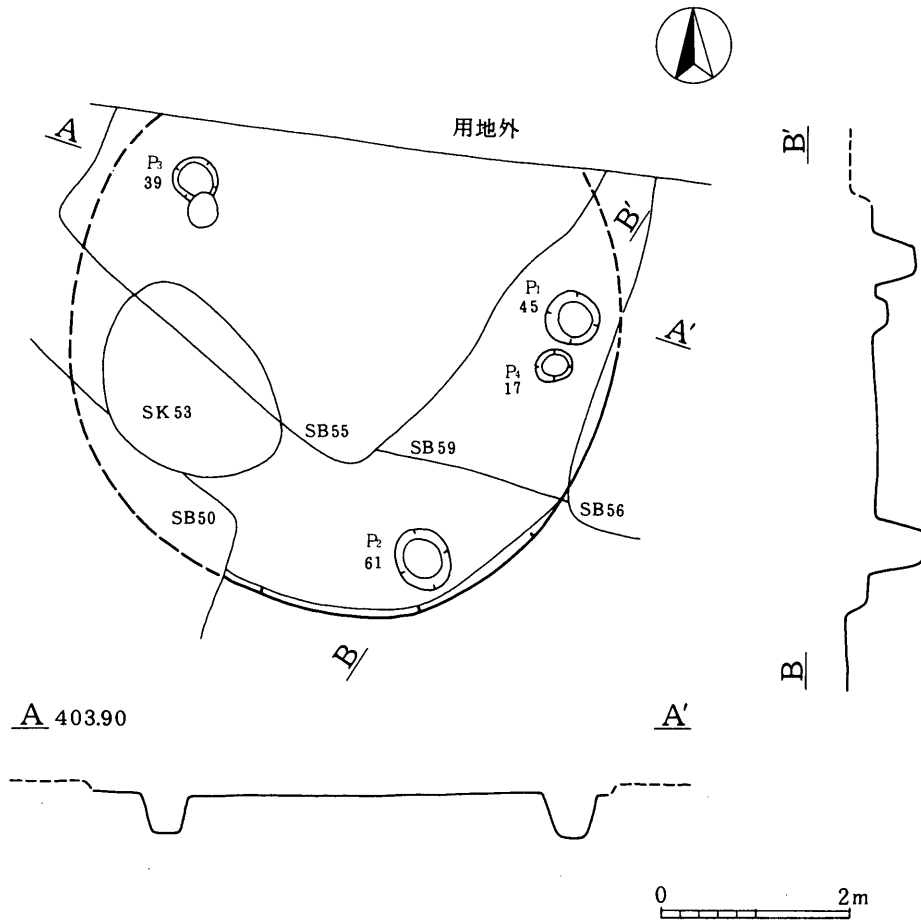


SB 49

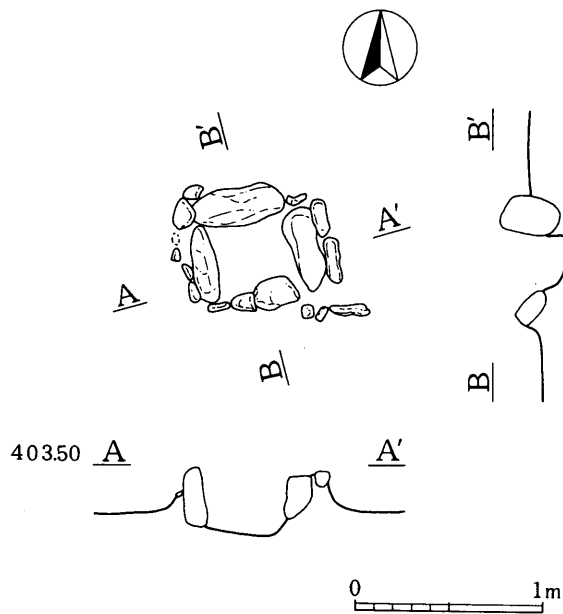


第 7 图 SB47 · 49

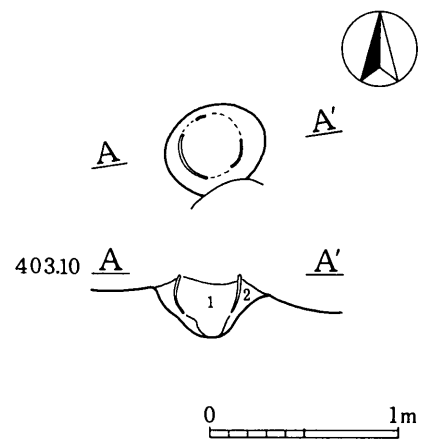
SB 63



SB 69 炉

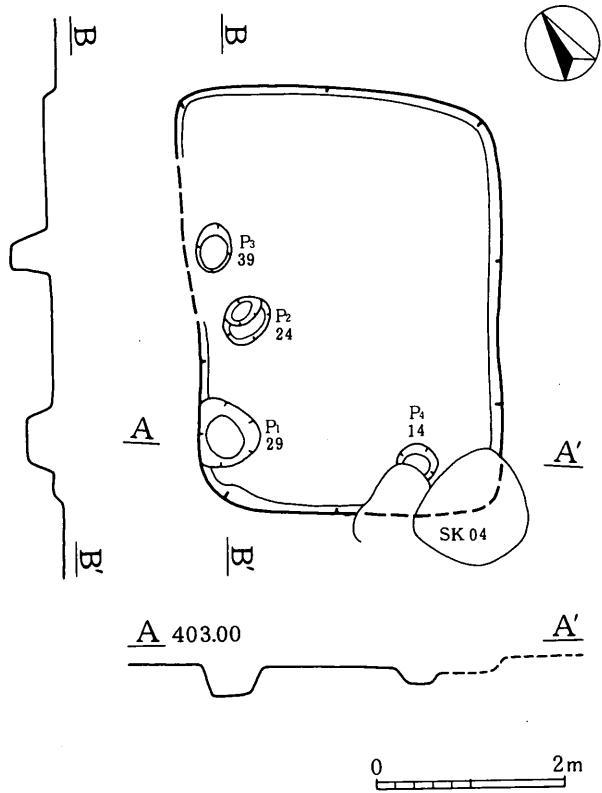


SB 101 埋甕

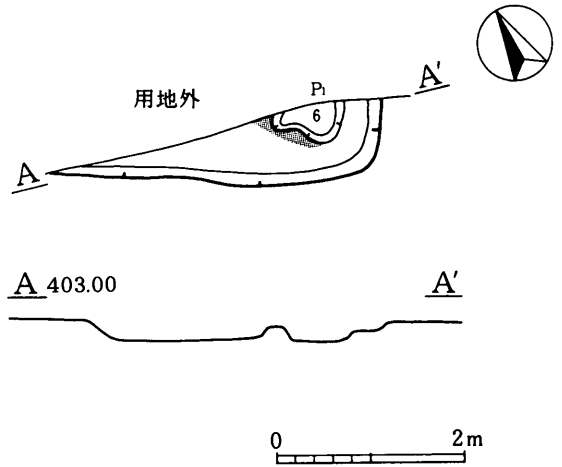


第8図 SB63・69・101

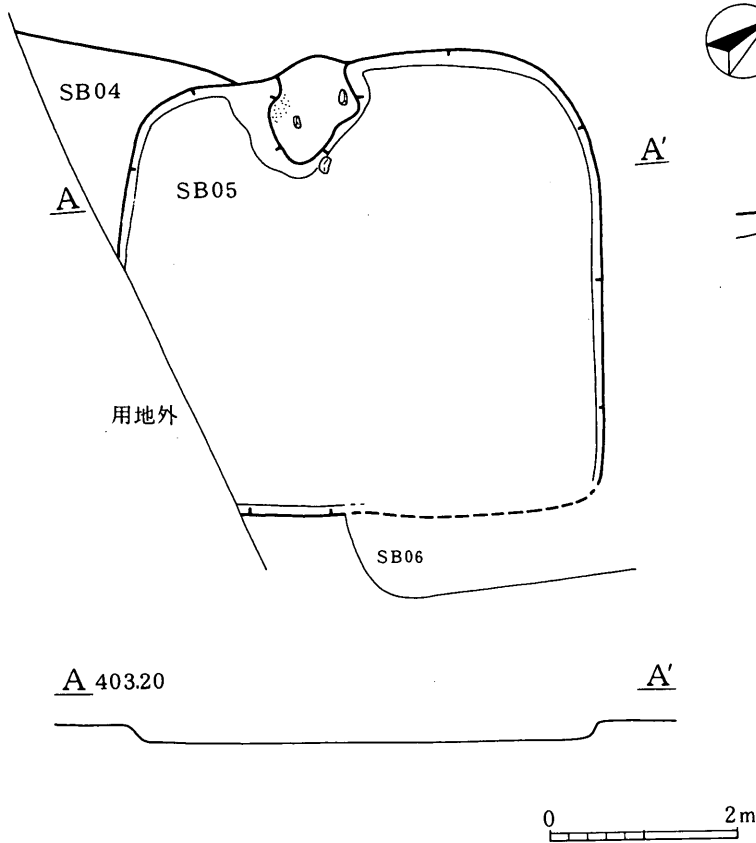
SB 02



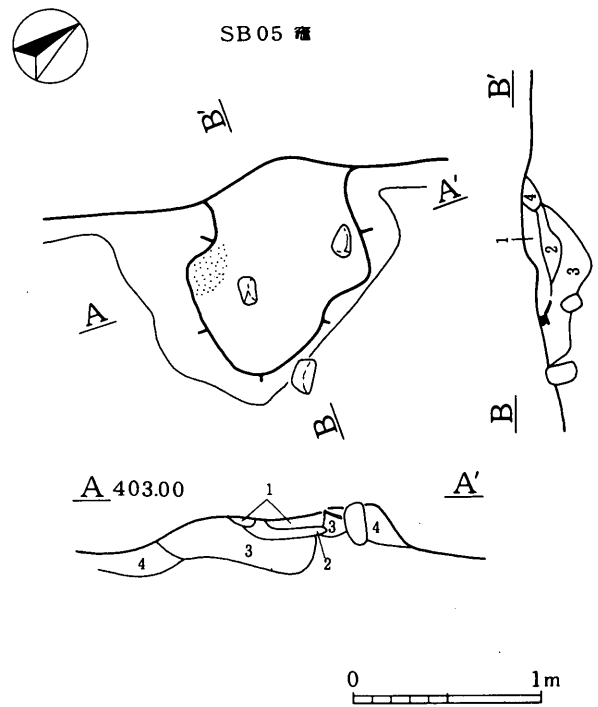
SB 03



SB 04·05

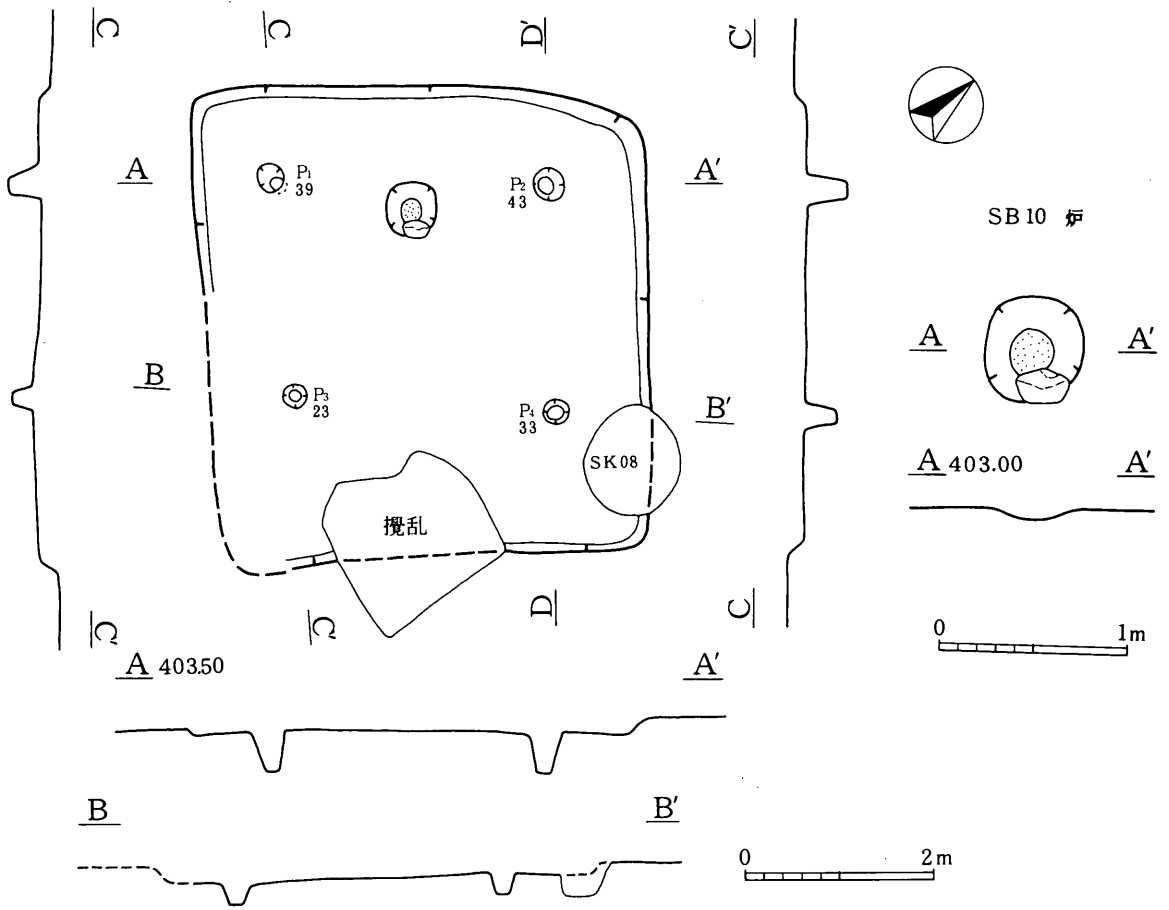


SB 05 種

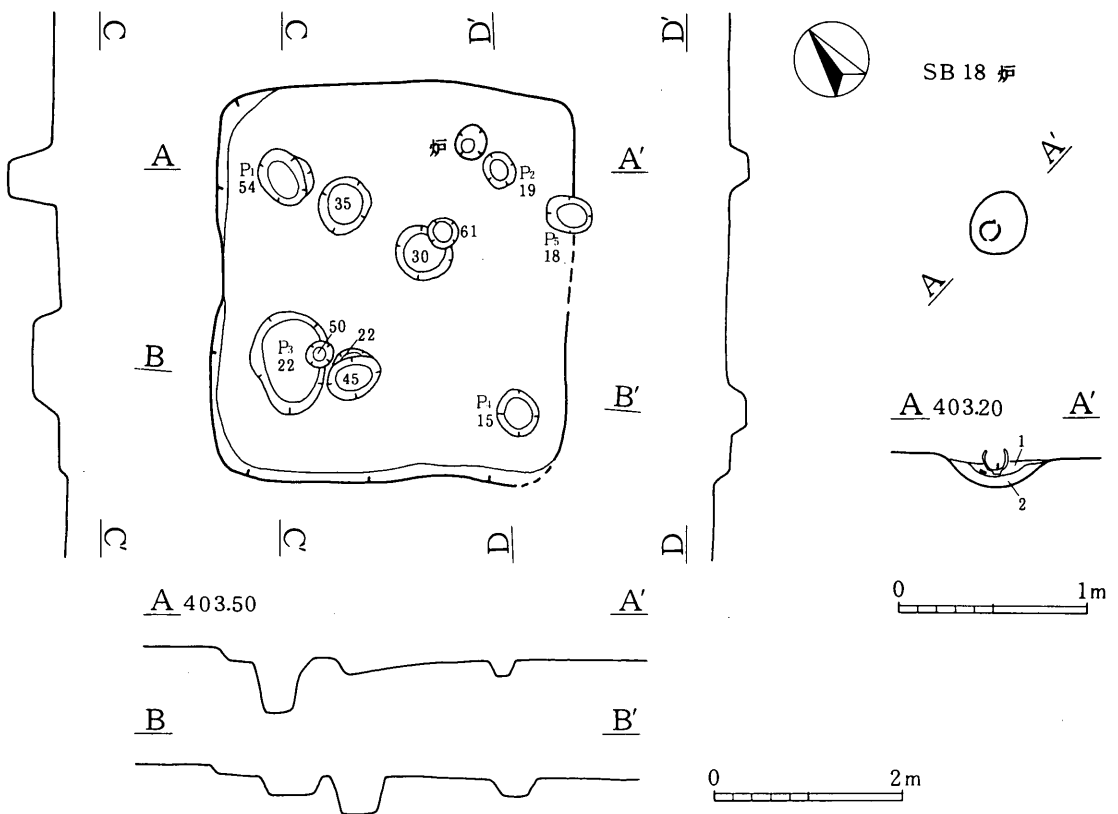


第 9 図 SB02・03・04・05

SB 10

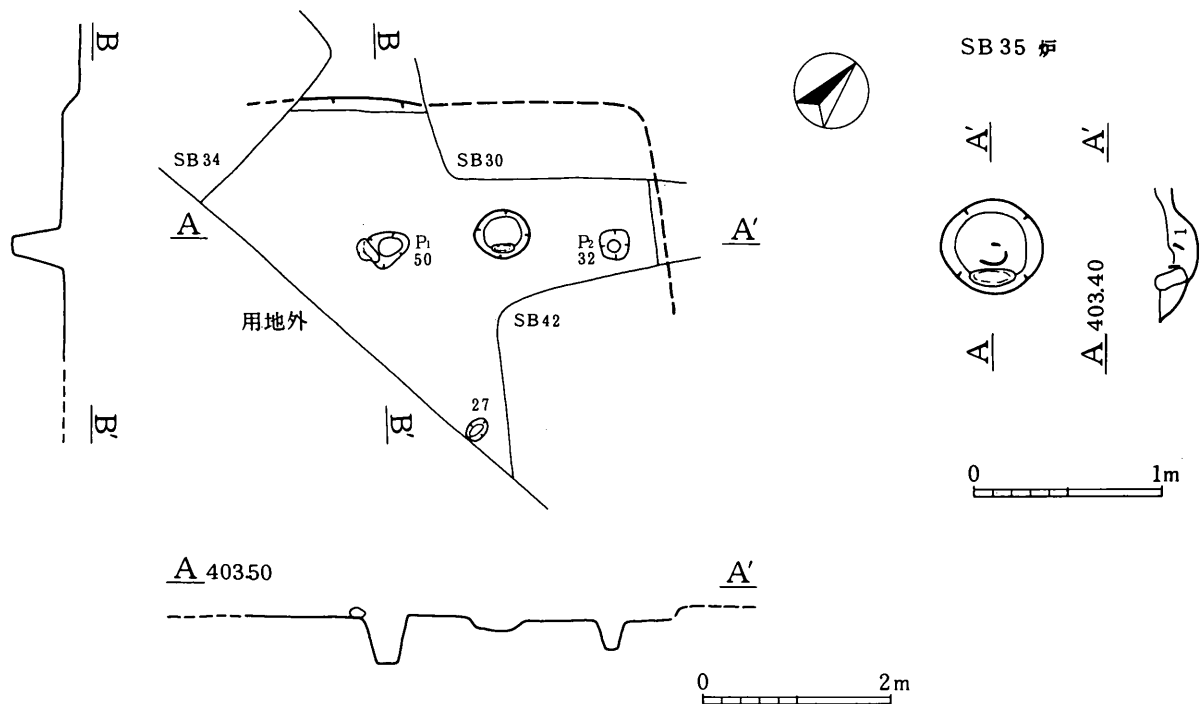


SB 18

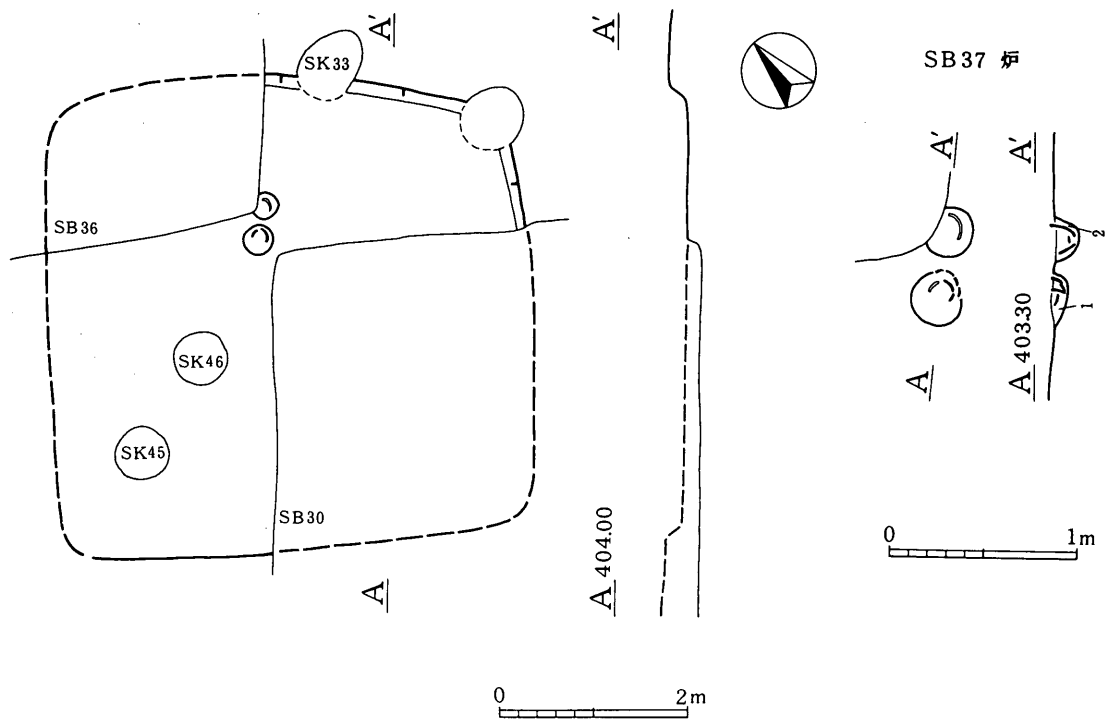


第10图 SB10·18

SB35

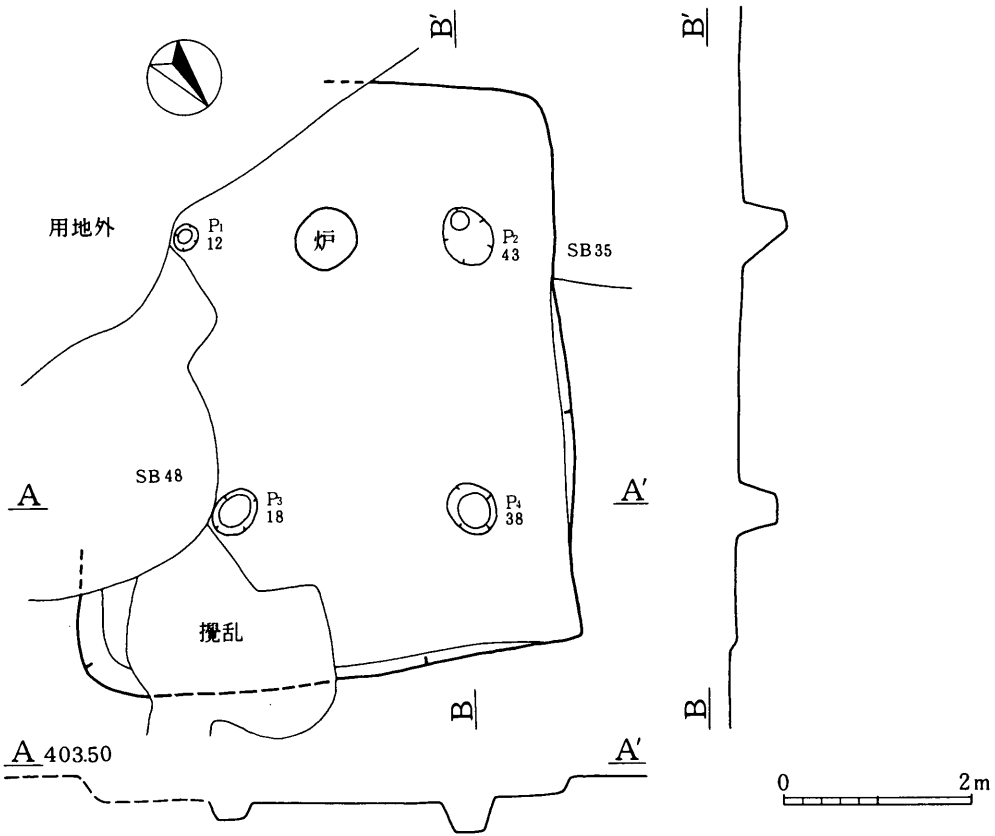


SB37

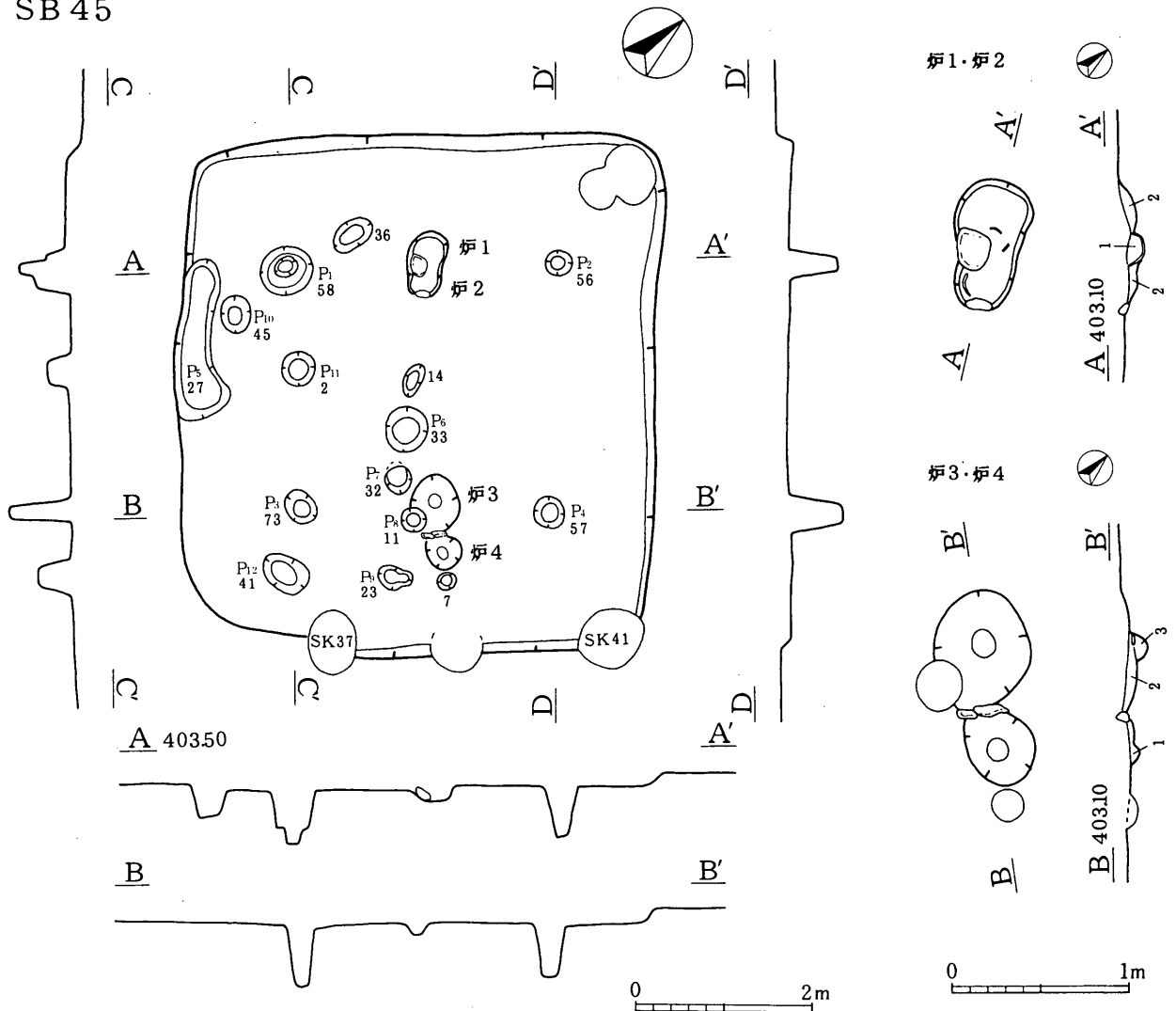


第11図 SB35・37

SB 42



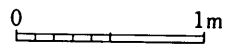
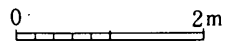
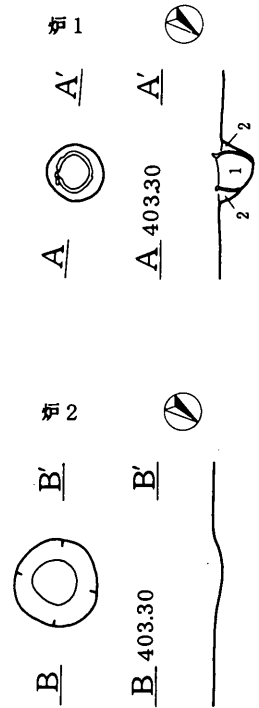
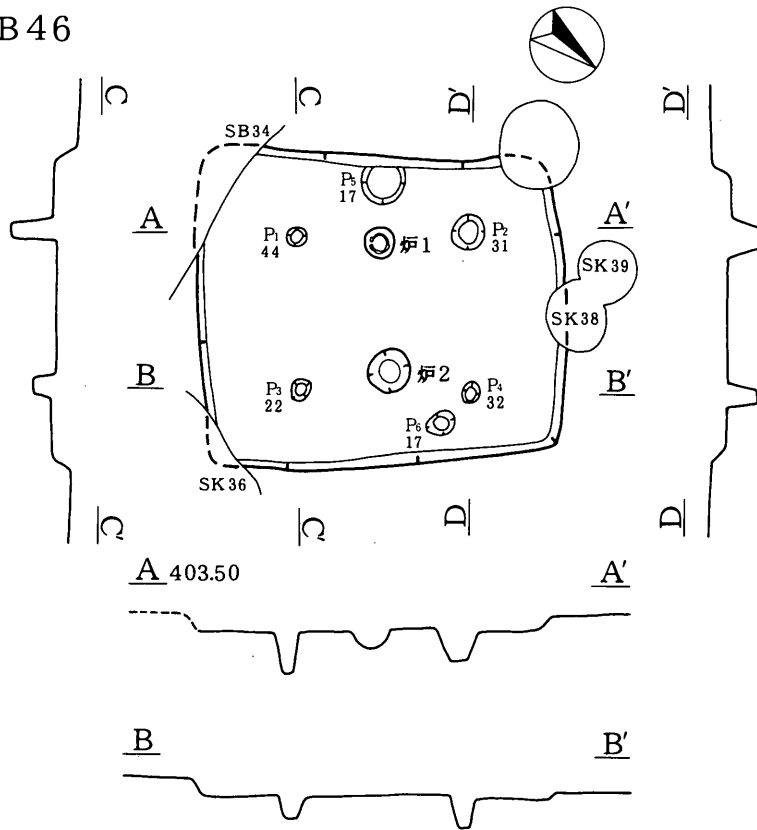
SB 45



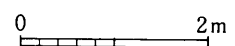
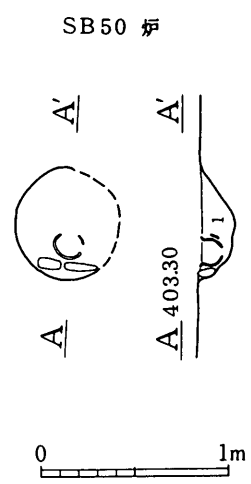
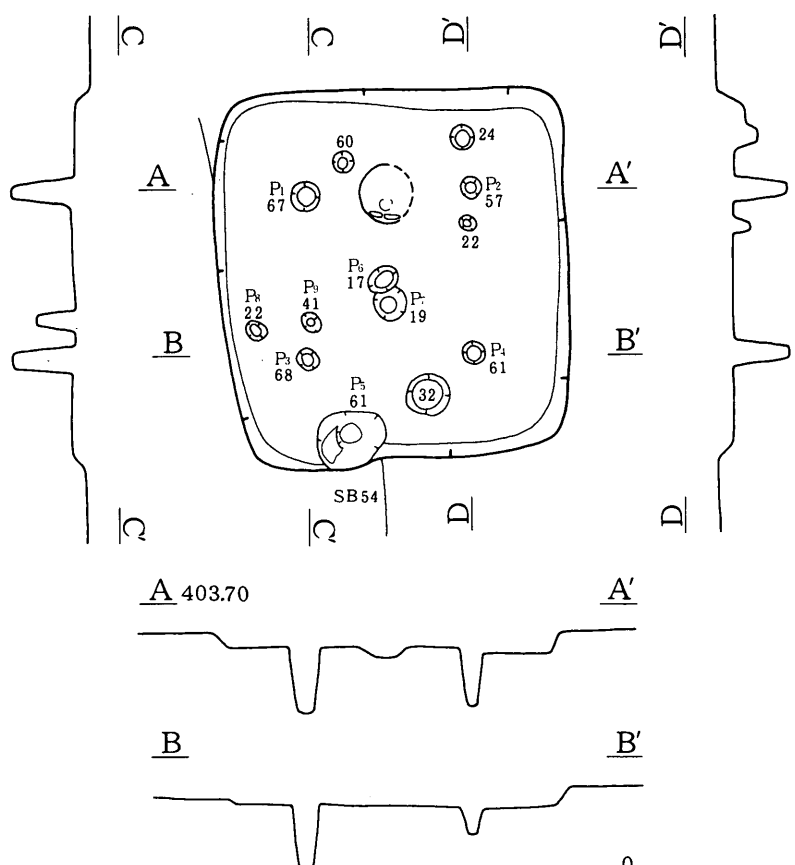
第12图 SB42·45



SB46

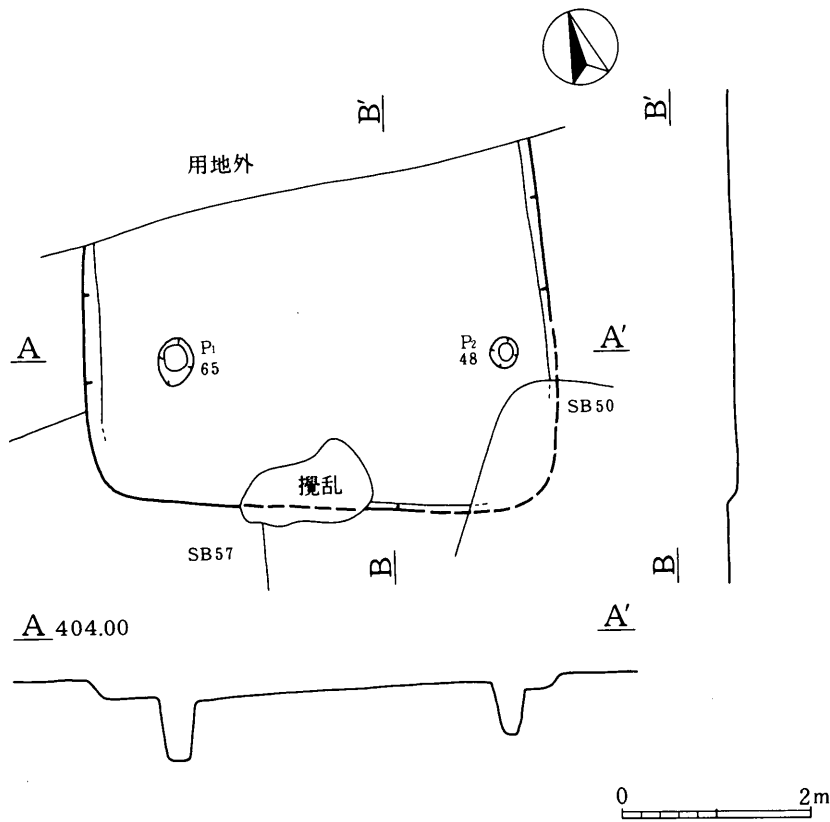


SB50

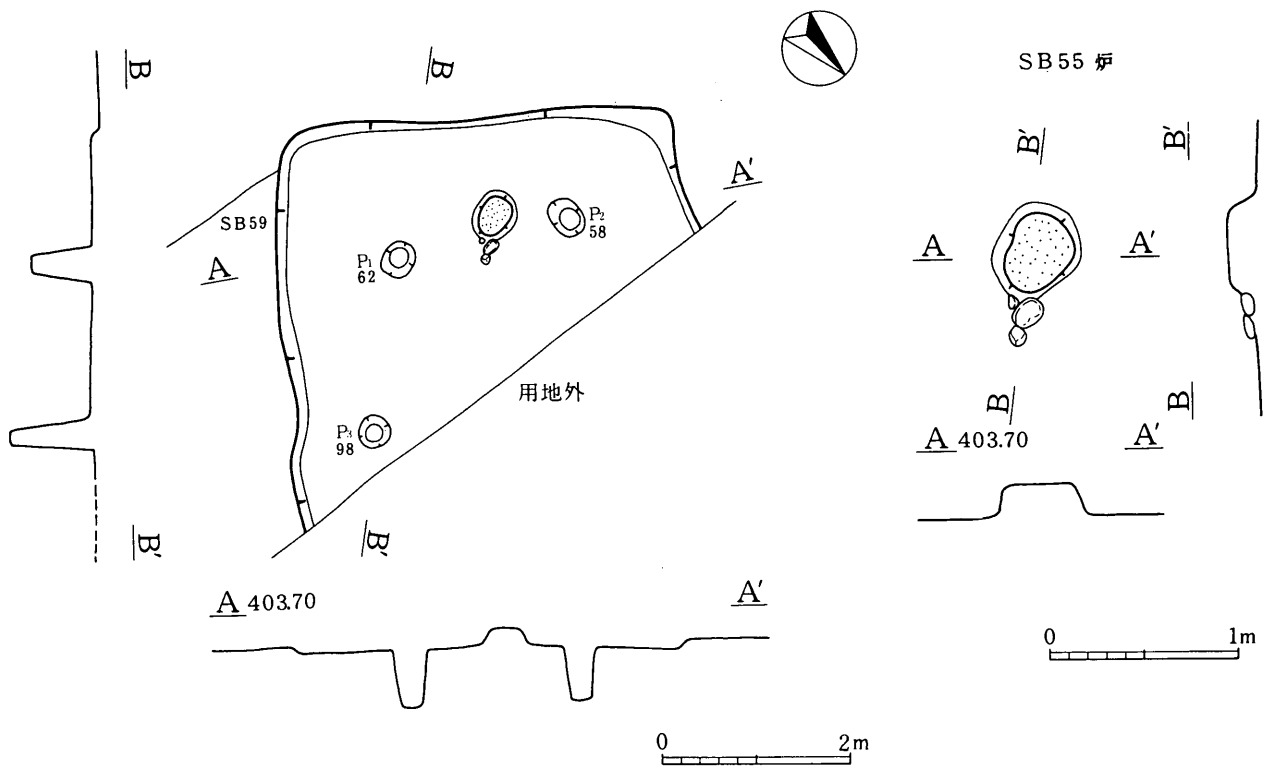


第13图 SB46・50

SB 53

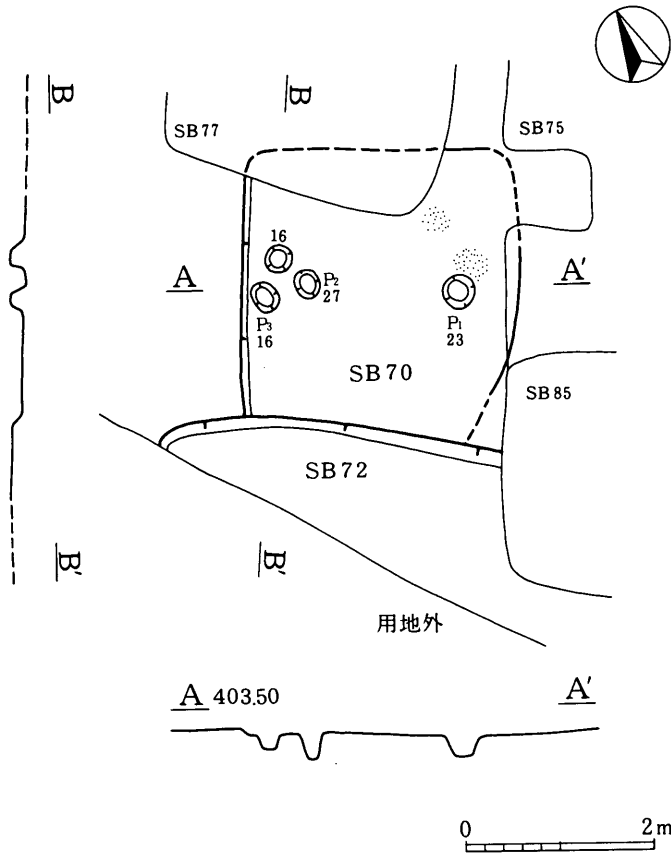


SB 55

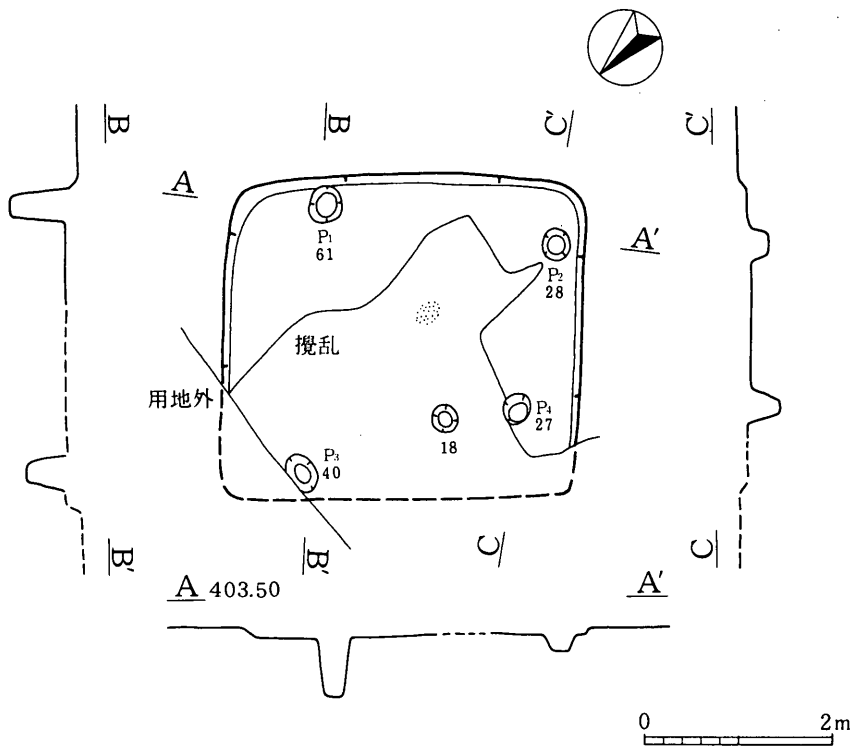


第14図 SB53・55

SB70·72

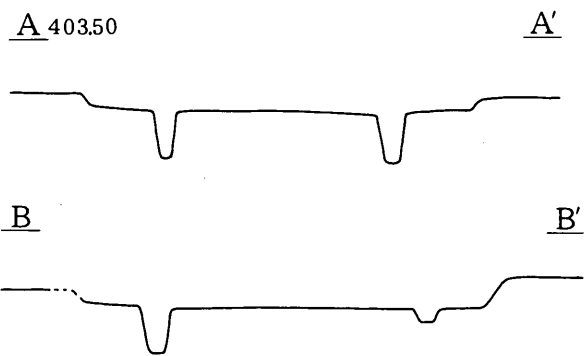
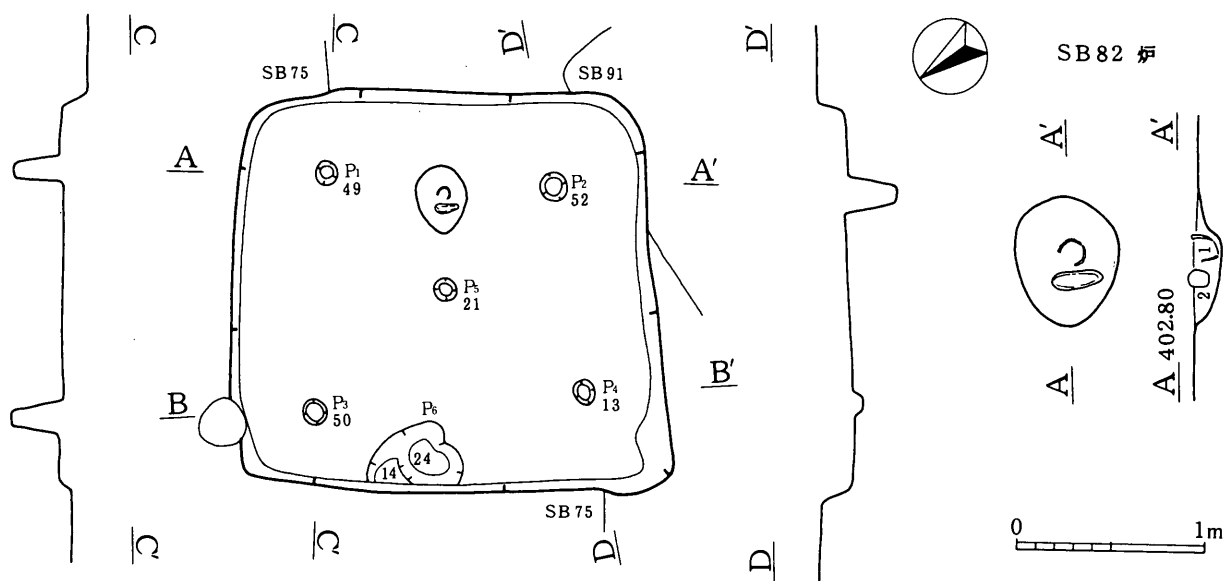


SB76

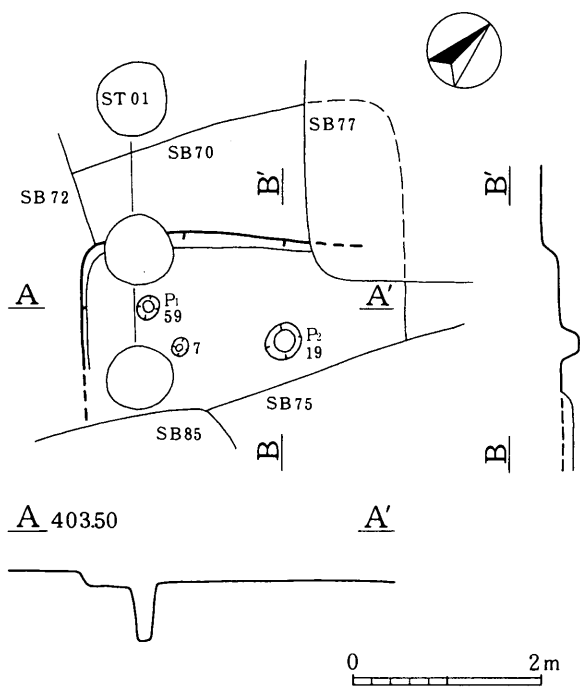


第15图 SB70·72·76

SB 82

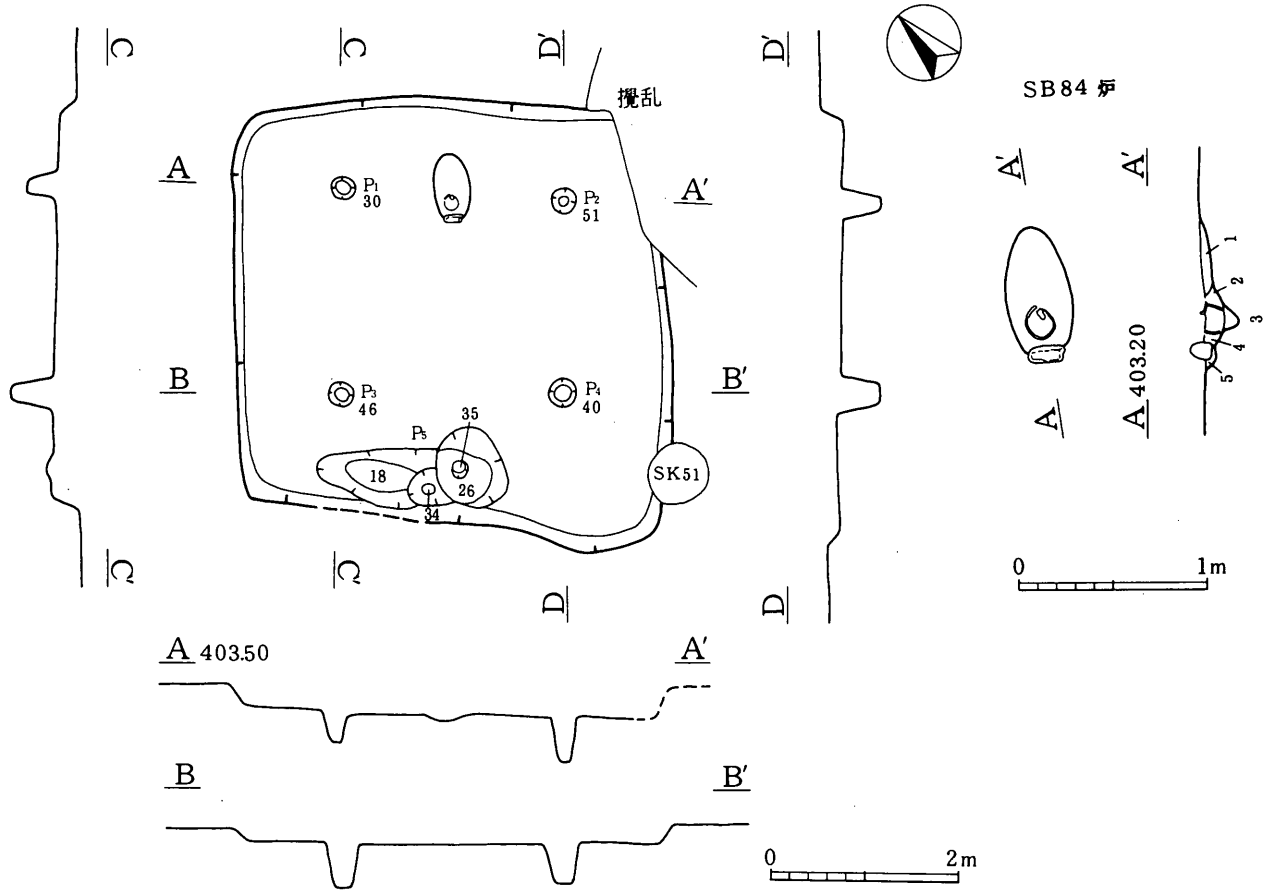


SB 83

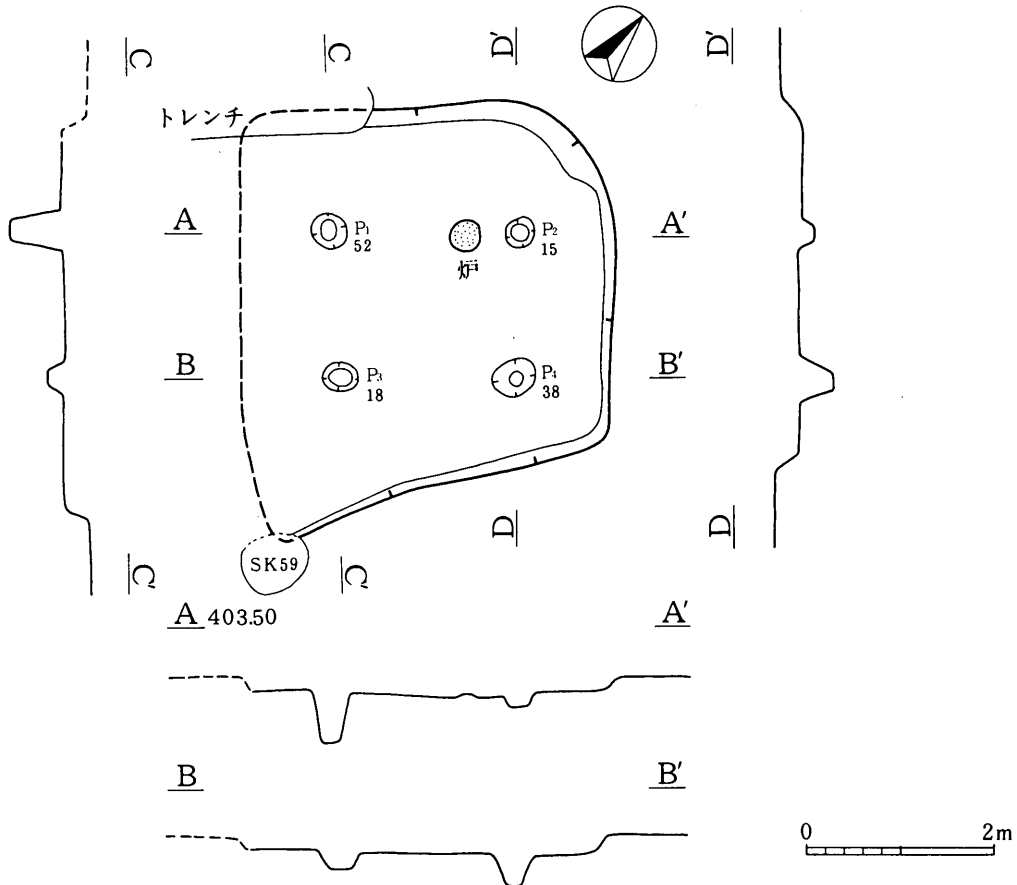


第16図 SB82・83

SB 84

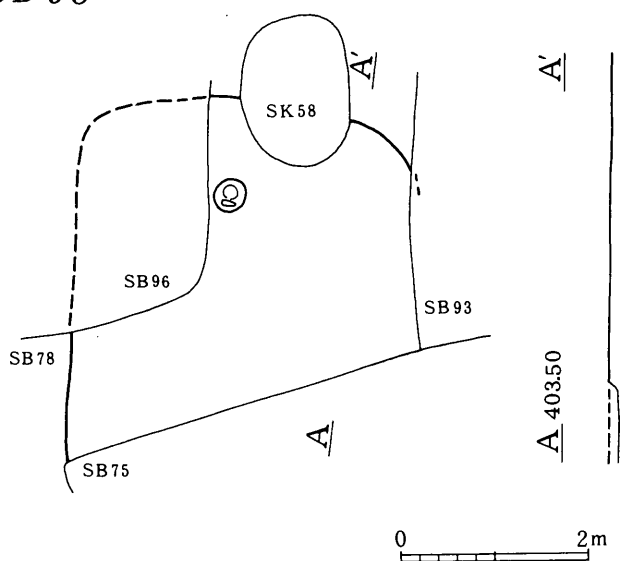


SB 93

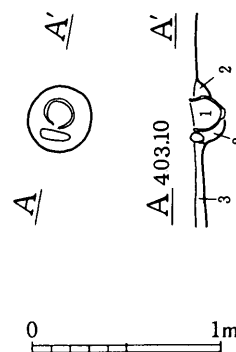


第17図 SB84・93

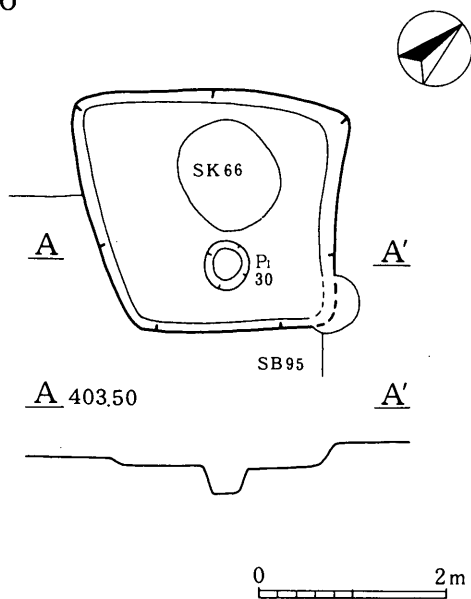
SB 95



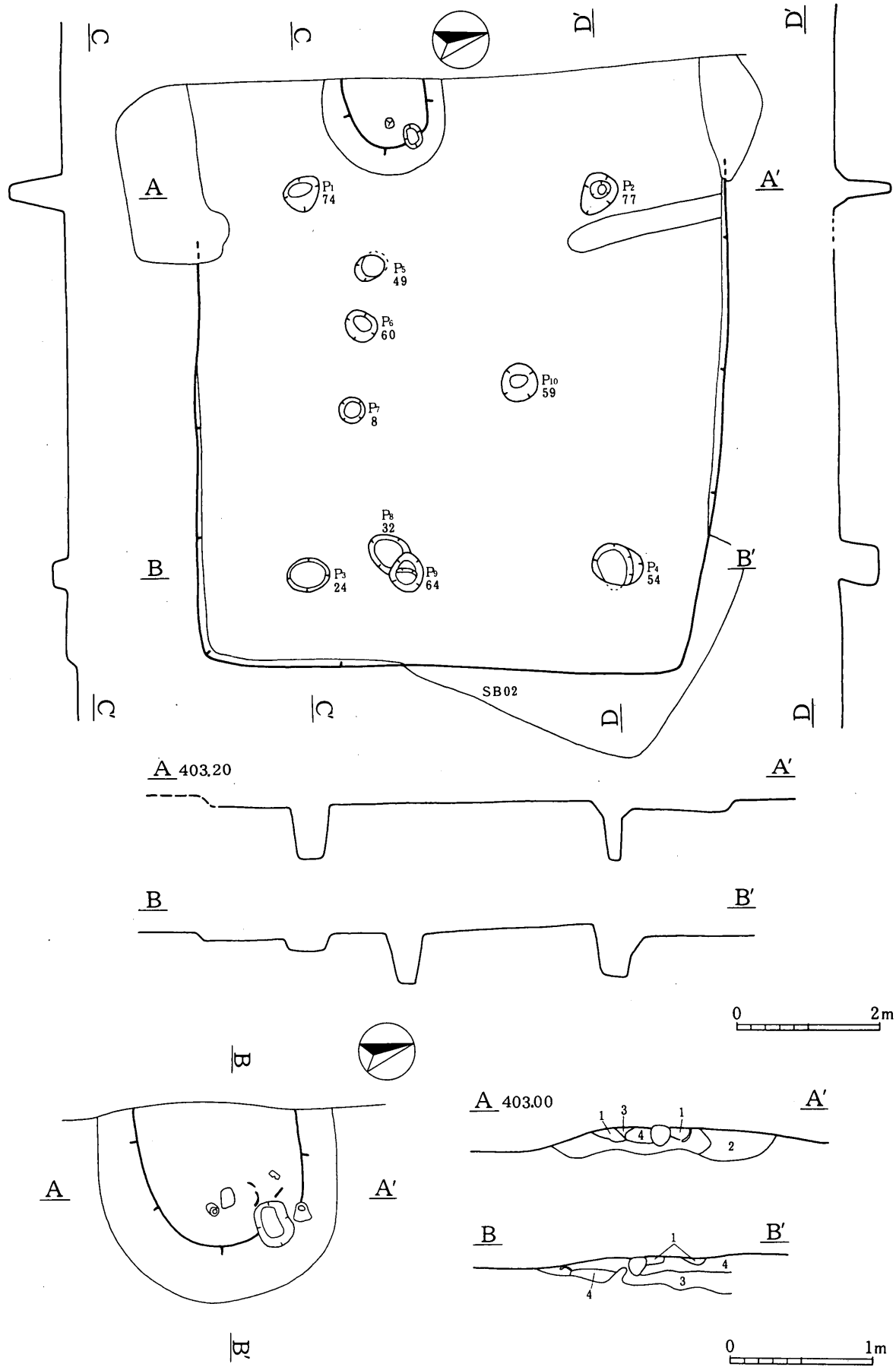
SB 95 切



SB 96

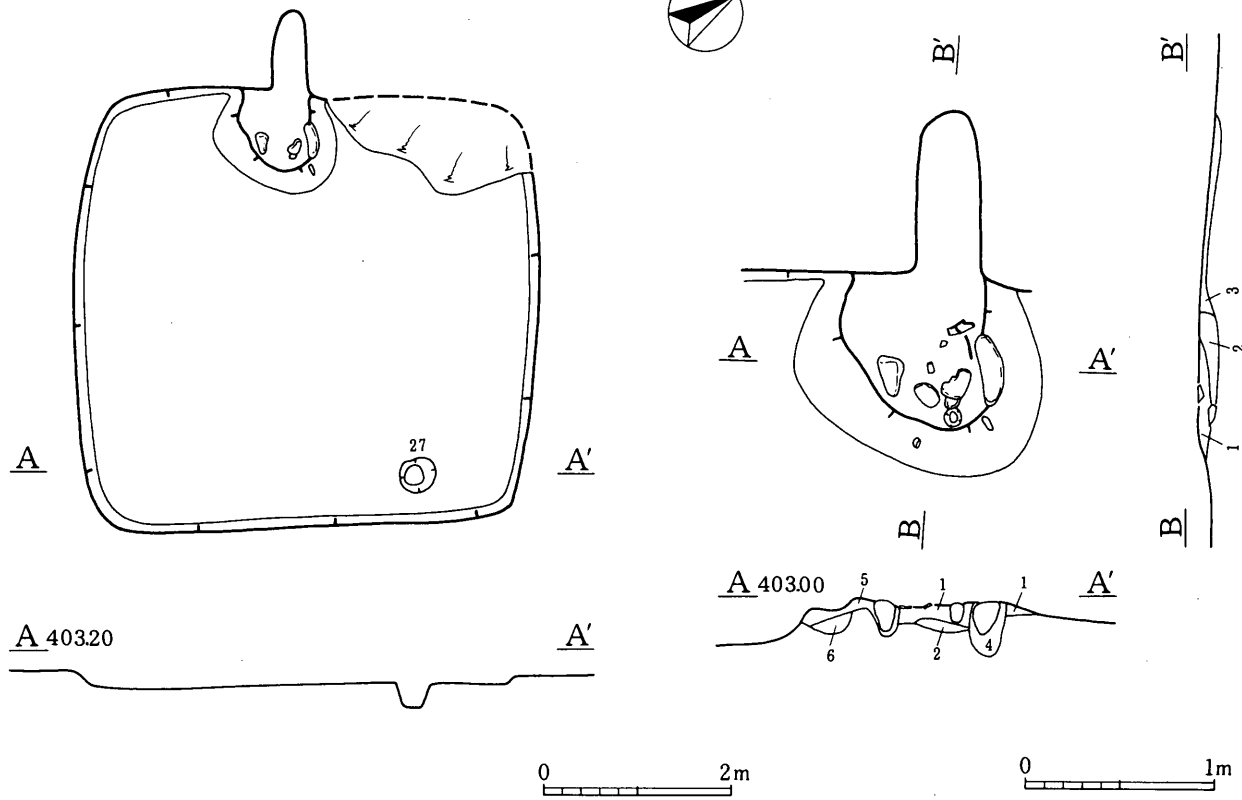


第18図 SB95・96

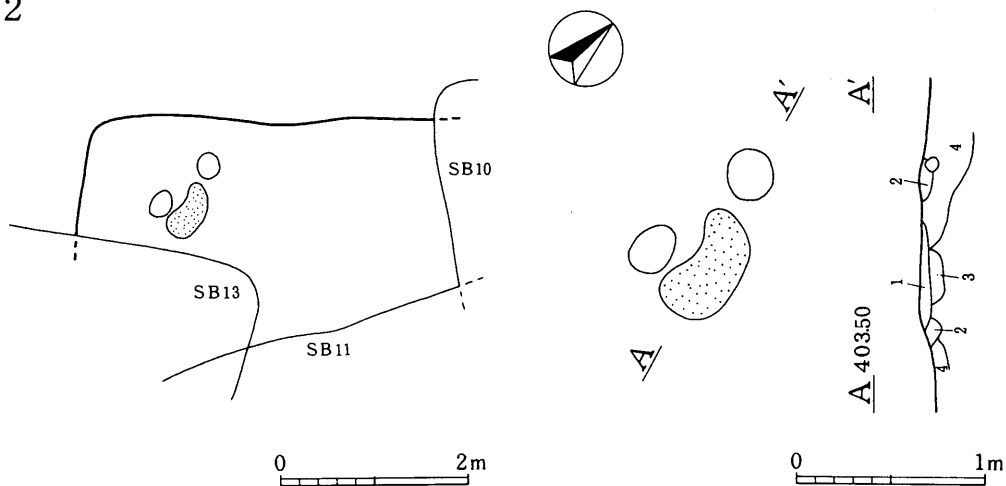


第19图 SB01

SB06



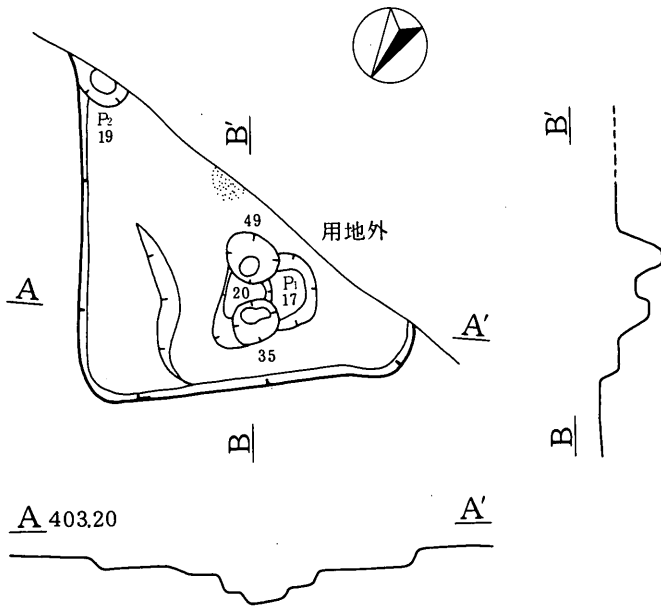
SB12



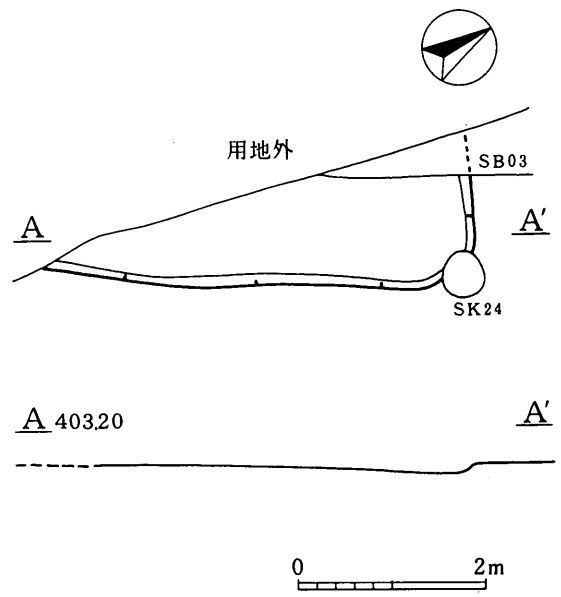
第20図 SB06・12



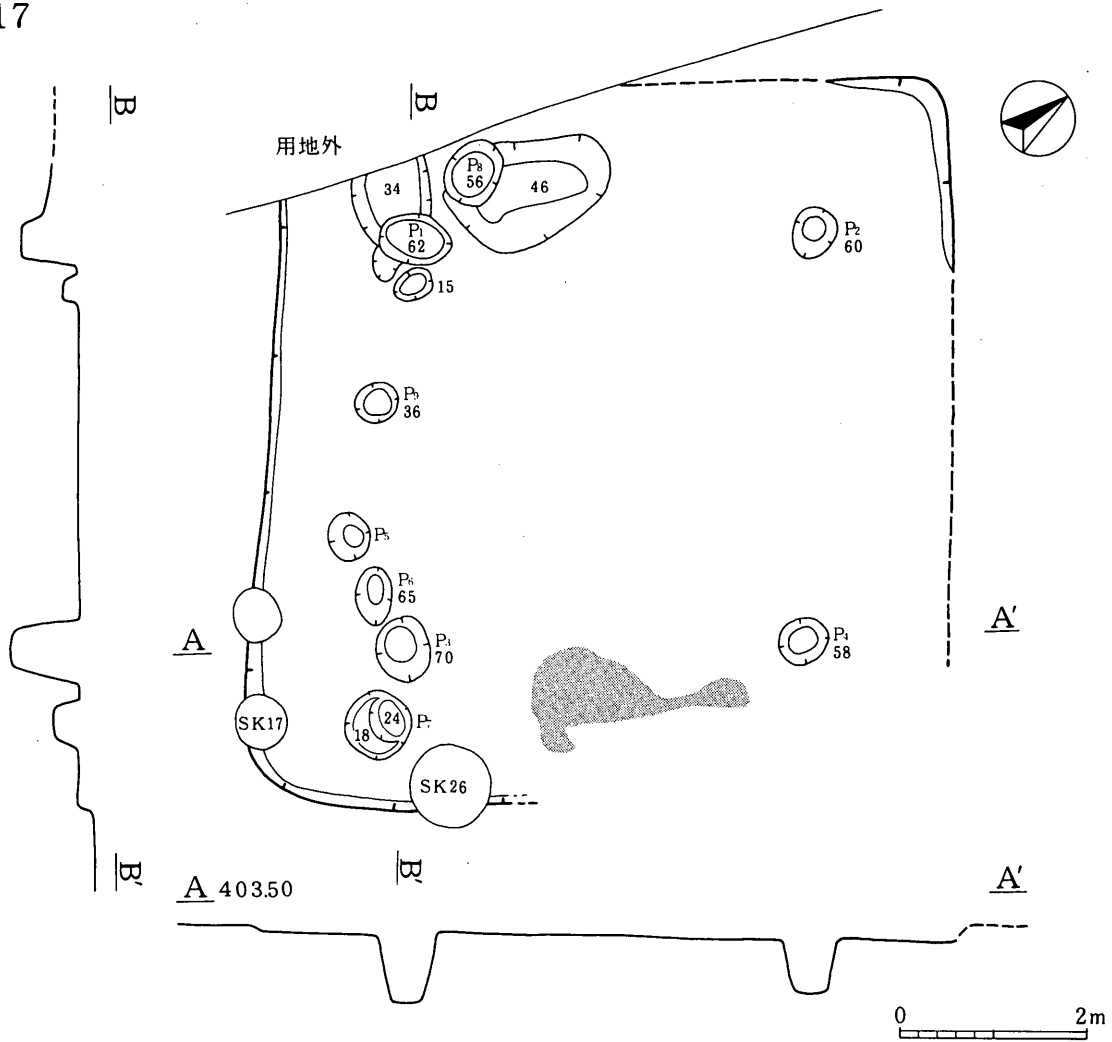
SB13



SB15

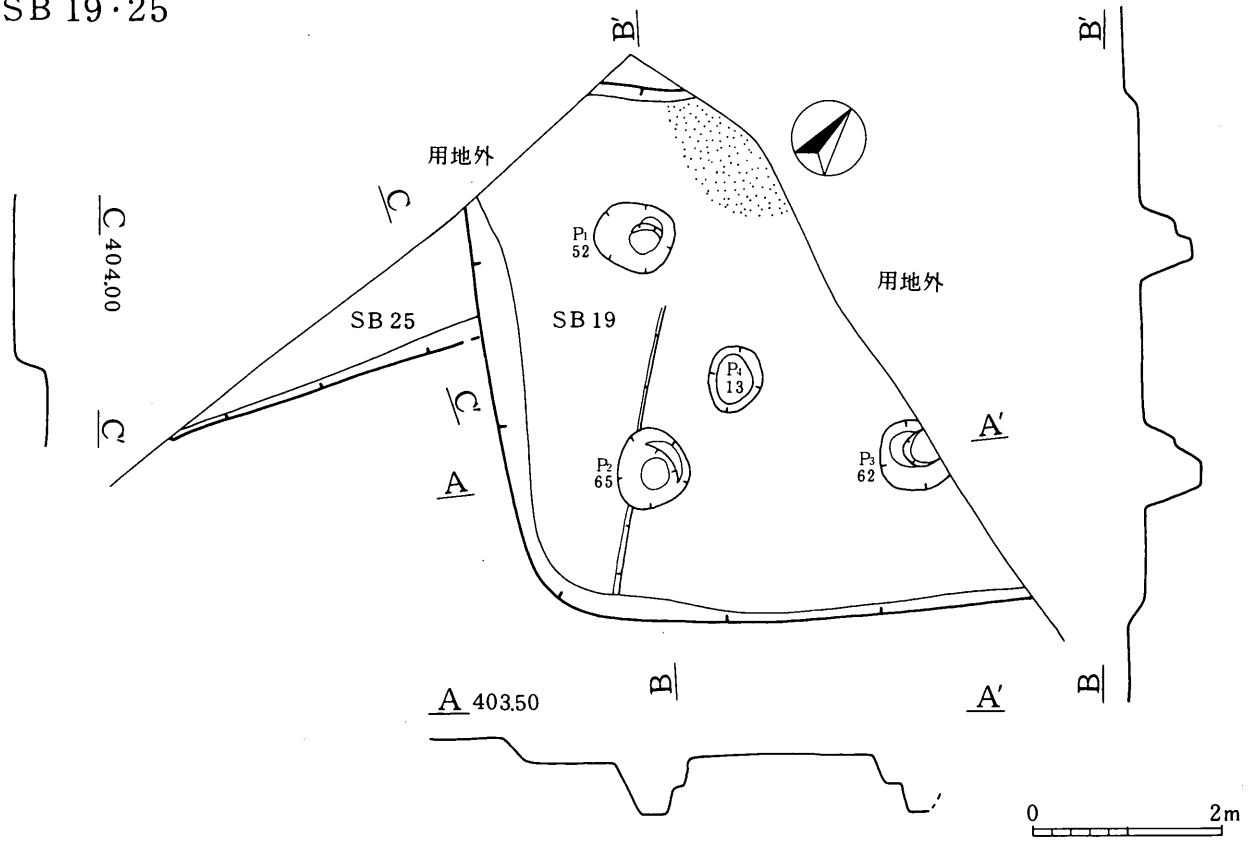


SB17

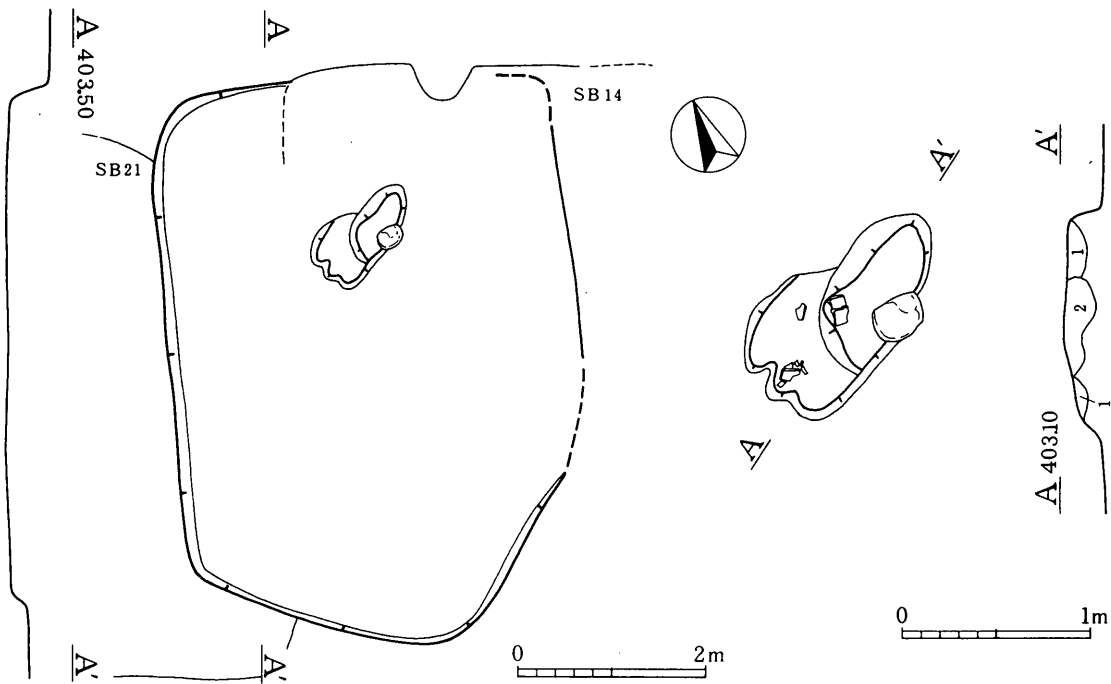


第21図 SB13・15・17

SB 19·25

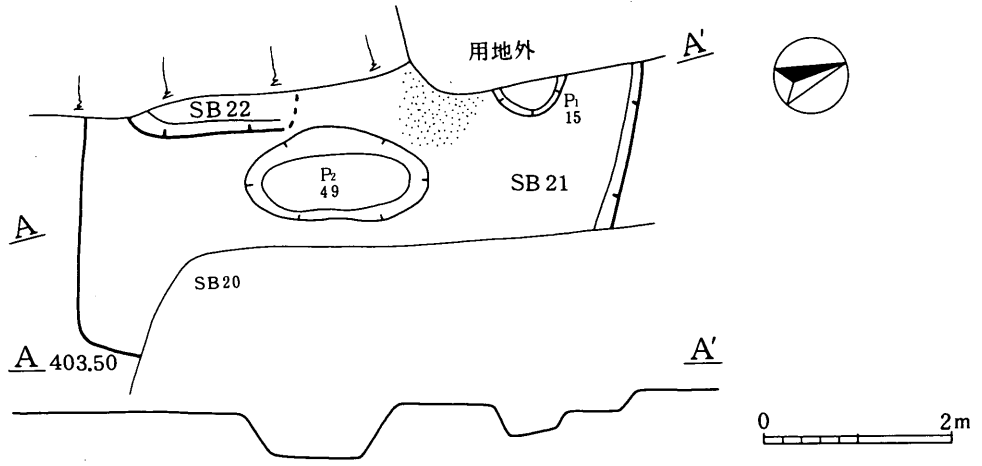


SB 20

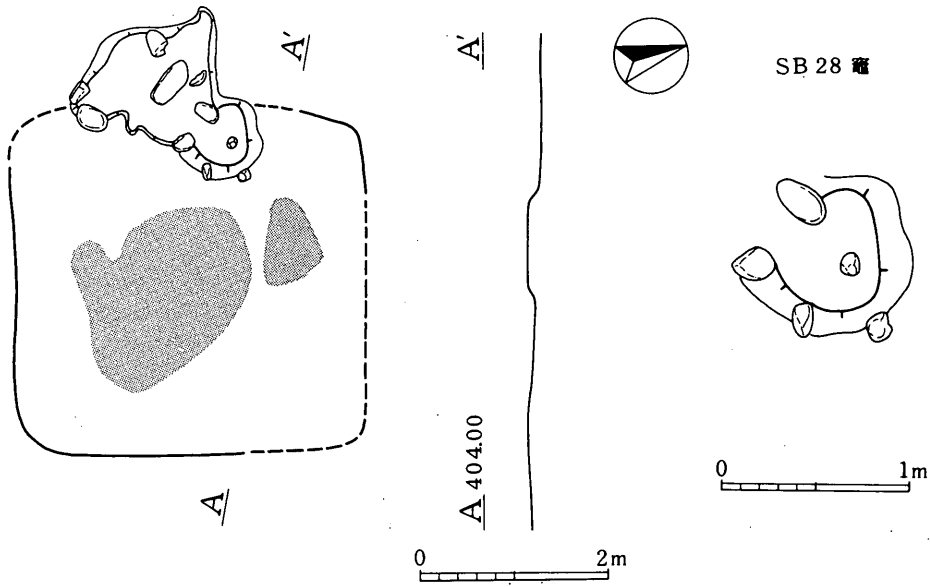


第22図 SB19・20・25

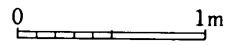
SB 21·22



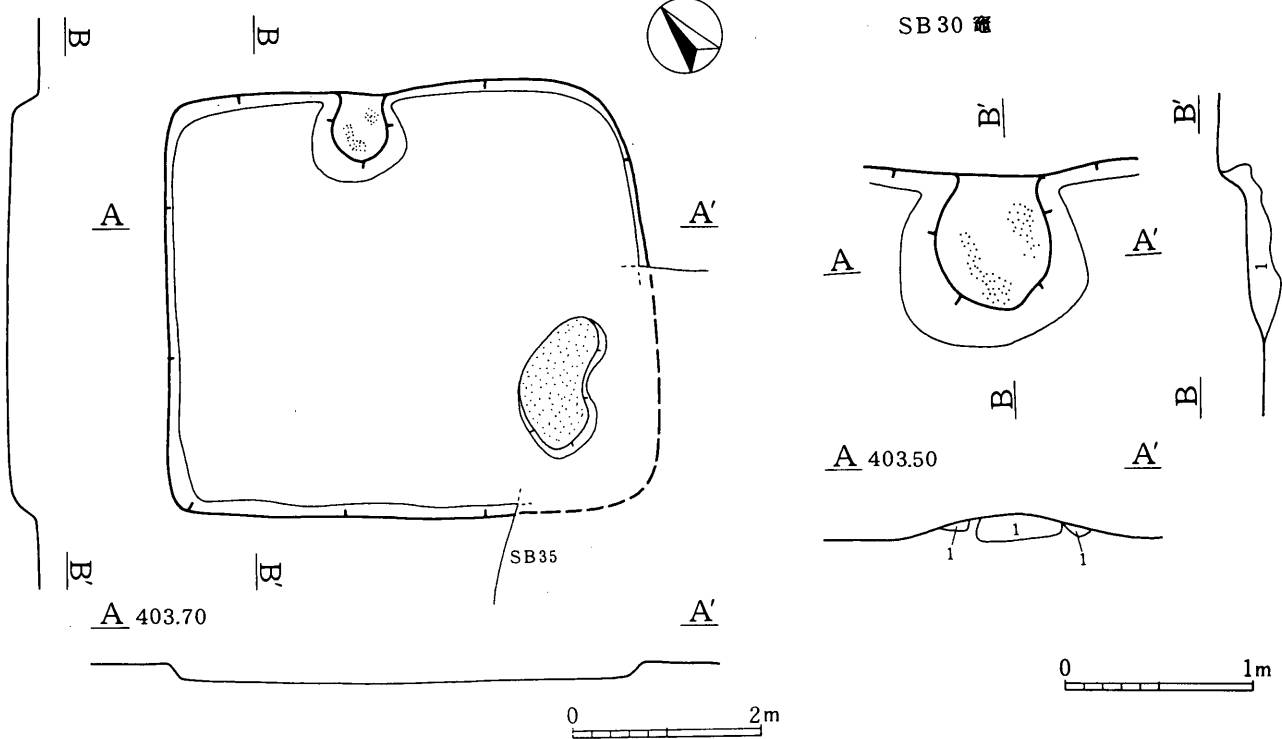
SB 28



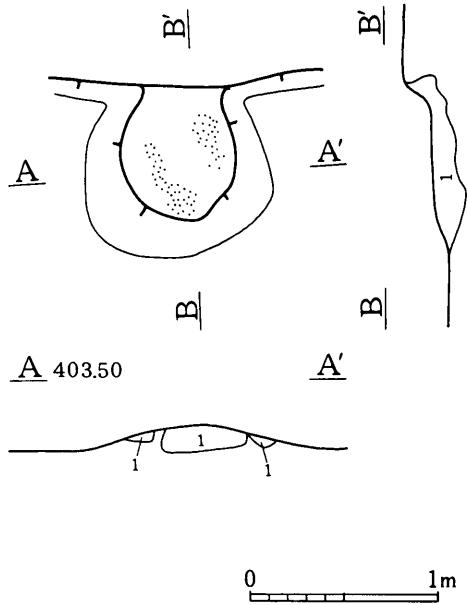
SB 28 竈



SB 30

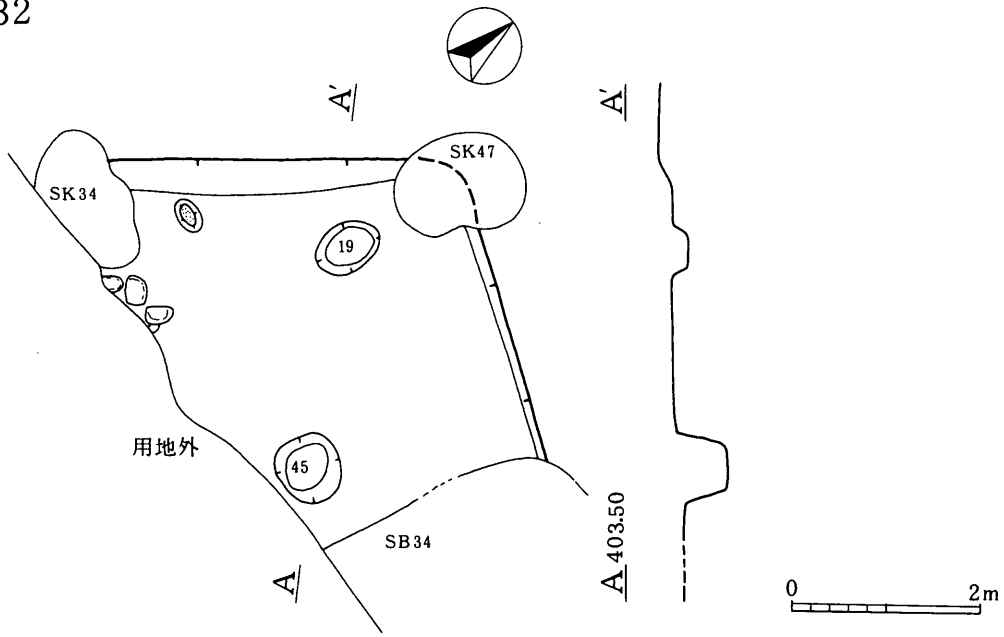


SB 30 竈

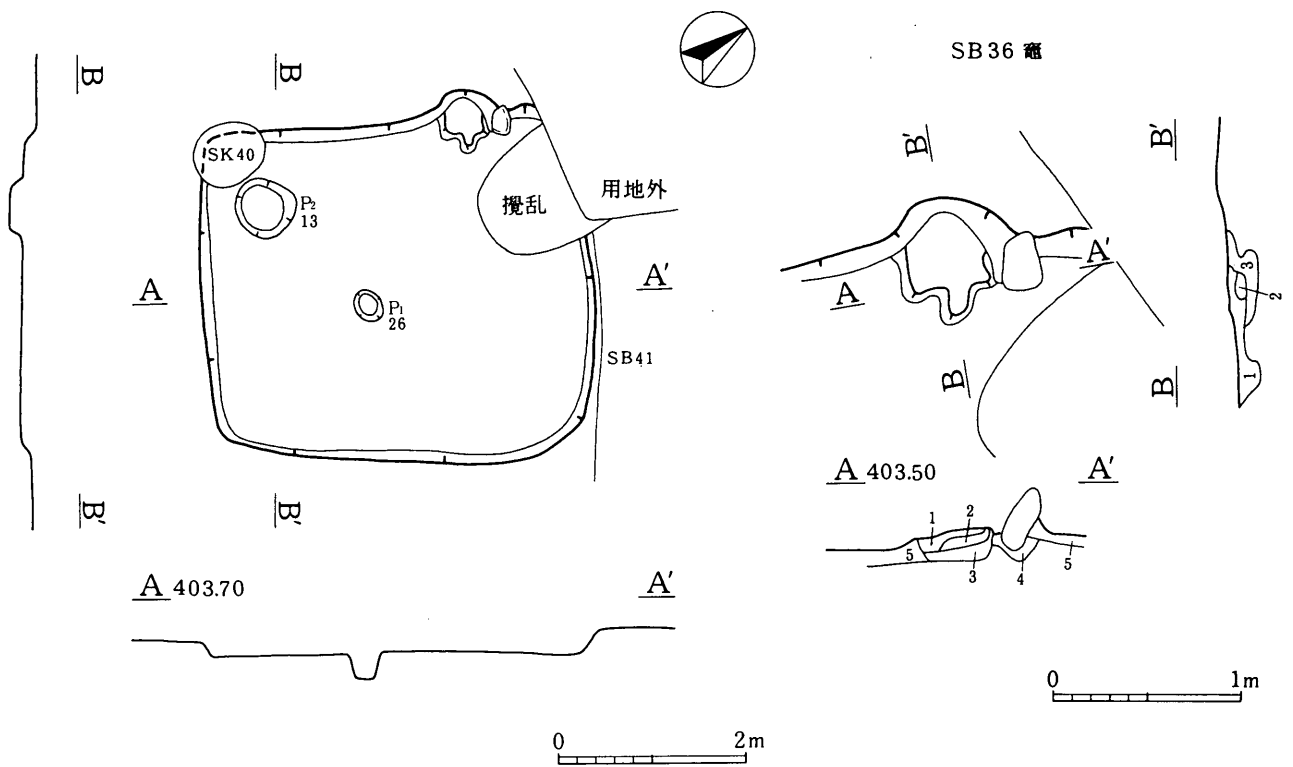


第23図 SB21・22・28・30

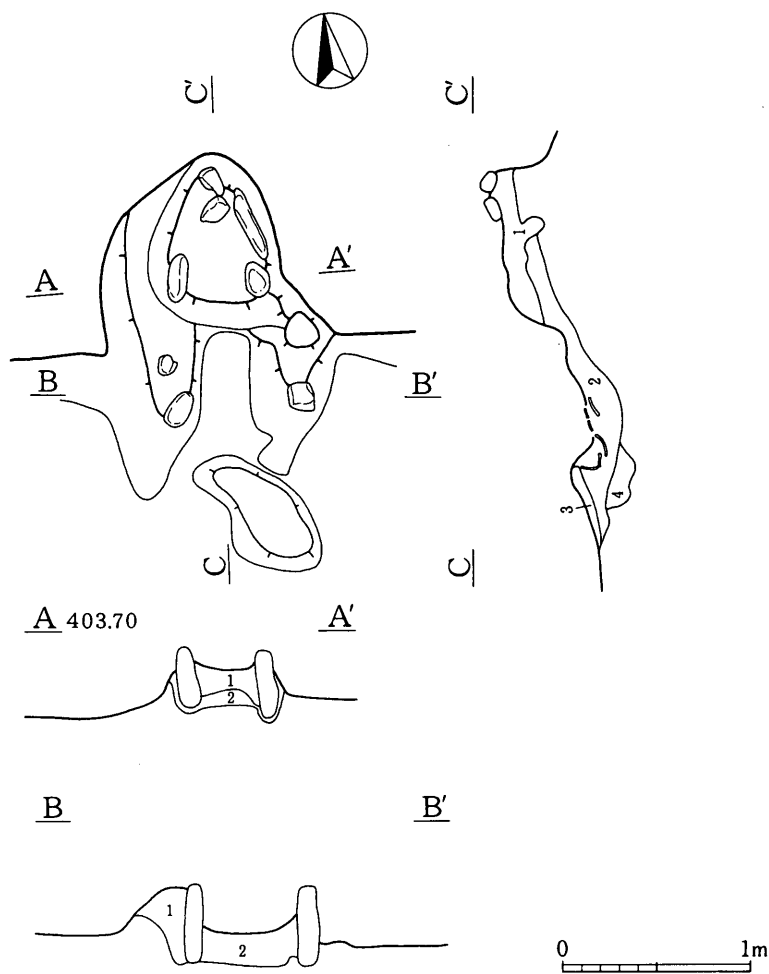
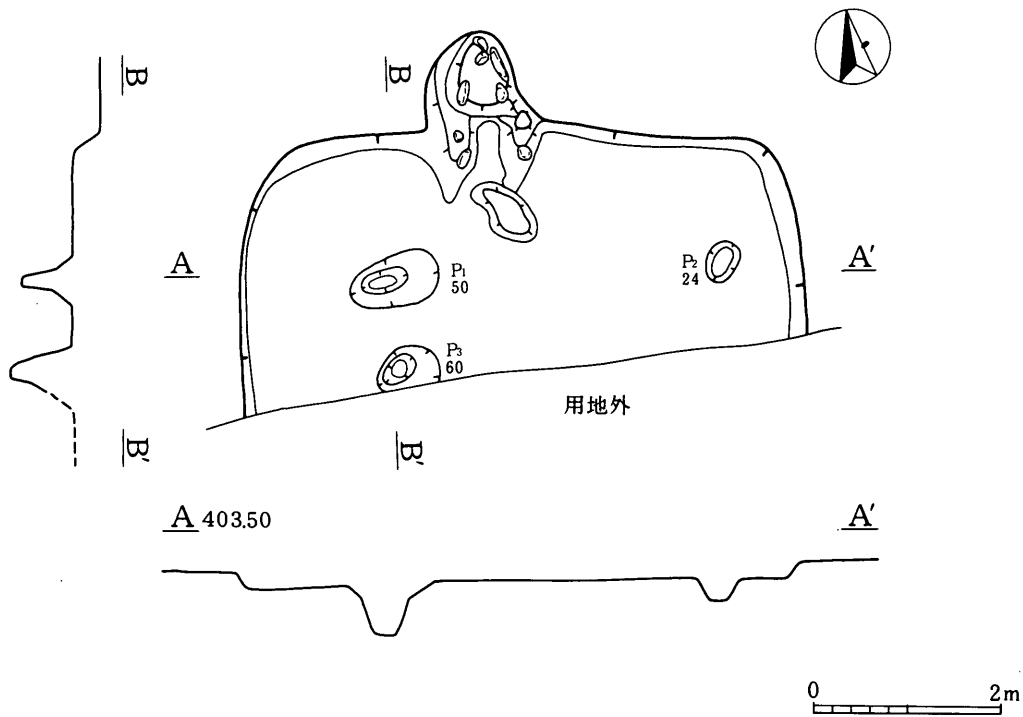
SB 32



SB 36

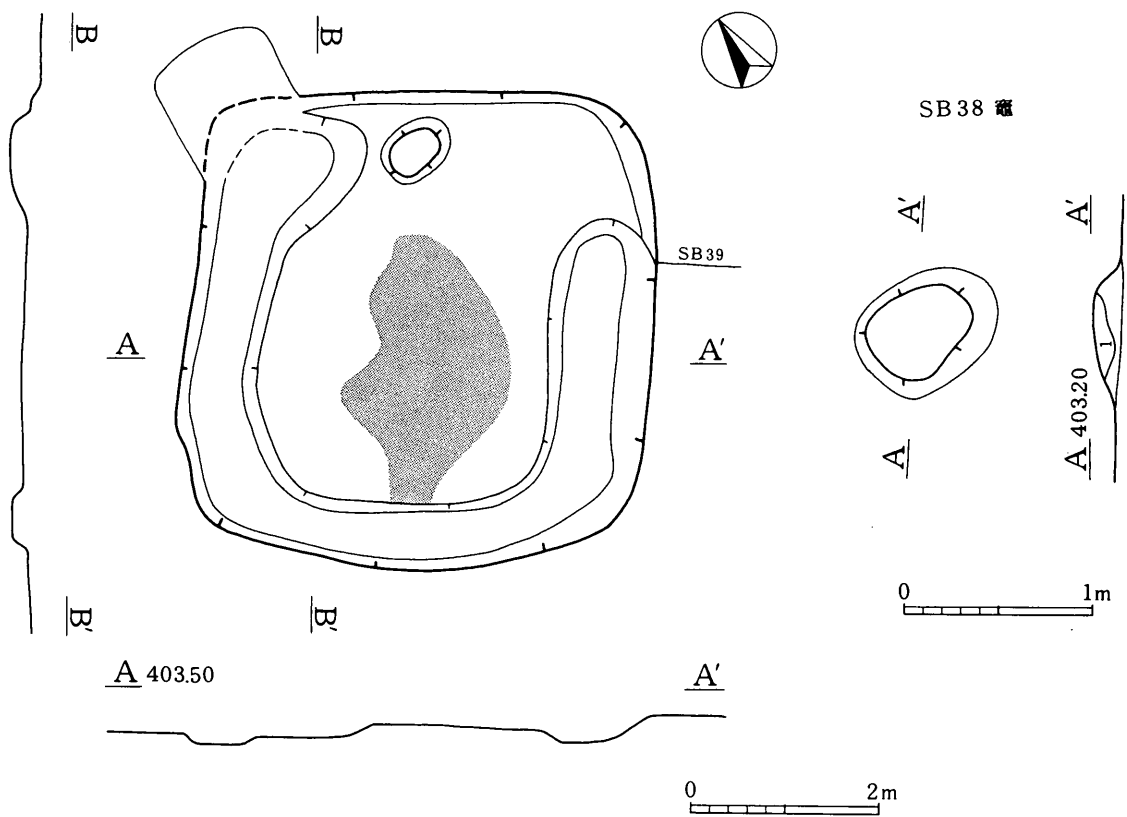


第24図 SB32・36

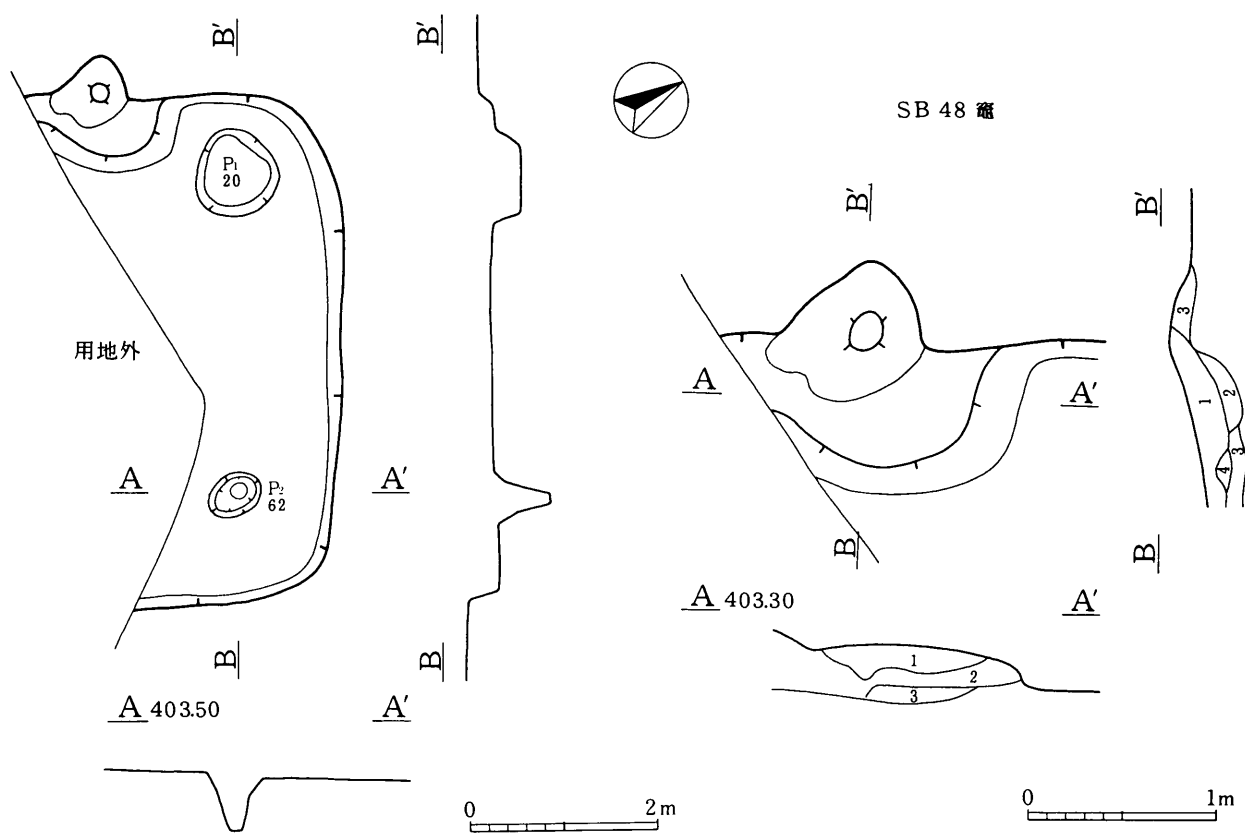


第25図 SB34

SB 38

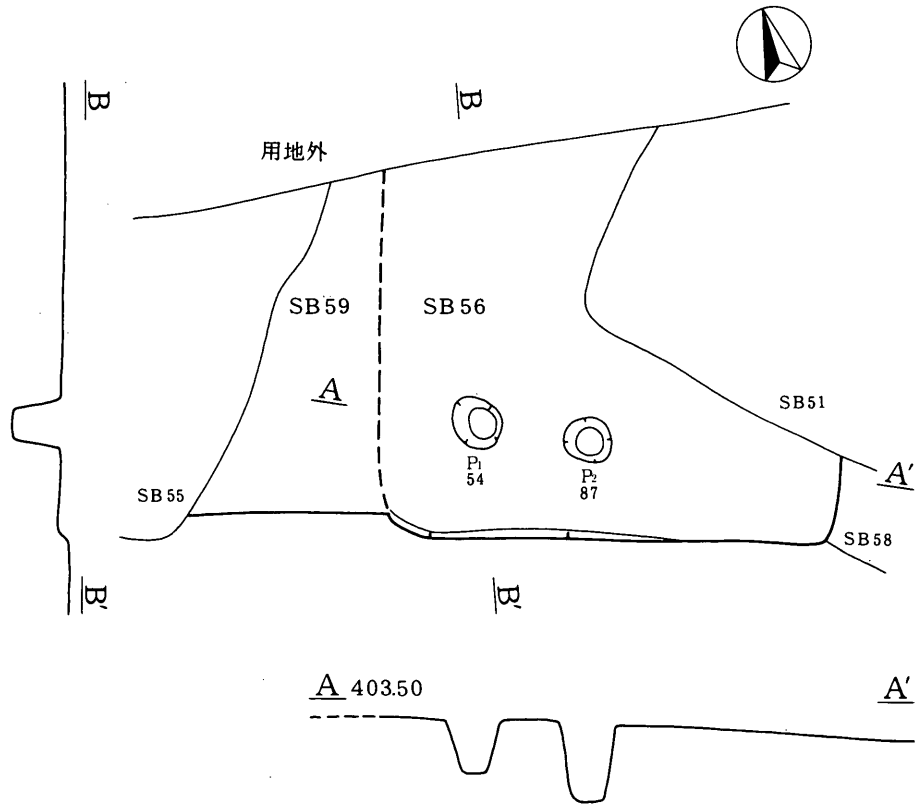


SB 48

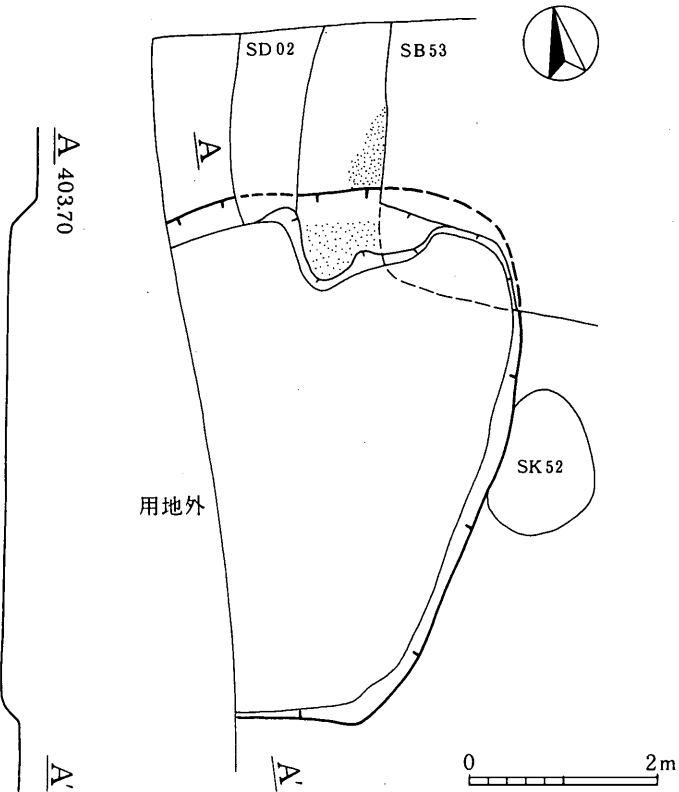


第26図 SB38・48

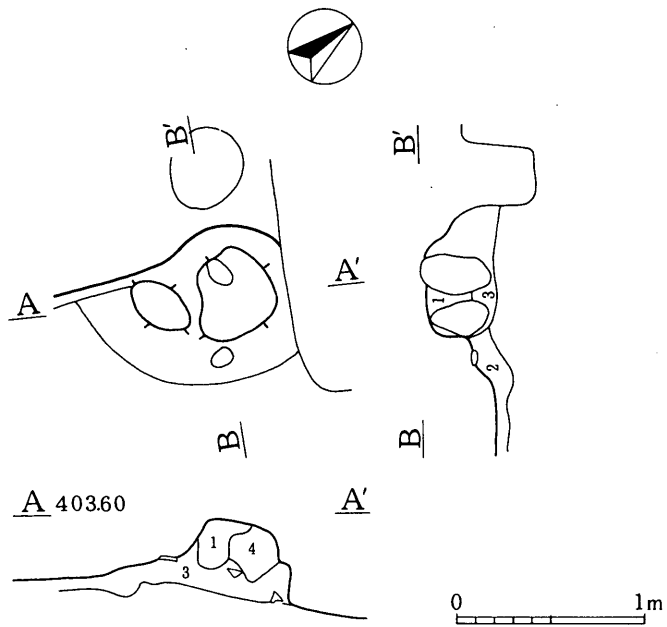
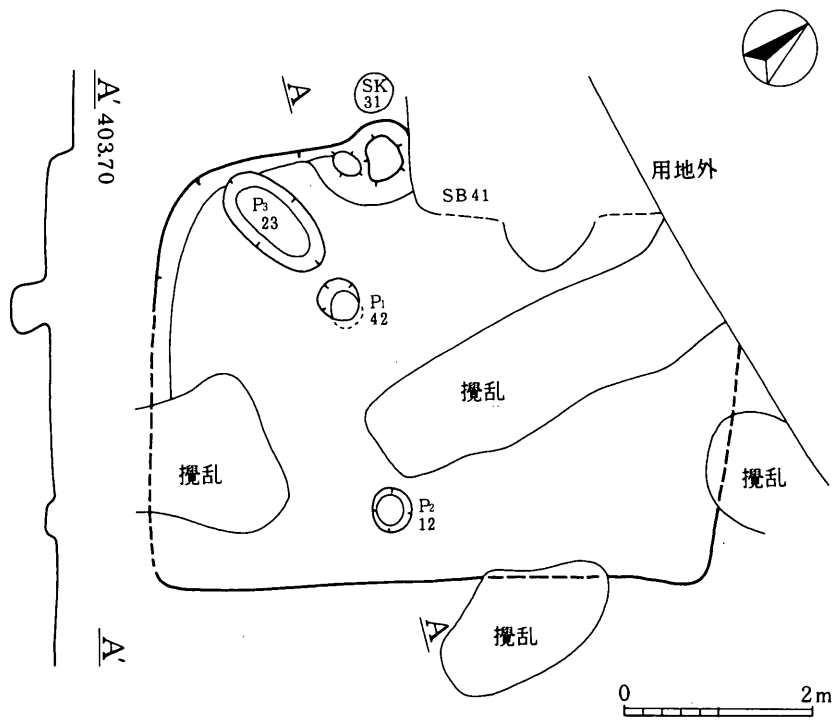
SB56·59



SB57



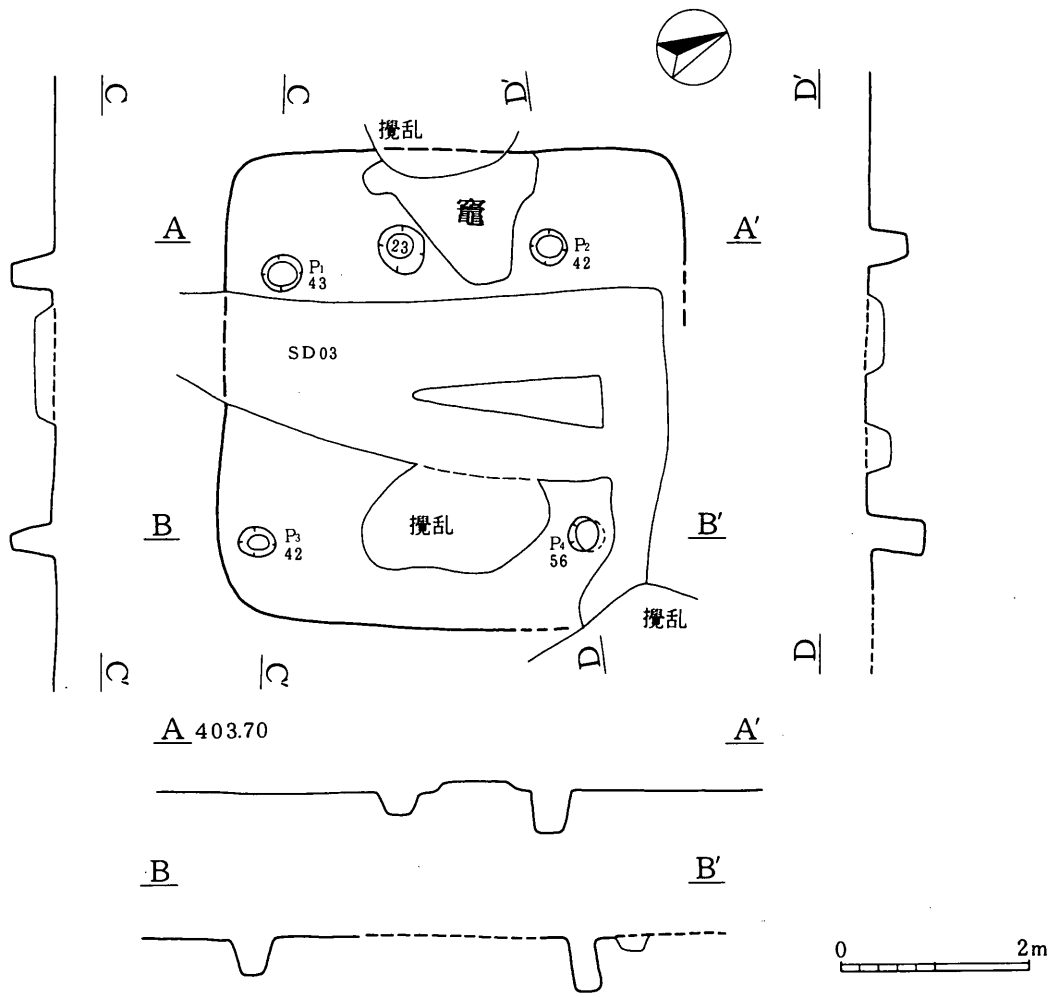
第27図 SB56・57・59



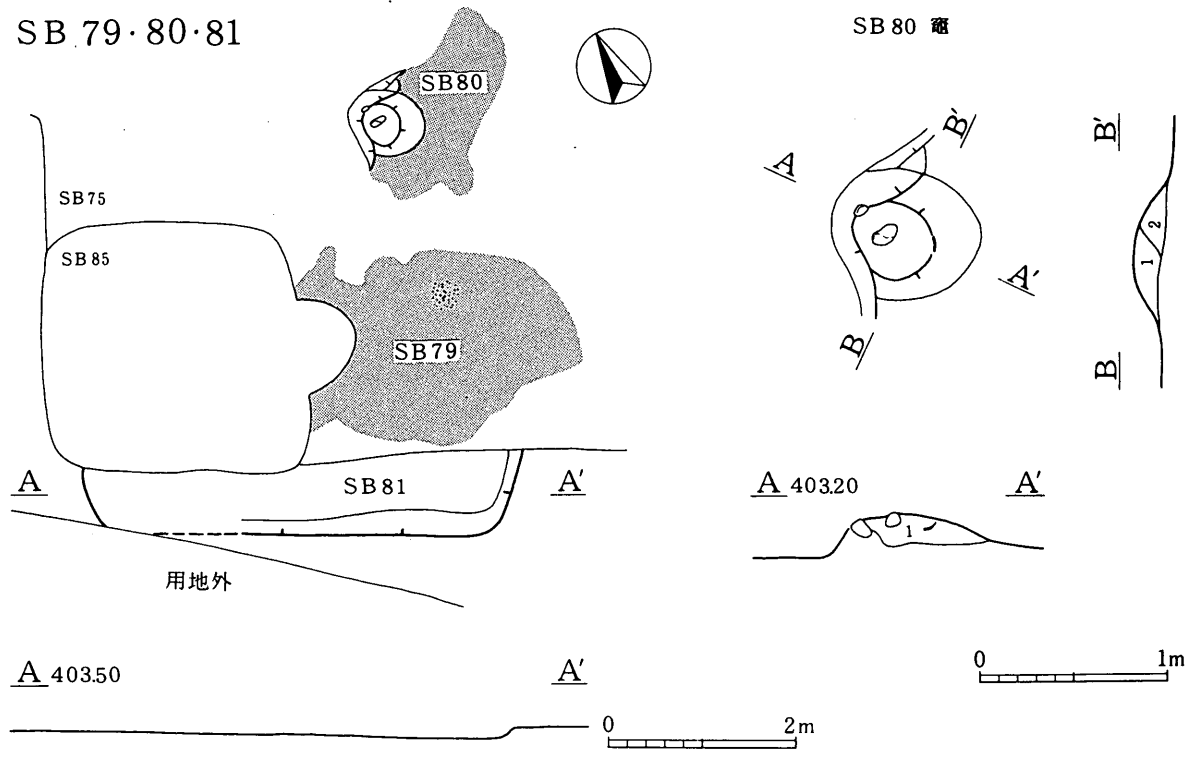
第28図 SB61



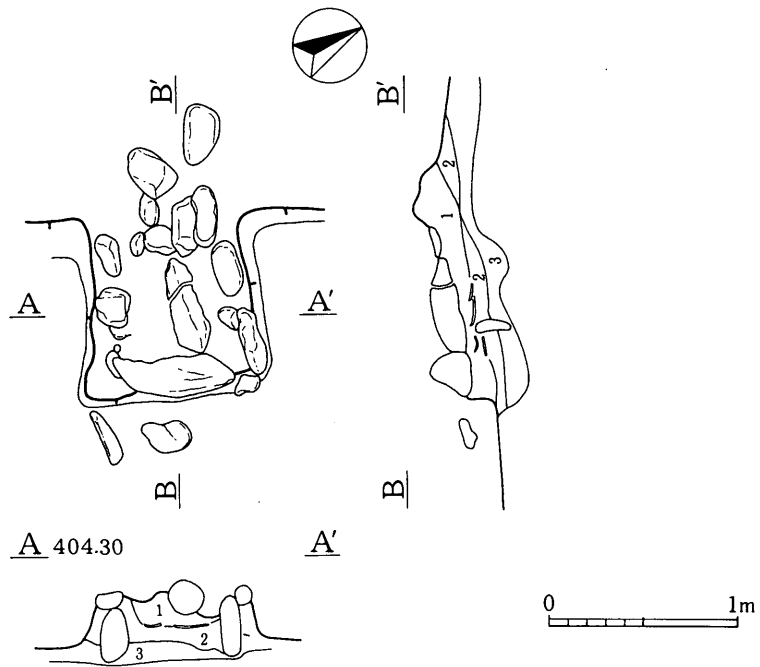
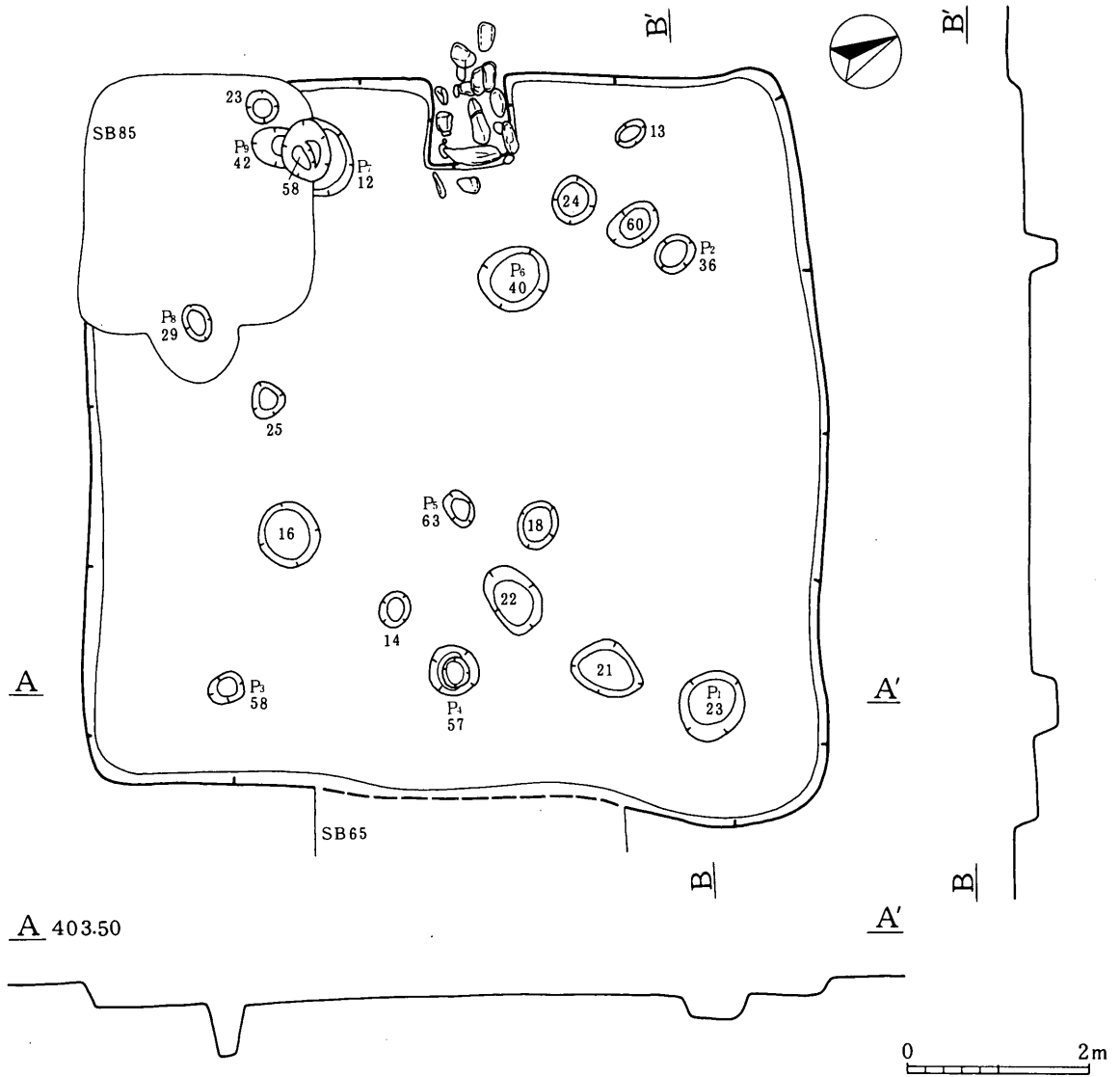
SB 68



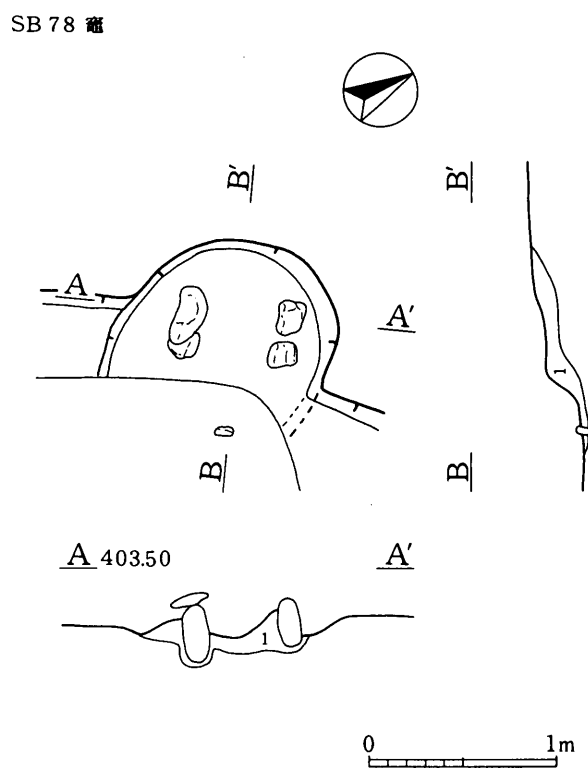
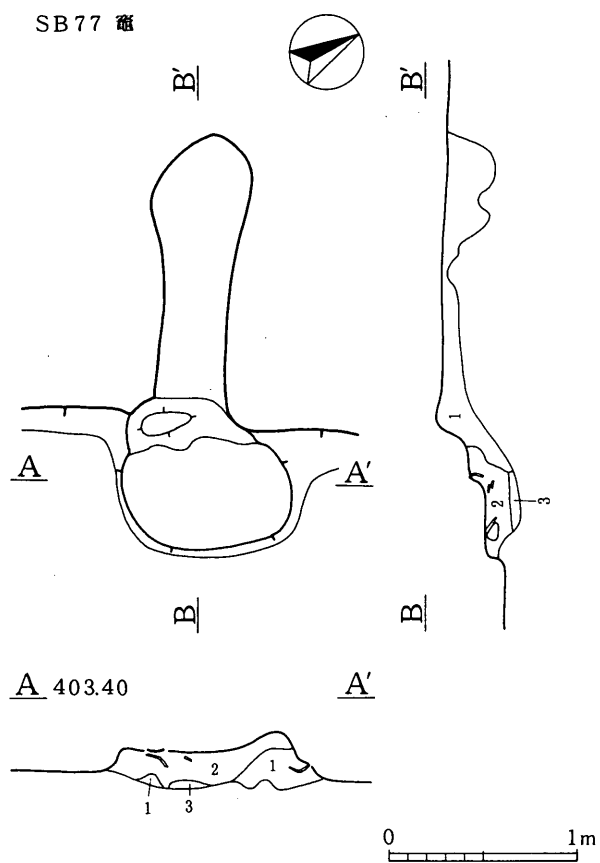
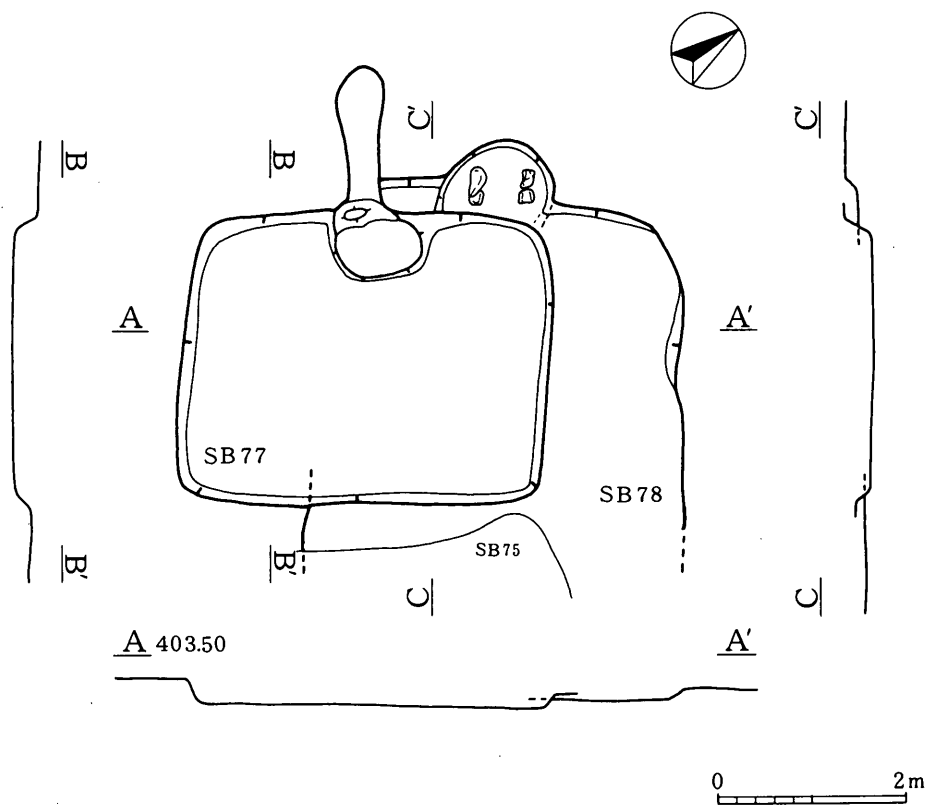
SB 79・80・81



第29図 SB68・79・80・81

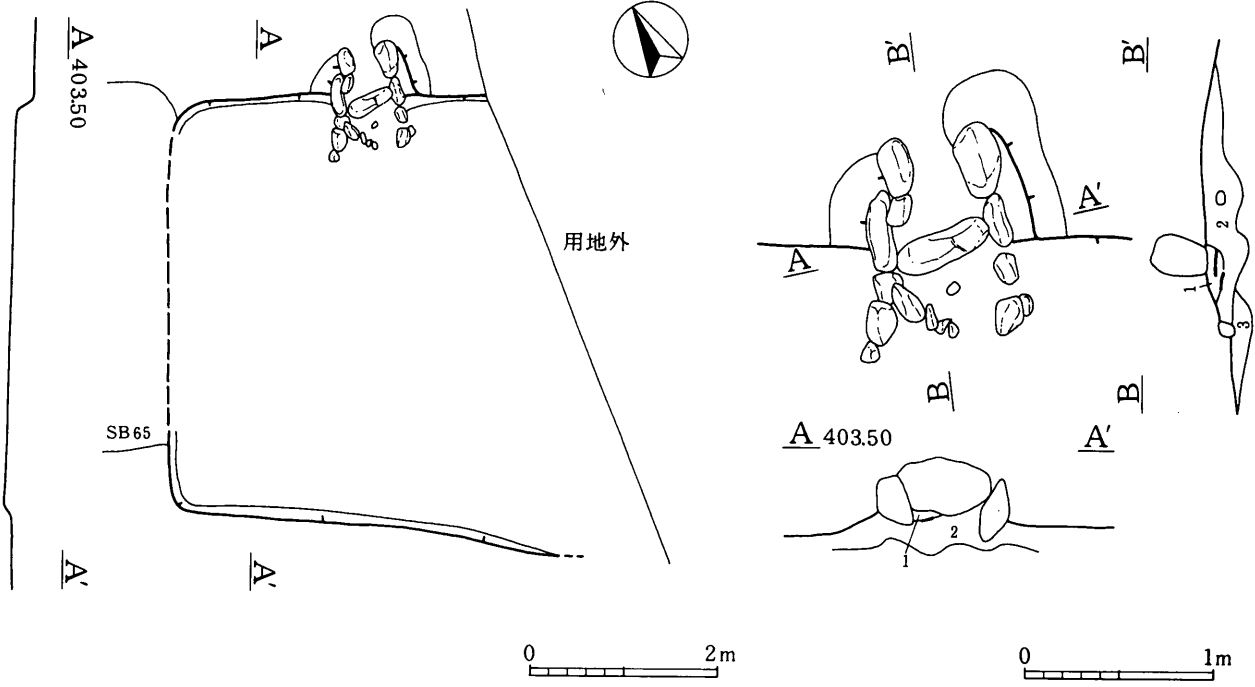


第30图 SB75

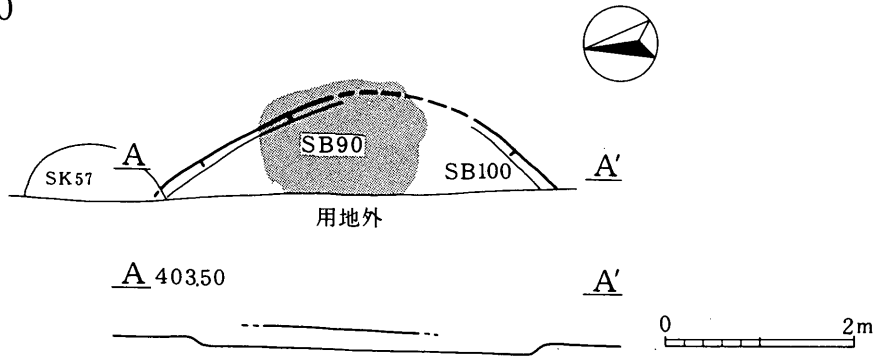


第31図 SB77・78

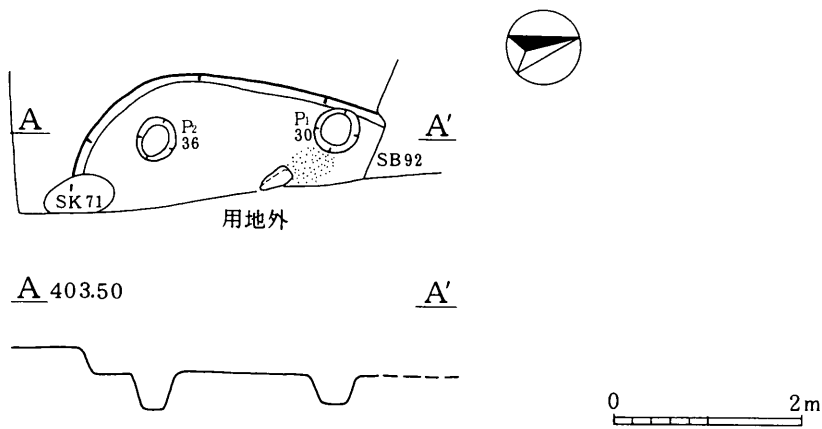
SB 86



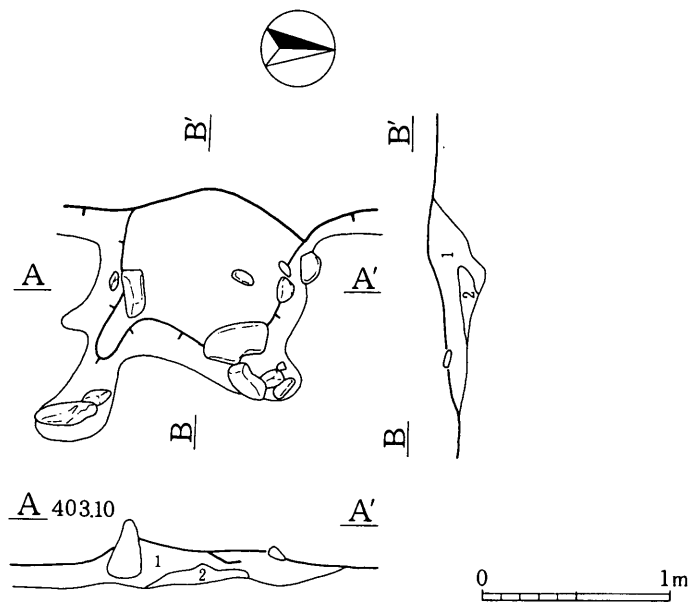
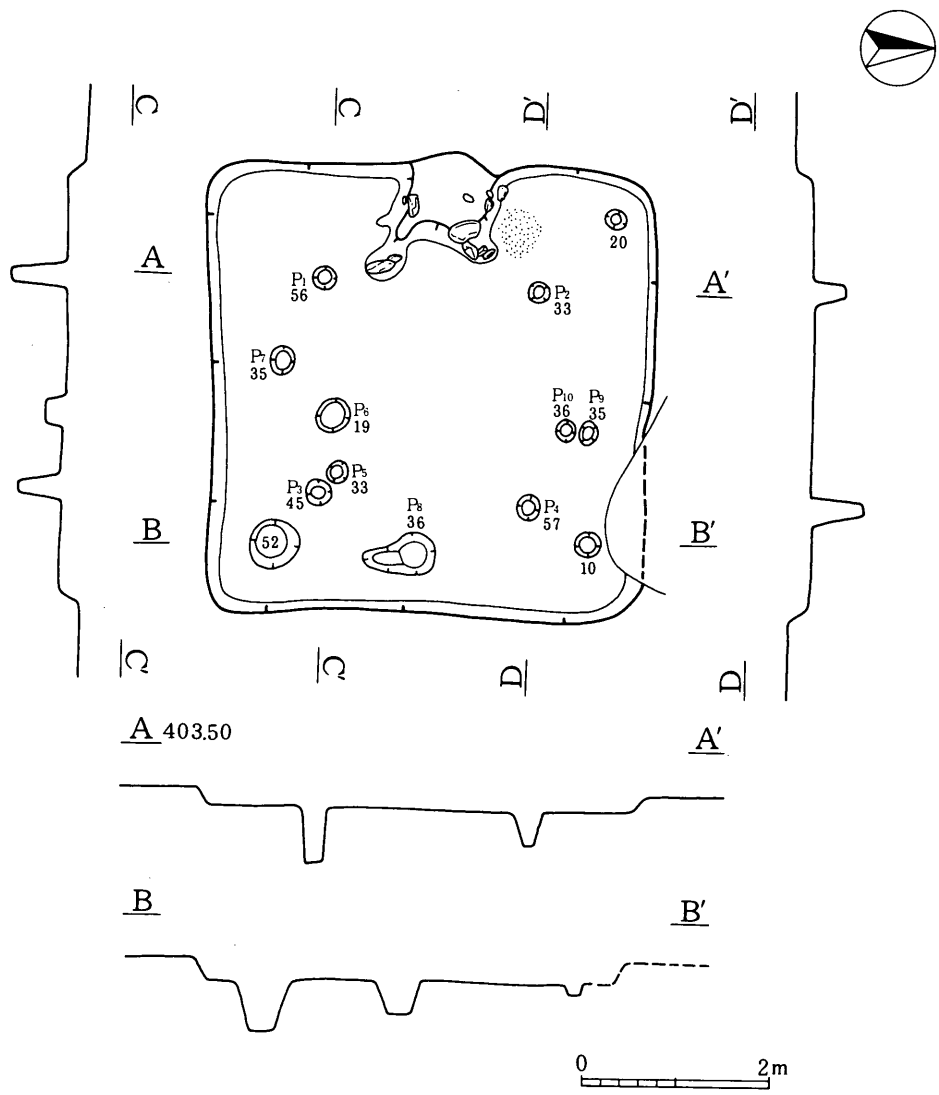
SB 90-100



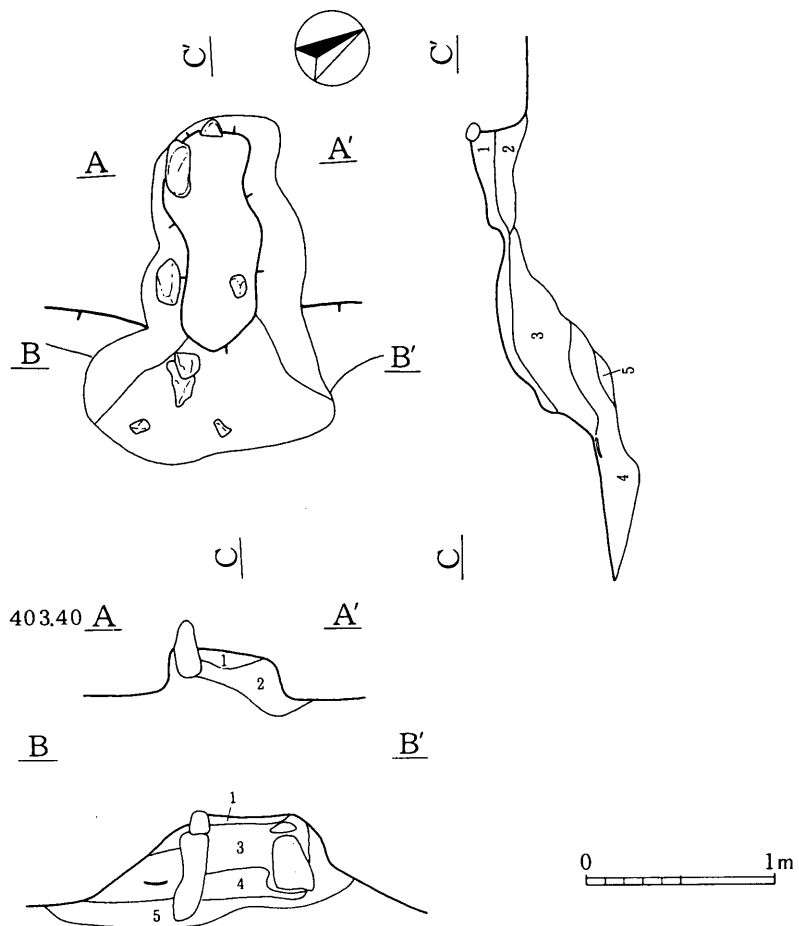
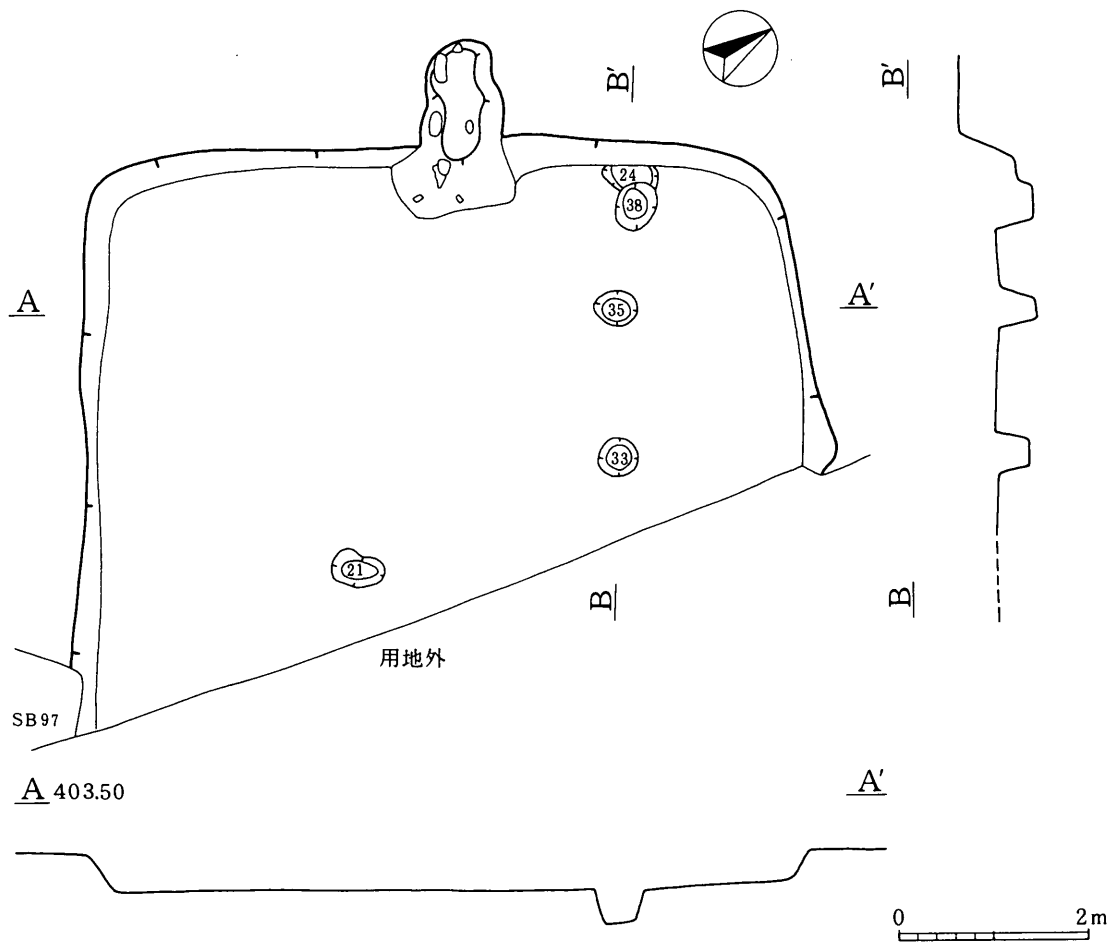
SB 97



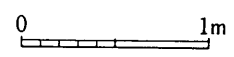
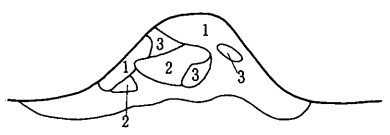
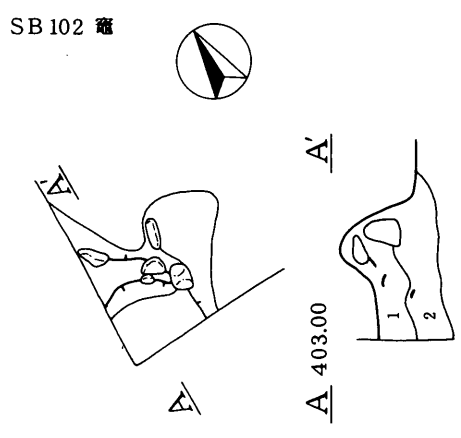
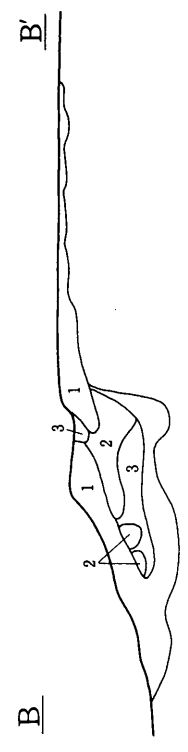
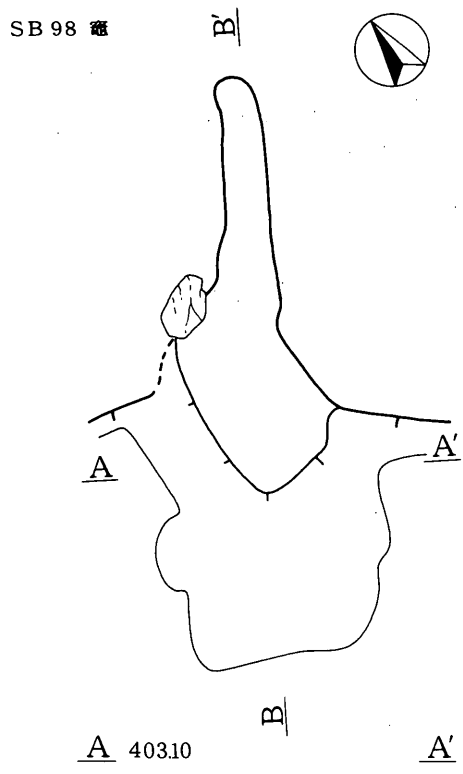
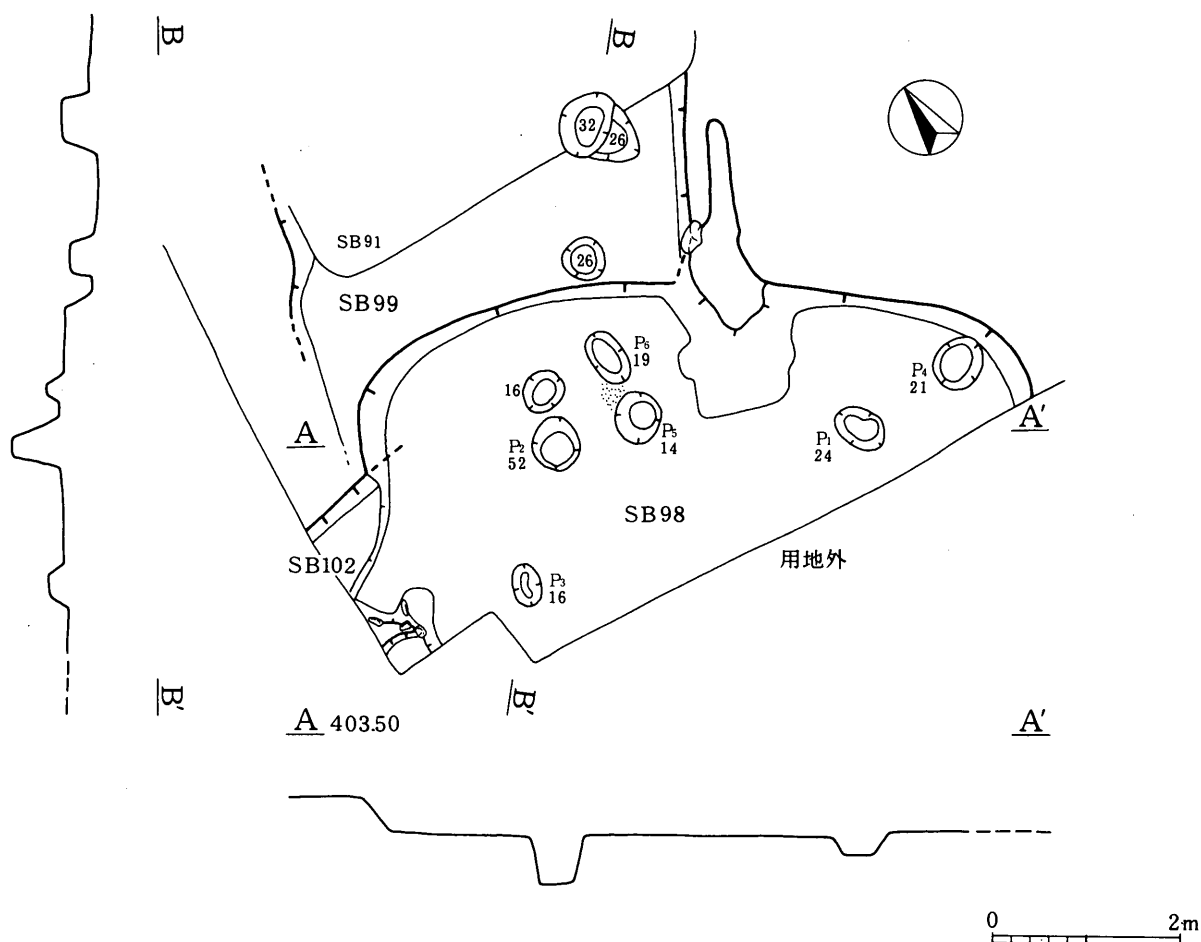
第32図 SB86・90・97・100



第33图 SB91

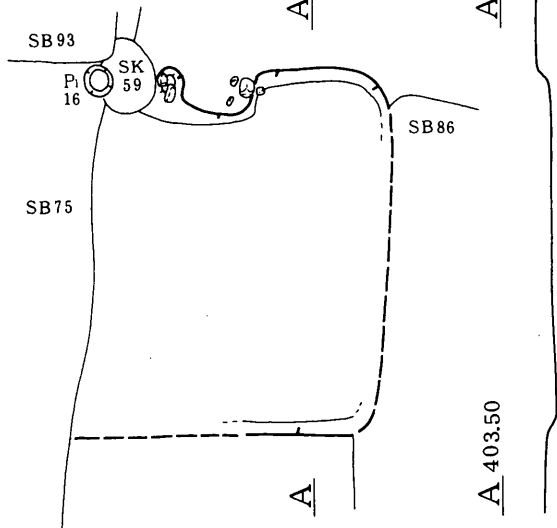


第34图 SB92

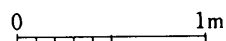
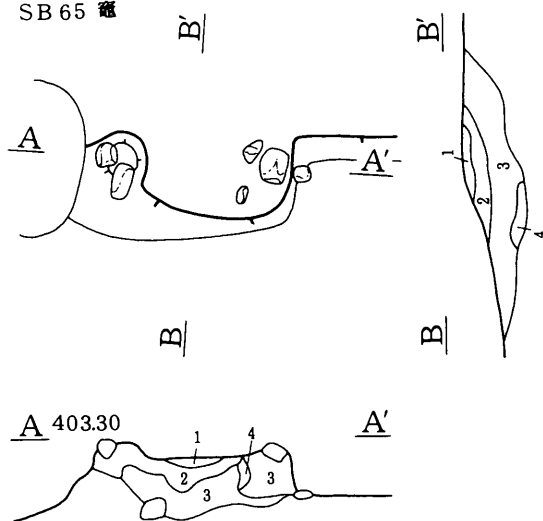


第35図 SB98・99・102

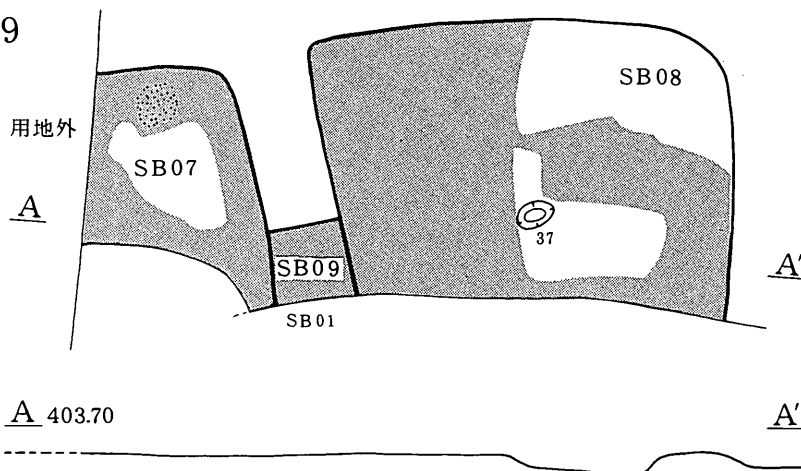
SB65



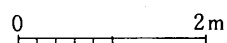
SB65 竈



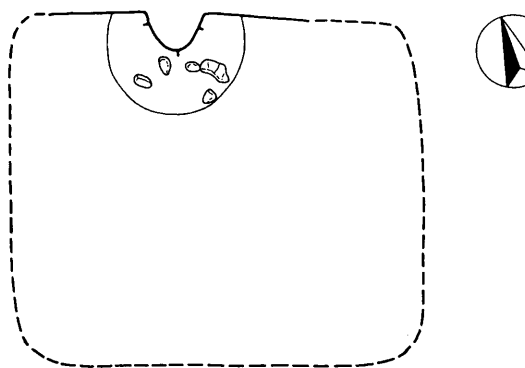
SB07·08·09



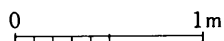
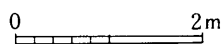
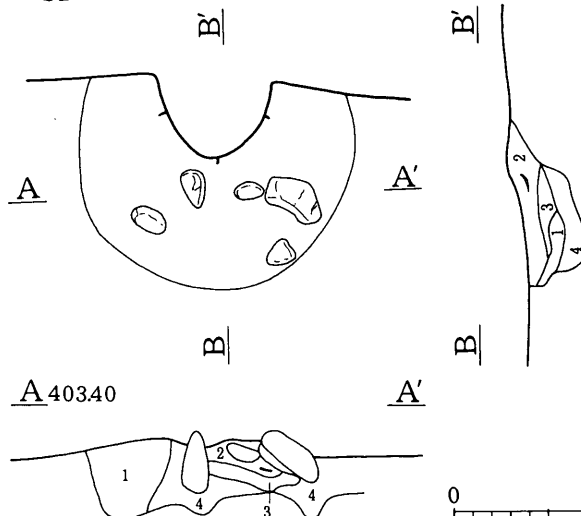
A 403.70



SB14



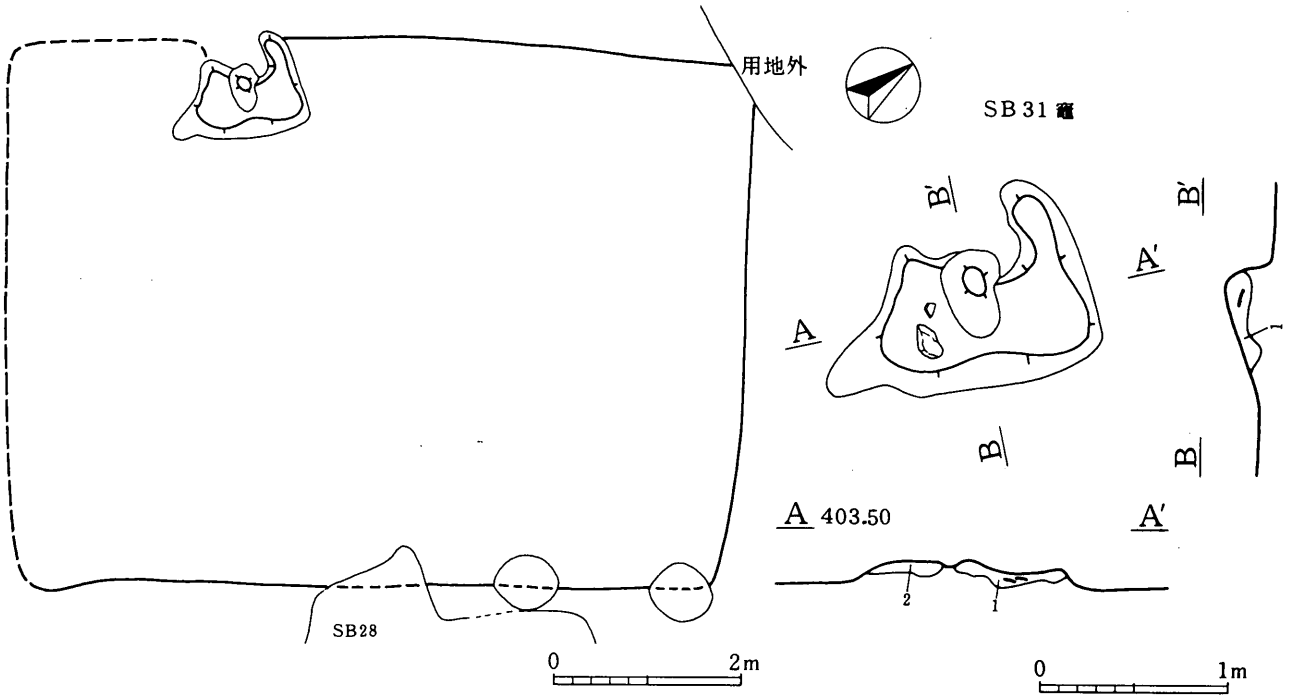
SB14 竈



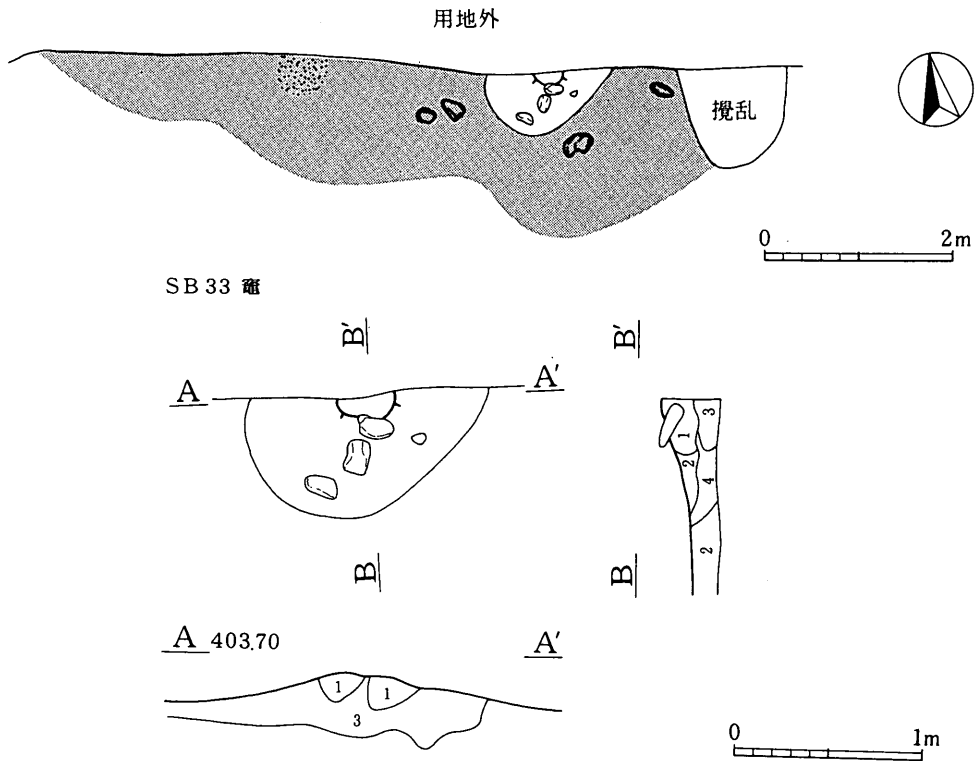
第36図 SB07・08・09・14・65



SB 31

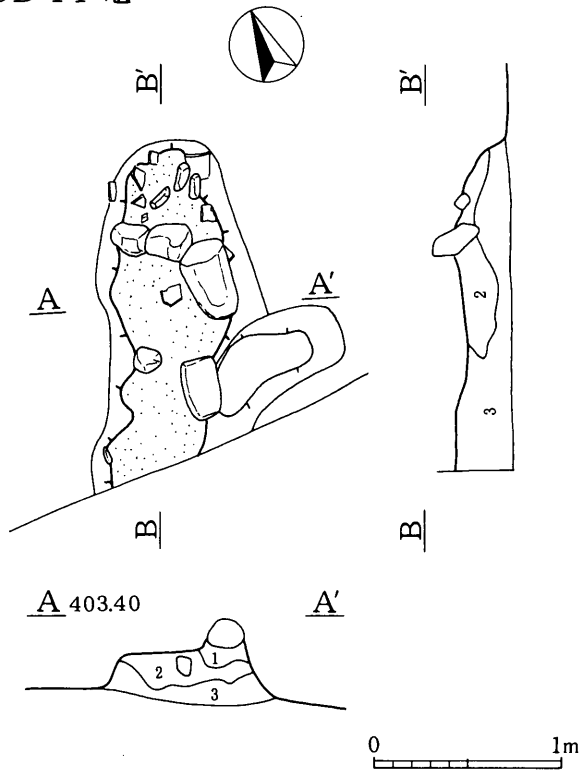


SB 33

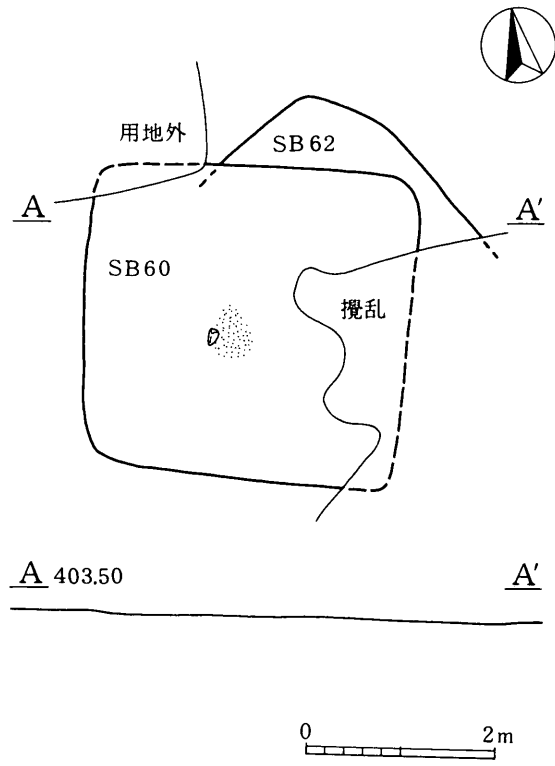


第37図 SB31・33

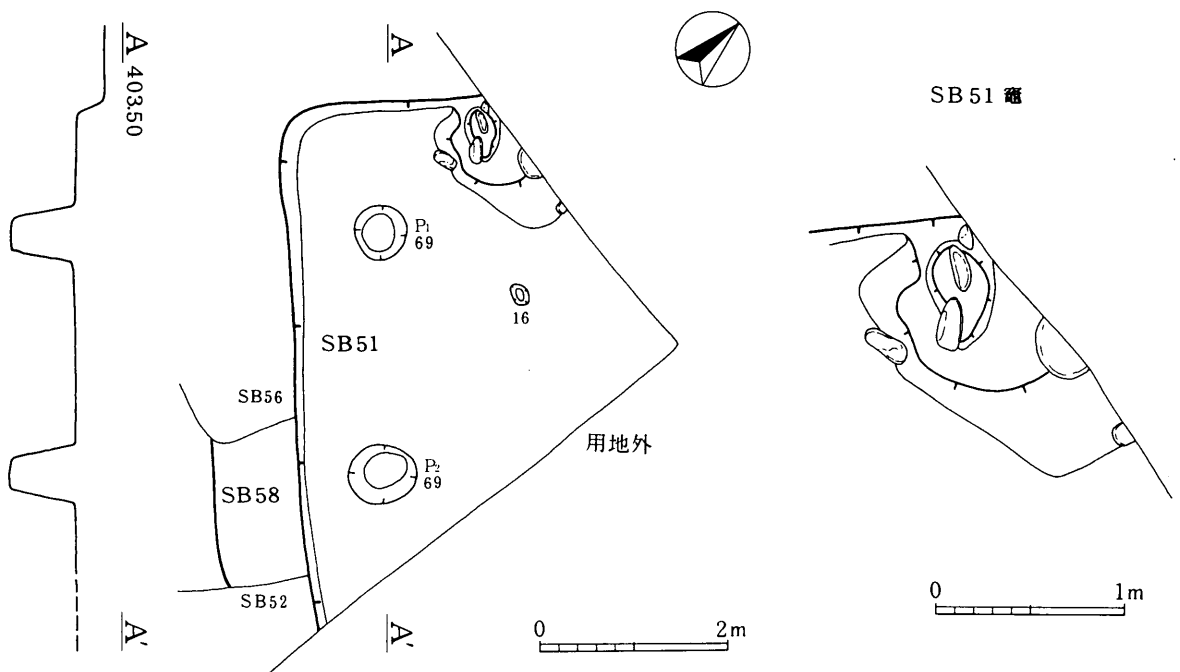
SB44 竈



SB60·62

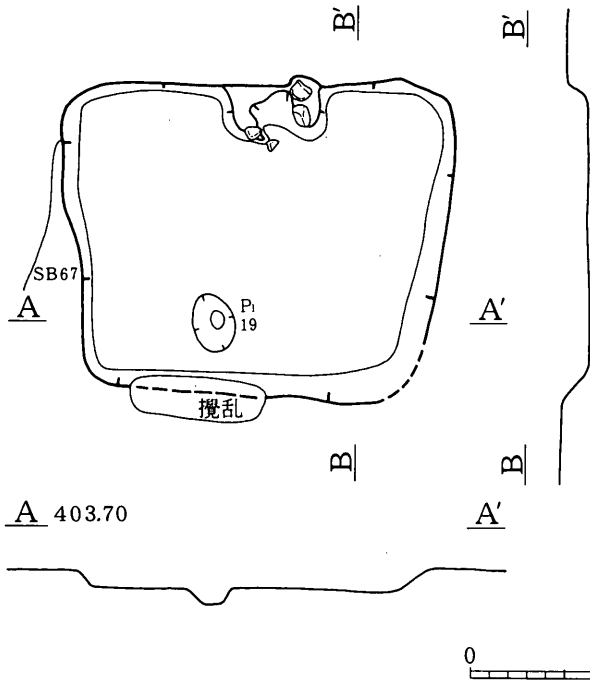


SB51·58

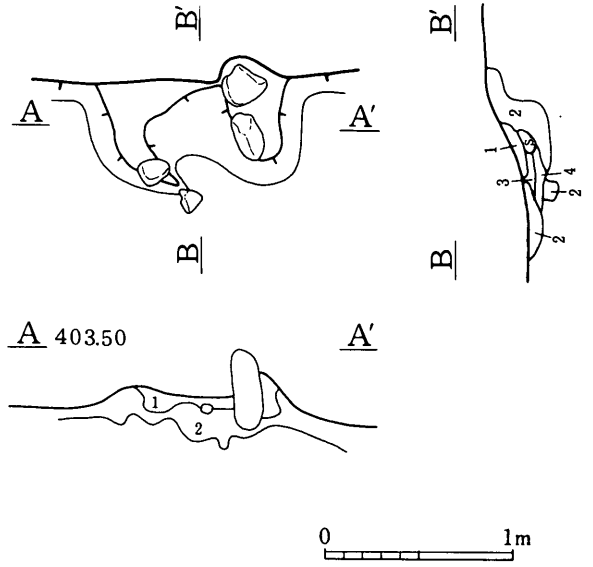


第38図 SB44・51・58・60・62

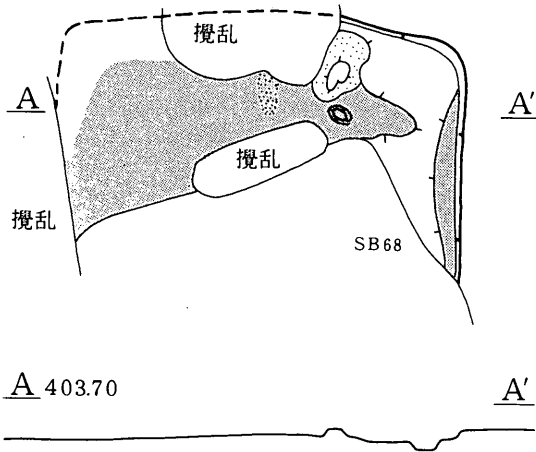
SB 66



SB 66 竈

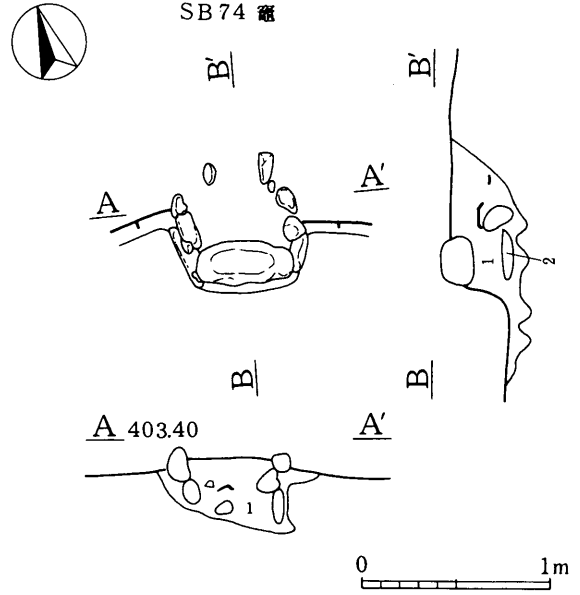
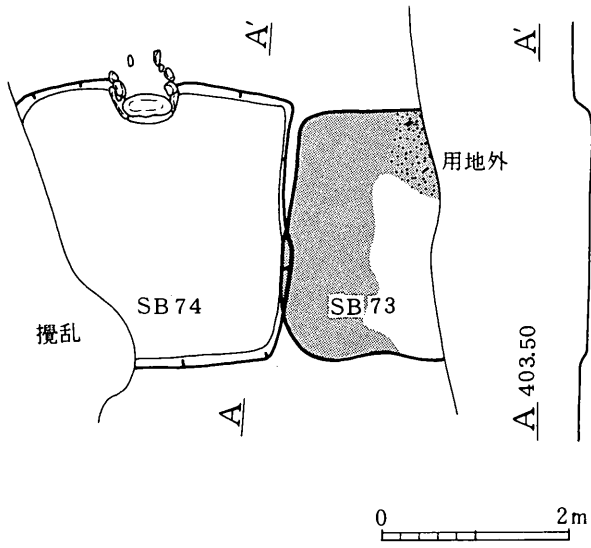


SB 67

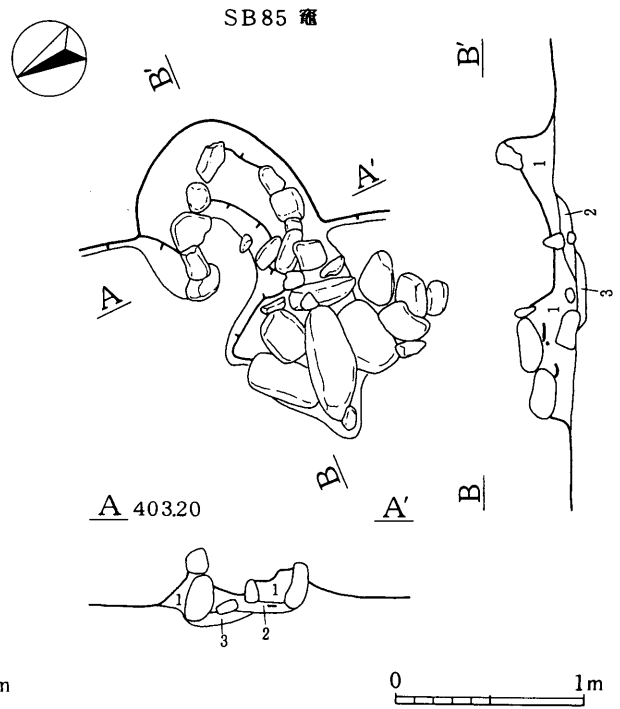
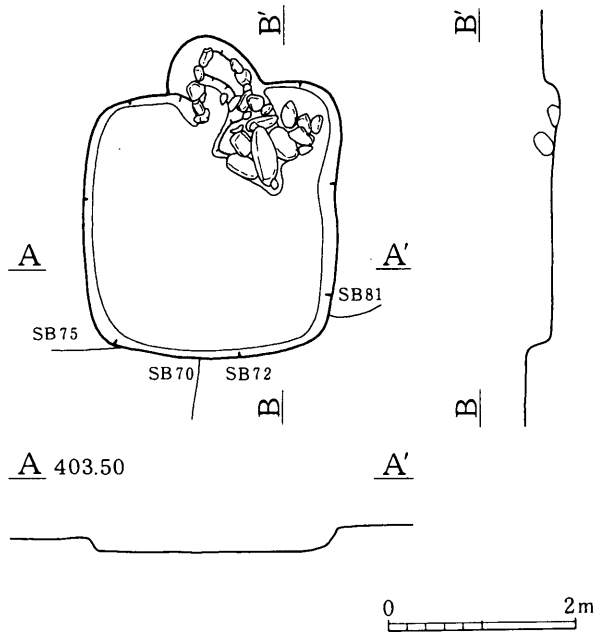


第39図 SB66・67

SB 73·74

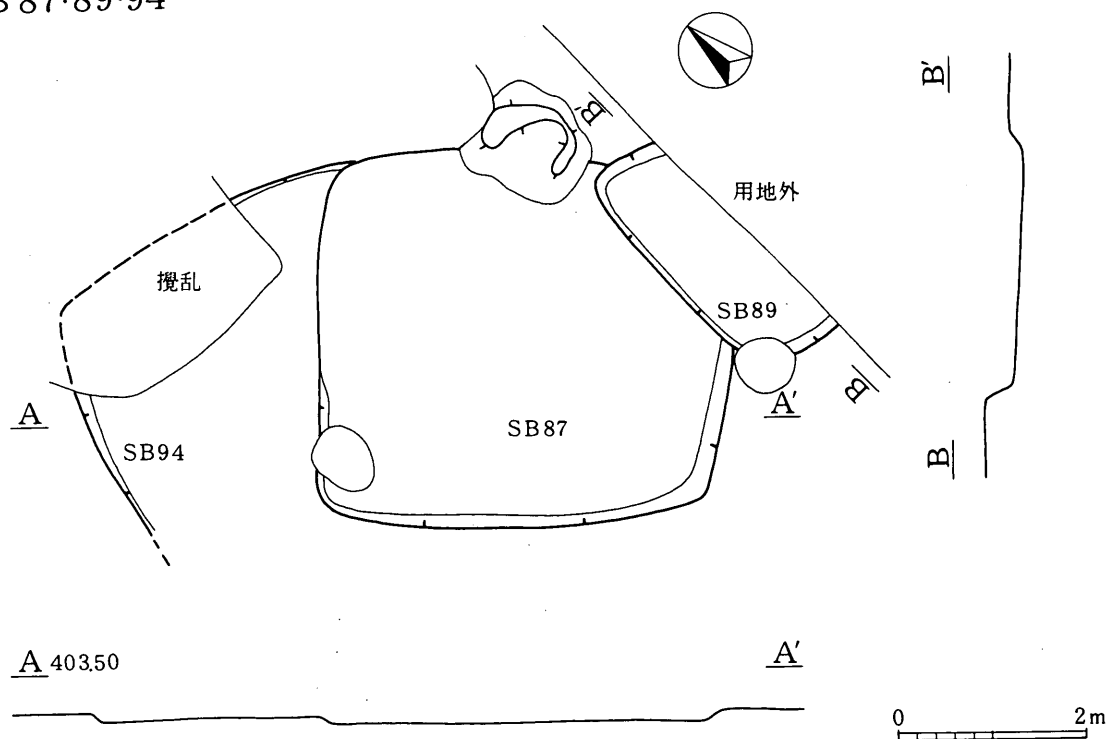


SB 85

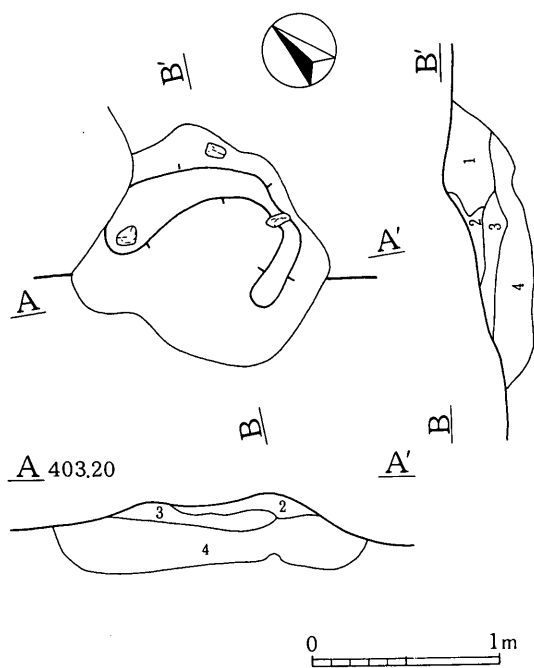


第40図 SB73・74・85

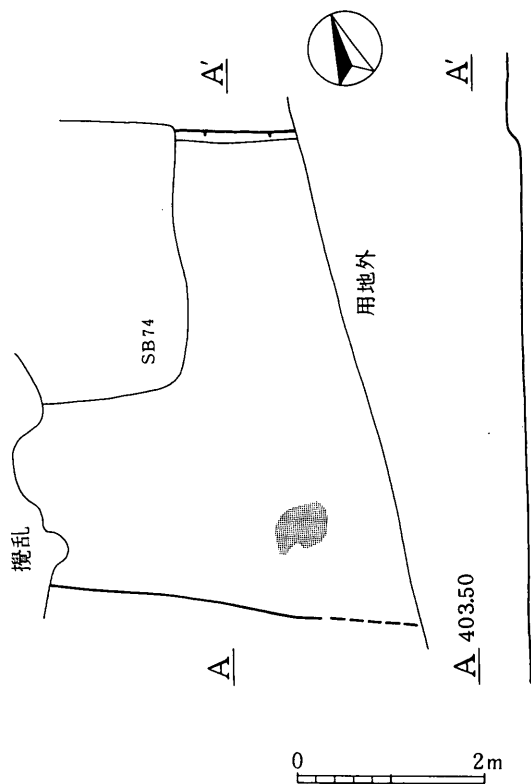
SB 87·89·94



SB 87 竈

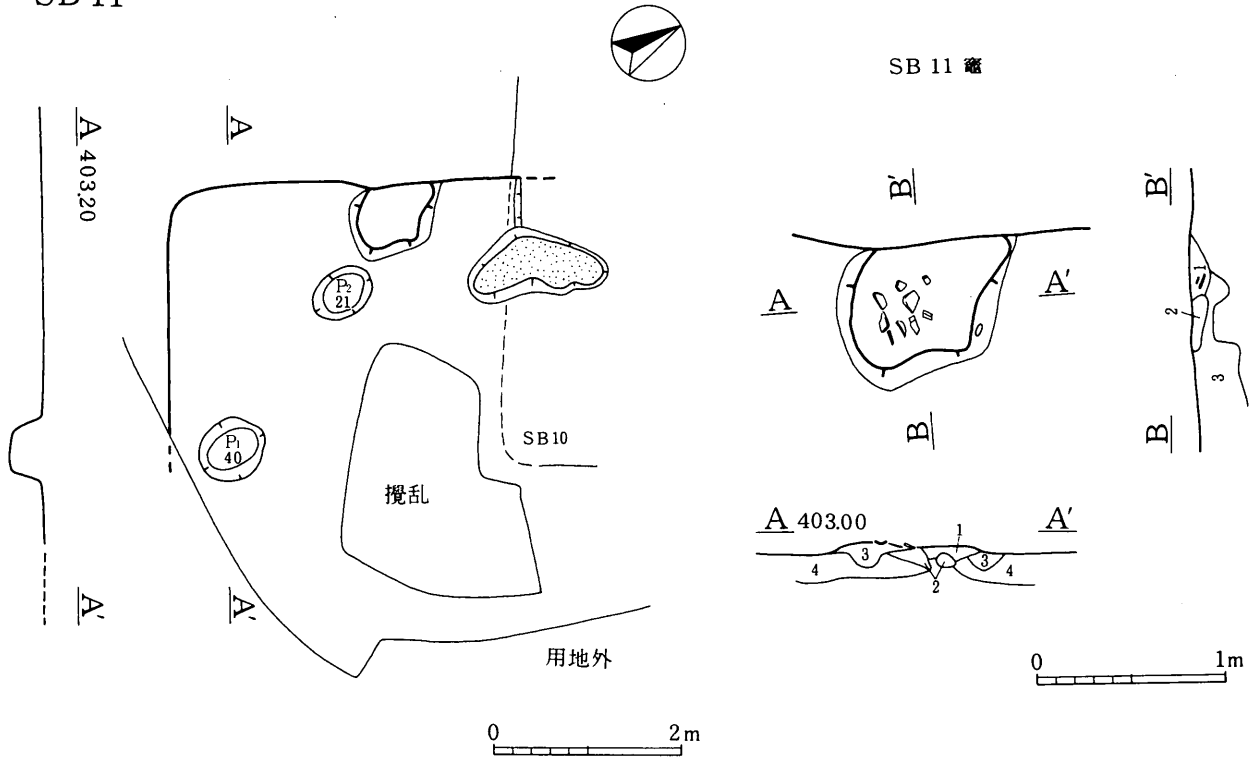


SB 88

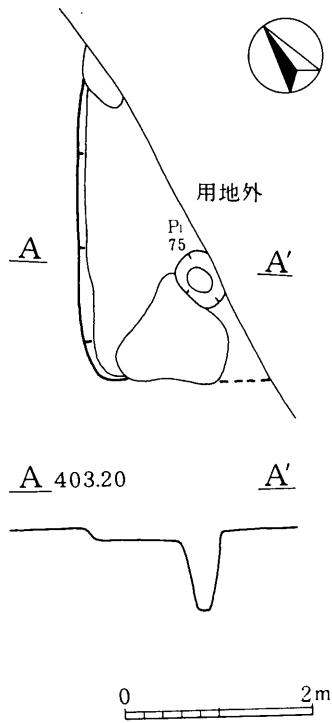


第41図 SB87・88・89・94

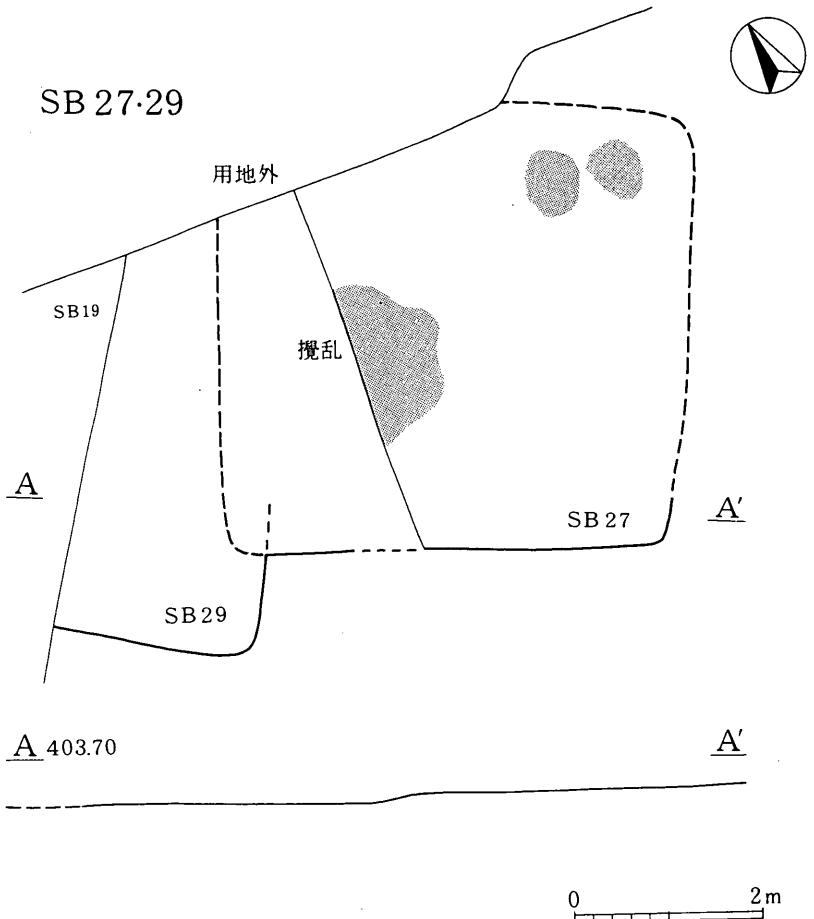
SB 11



SB 16

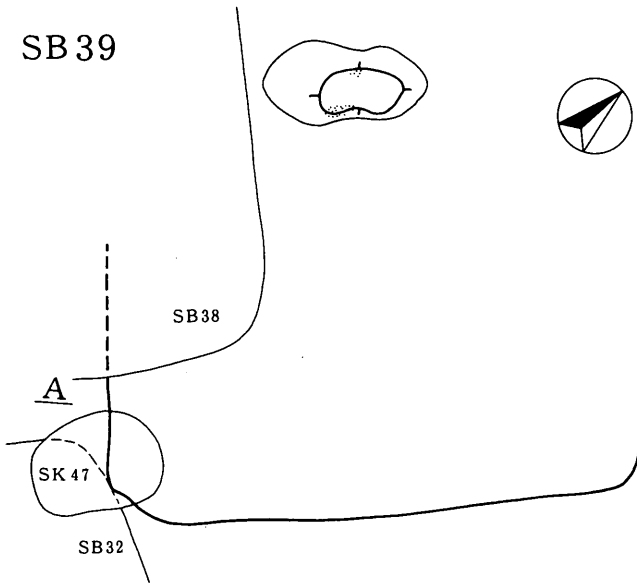


SB 27·29

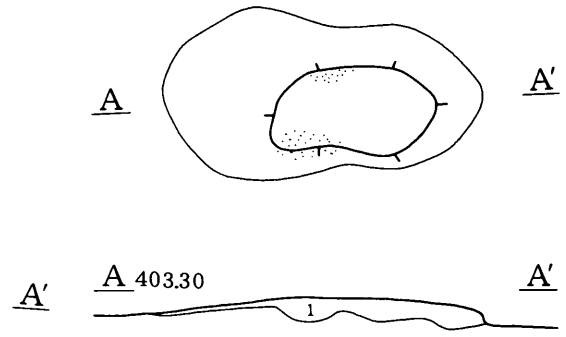


第42図 SB11・16・27・29

SB 39

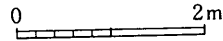
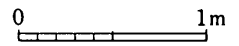


SB 39 竈

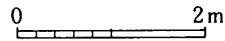
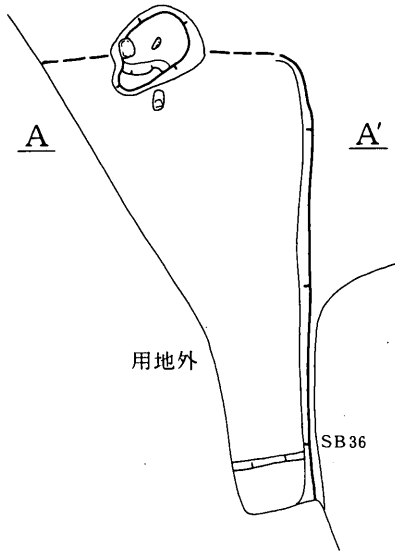


A 403.50

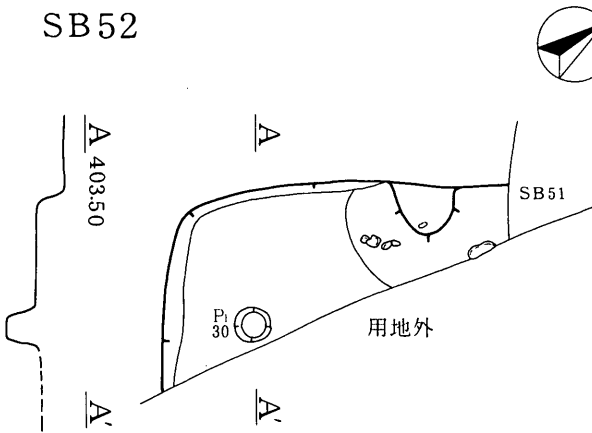
A'



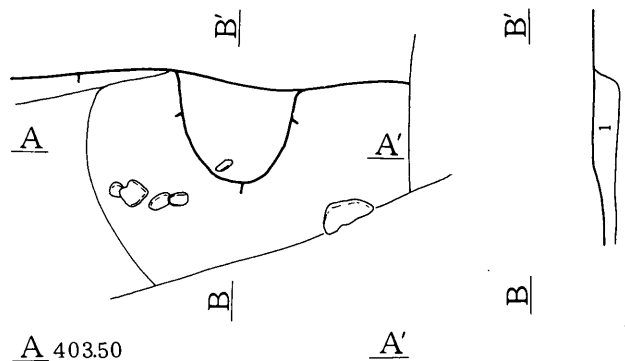
SB 41



SB 52

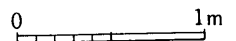
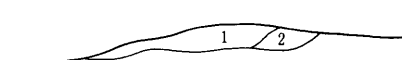
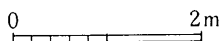


SB 52 竈



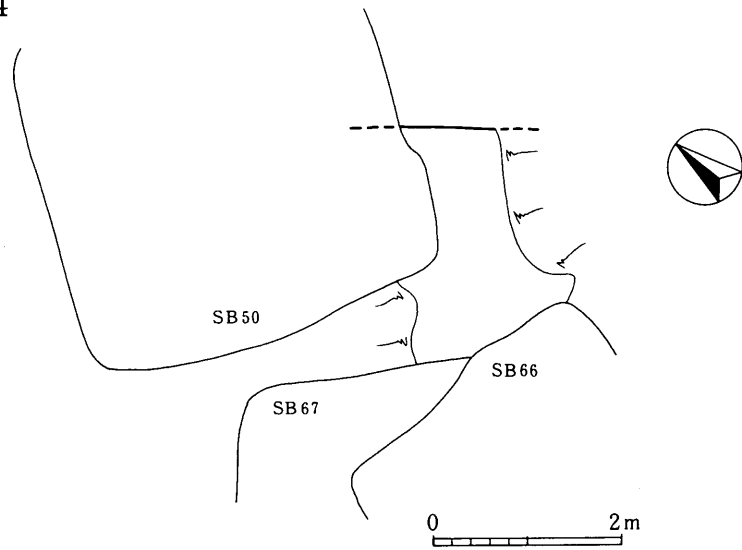
A 403.50

A'

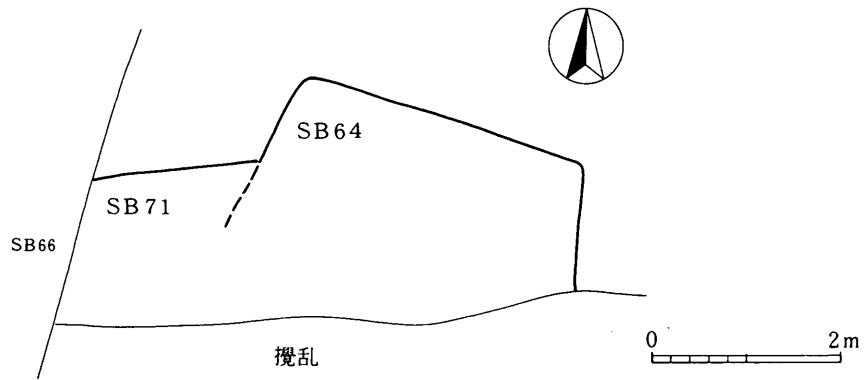


第43図 SB39・41・52

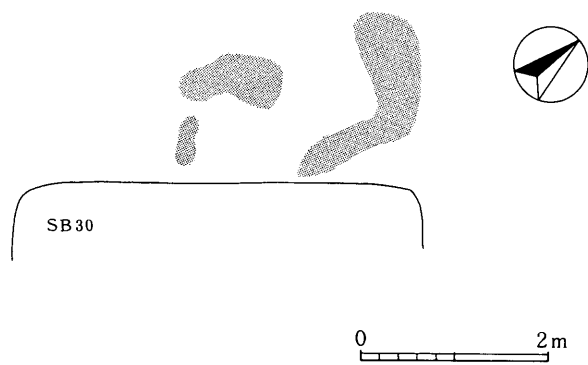
SB 54



SB 64·71



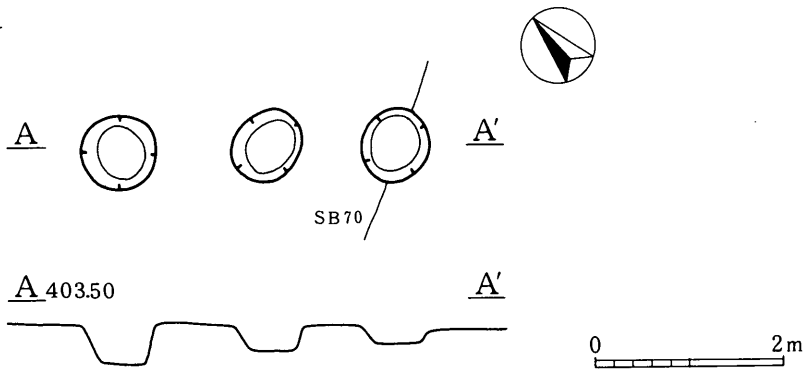
SB 103



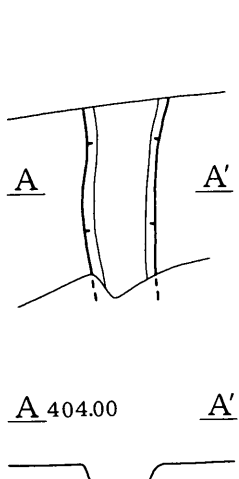
第44図 SB54・64・71・103



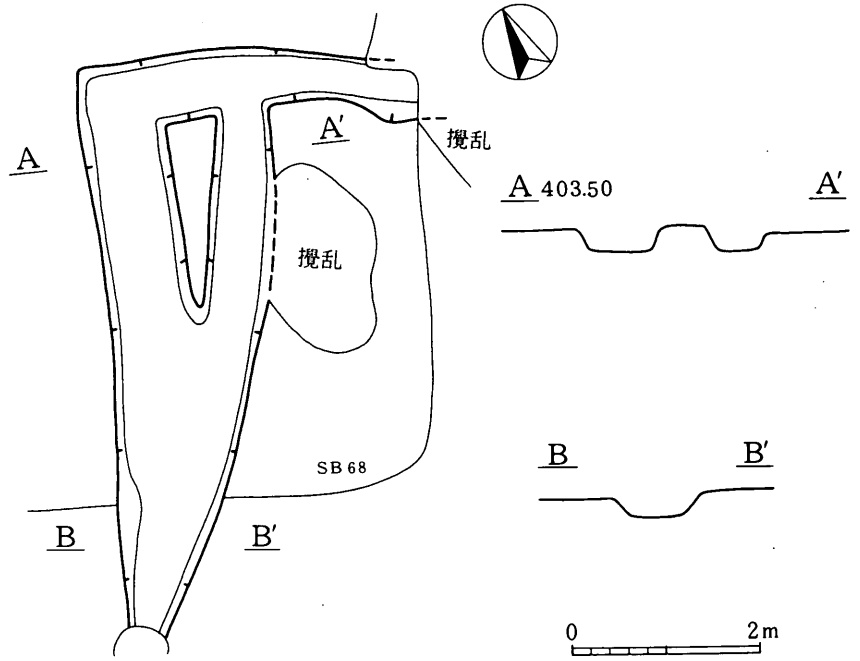
ST 01



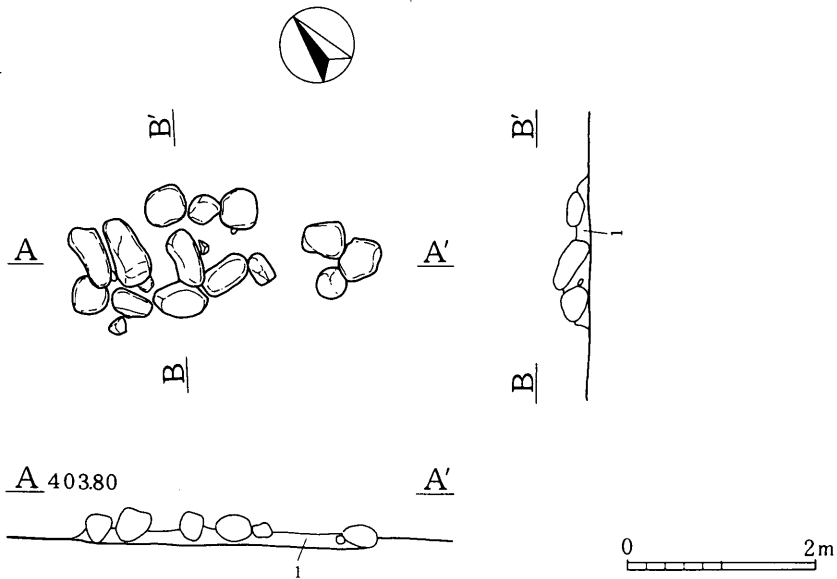
SD 02



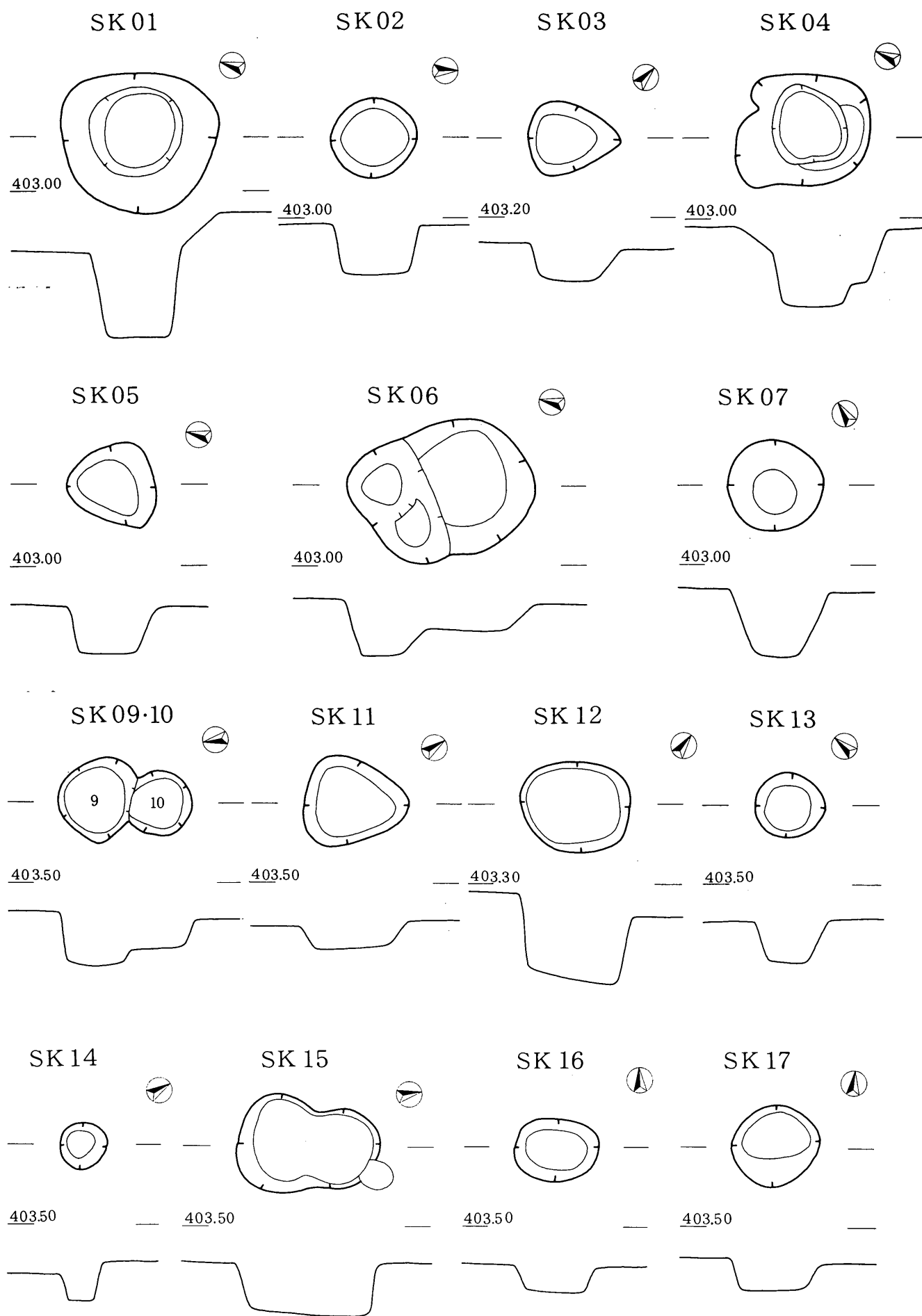
SD 03



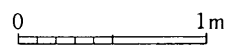
SI 01

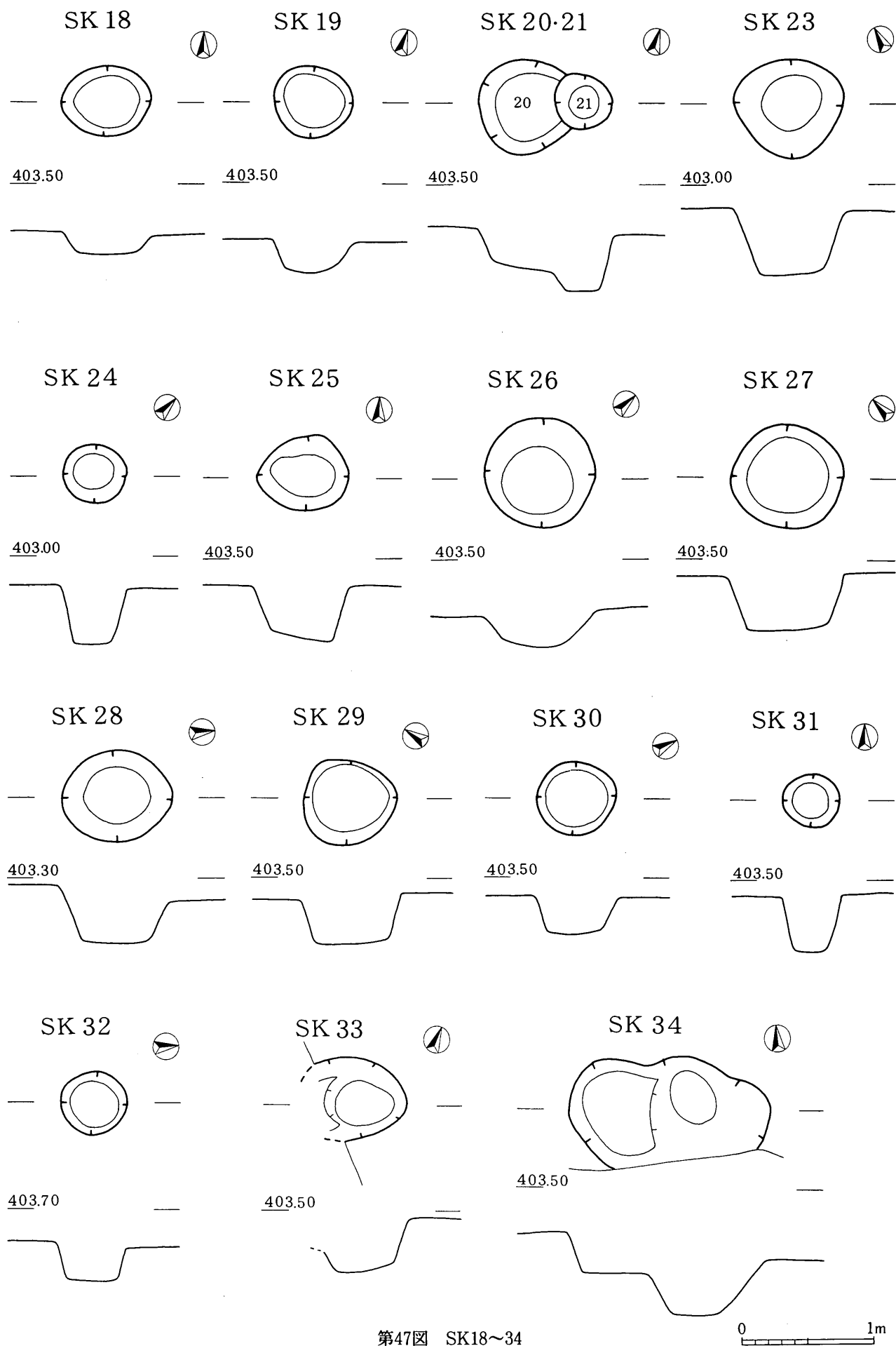


第45图 ST01, SD02·03, SI01

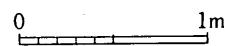


第46図 SK01~17



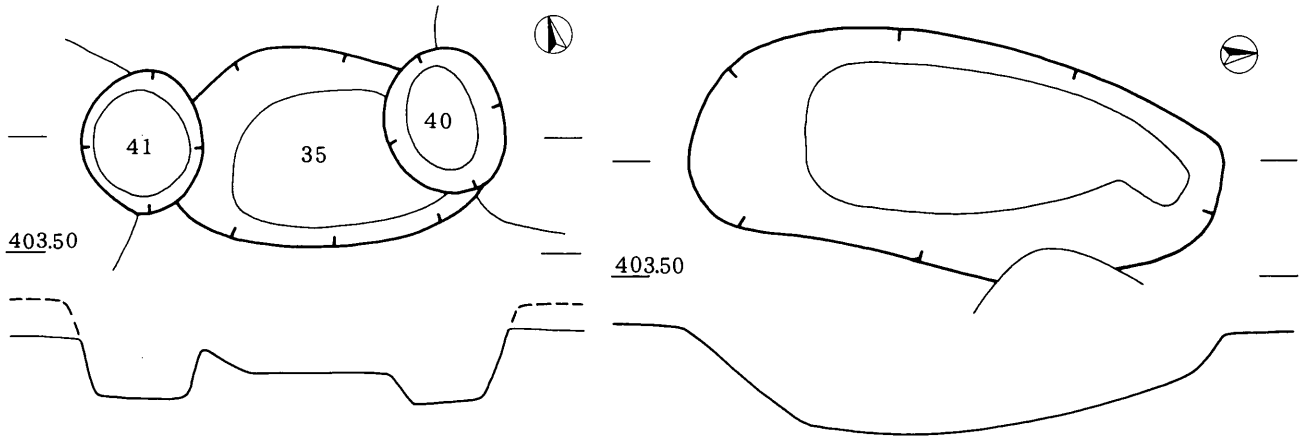


第47図 SK18~34



SK 35·40·41

SK 36

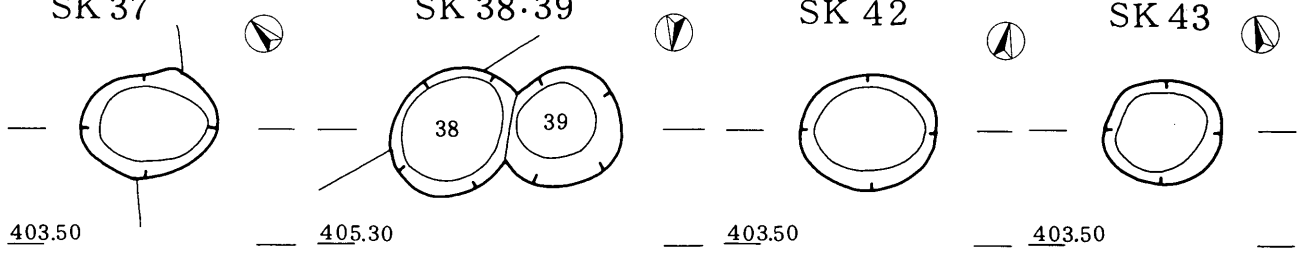


SK 37

SK 38·39

SK 42

SK 43

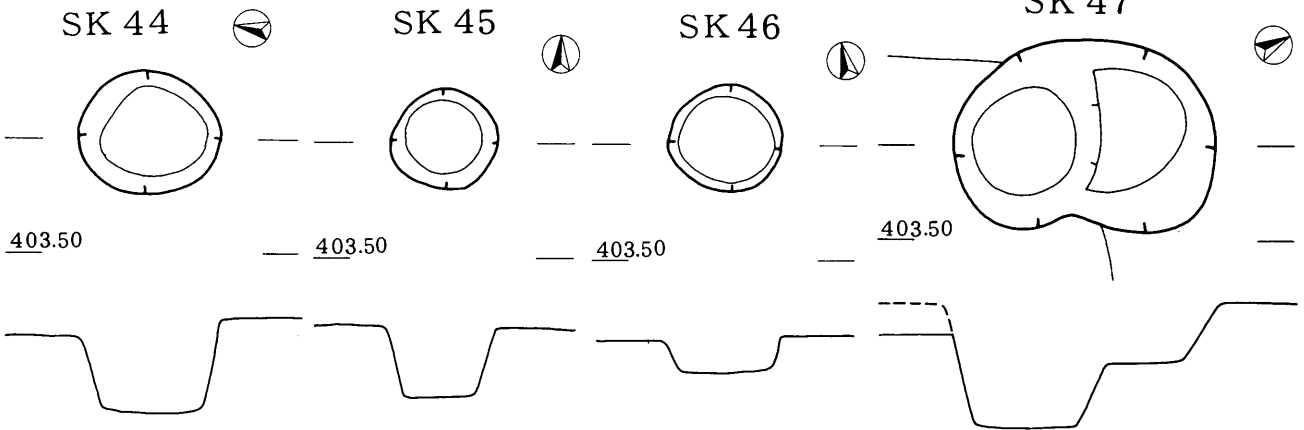


SK 44

SK 45

SK 46

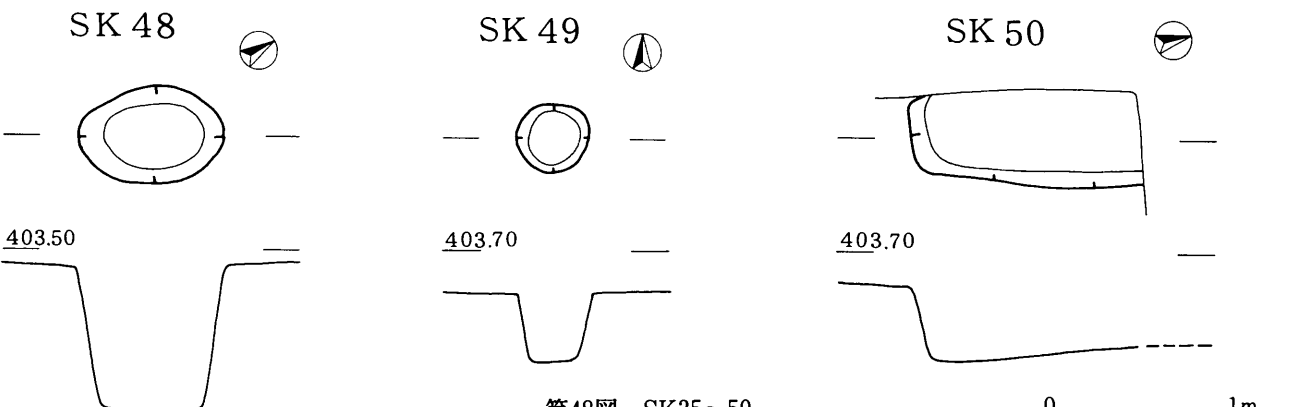
SK 47



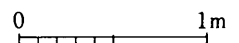
SK 48

SK 49

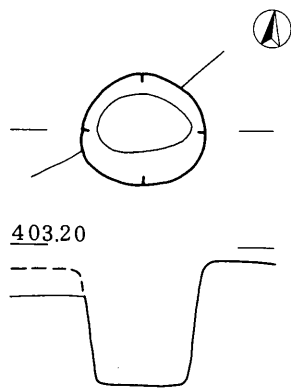
SK 50



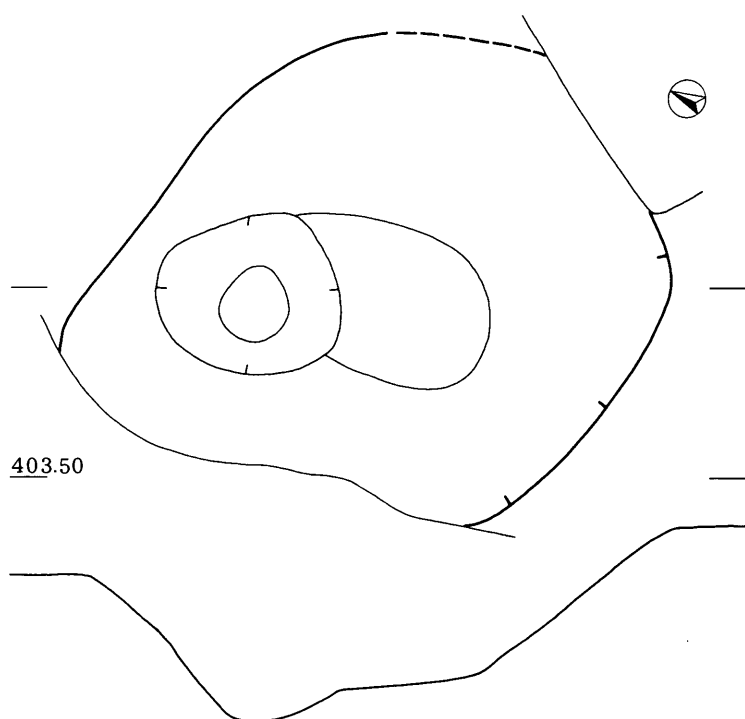
第48图 SK35~50



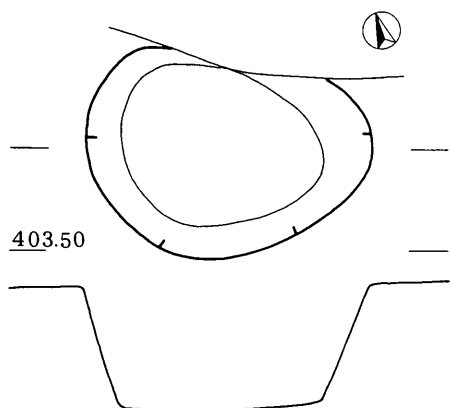
SK 51



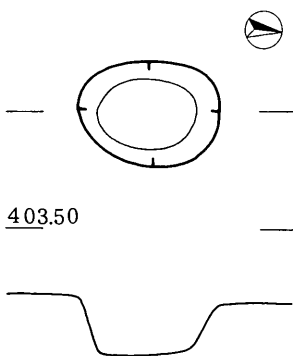
SK 54



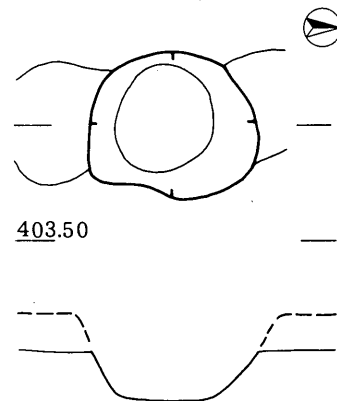
SK 52



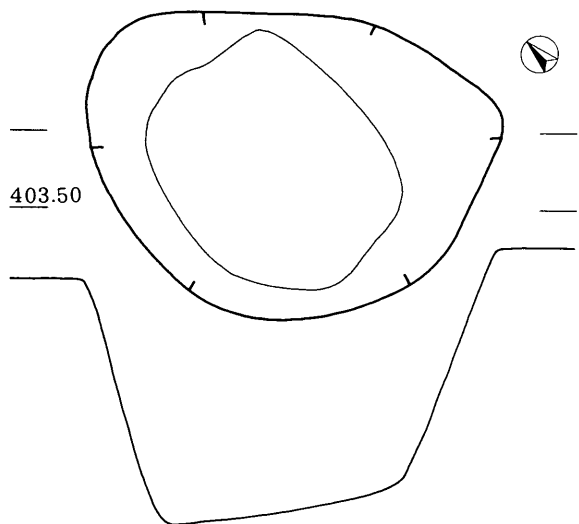
SK 55



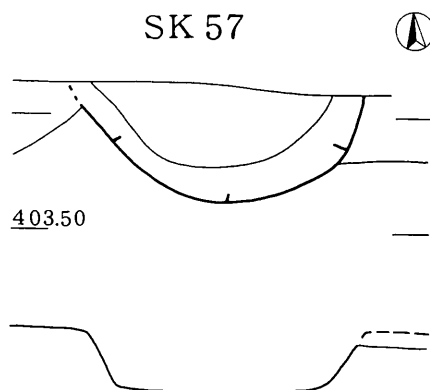
SK 56



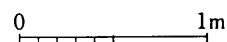
SK 53

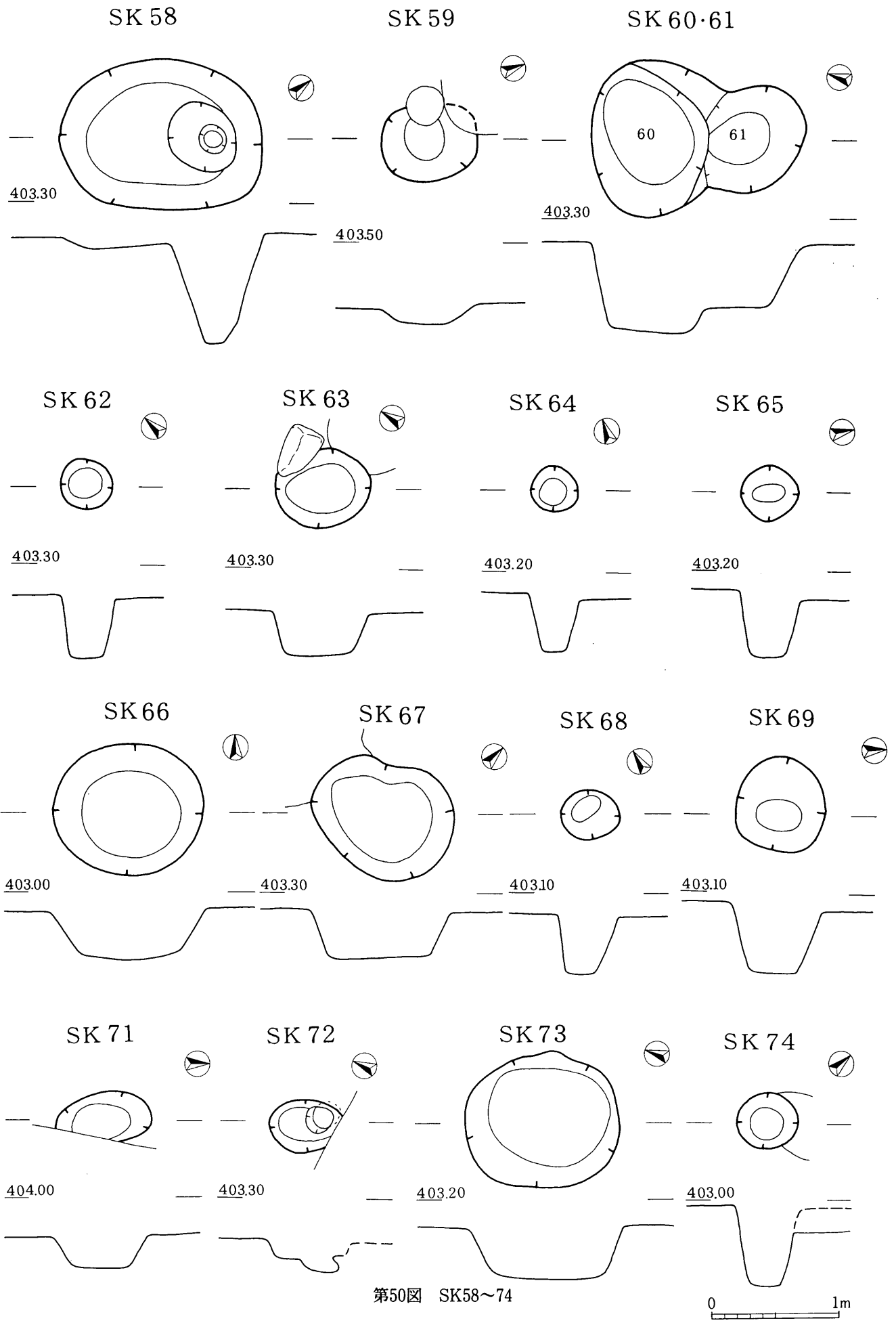


SK 57

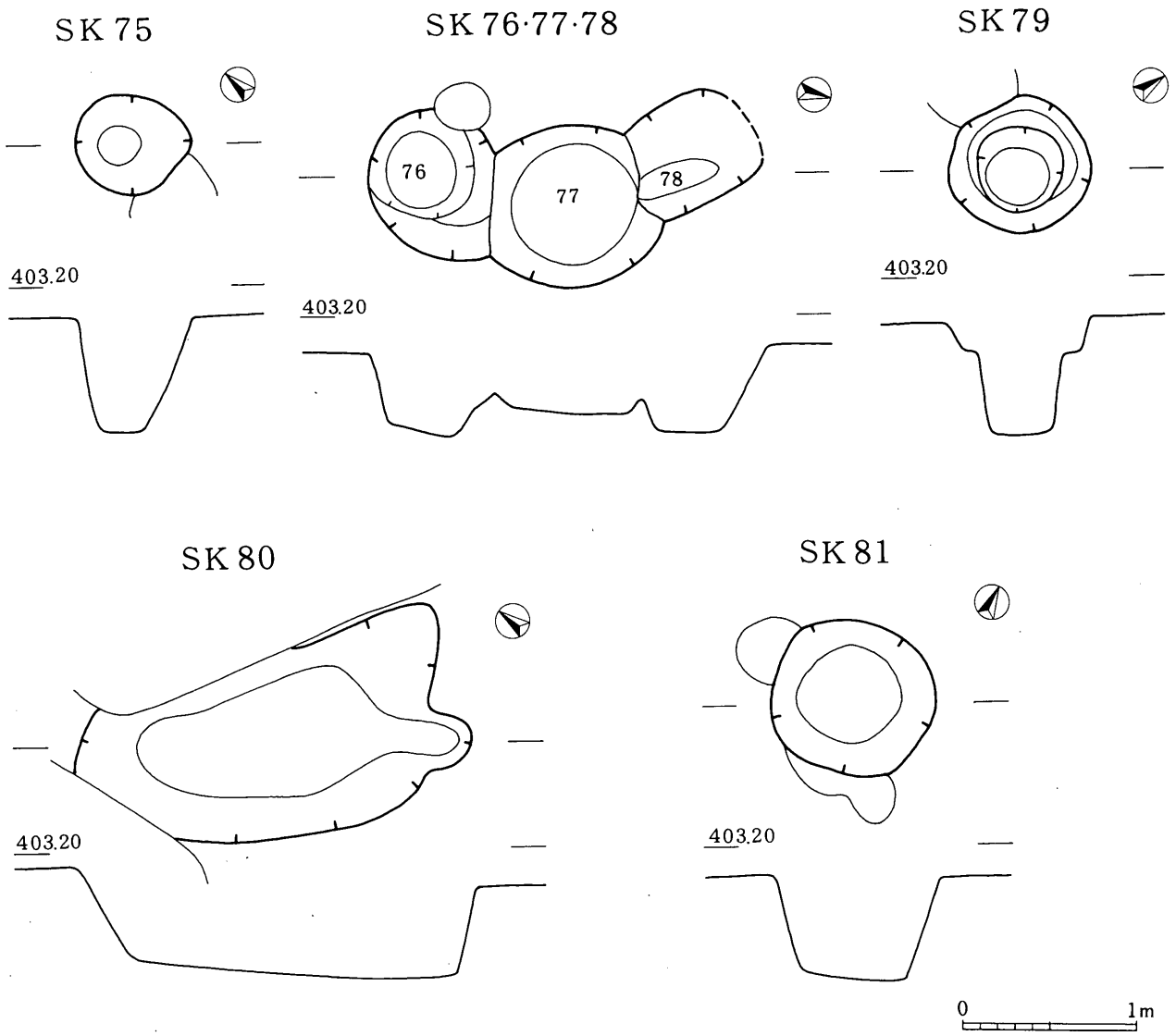


第49図 SK51~57

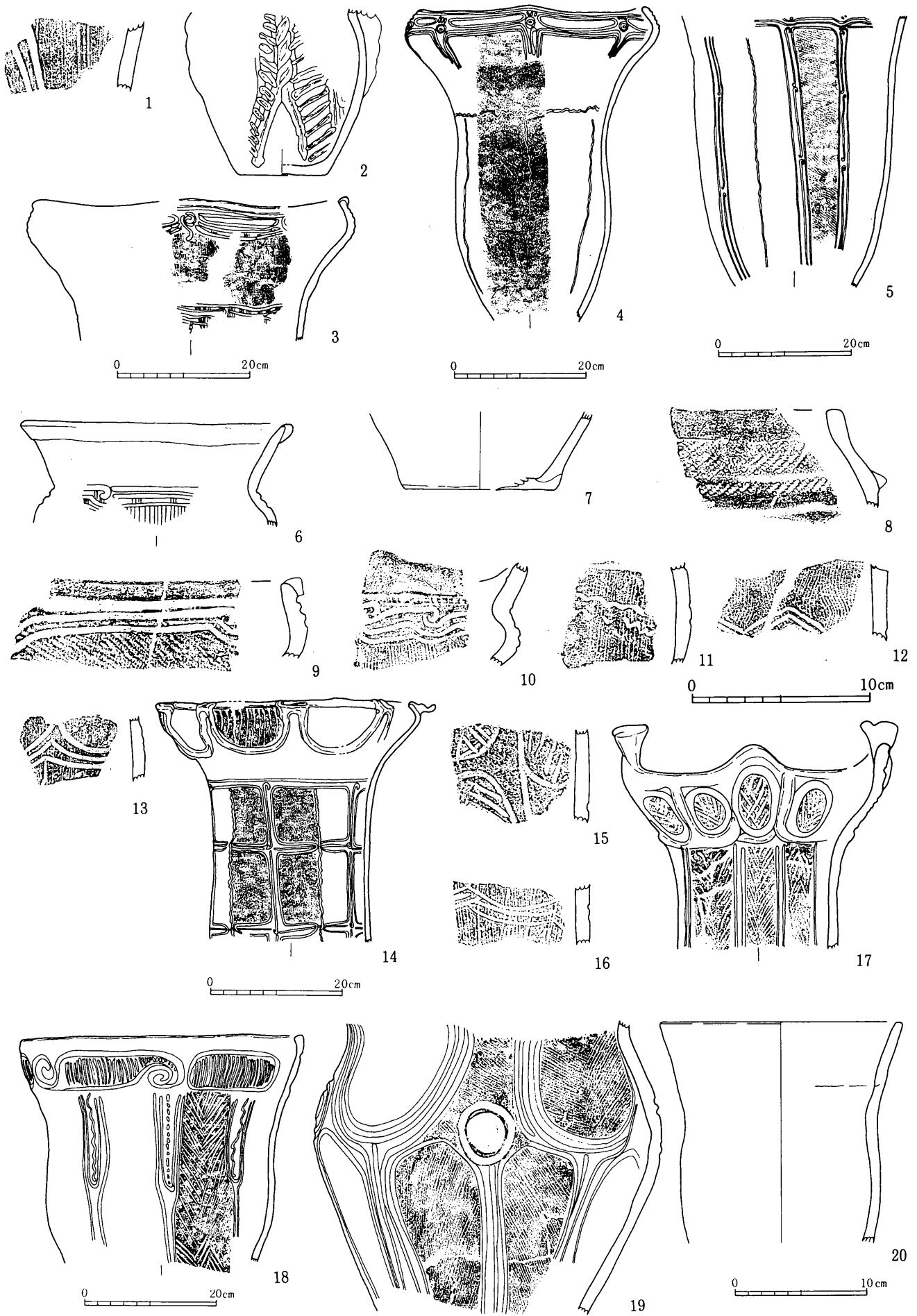




第50図 SK58~74



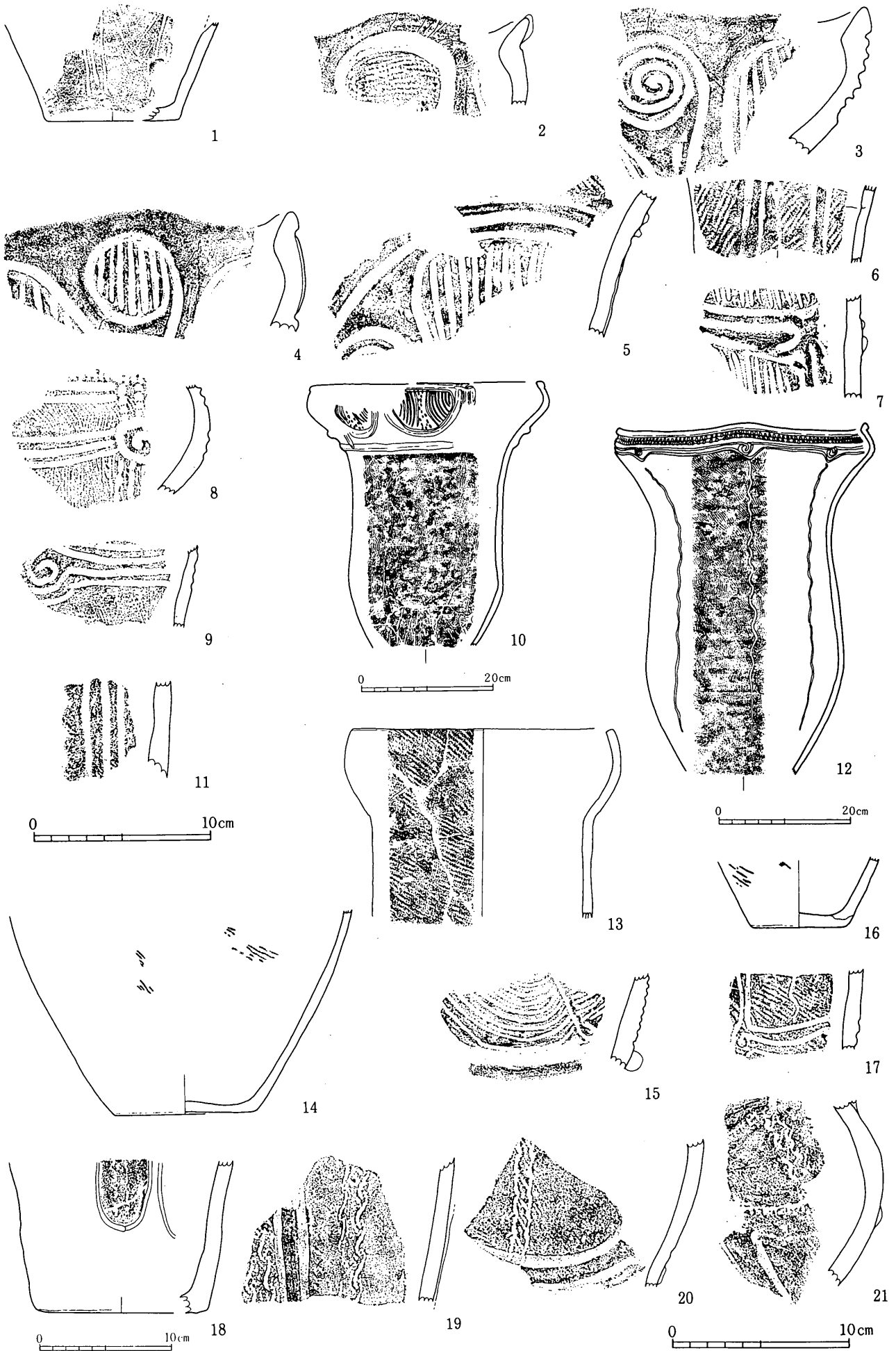
第51图 SK75~81



第52図 SB出土遺物

1 SB23    3~13 SB26    17~20 SB43  
 2 SB24    14~16 SB40



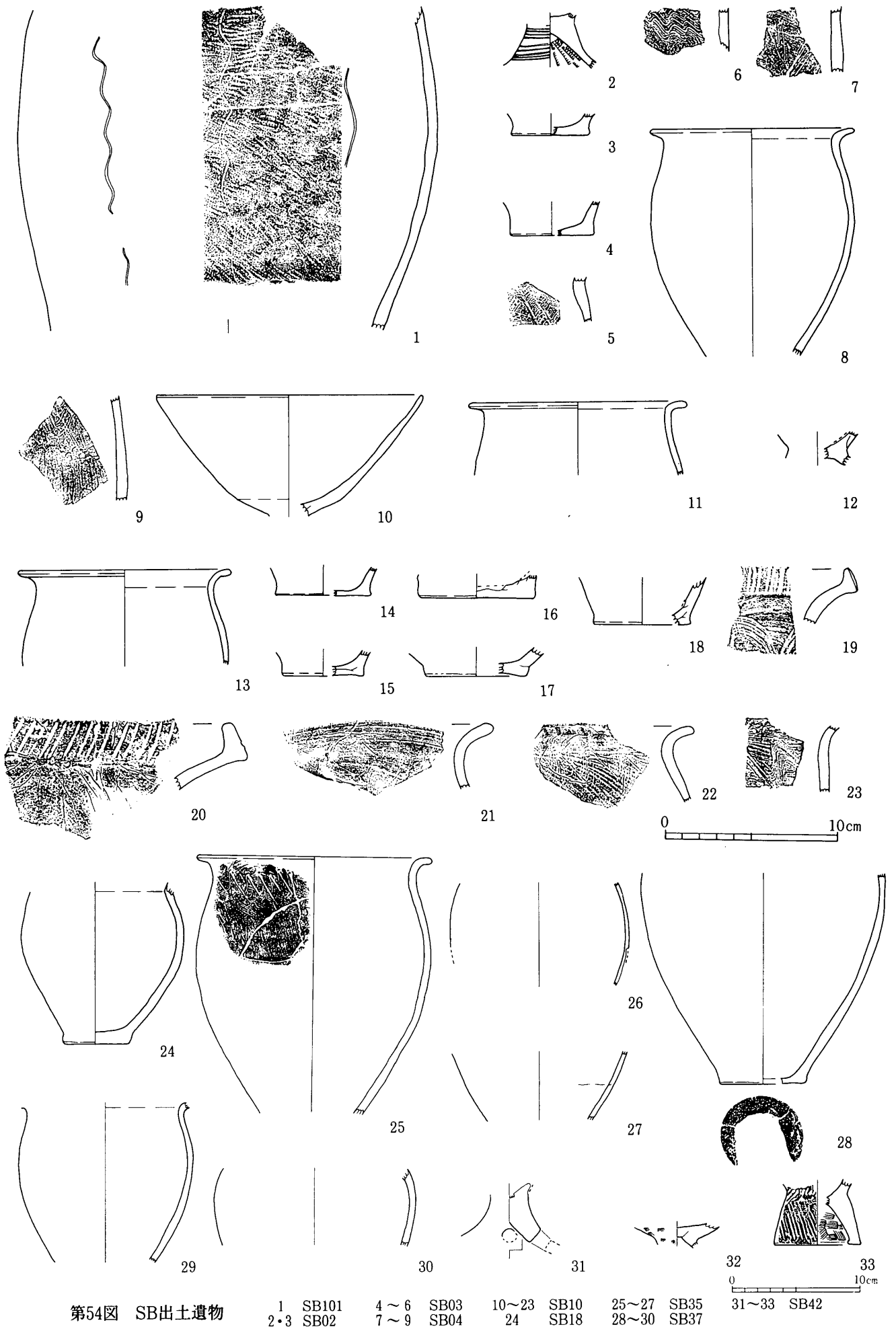


第53图 SB出土遺物

1 ~ 8 SB43  
9 · 10 SB47

11 · 12 SB49  
13 ~ 17 SB63

8 ~ 21 SB69



第54図 SB出土遺物

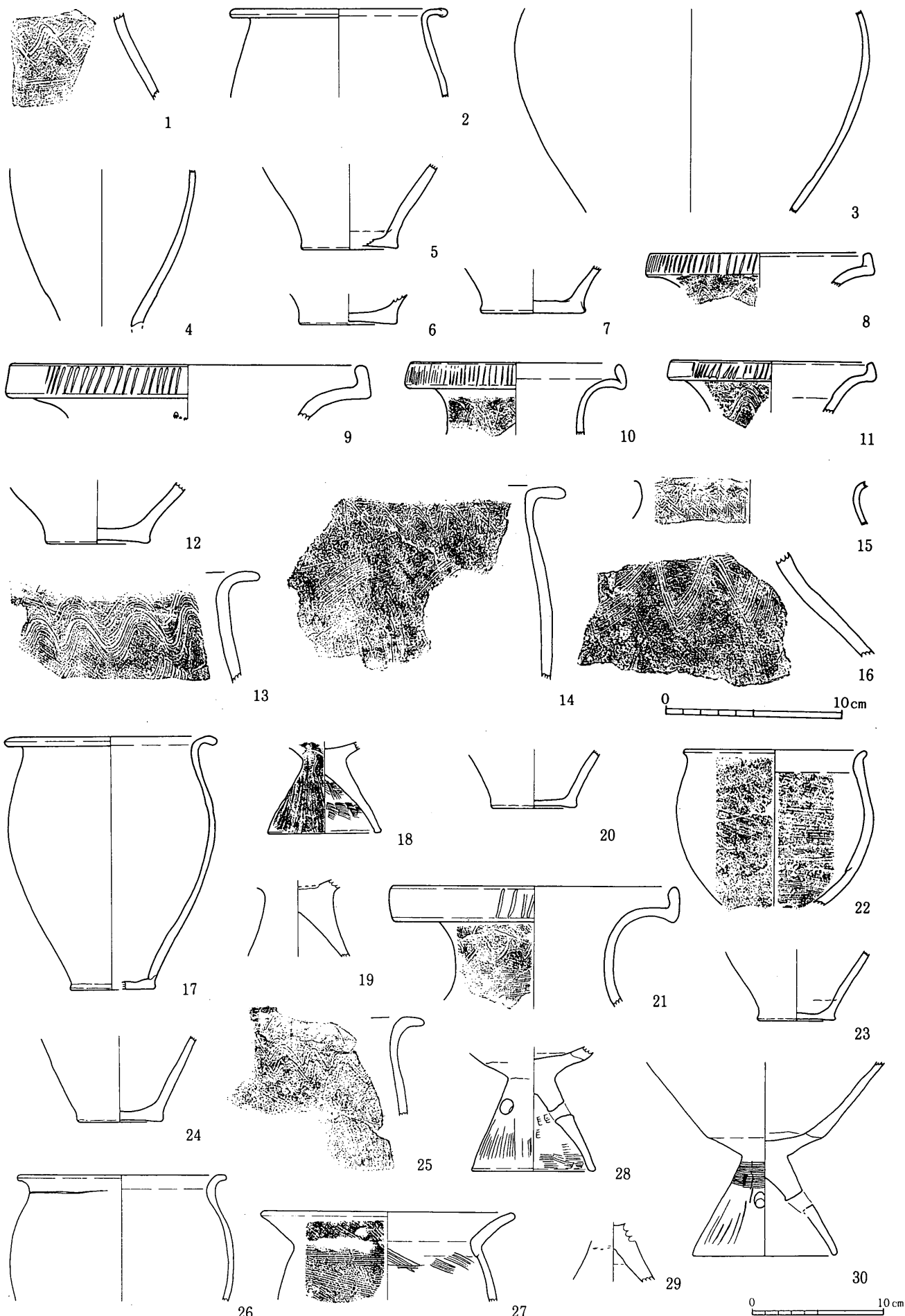
1 SB101  
2・3 SB02

4~6 SB03  
7~9 SB04

10~23 SB10  
24 SB18

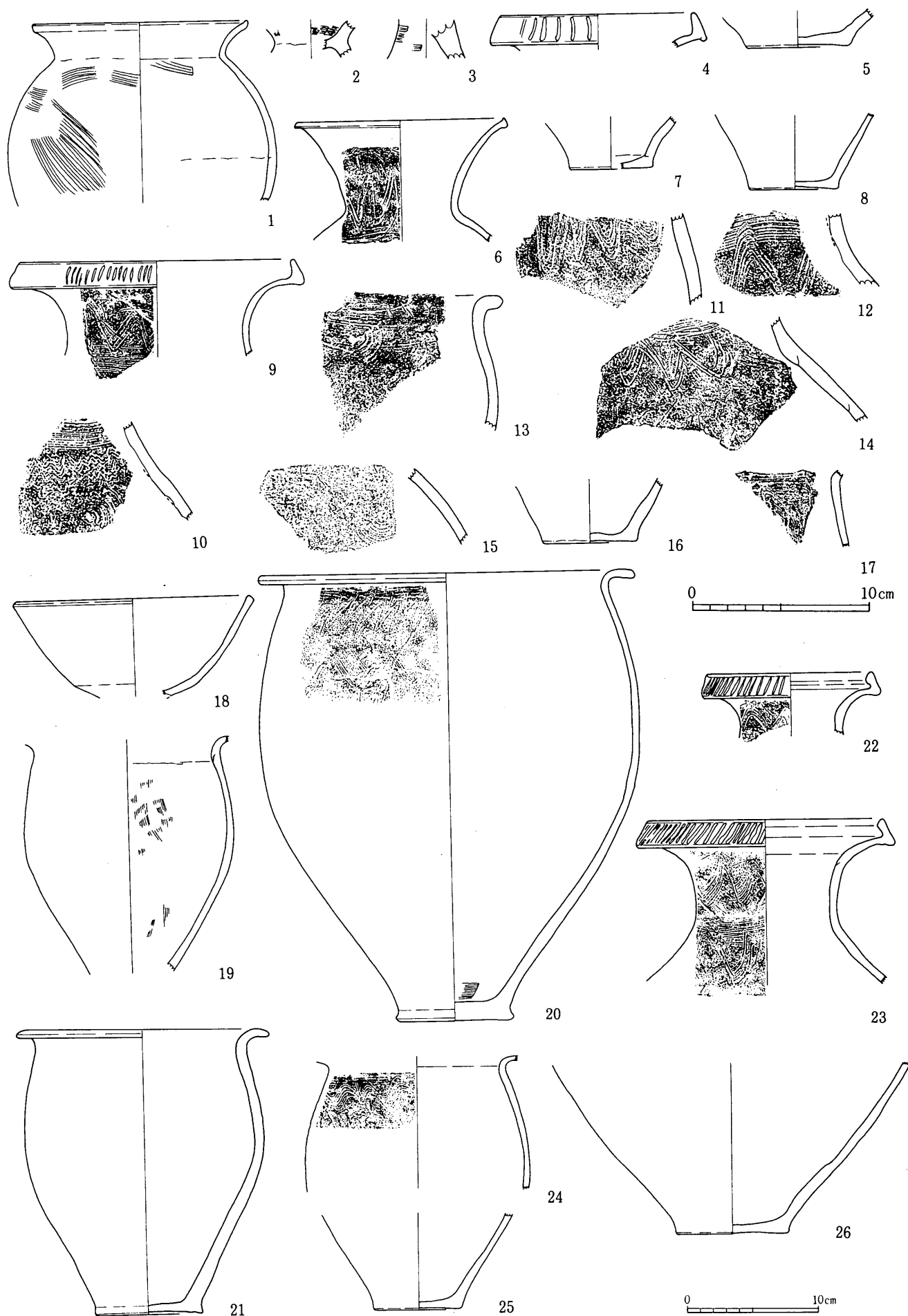
25~27 SB35  
28~30 SB37

31~33 SB42



第55图 SB出土遺物

1 SB42 17~21 SB46 26~30 SB53  
 2~16 SB45 22~25 SB50

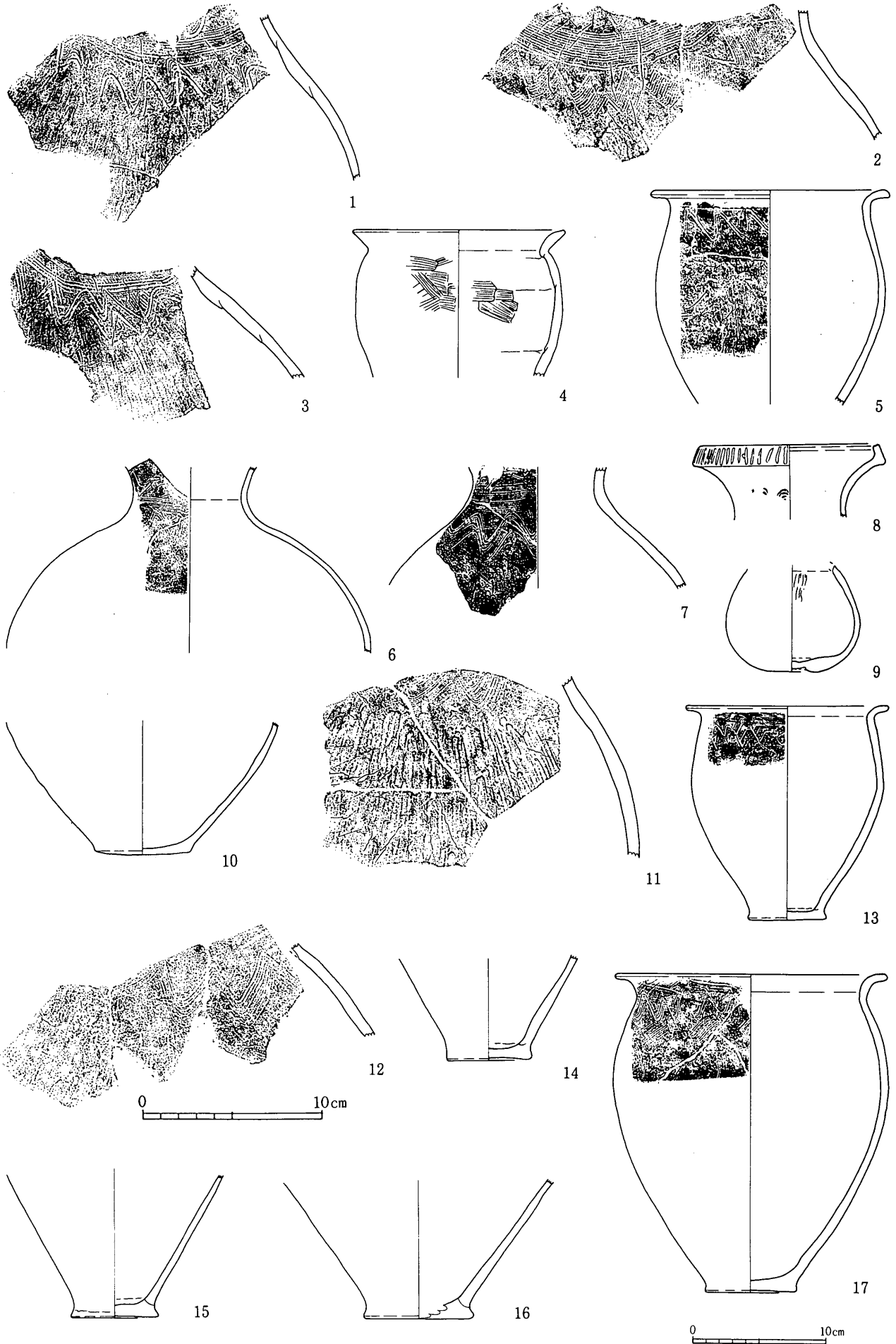


第56图 SB出土遺物

1~7 SB53  
8~14 SB55

15·16 SB72  
17 SB76

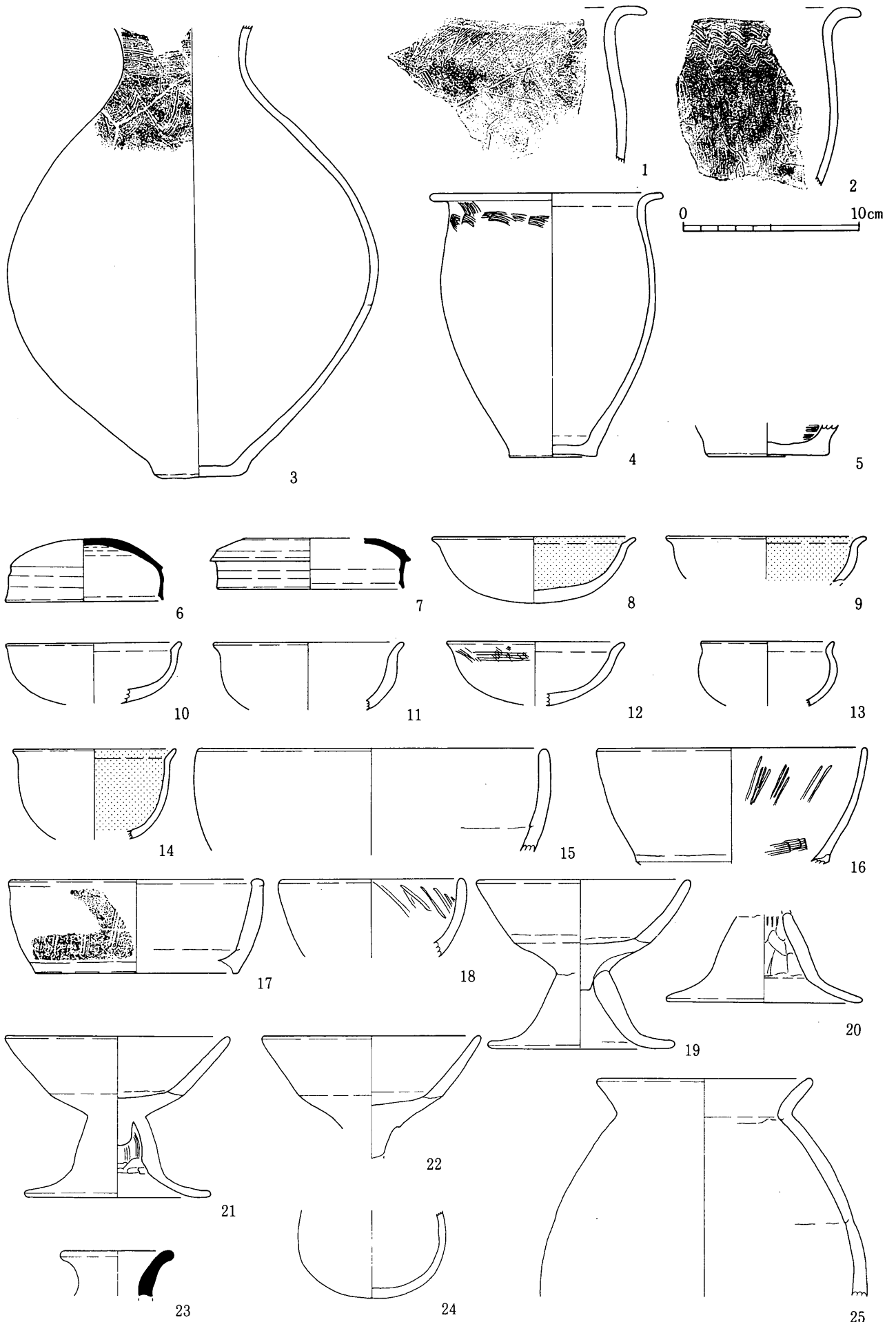
18~21 SB82  
22~26 SB83



第57图 SB出土遺物

1~3 SB83  
4~12 SB84

13~17 SB93

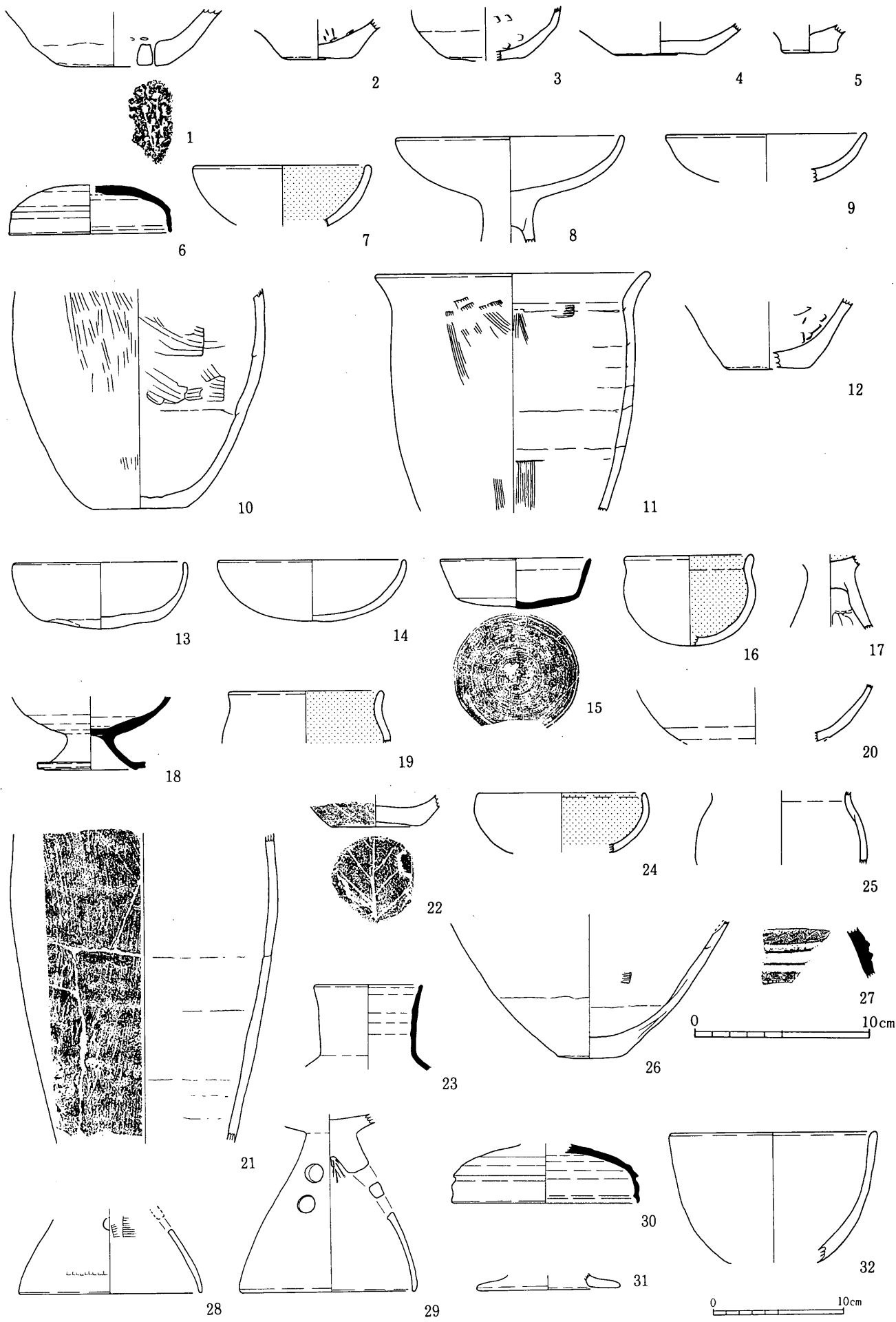


第58図 SB出土遺物

1~3 SB93  
4 SB95

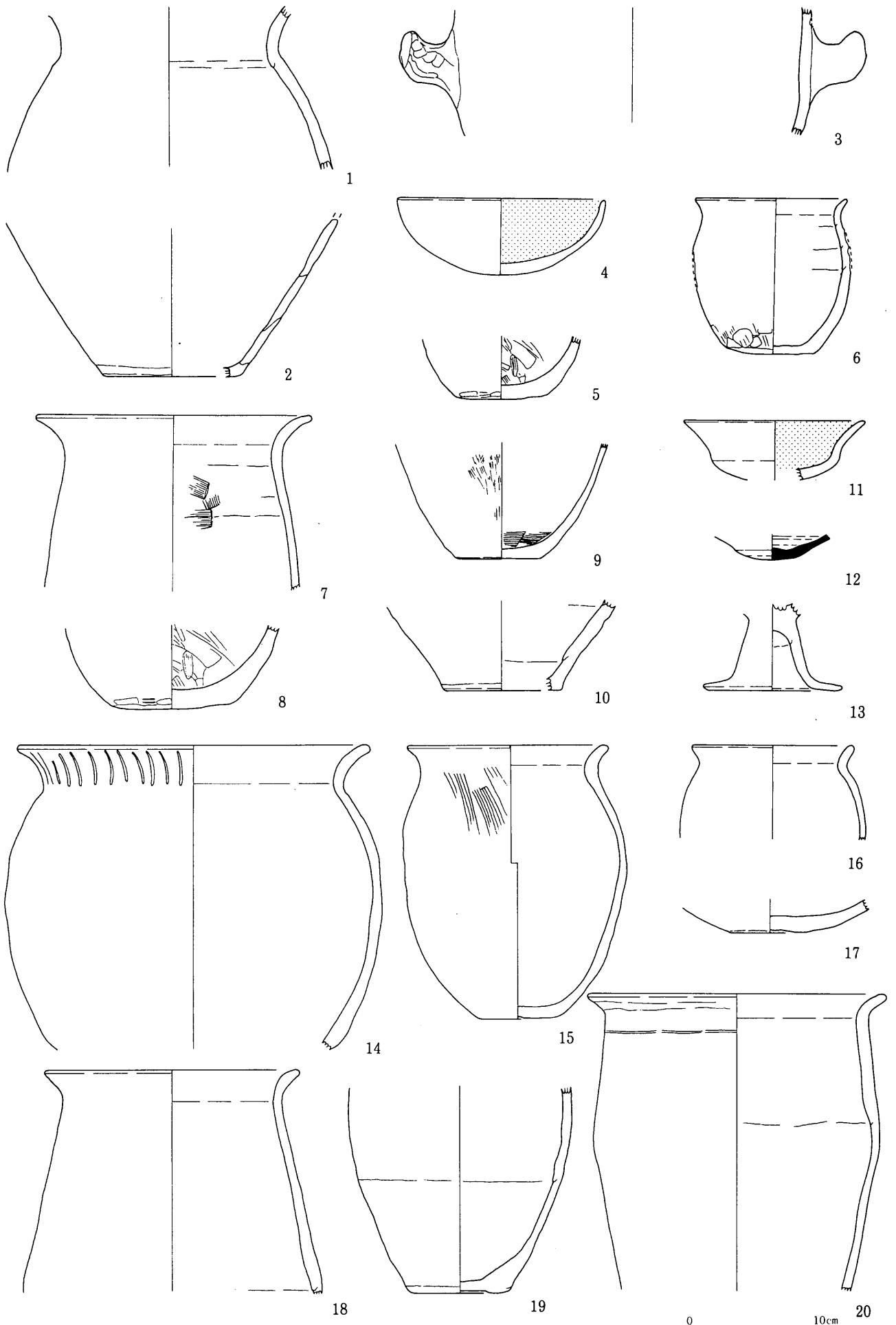
5 SB96  
6~25 SB01

0 10cm



第59図 SB出土遺物

1 ~ 5	SB01	13 ~ 23	SB06	28 · 29	SB15
6 ~ 12	SB05	24 ~ 27	SB13	30 ~ 32	SB17



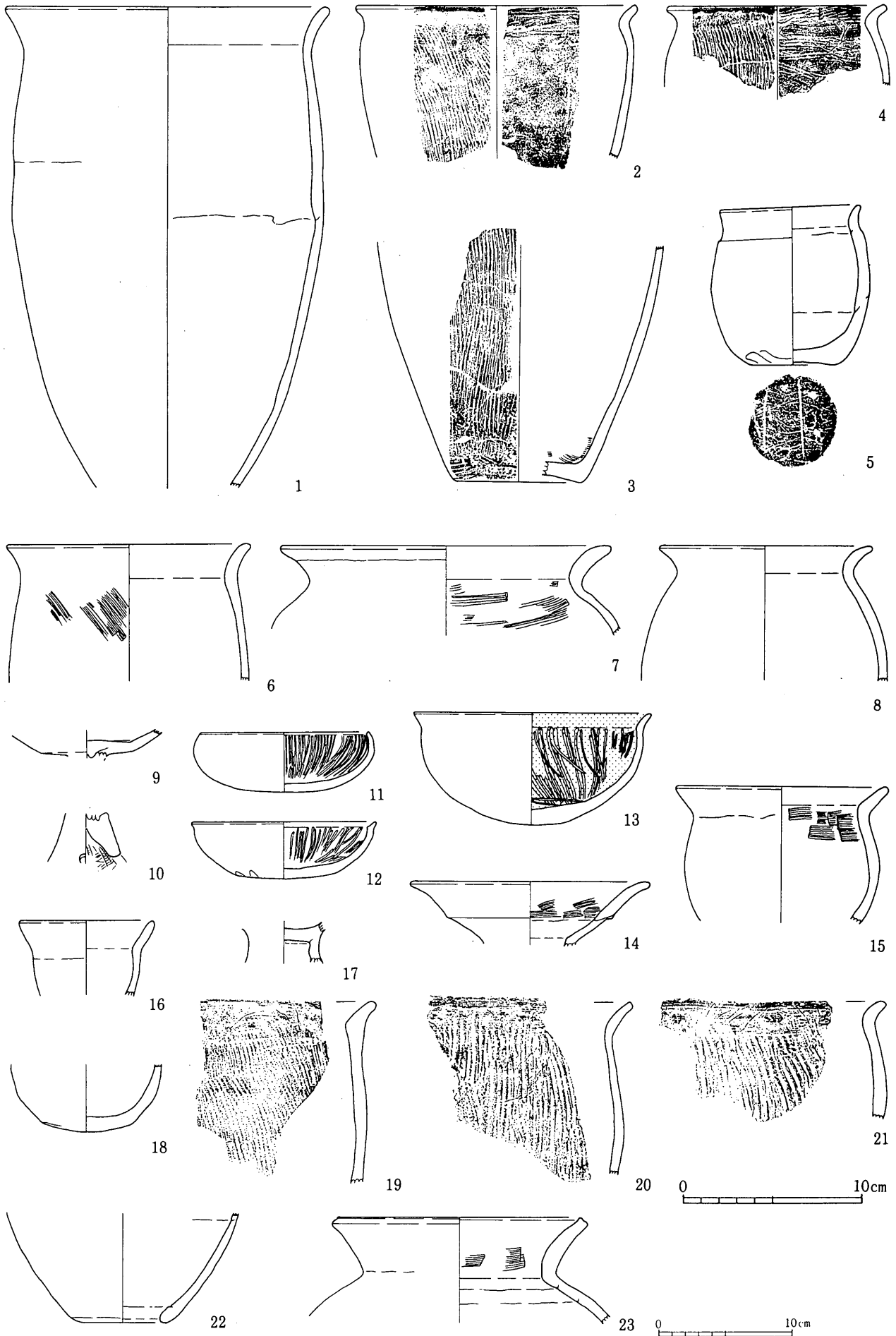
第60図 SB出土遺物

1~3 SB17  
4~10 SB19

11~20 SB20

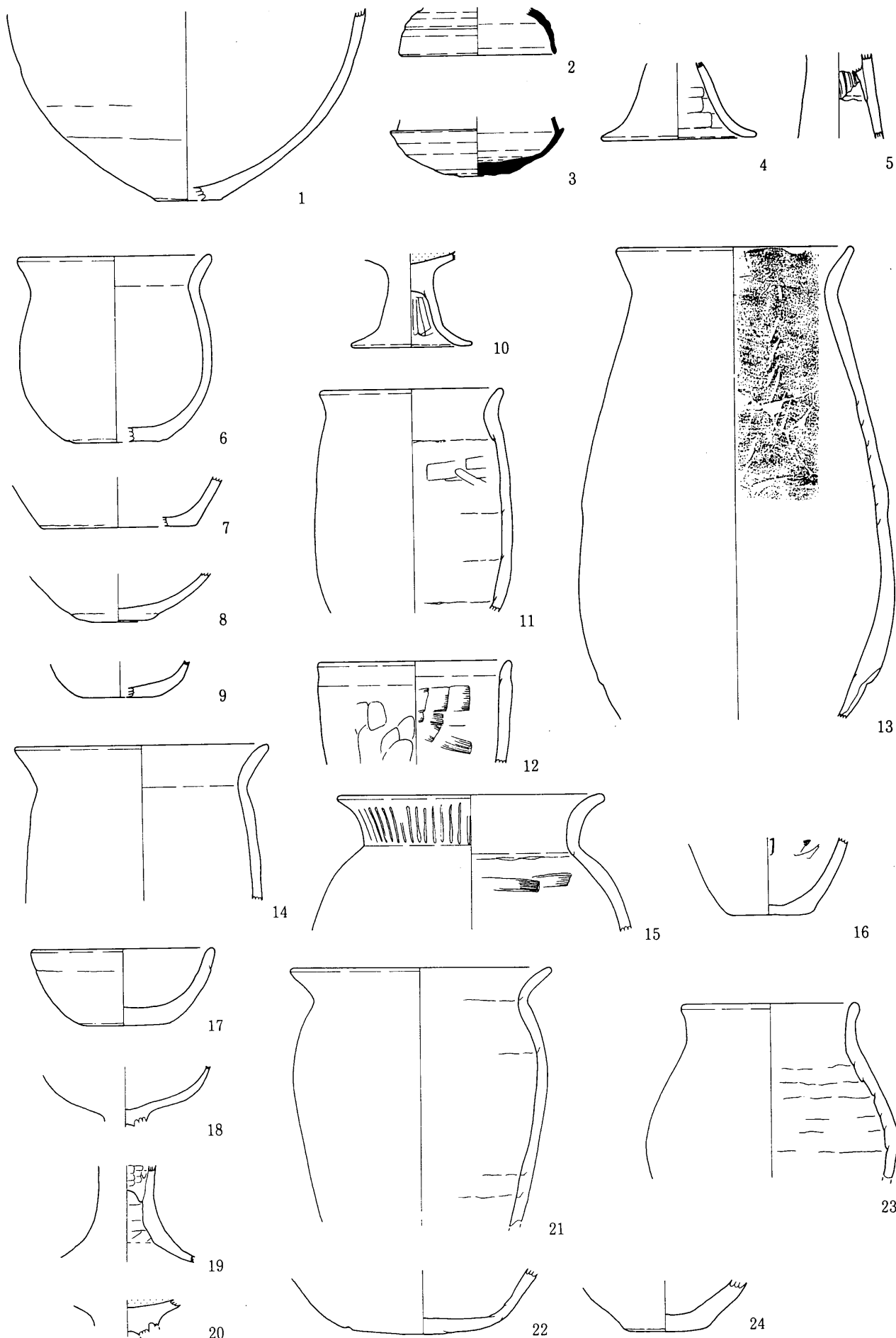
0 10cm





第61图 SB出土遺物

1 ~ 4 SB20  
 5 ~ 8 SB21  
 9 · 10 SB25  
 11 ~ 23 SB28

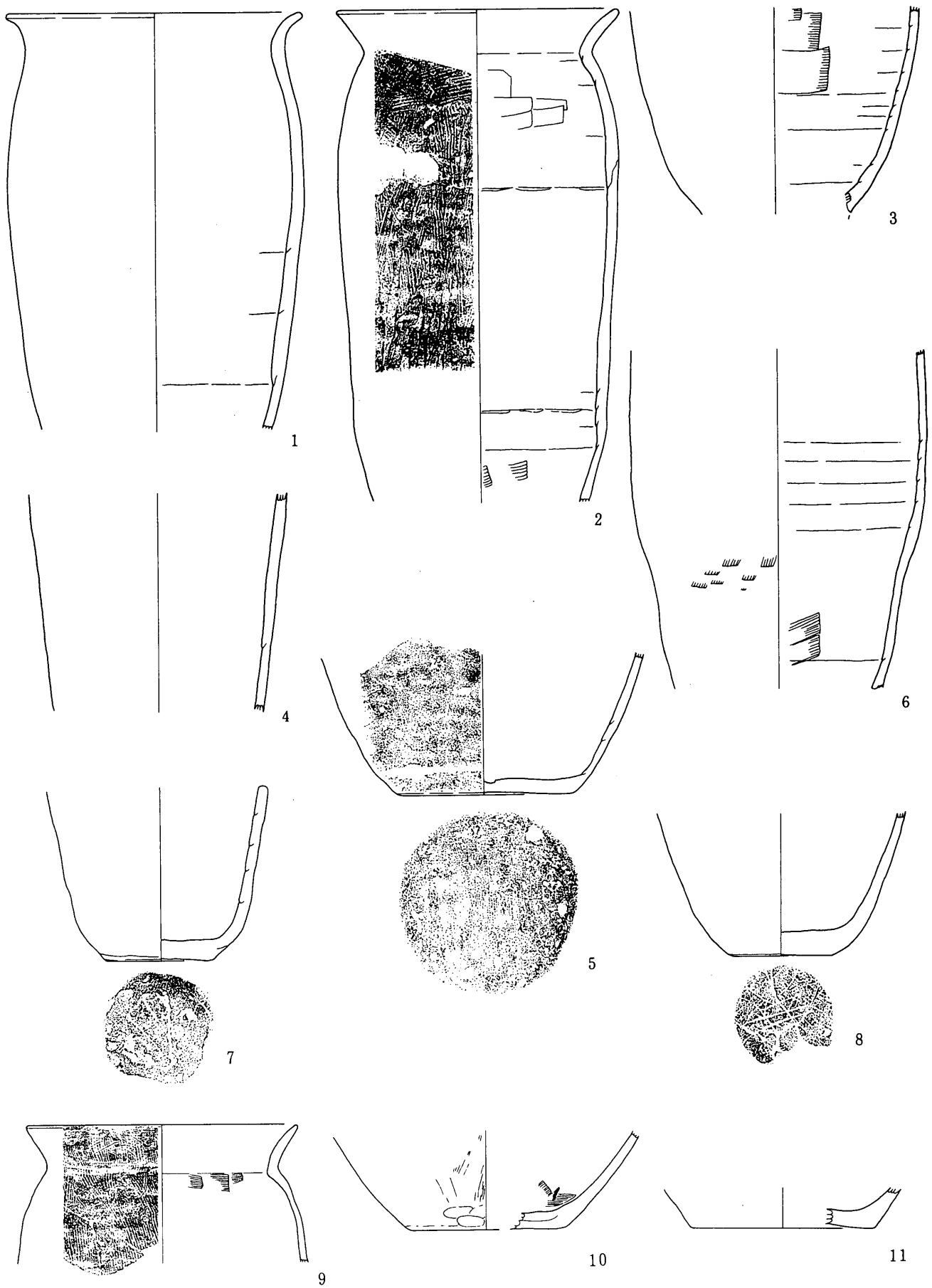


第62图 SB出土遺物

1 SB28  
2~9 SB30

10~16 SB32  
17~24 SB34

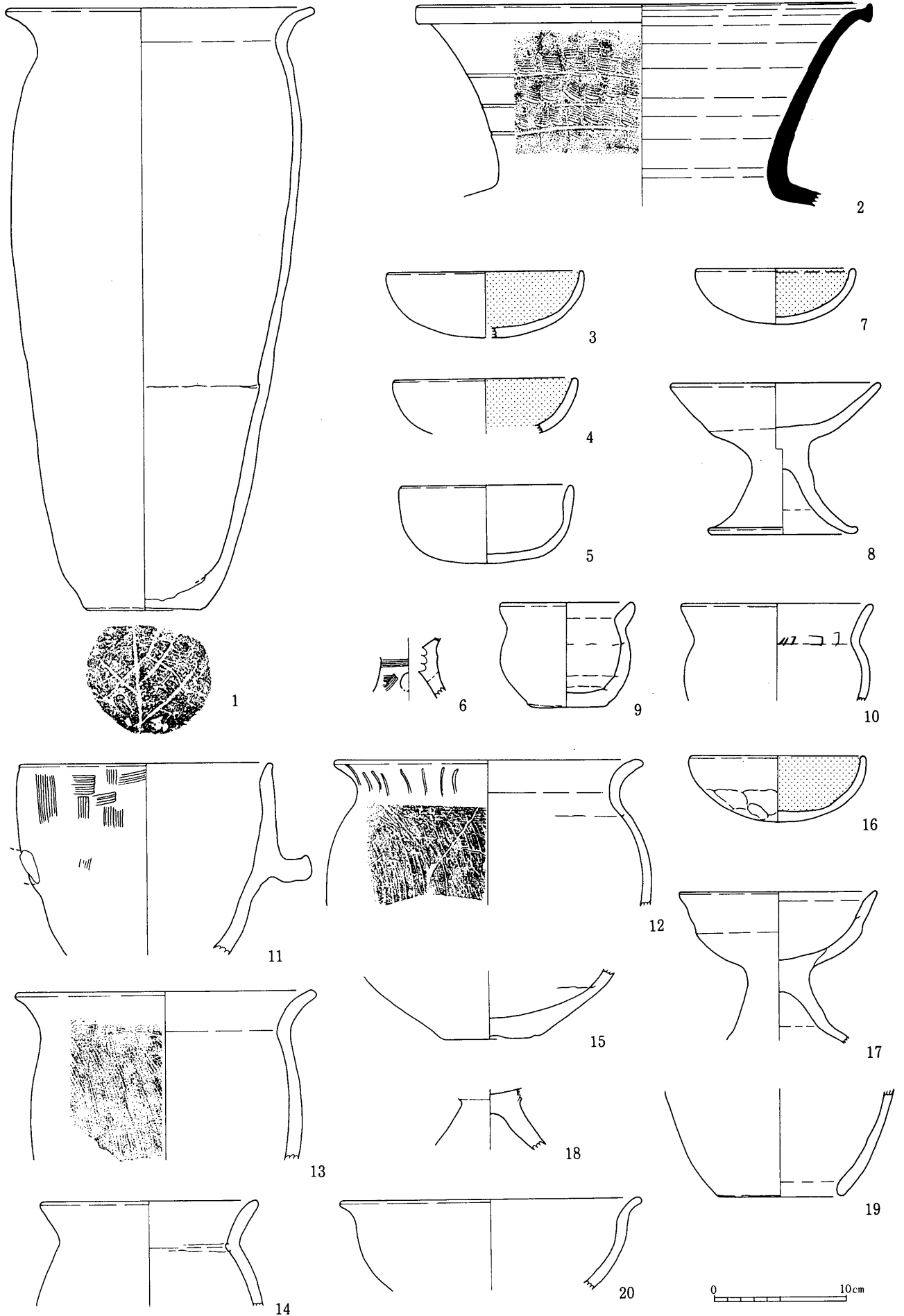
0 10cm



第63図 SB出土遺物

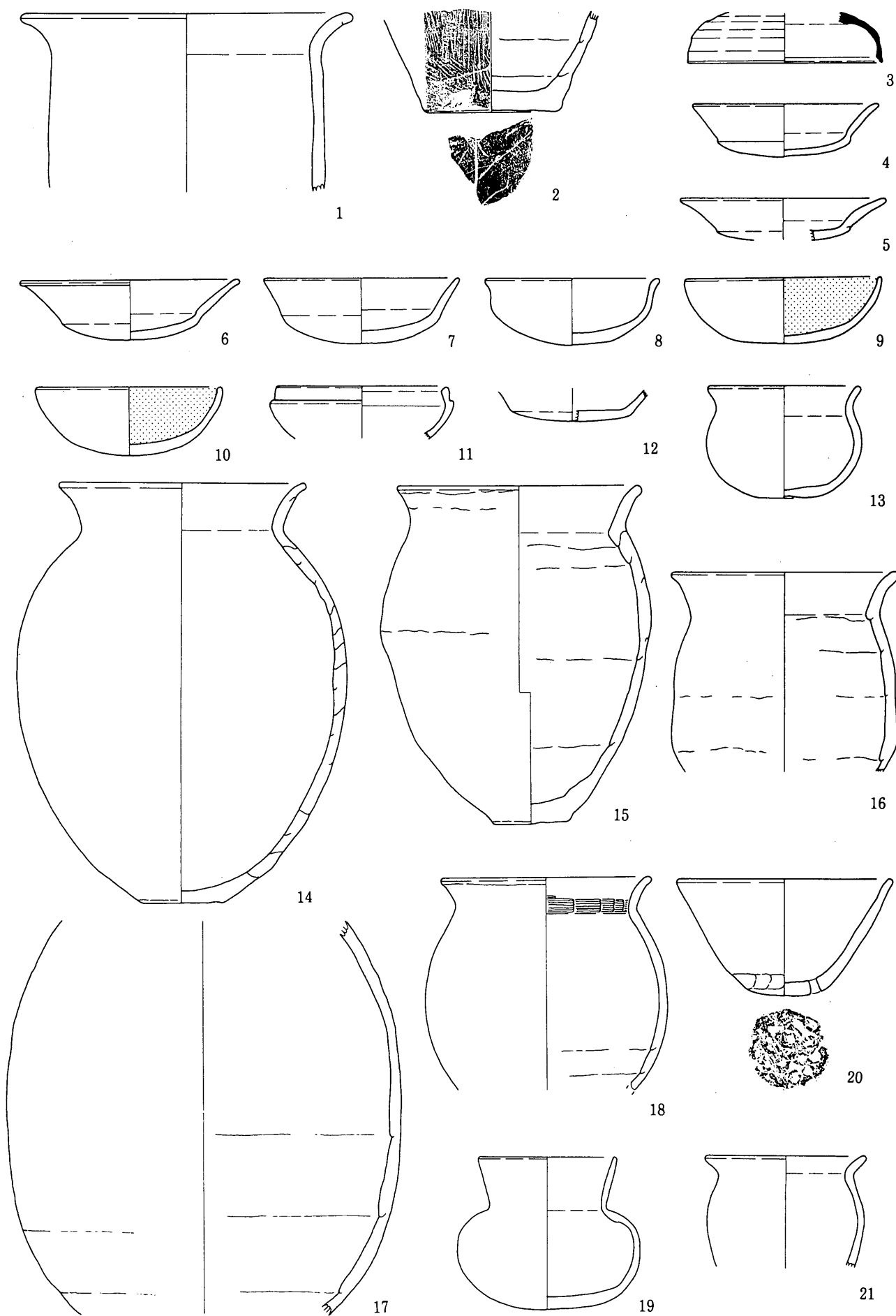
1 ~ 8 SB34  
9 ~ 11 SB36

0 10cm



第64図 SB出土遺物

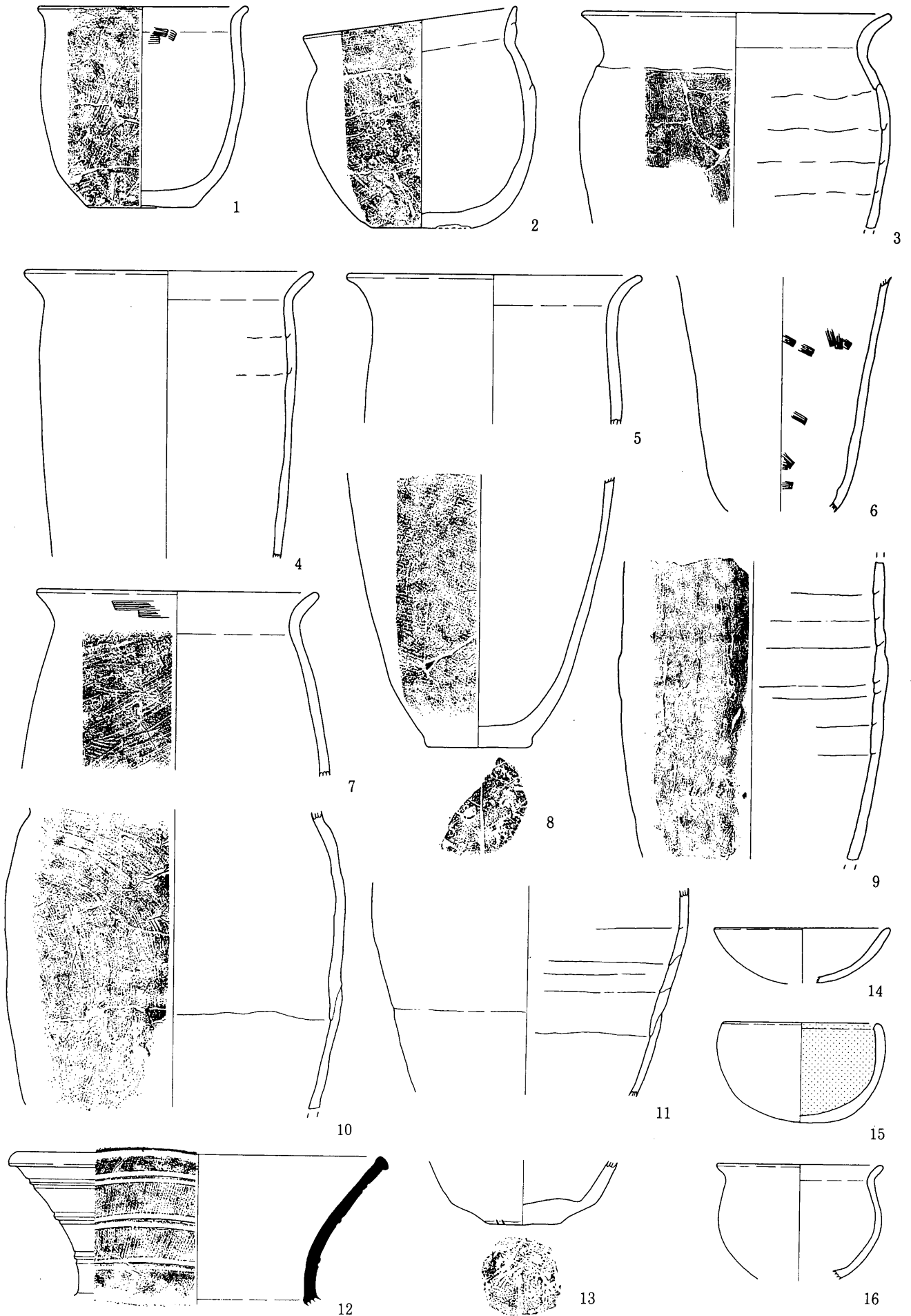
1・2	SB36	4~6	SB48	12・13	SB57	16~19	SB61
3	SB38	7~11	SB56	14・15	SB59	20	SB68



第65図 SB出土遺物

1・2 SB68  
3~20 SB75

21 SB77 0 10cm

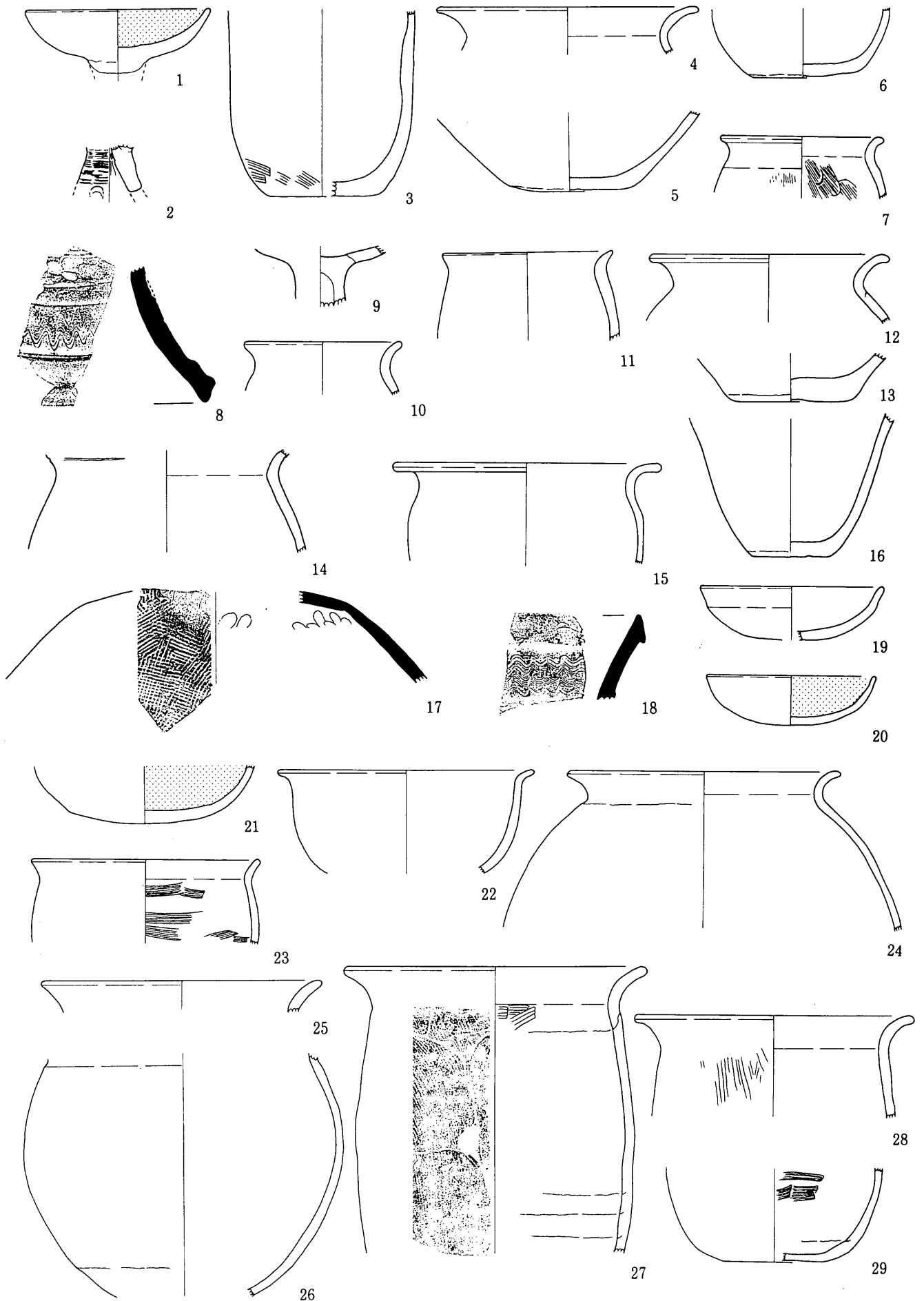


第66图 SB出土遺物

1~12 SB77  
13 SB80

14~16 SB86 0

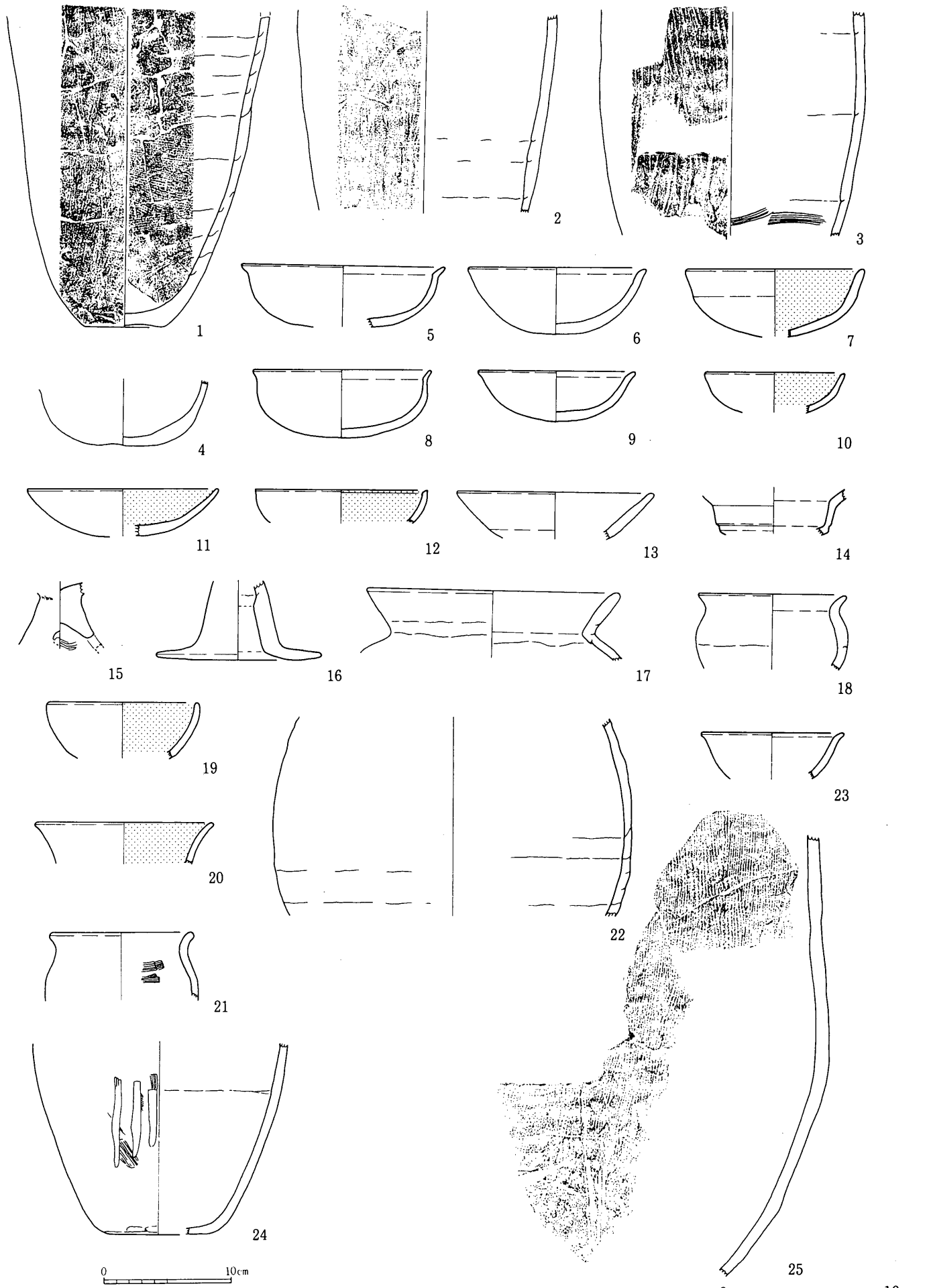
10cm



第67图 SB出土遺物

1~6 SB86 9~18 SB91  
7·8 SB90 19~29 SB92

0 10 cm



第68图 SB出土遺物

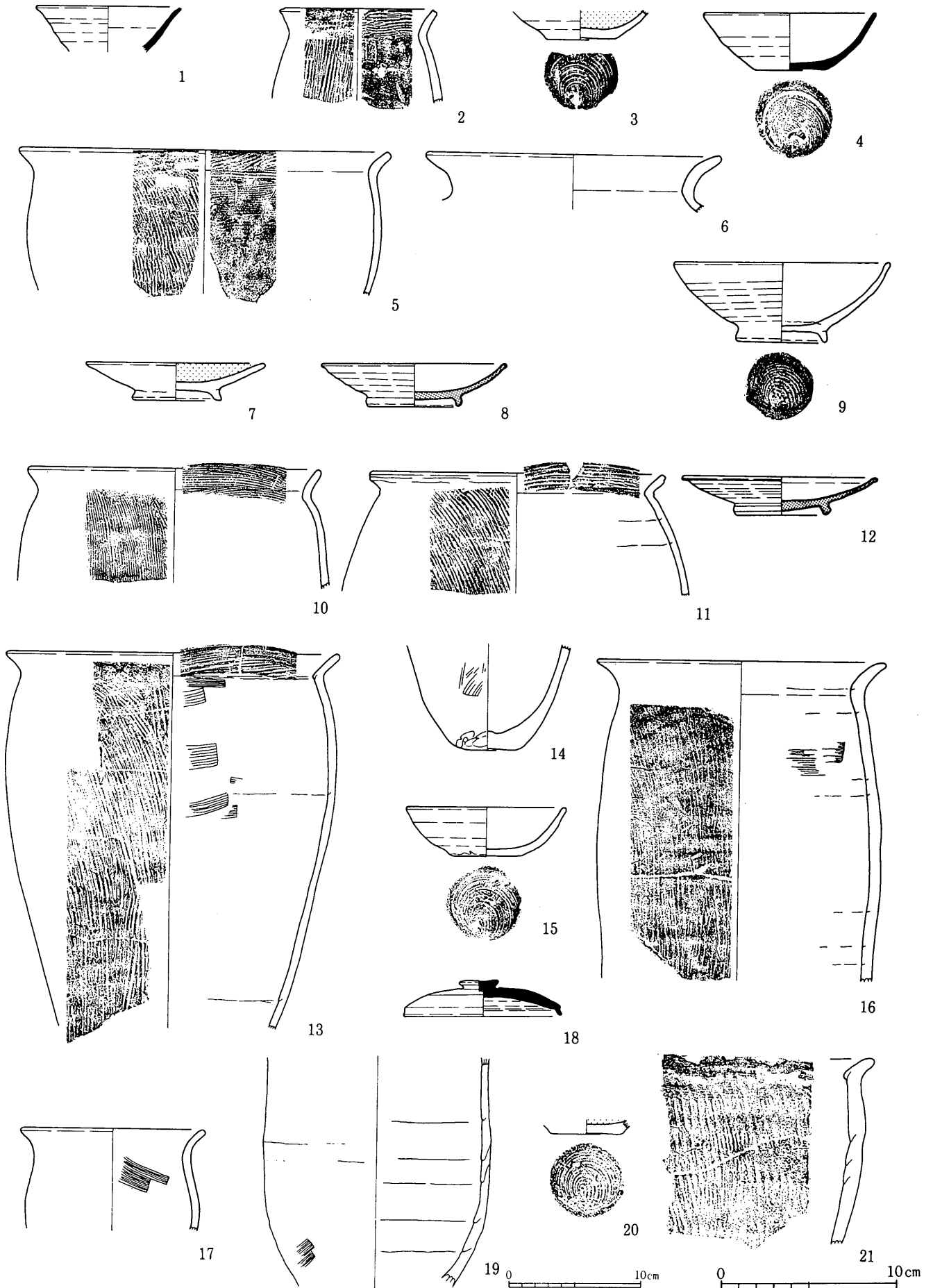
1~3 SB92  
4 SB97

5~18 SB98  
19~22 SB99

23~25 SB102

0 10cm

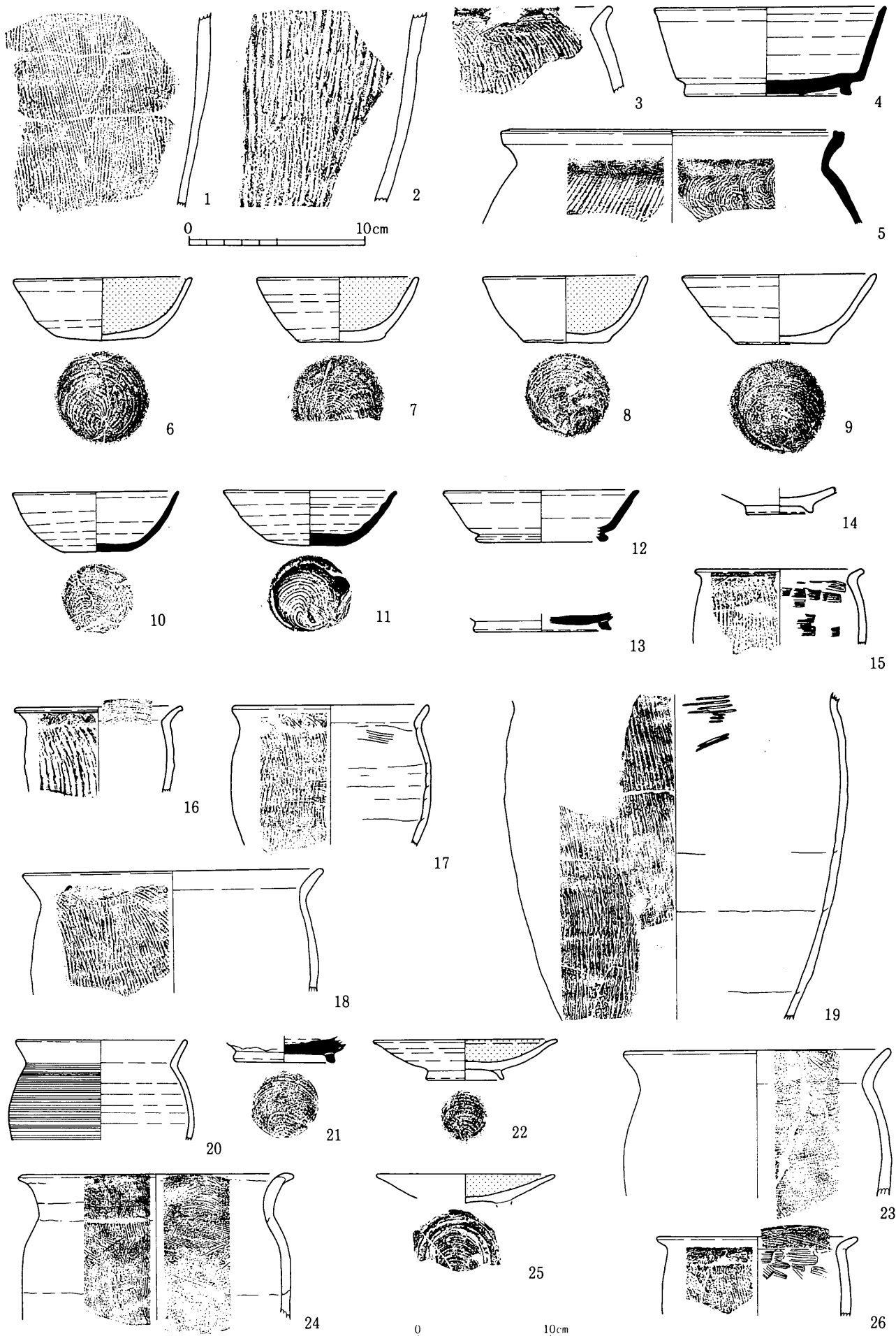




第69图 SB出土遺物

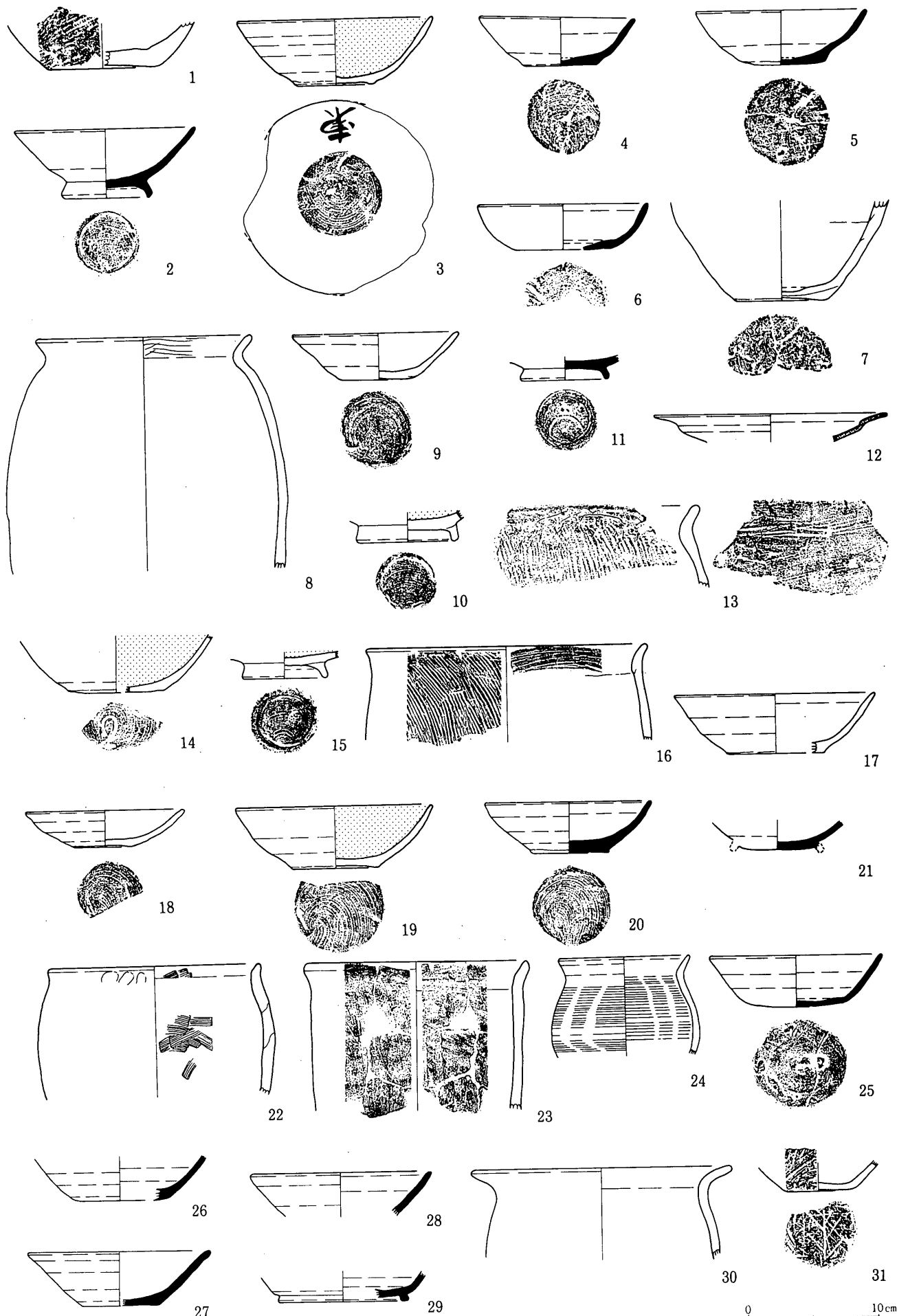
1・2 SB07 7~11 SB31 15~17 SB44  
 3~6 SB14 12~14 SB33 18・19 SB51

20・21 SB60



第70図 SB出土遺物

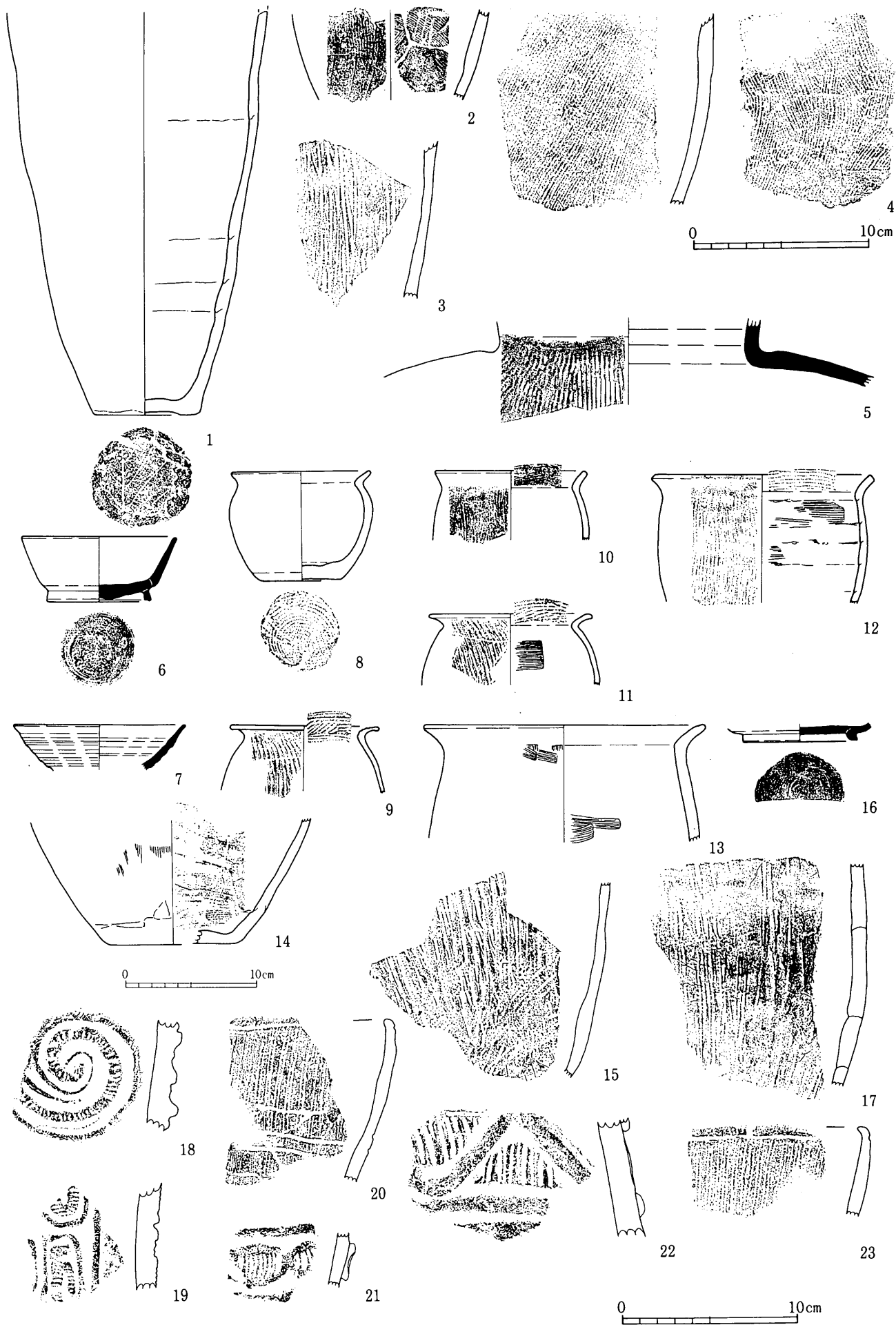
1	SB60	4・5	SB65	21~24	SB67
2・3	SB62	6~20	SB66	25・26	SB73



第71图 SB出土遺物

- |     |      |       |      |       |      |
|-----|------|-------|------|-------|------|
| 1   | SB73 | 9~13  | SB79 | 17~24 | SB85 |
| 2~8 | SB74 | 14~16 | SB81 | 25~31 | SB87 |

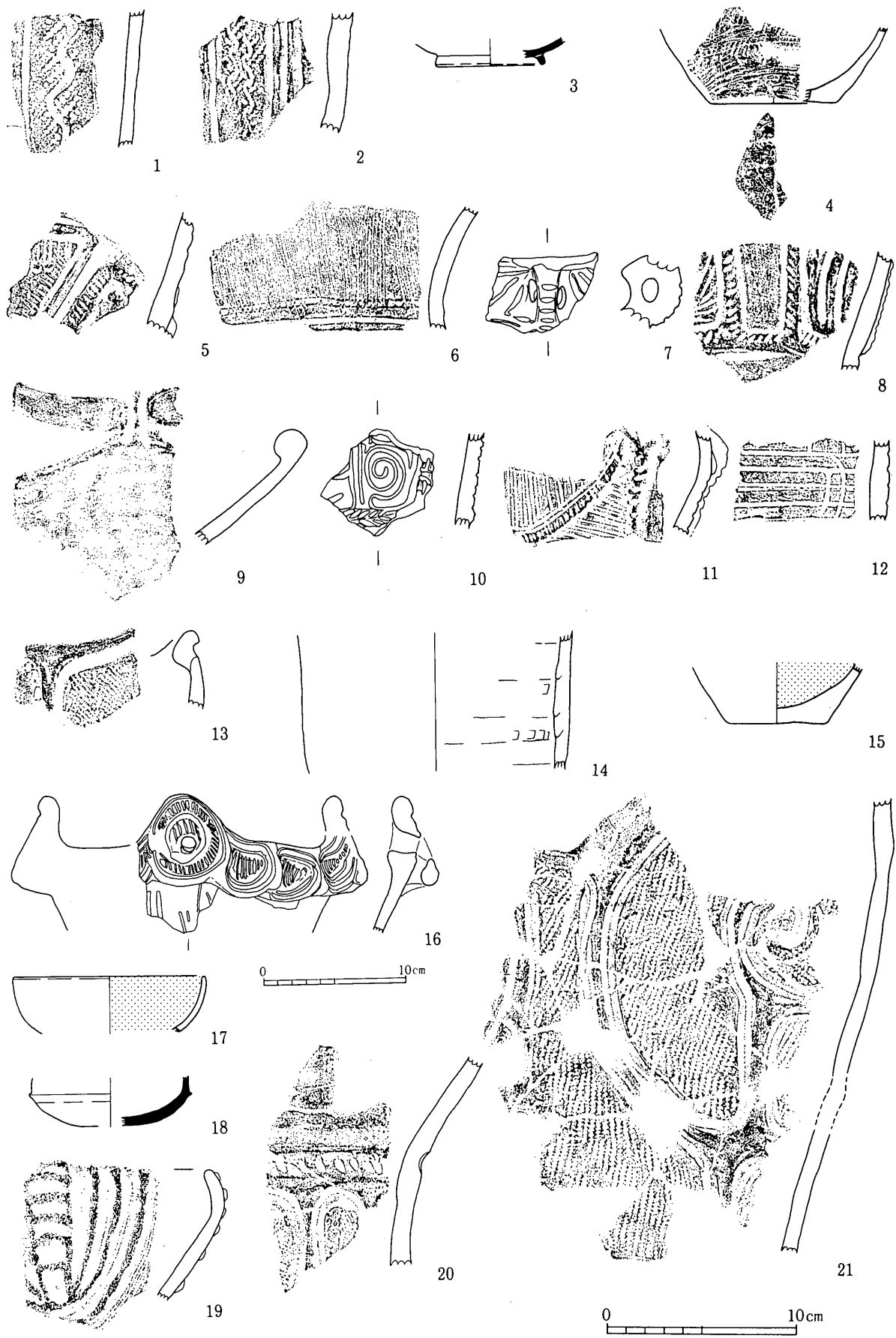
0 10cm



第72図 SB・SB時期外出土遺物

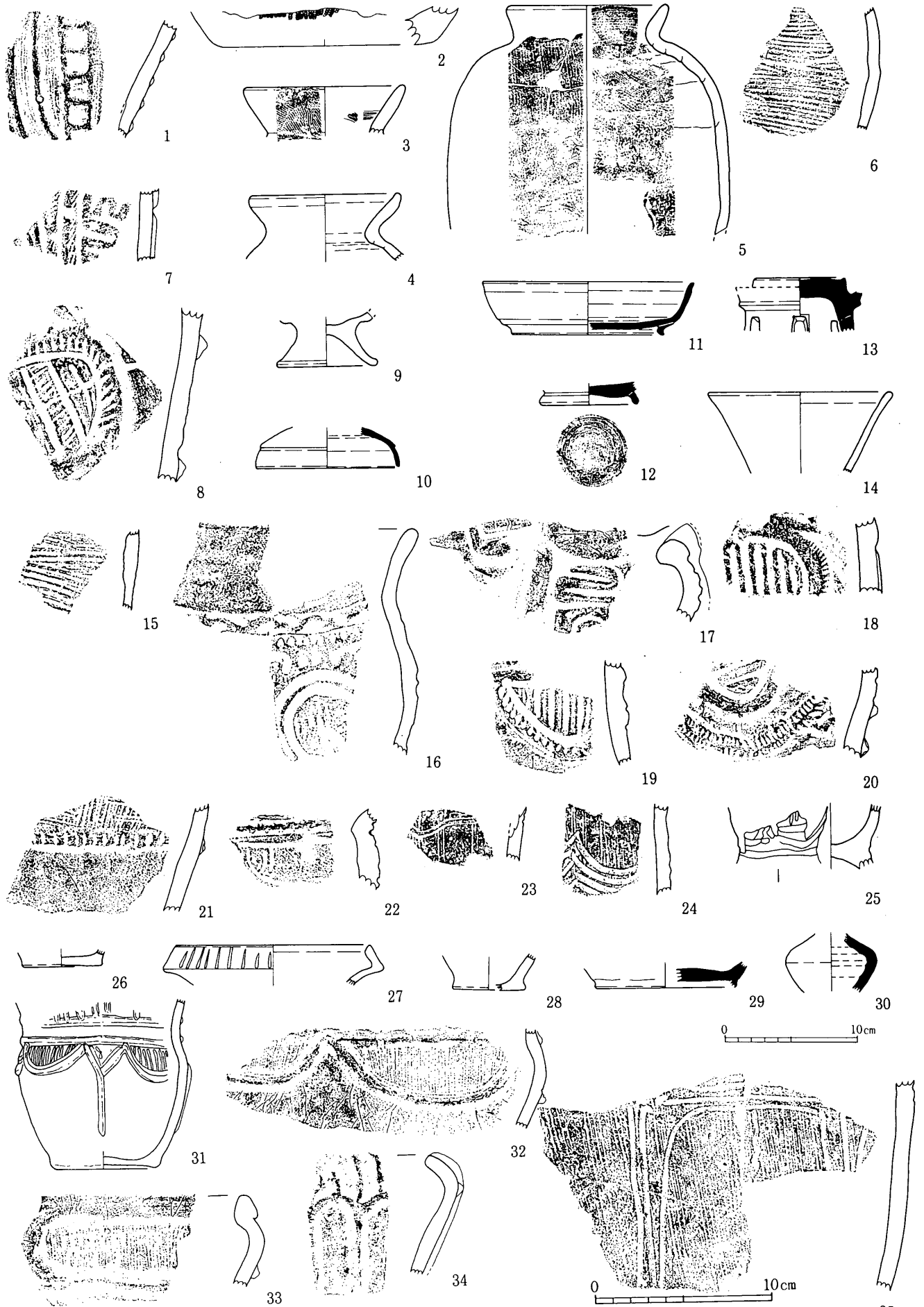
1 ~ 5 SB87  
6 ~ 15 SB88

16・17 SB89  
18~23 SB24 (時期外)



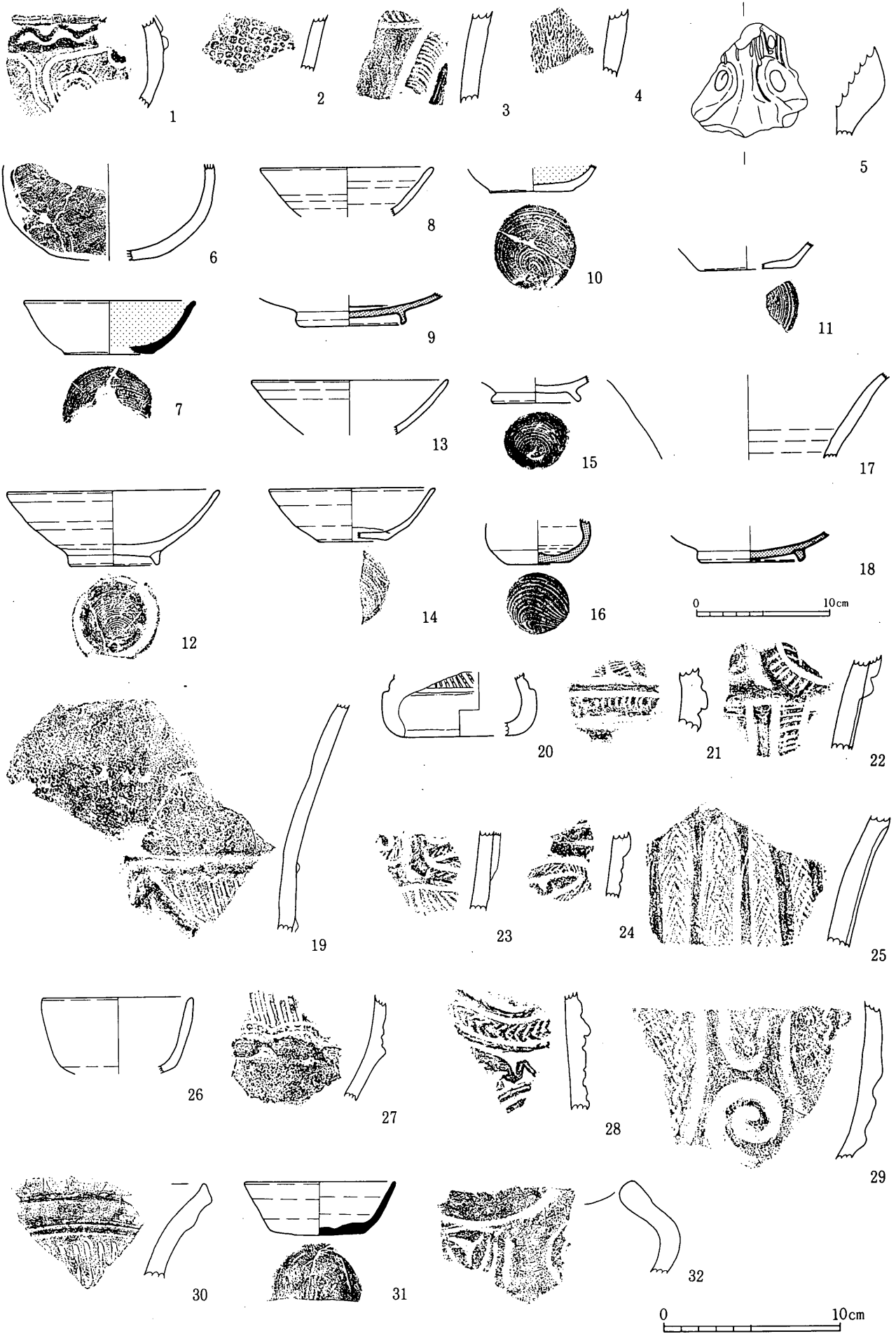
第73図 SB時期外出土遺物

1~4 SB24    10~13 SB49    15 SB02    19~21 SB18  
 5~9 SB43    14 SB69    16~18 SB10



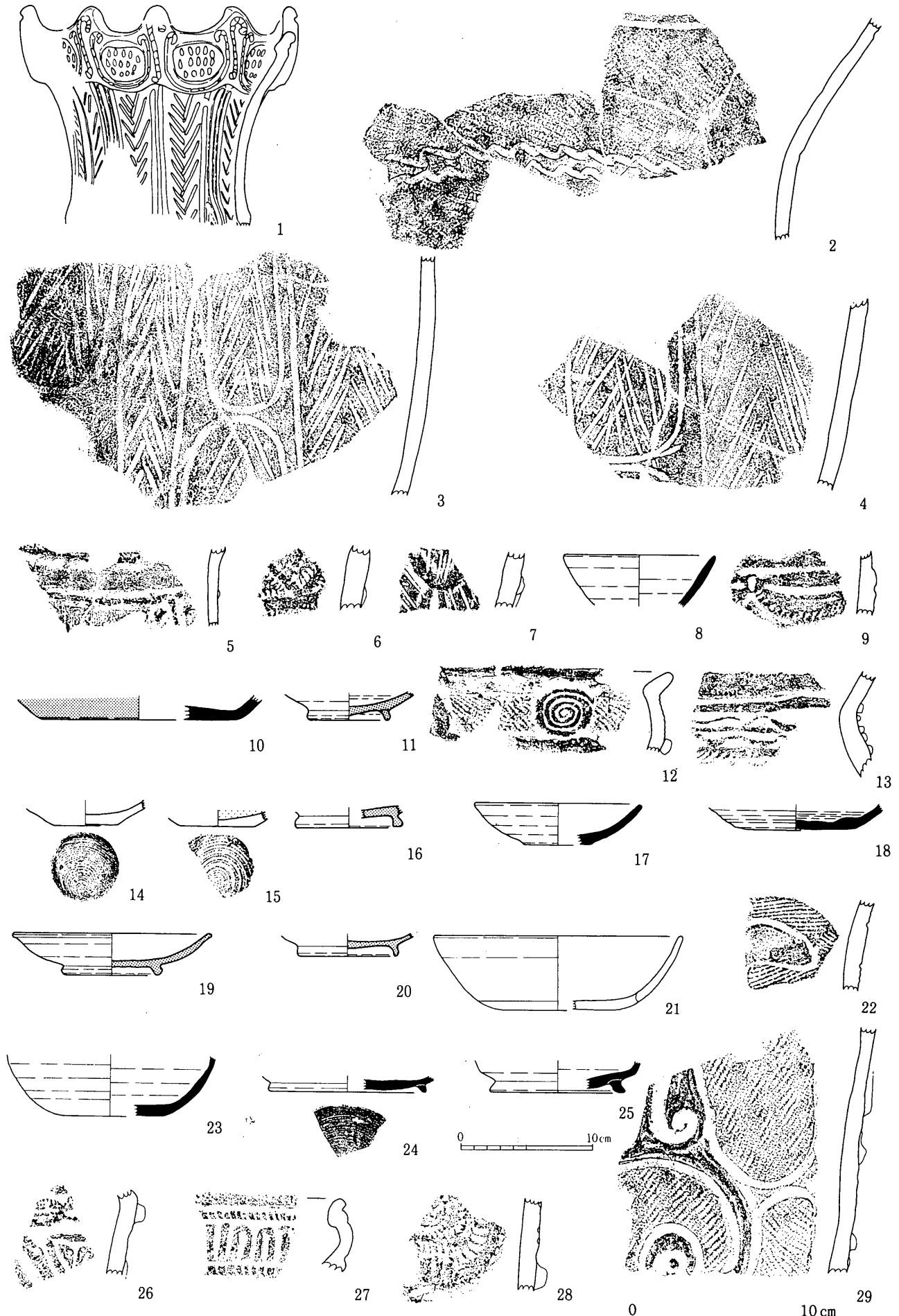
第74図 SB時期外出土遺物

- |     |      |     |      |       |      |       |      |       |      |    |  |
|-----|------|-----|------|-------|------|-------|------|-------|------|----|--|
| 1   | SB18 | 6   | SB42 | 11・12 | SB76 | 15    | SB93 | 31~35 | SB17 | 35 |  |
| 2   | SB35 | 7~9 | SB46 | 13    | SB82 | 16    | SB96 |       |      |    |  |
| 3~5 | SB37 | 10  | SB55 | 14    | SB84 | 17~30 | SB01 |       |      |    |  |



第75図 SB時期外出土遺物

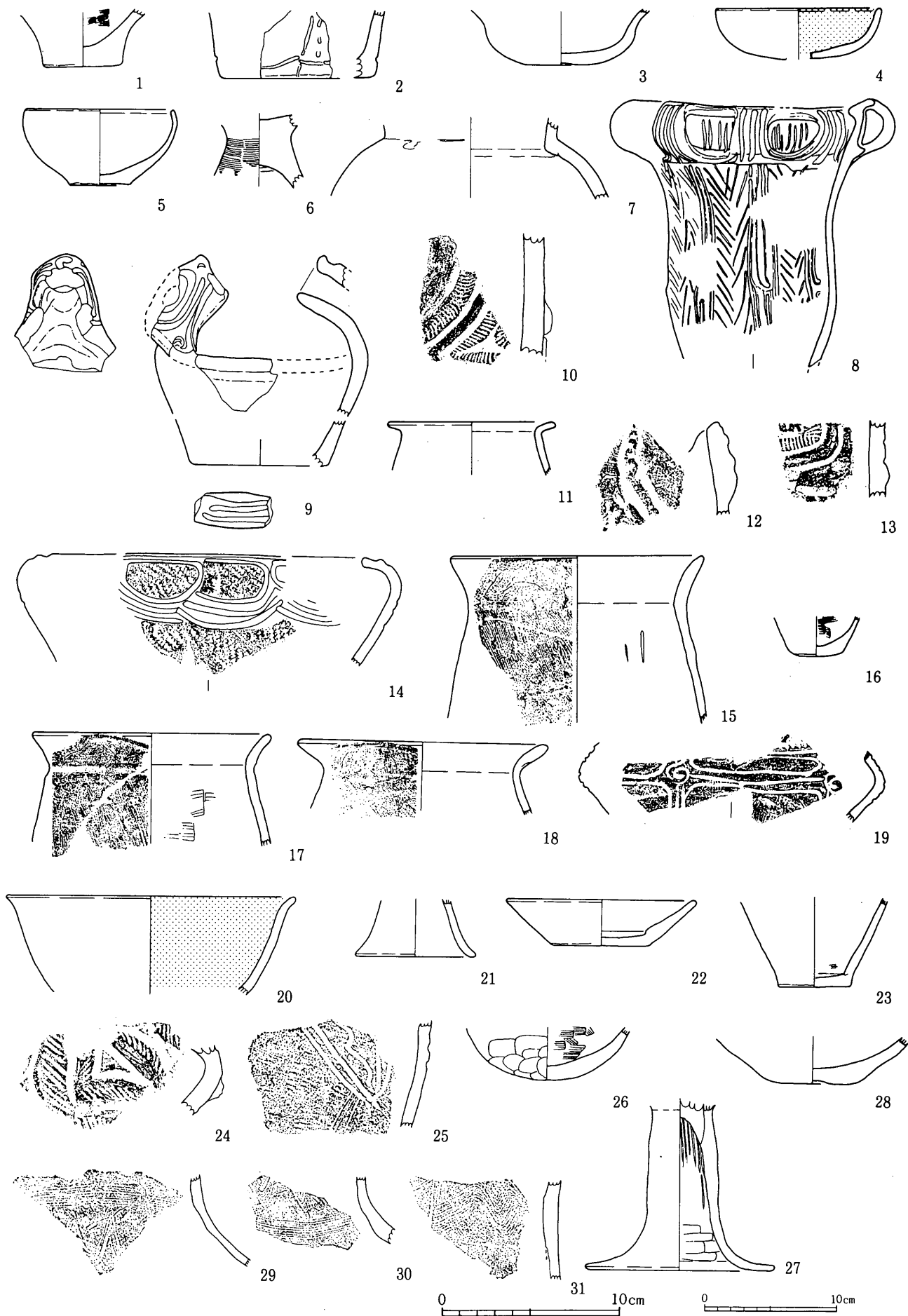
1	SB17	12~18	SB28	27~31	SB34
2~11	SB20	19~26	SB32	32	SB36



第76图 SB时期外出土遺物

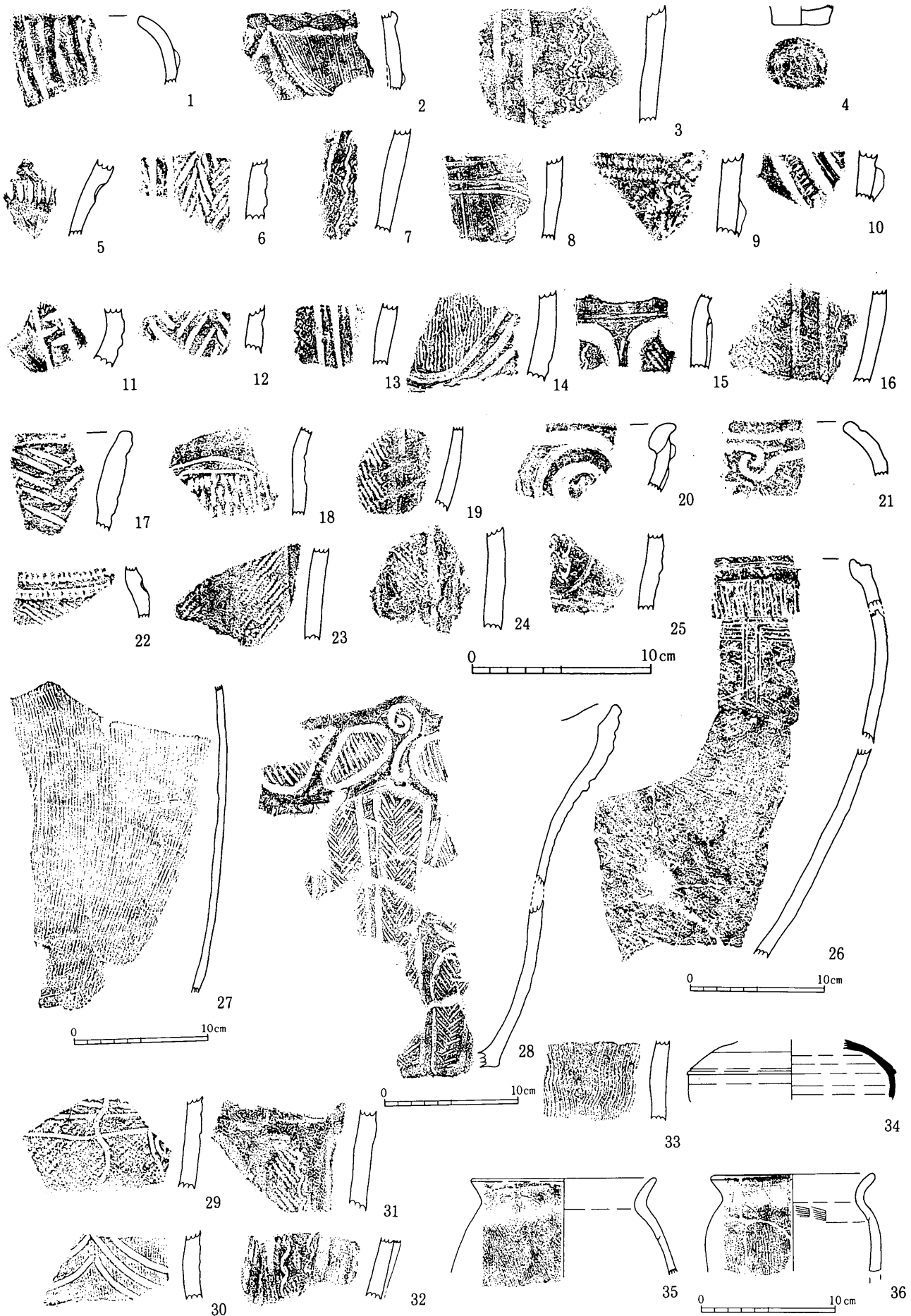
- |     |      |       |      |       |      |       |      |
|-----|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 1~4 | SB36 | 9~11  | SB48 | 14~20 | SB75 | 22~25 | SB91 |
| 5~8 | SB38 | 12·13 | SB61 | 21    | SB86 | 26~29 | SB92 |



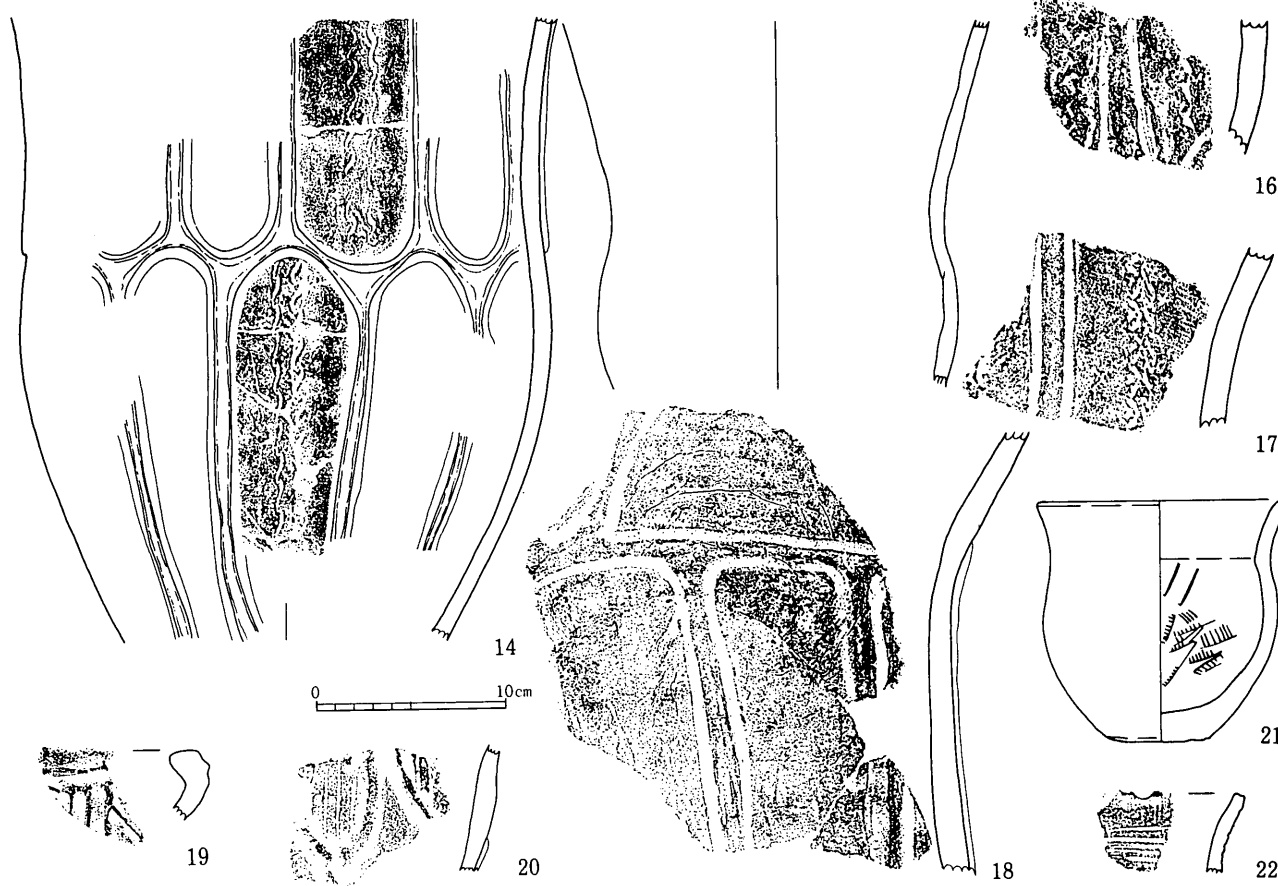
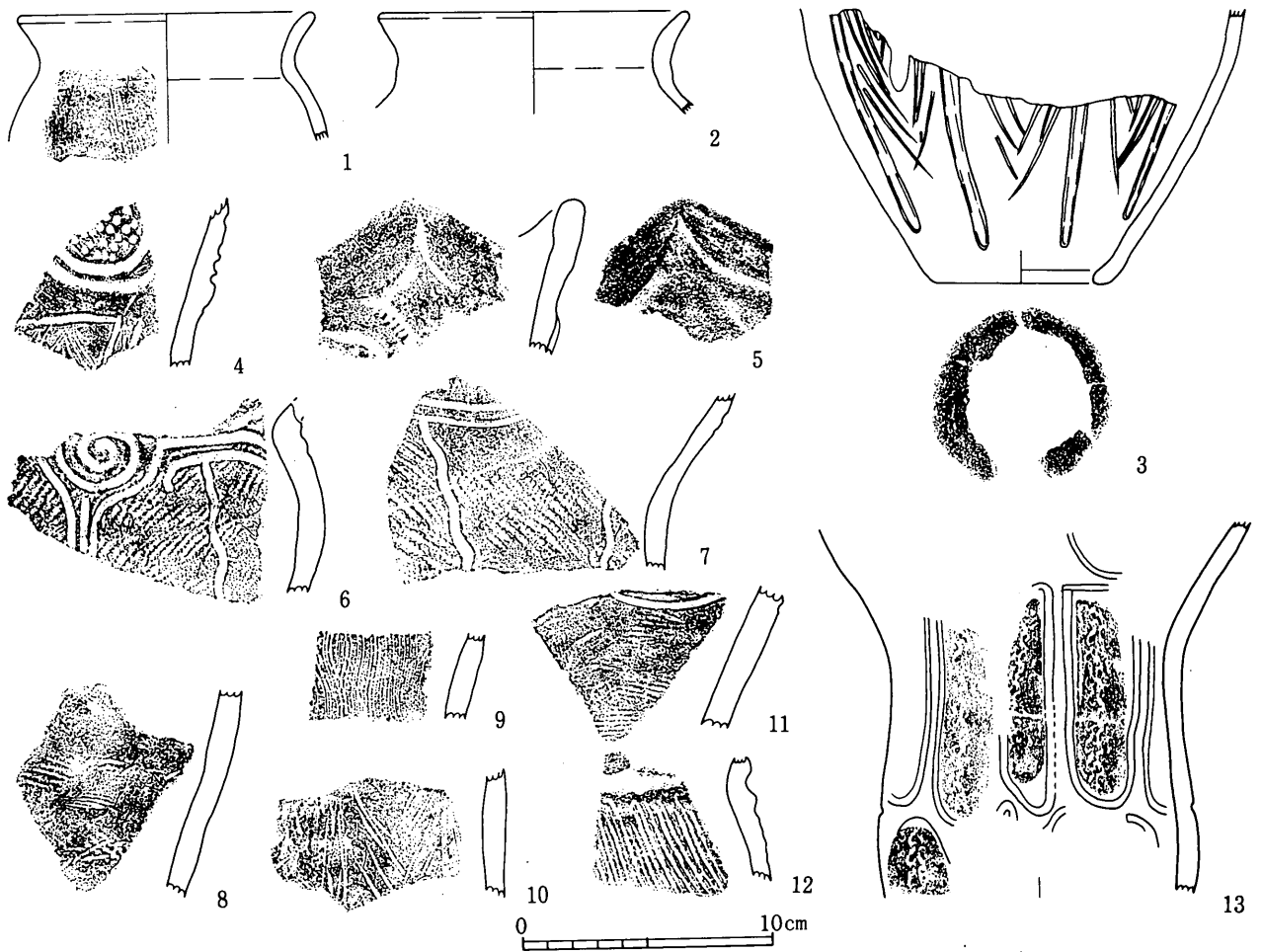


第77図 SB・SB時期外・ST出土遺物

- |               |                 |            |
|---------------|-----------------|------------|
| 1 SB92(時期外)   | 10 SB66(時期外)    | 19~21 SB27 |
| 2 SB99(時期外)   | 11 SB85(時期外)    | 22・23 SB41 |
| 3~7 SB31(時期外) | 12・13 SB88(時期外) | 24~27 SB52 |
| 8・9 SB33(時期外) | 14~18 SB11      | 28 SB54    |
|               |                 | 29~31 ST01 |



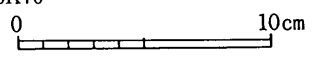
第78图 SI·SK出土遺物

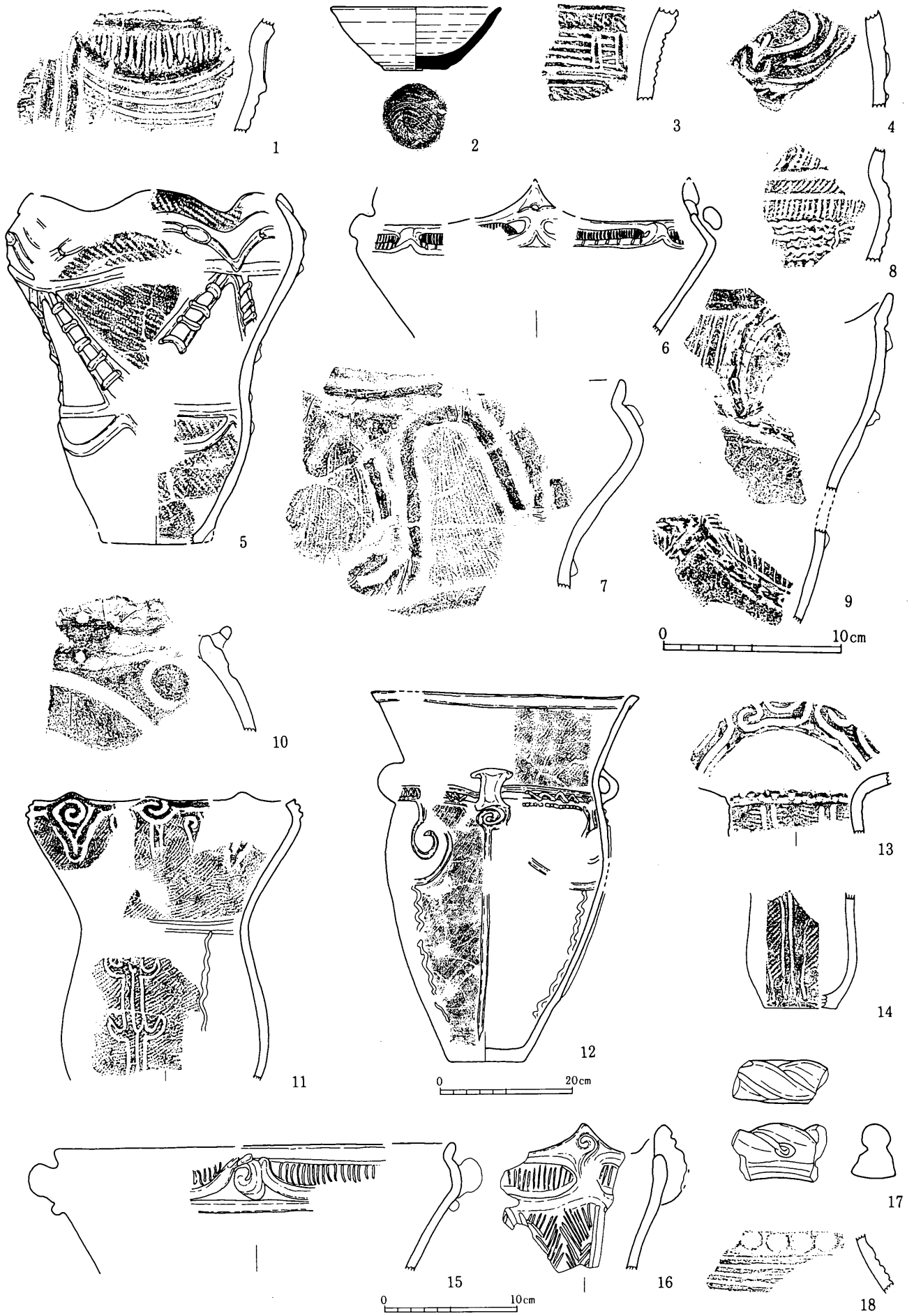


第79图 SK出土遺物

- |       |      |         |      |    |      |
|-------|------|---------|------|----|------|
| 1 · 2 | SK43 | 5 ~ 9   | SK52 | 19 | SK57 |
| 3     | SK46 | 10 ~ 12 | SK53 | 20 | SK60 |
| 4     | SK48 | 13 ~ 18 | SK54 | 21 | SK71 |

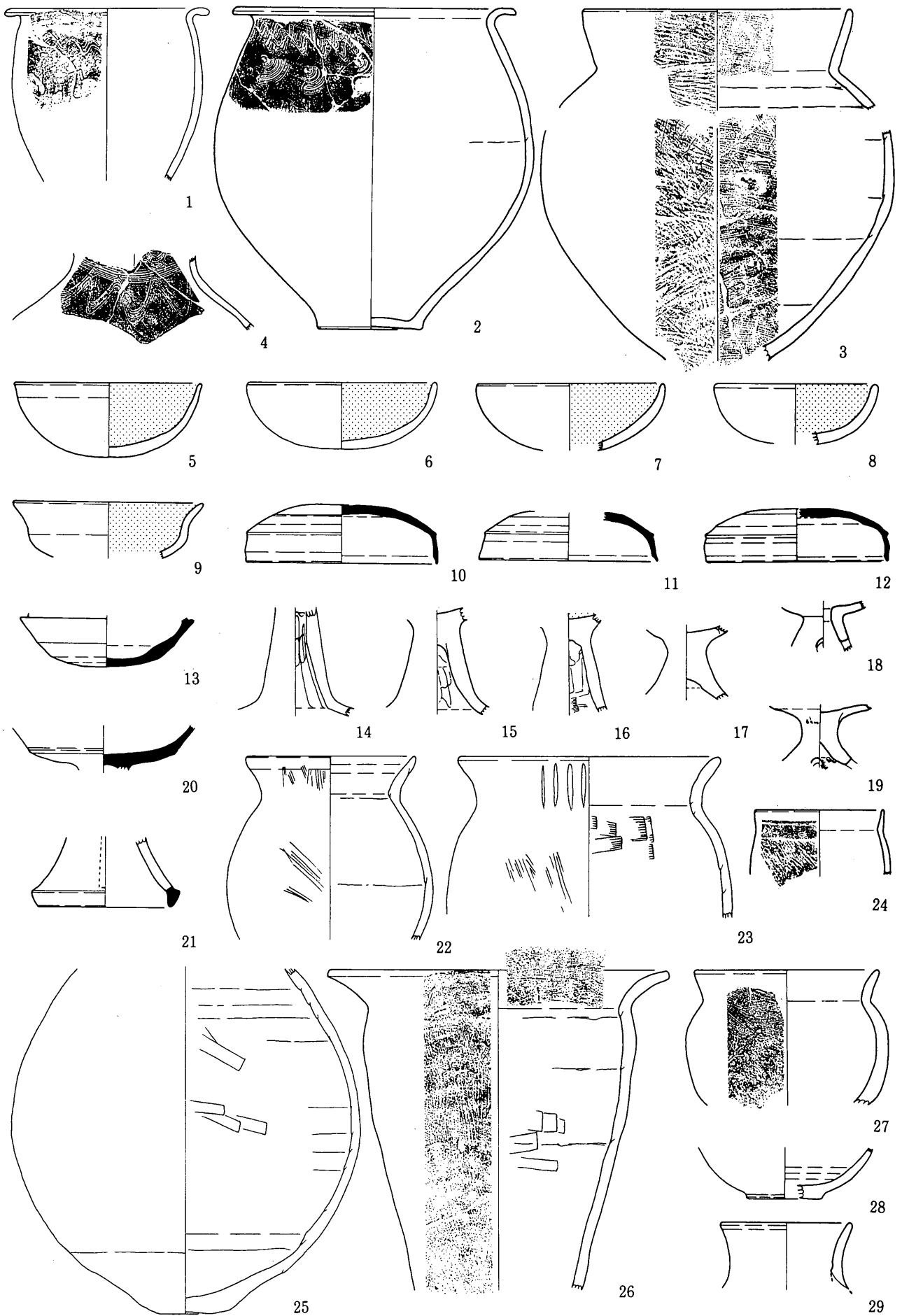
- |    |      |
|----|------|
| 22 | SK76 |
|----|------|



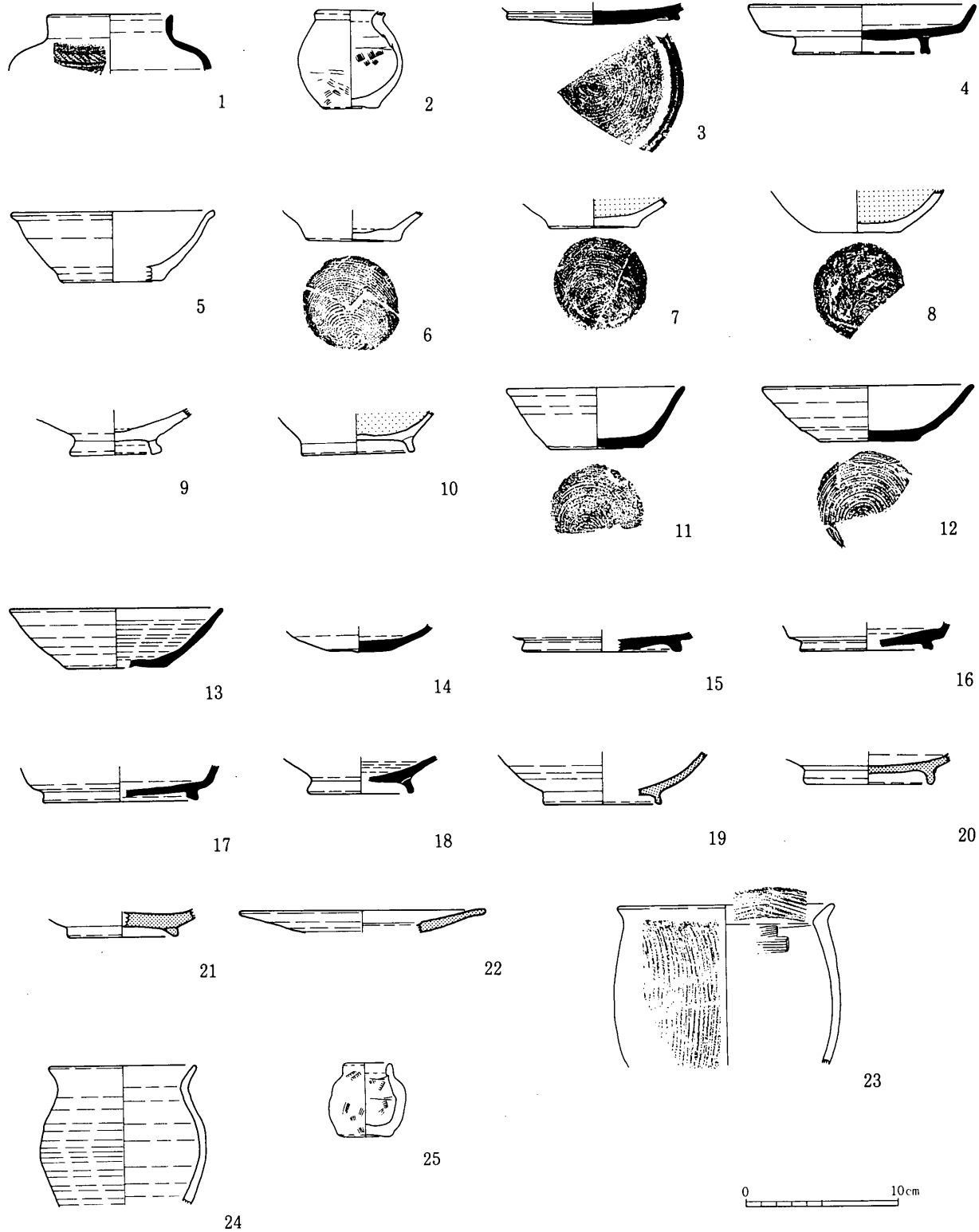


第80图 SK・遺構外出土遺物

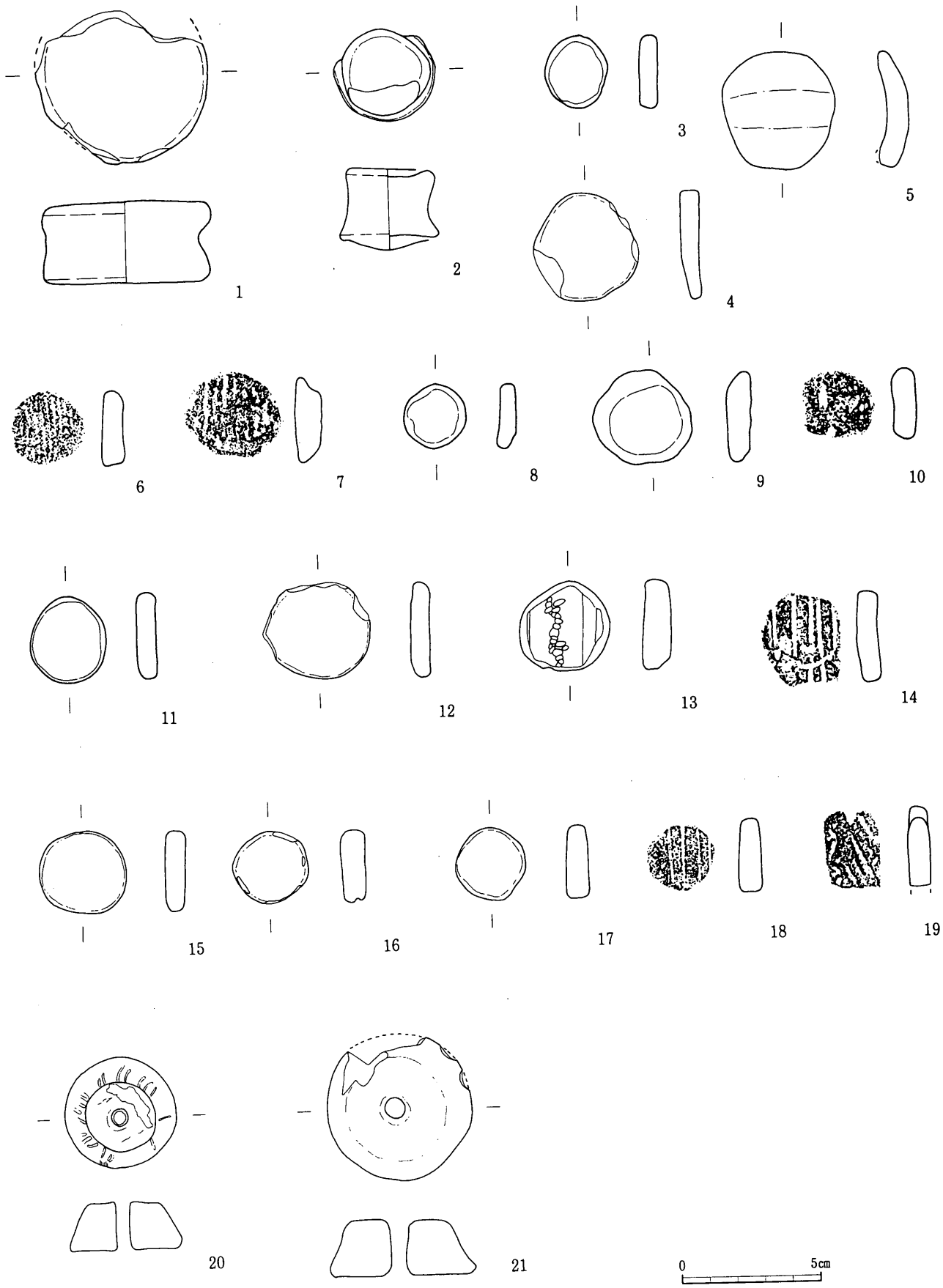
1・2 SK80  
3~18 遺構外



第81図 遺構外出土遺物

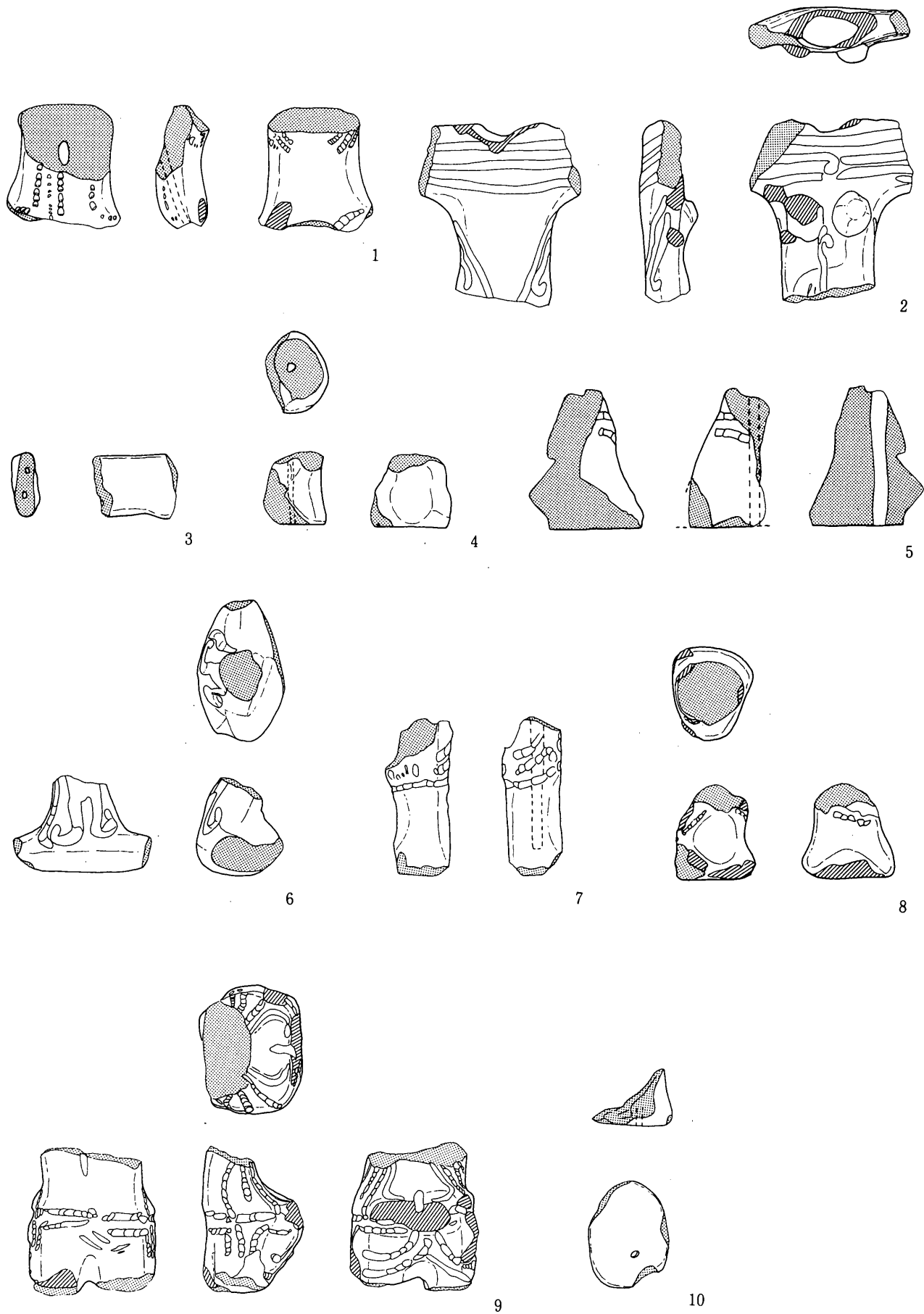


第82図 遺構外出土遺物



第83図 土製品

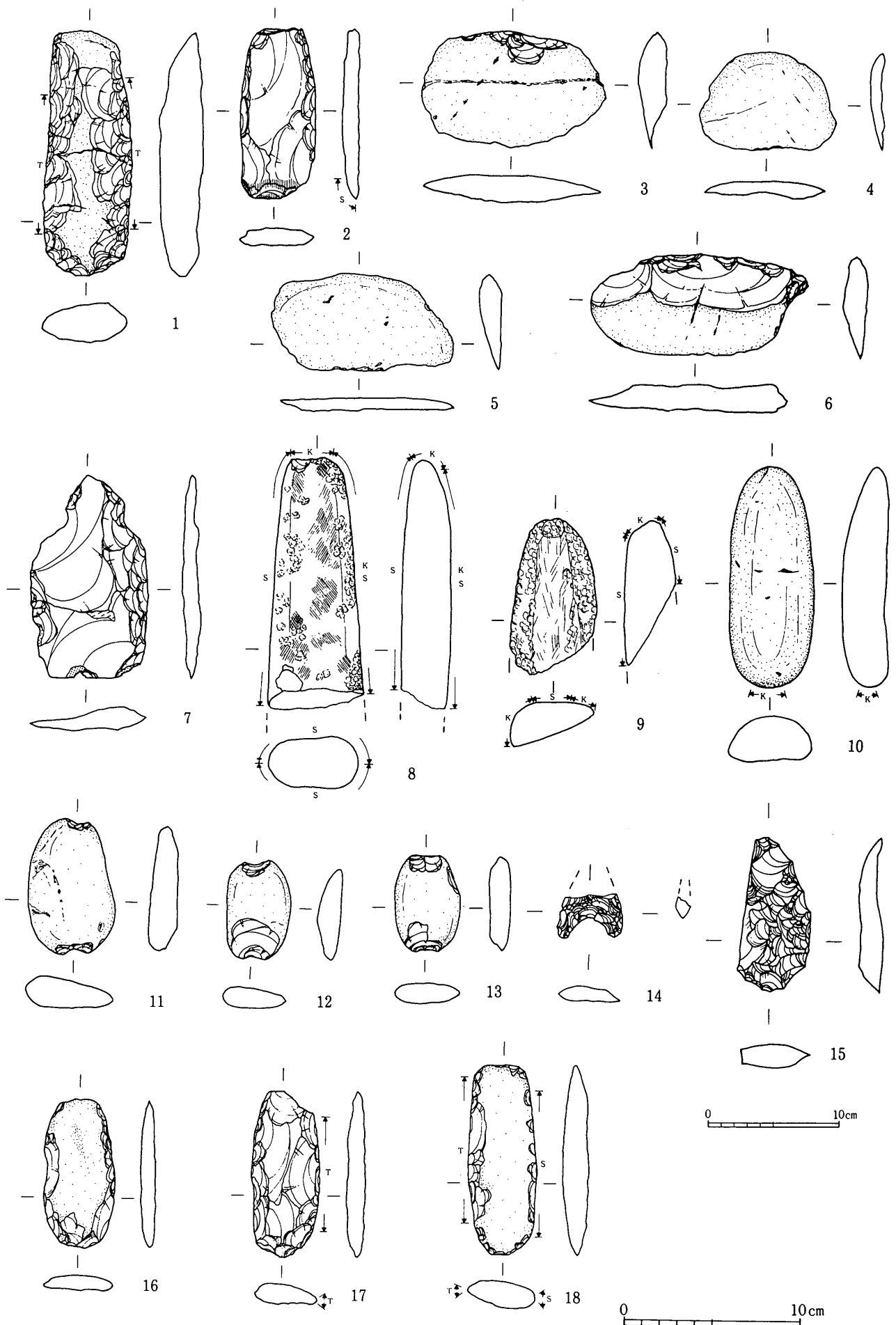
- |     |      |      |            |       |            |
|-----|------|------|------------|-------|------------|
| 1・2 | 遺構外  | 8~11 | 遺構外        | 16    | SB56 (時期外) |
| 3   | SB40 | 12   | SB42 (時期外) | 17・18 | SD01 (時期外) |
| 4・5 | SB76 | 13   | SB45 (時期外) | 19    | SB83 (時期外) |
| 6・7 | SB32 | 14   | SB05 (時期外) | 20    | SB01       |
|     |      | 15   | SB48 (時期外) | 21    | SB68       |



第84図 土偶

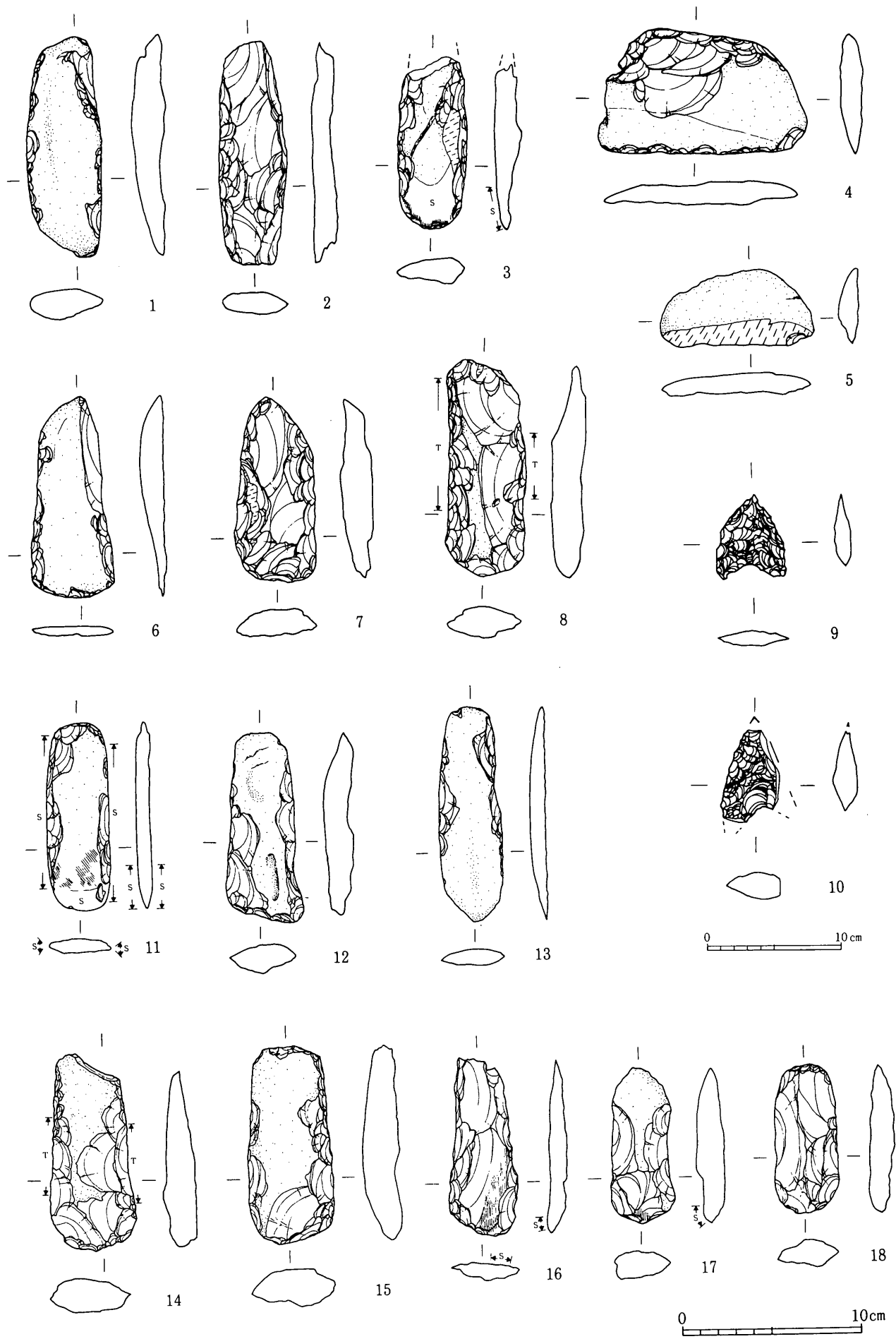
1	SB24	7	SB99 (時期外)
2~4	SB40	8~10	遺構外
5	SB43		
6	SB31 (時期外)		





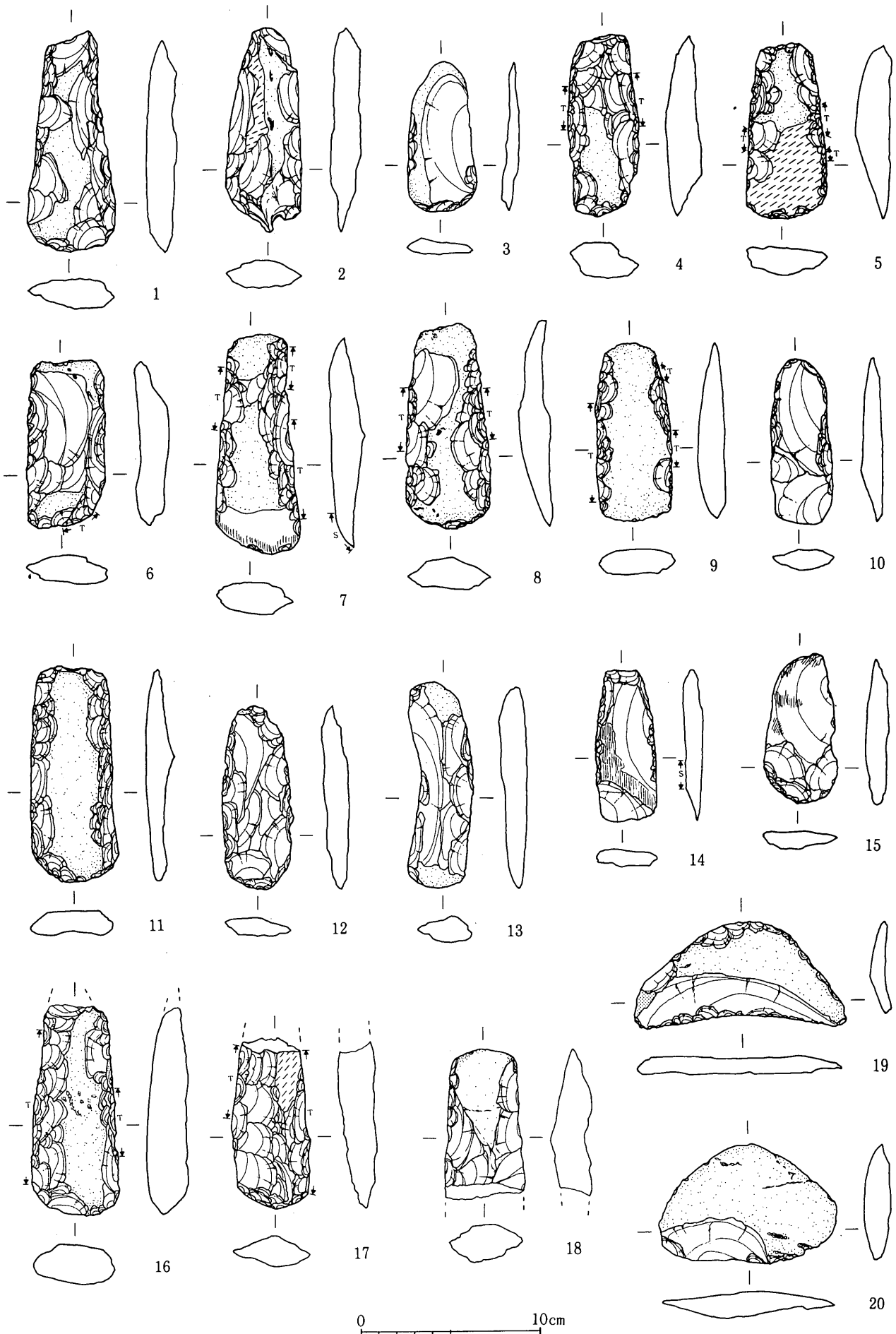
第85图 SB出土遺物

1~15 SB24  
16~18 SB26



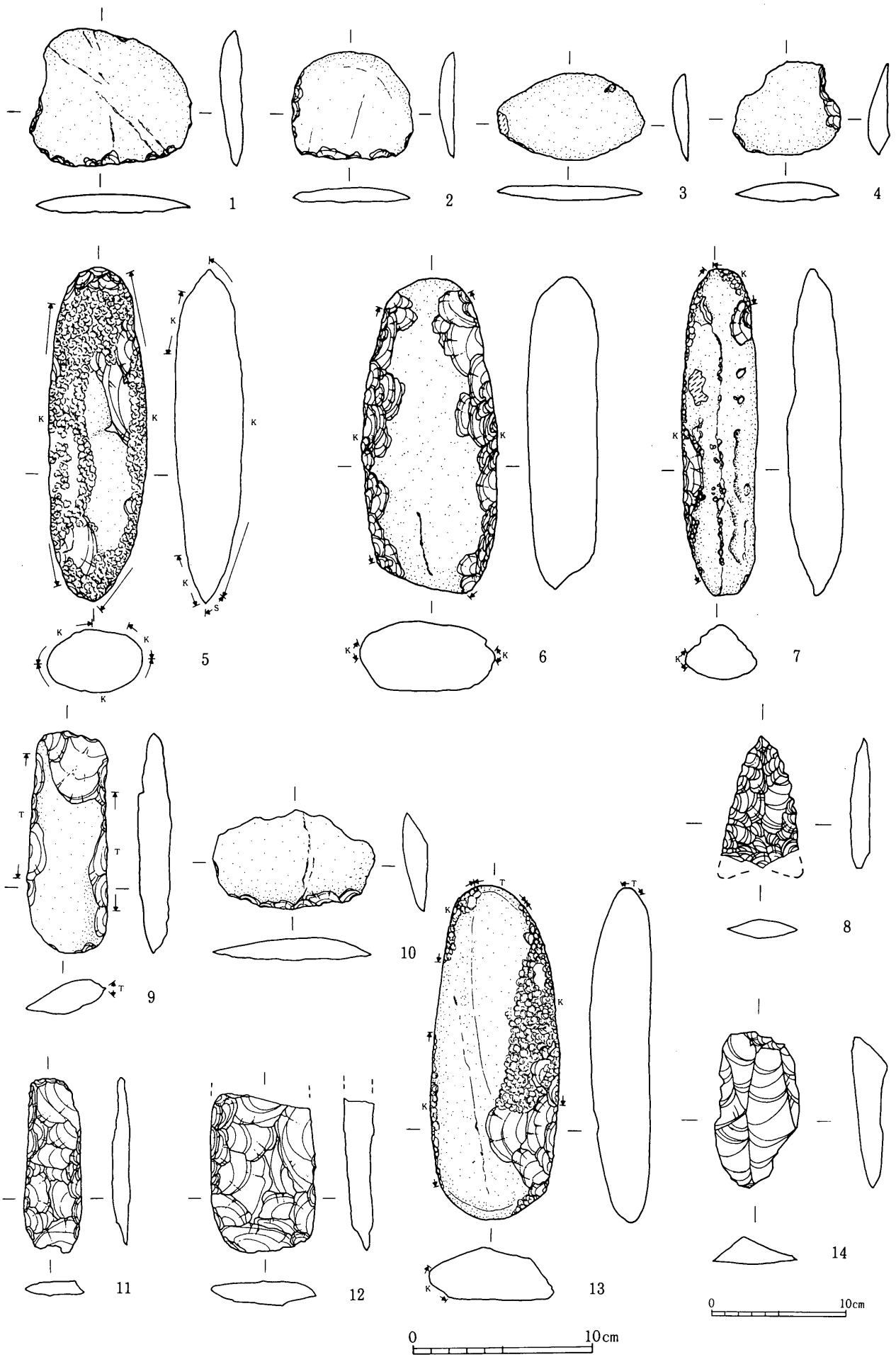
第86图 SB出土遺物

1 ~ 5 SB26  
 6 ~ 10 SB40  
 11 ~ 18 SB43



第87图 SB出土遺物

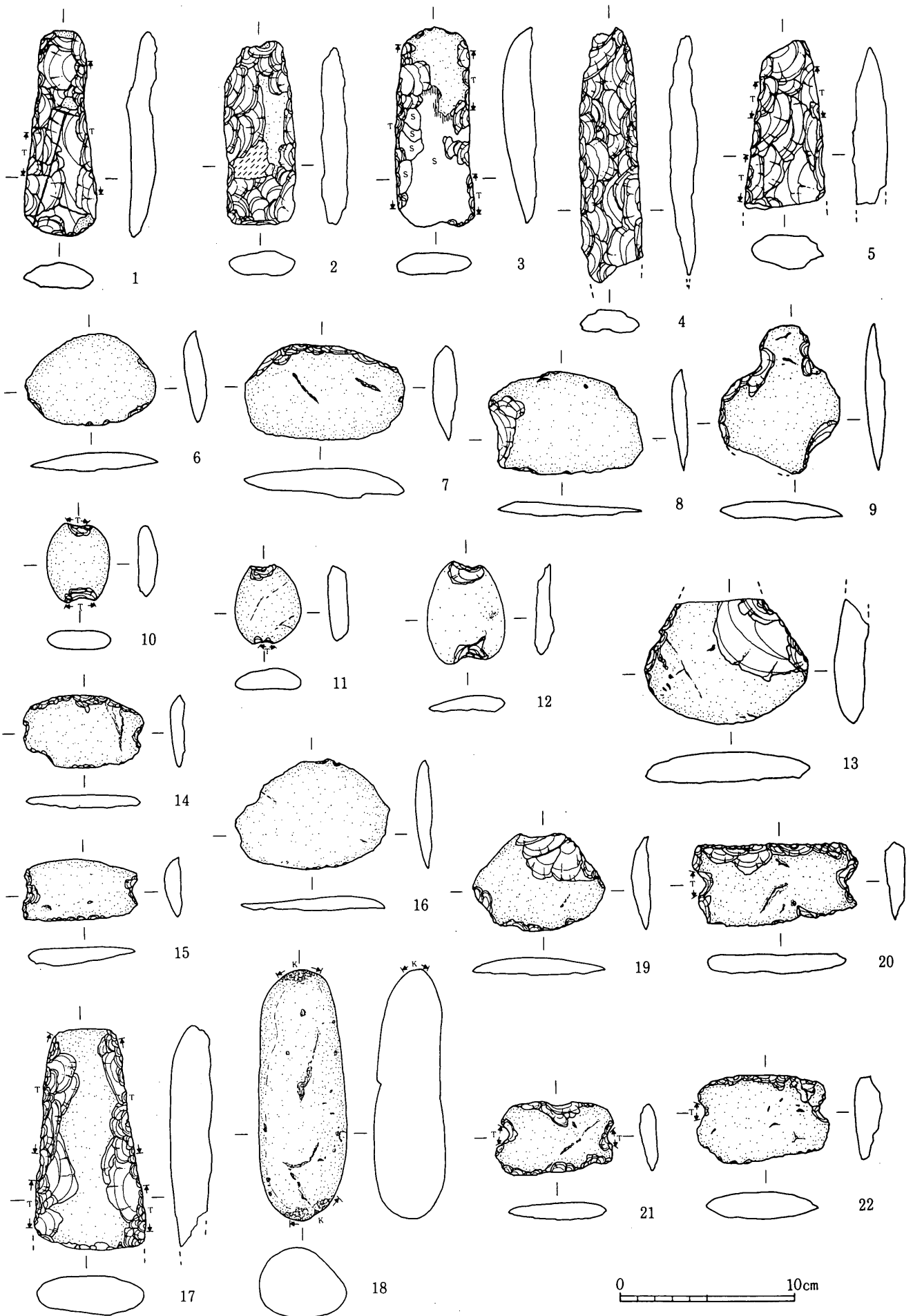
SB43



第88圖 SB出土遺物

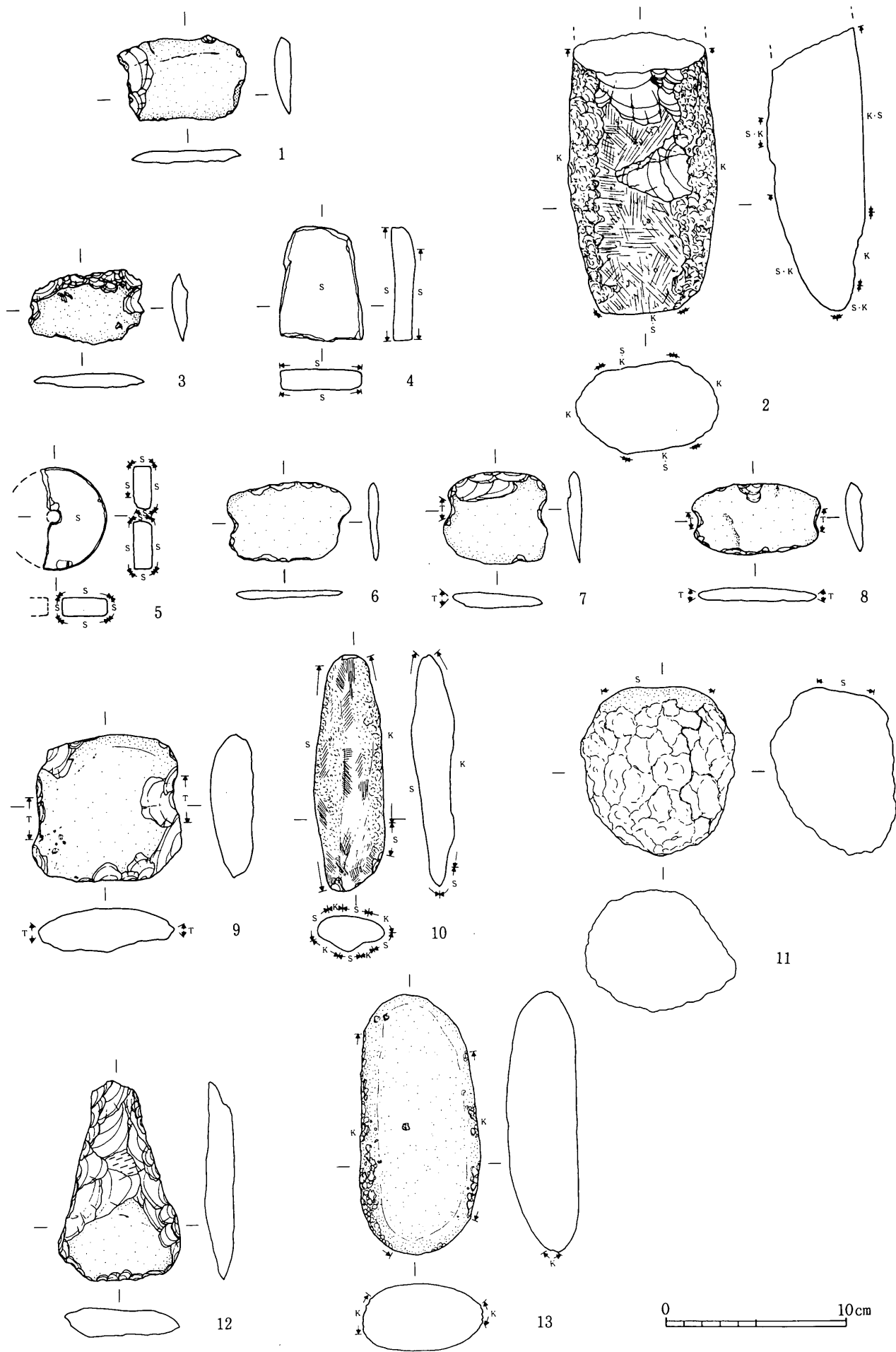
1 ~ 8 SB43  
9 · 10 SB47

11 ~ 14 SB49



第89図 SB出土遺物

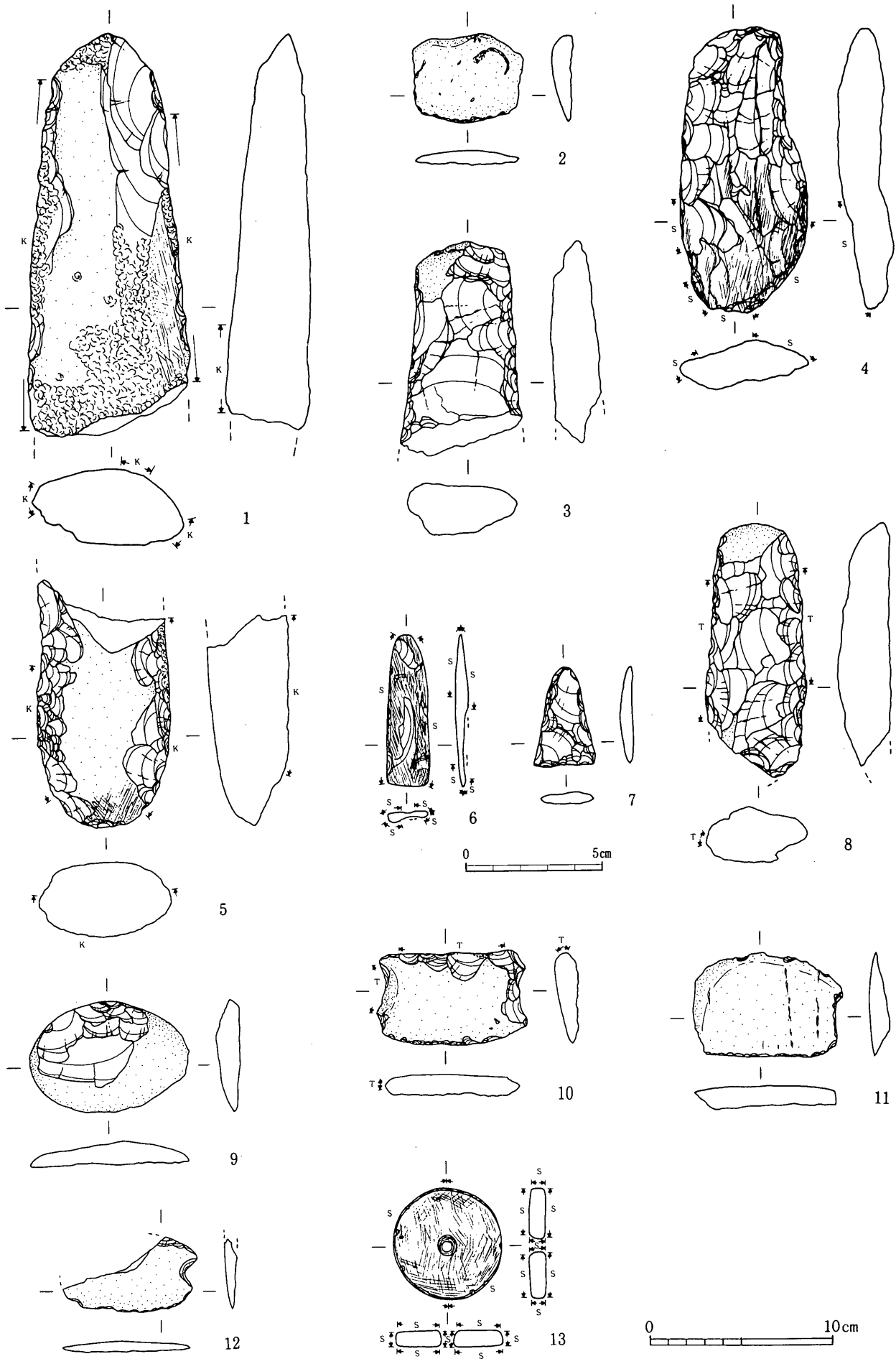
1~13 SB101 17・18 SB18  
 14~16 SB10 19~22 SB35



第90图 SB出土遺物

1 · 2 SB37  
3 ~ 5 SB42

6 ~ 11 SB45  
12 · 13 SB46

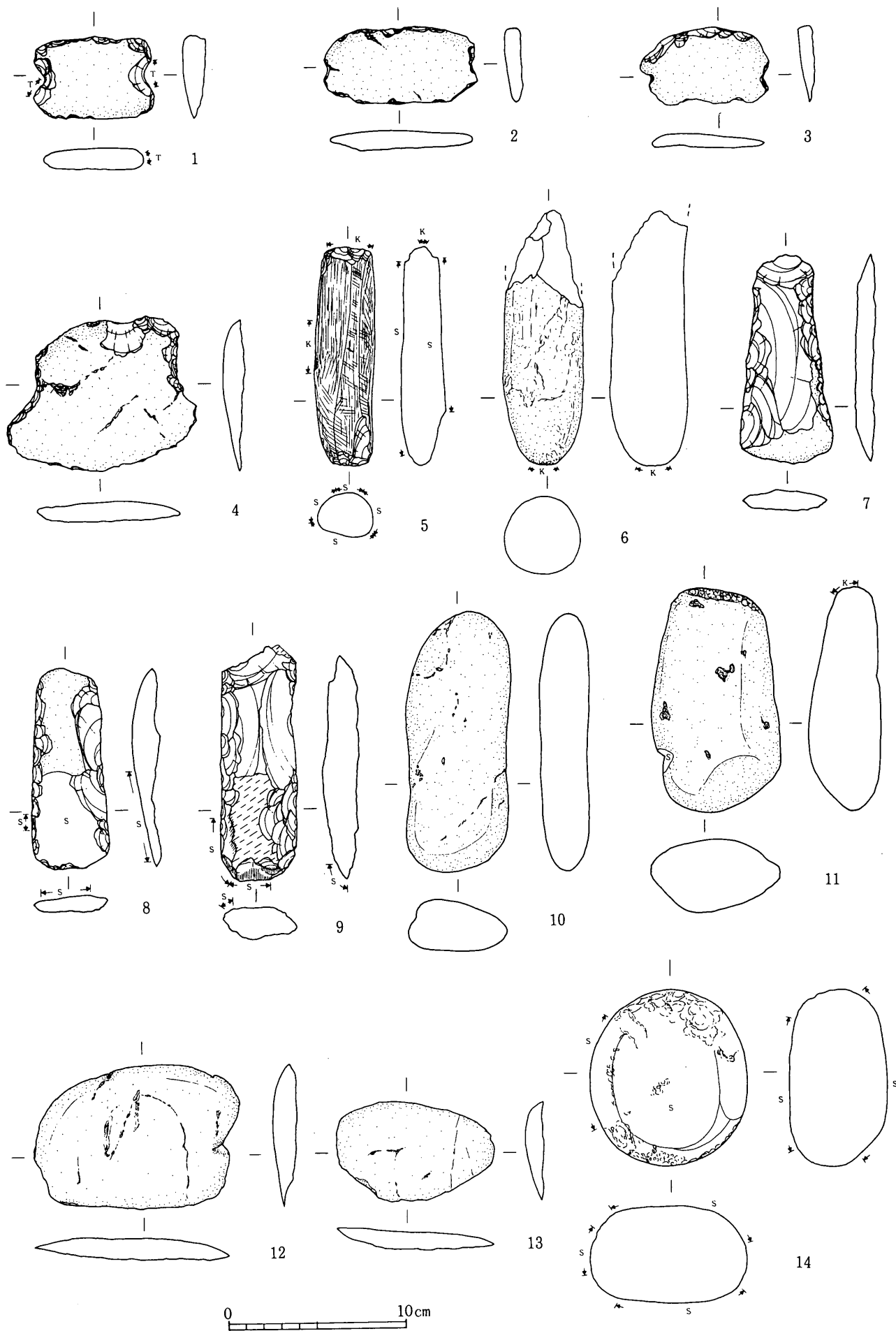


第91図 SB出土遺物

1 SB50  
2 SB72

3~7 SB76  
8・9 SB82

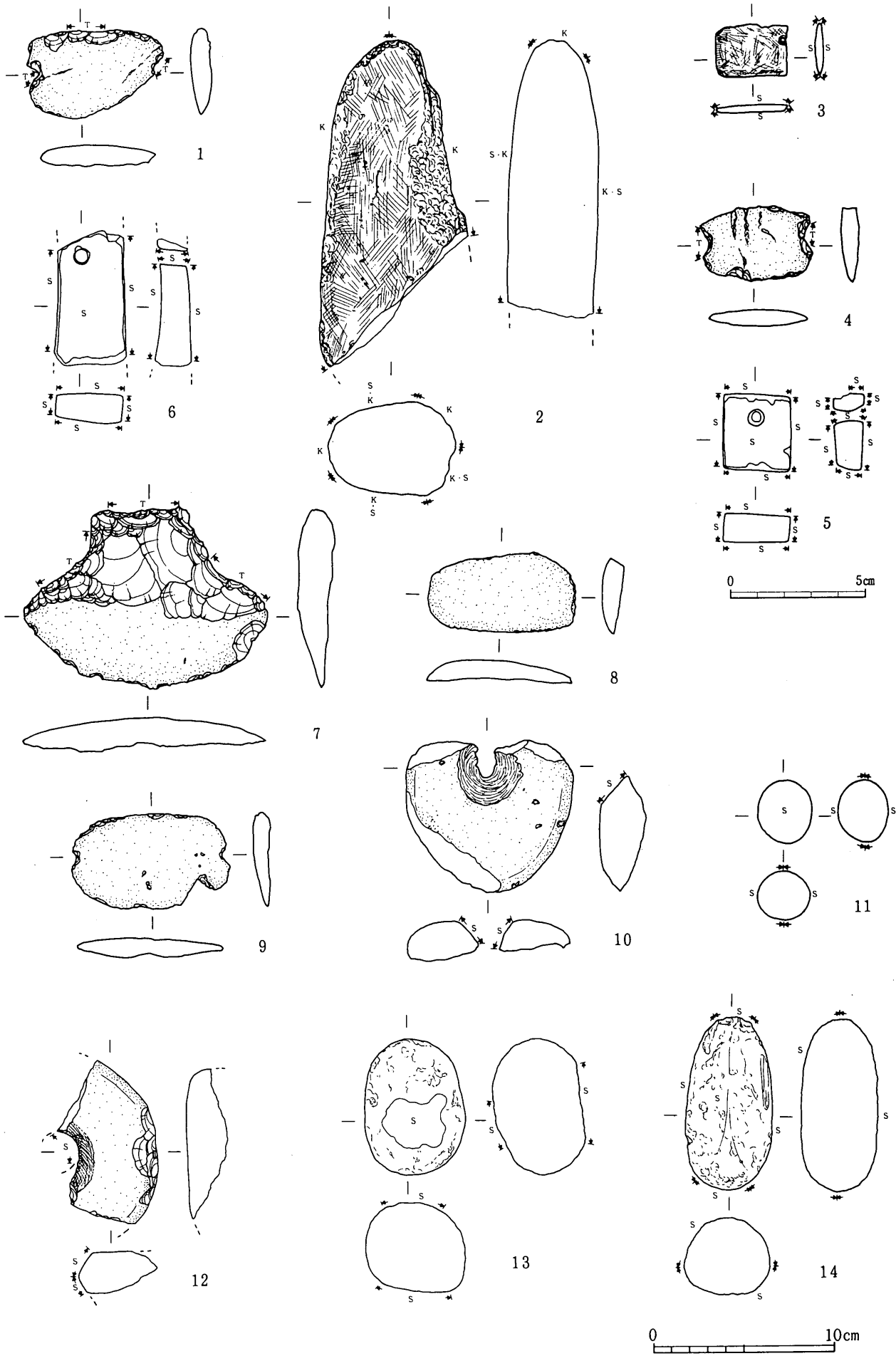
10~13 SB83



第92図 SB出土遺物

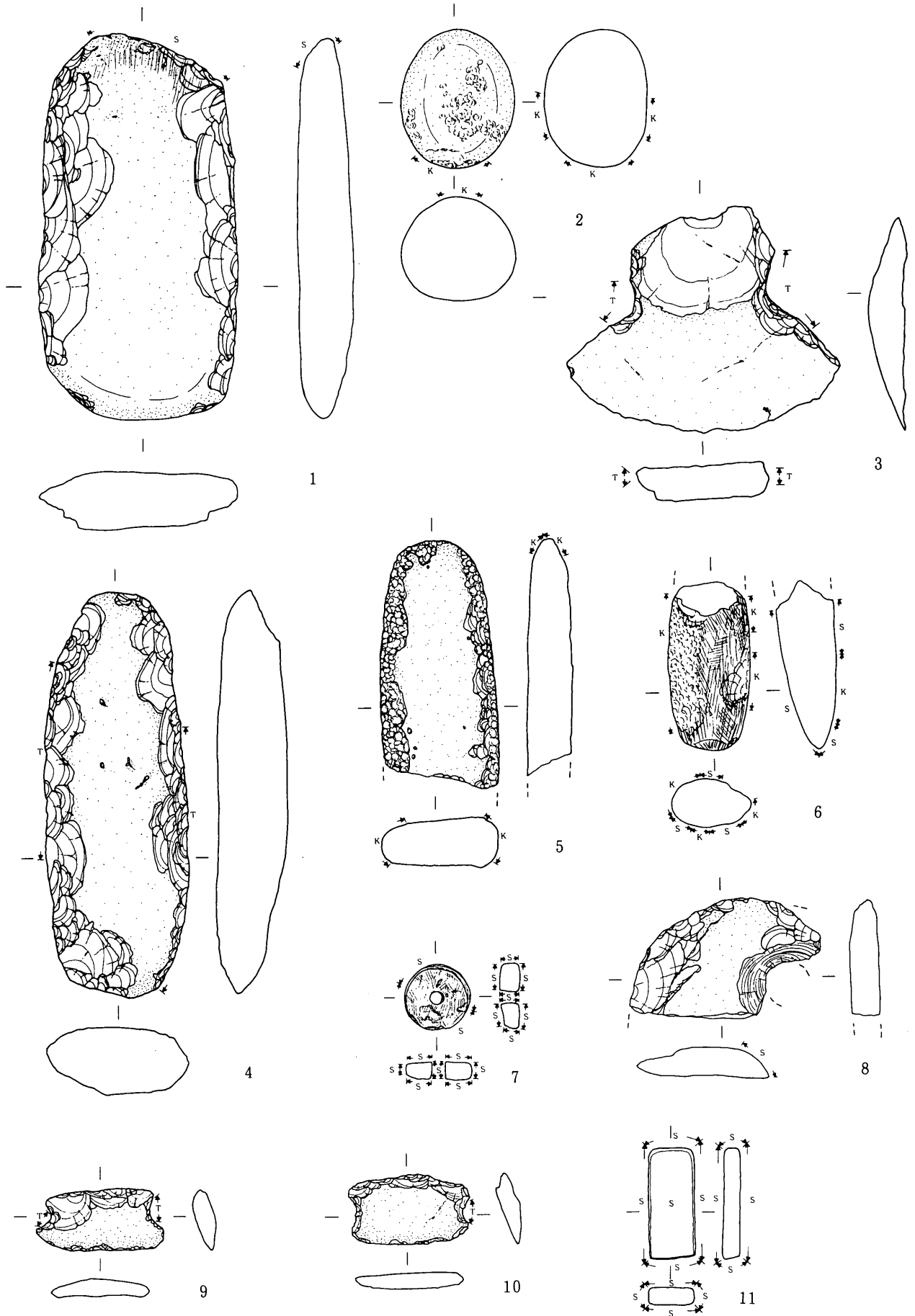
1 ~ 6 SB84      9 SB96      12・13 SB06  
 7・8 SB93      10・11 SB01      14 SB15





第93图 SB出土遺物

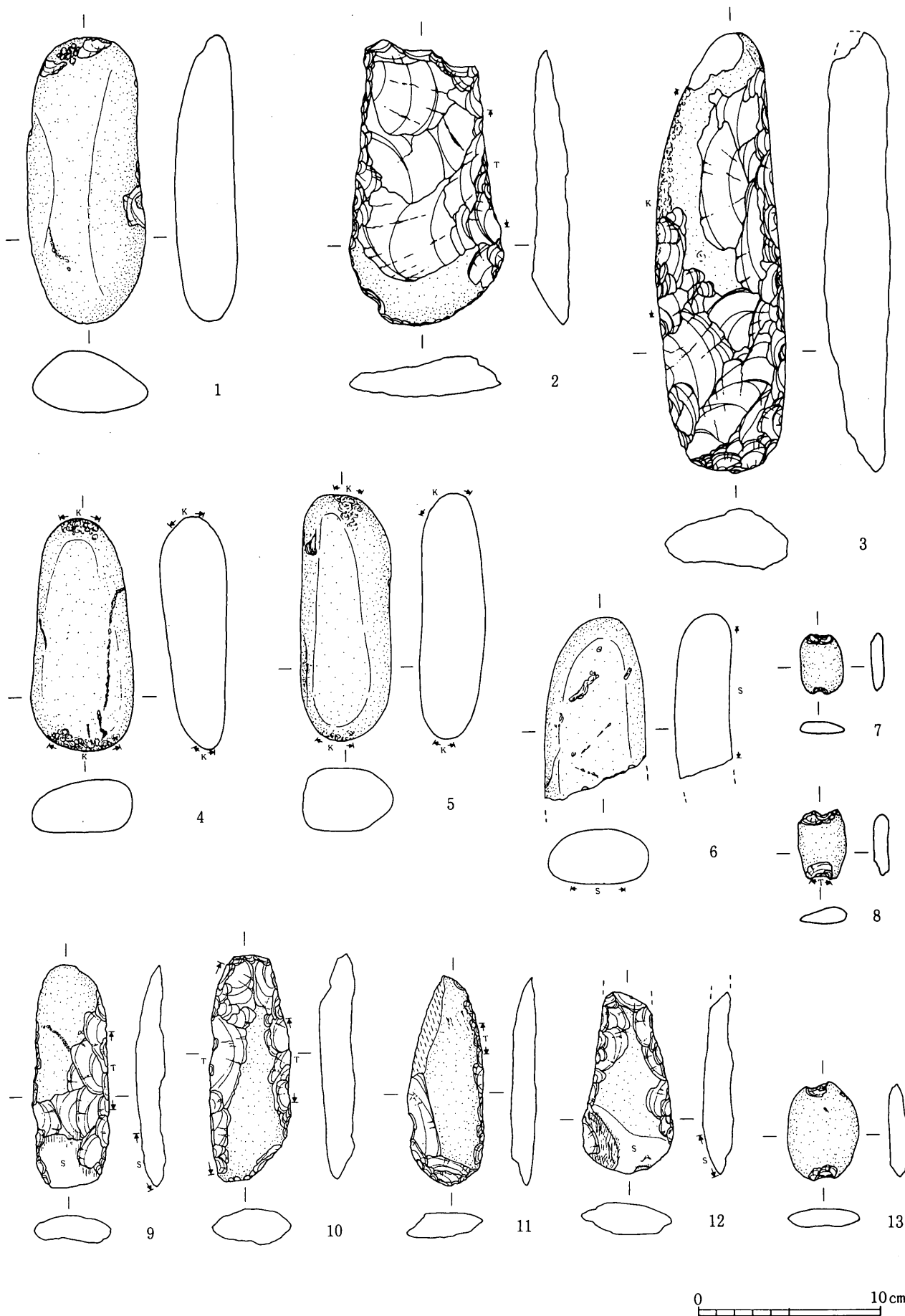
1・2 SB28 5 SB32 7・8 SB38 12 SB61  
 3・4 SB30 6 SB36 9~11 SB48 13・14 SB68



0 10cm

第94图 SB出土遺物

1 SB75      3 SB86      7・8 SB92      11 SB99  
 2 SB78      4~6 SB91      9・10 SB98



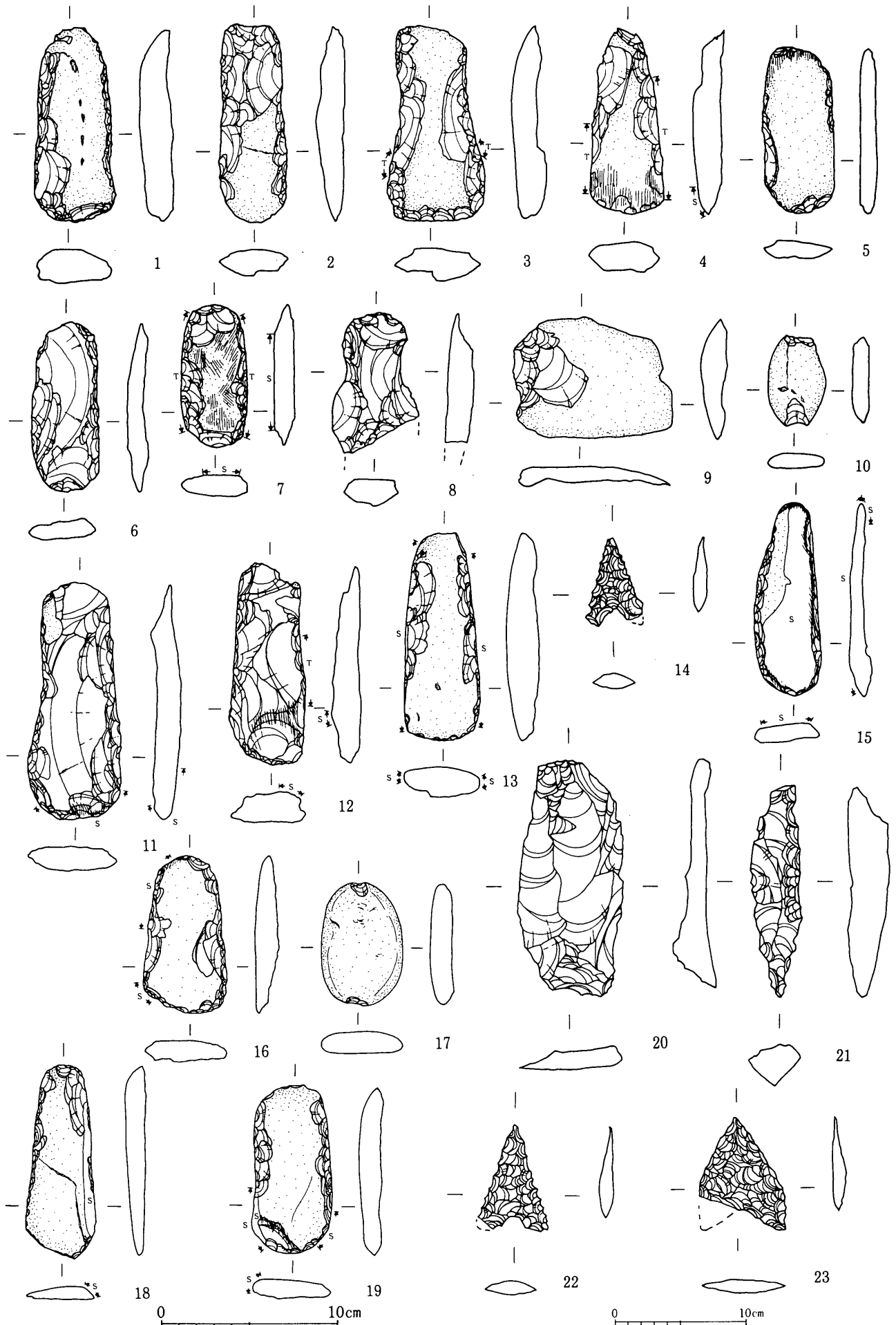
第95图 SB・SB时期外出土遺物

1 SB98  
2 SB100

3 SB102  
4 SB14

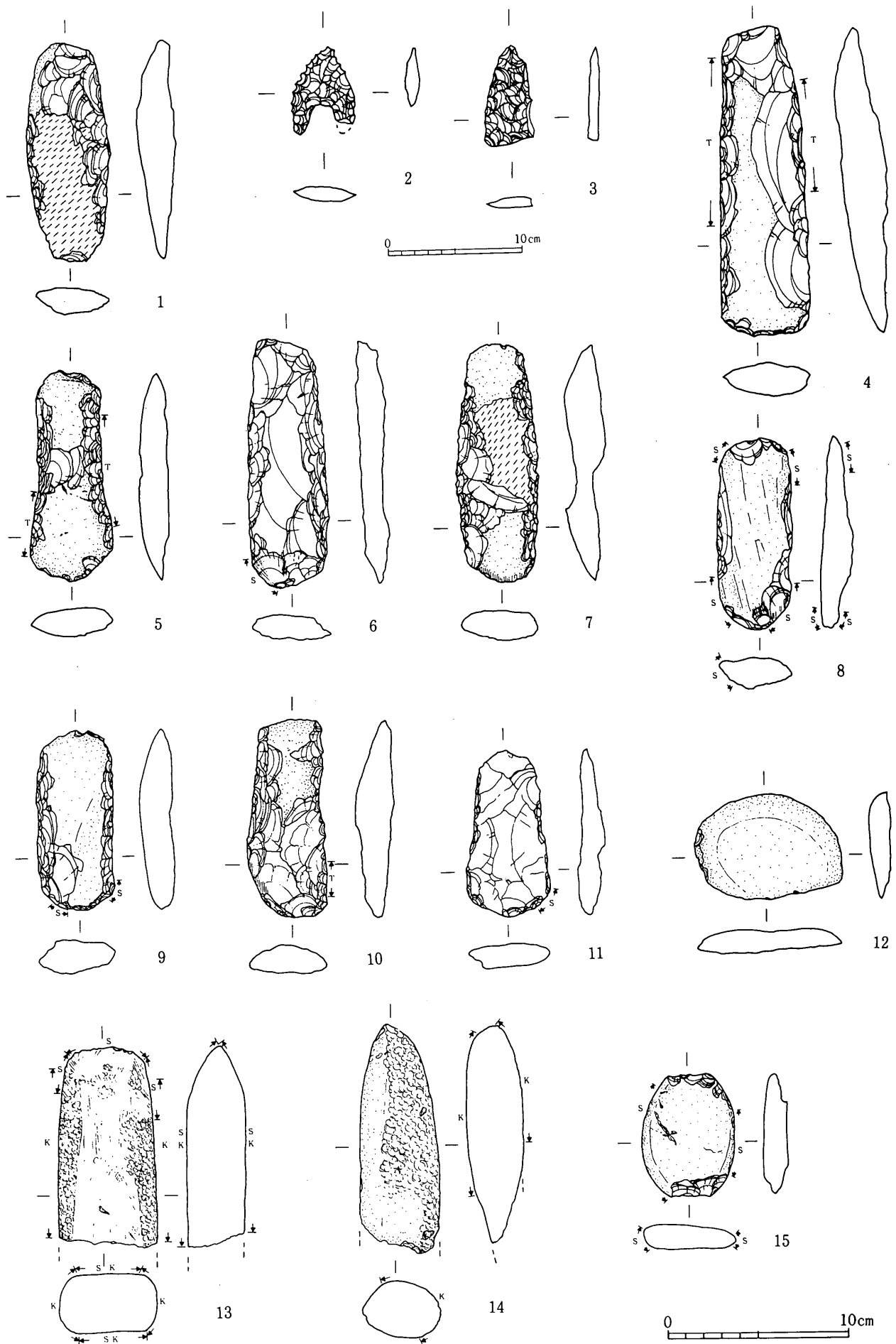
5・6 SB87  
7・8 SB10 (时期外)

9~13 SB35 (时期外)



第96图 SB时期外出土遺物

1~10 SB45 12~14 SB55 18~23 SB84  
 11 SB53 15~17 SB82

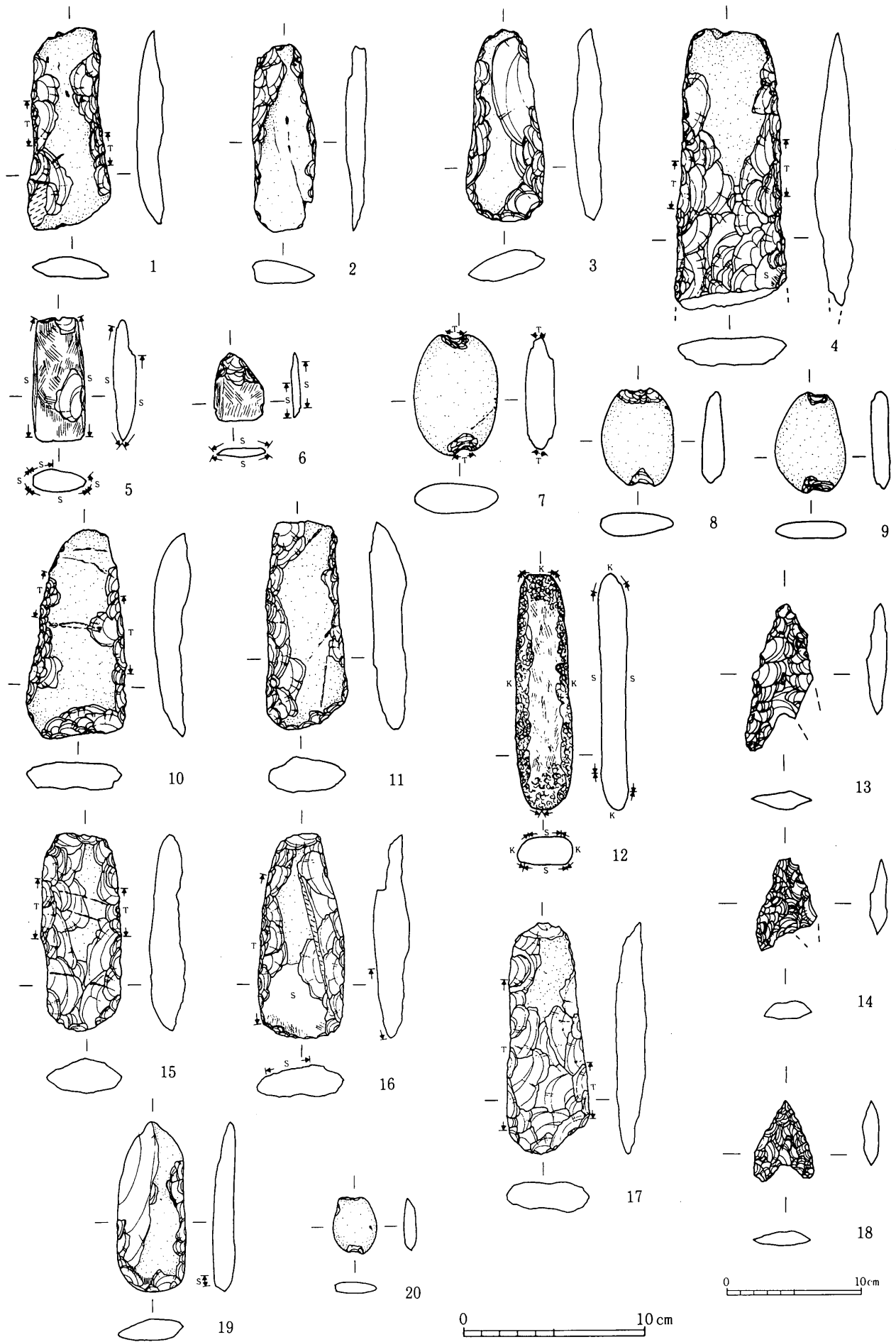


第97図 SB時期外出土遺物

1・2 SB95  
3 SB01

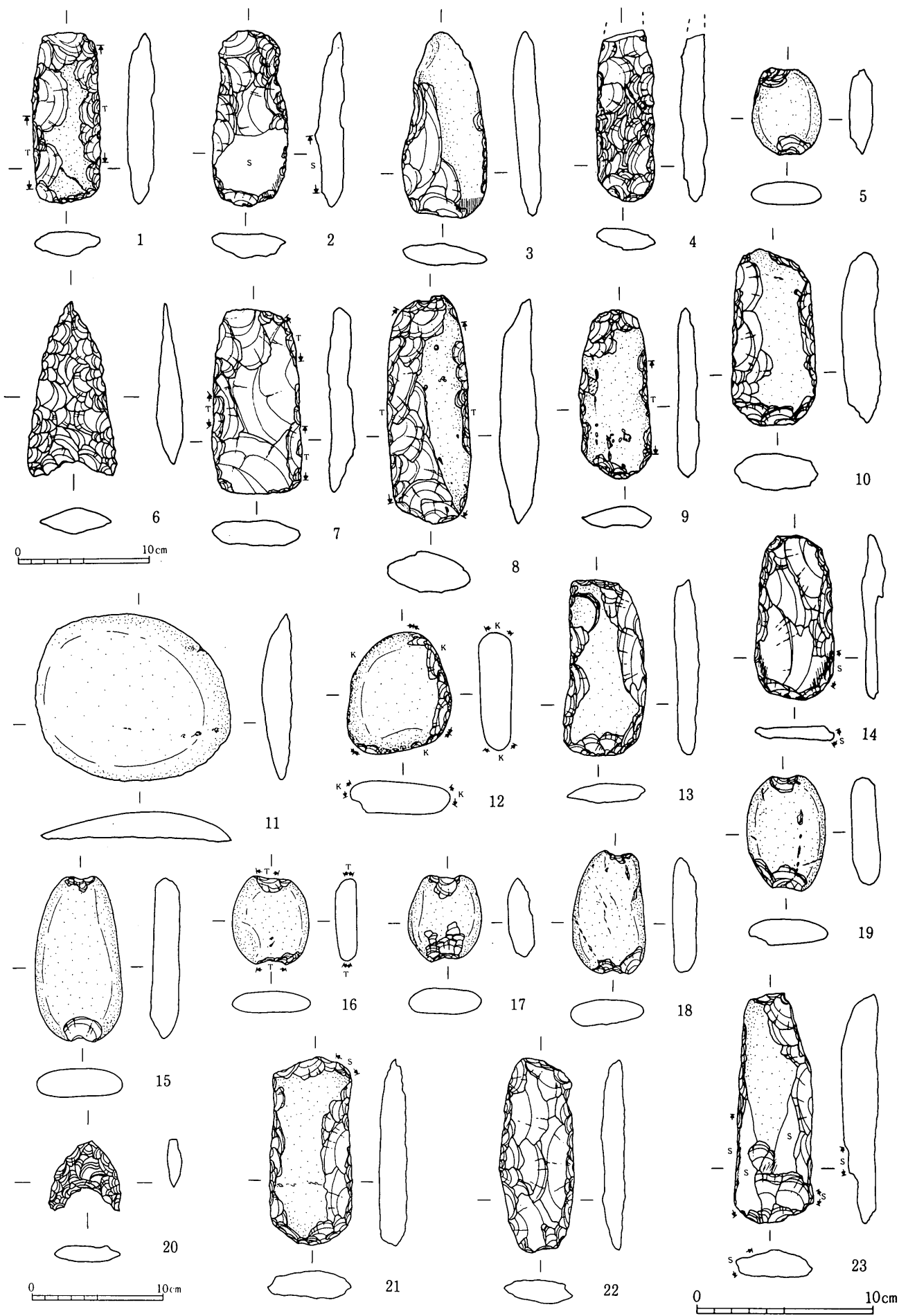
4 SB06  
5 SB13

6~15 SB17



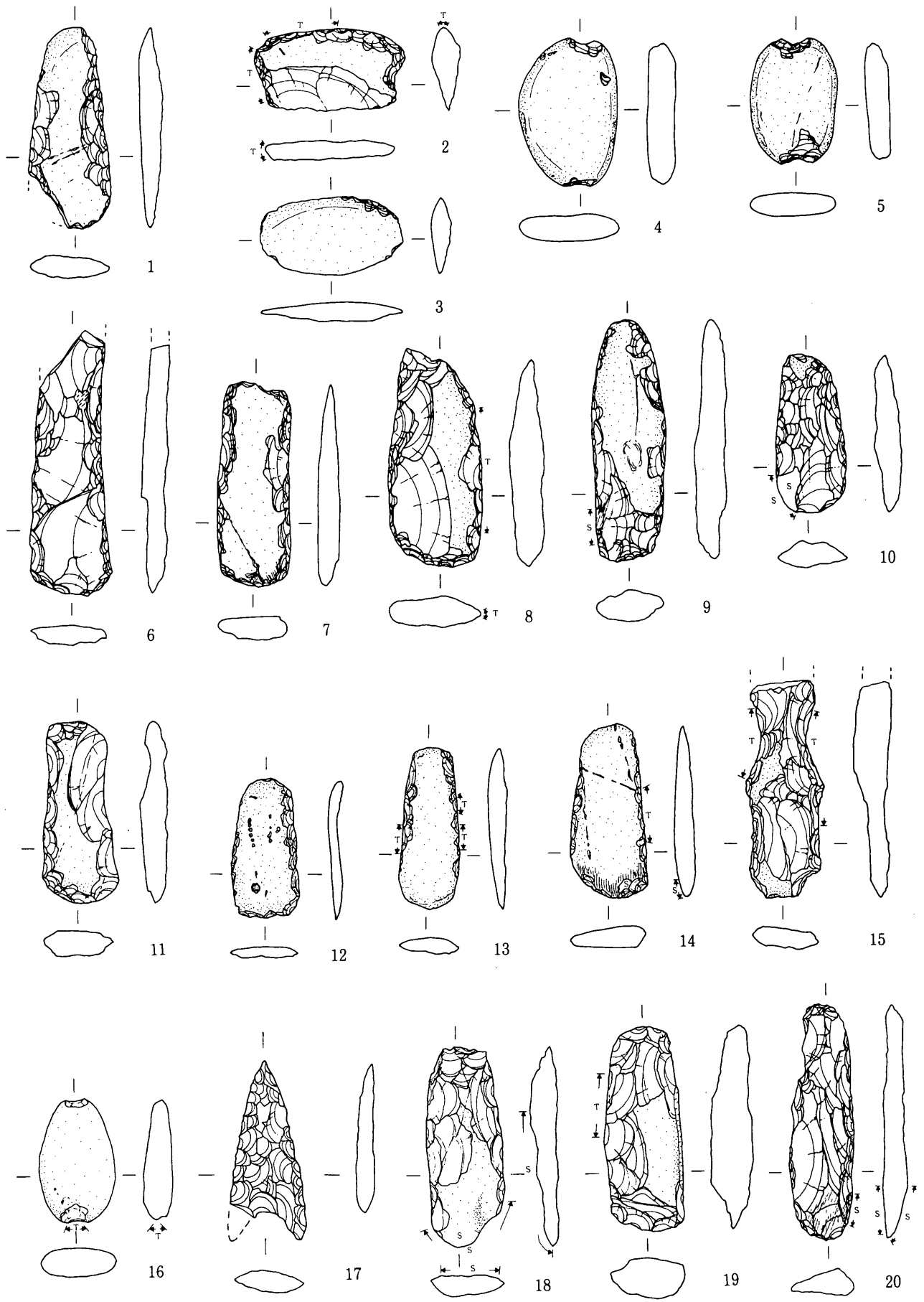
第98図 SB時期外出土遺物

1	SB19	4~6	SB25	10~14	SB30	19·20	SB37
2·3	SB20	7~9	SB28	15~18	SB36		



第99図 SB時期外出土遺物

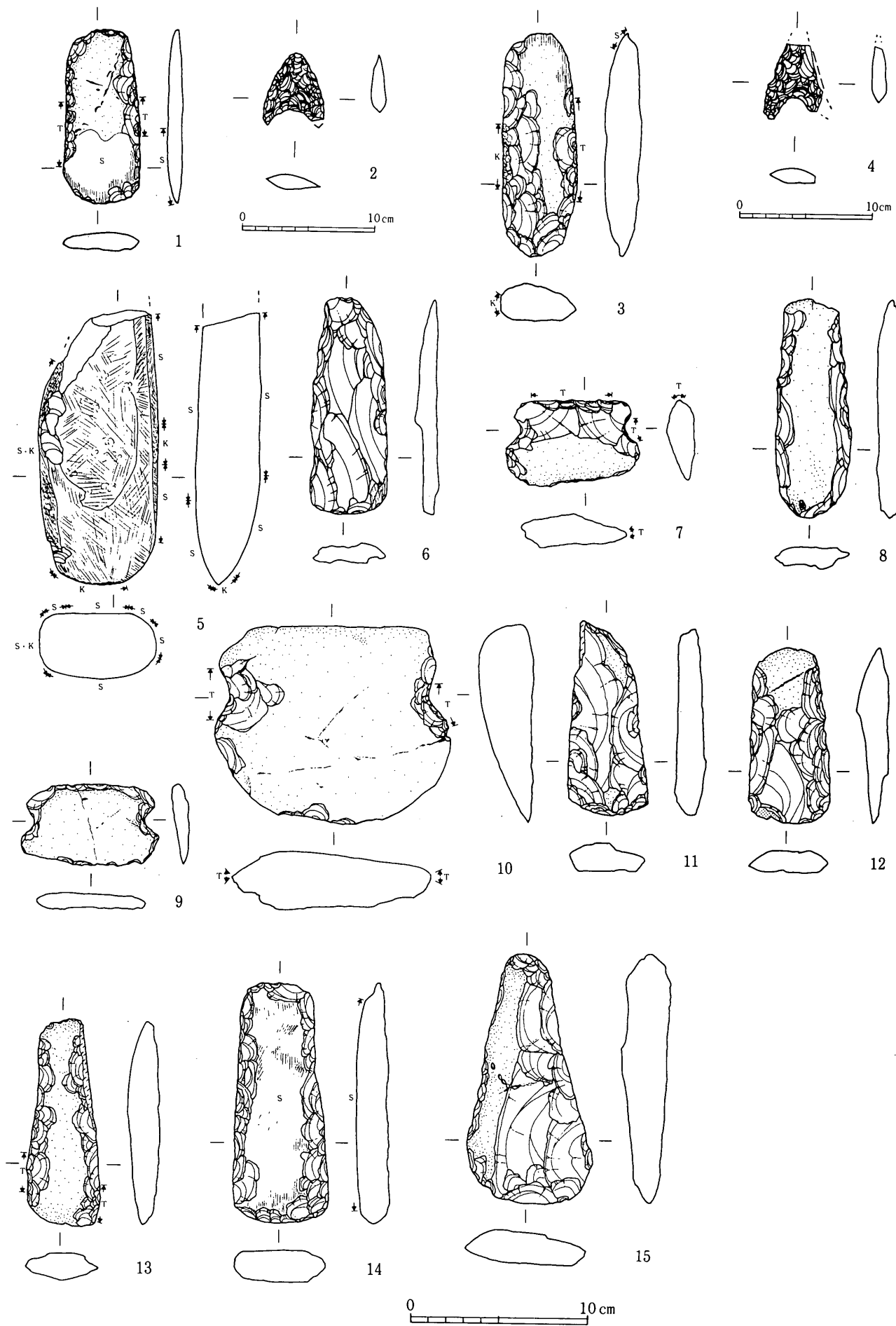
1 ~ 6	SB38	10 ~ 12	SB57	14 ~ 20	SB68
7 ~ 9	SB48	13	SB61	21 ~ 23	SB75



第100図 SB時期外出土遺物

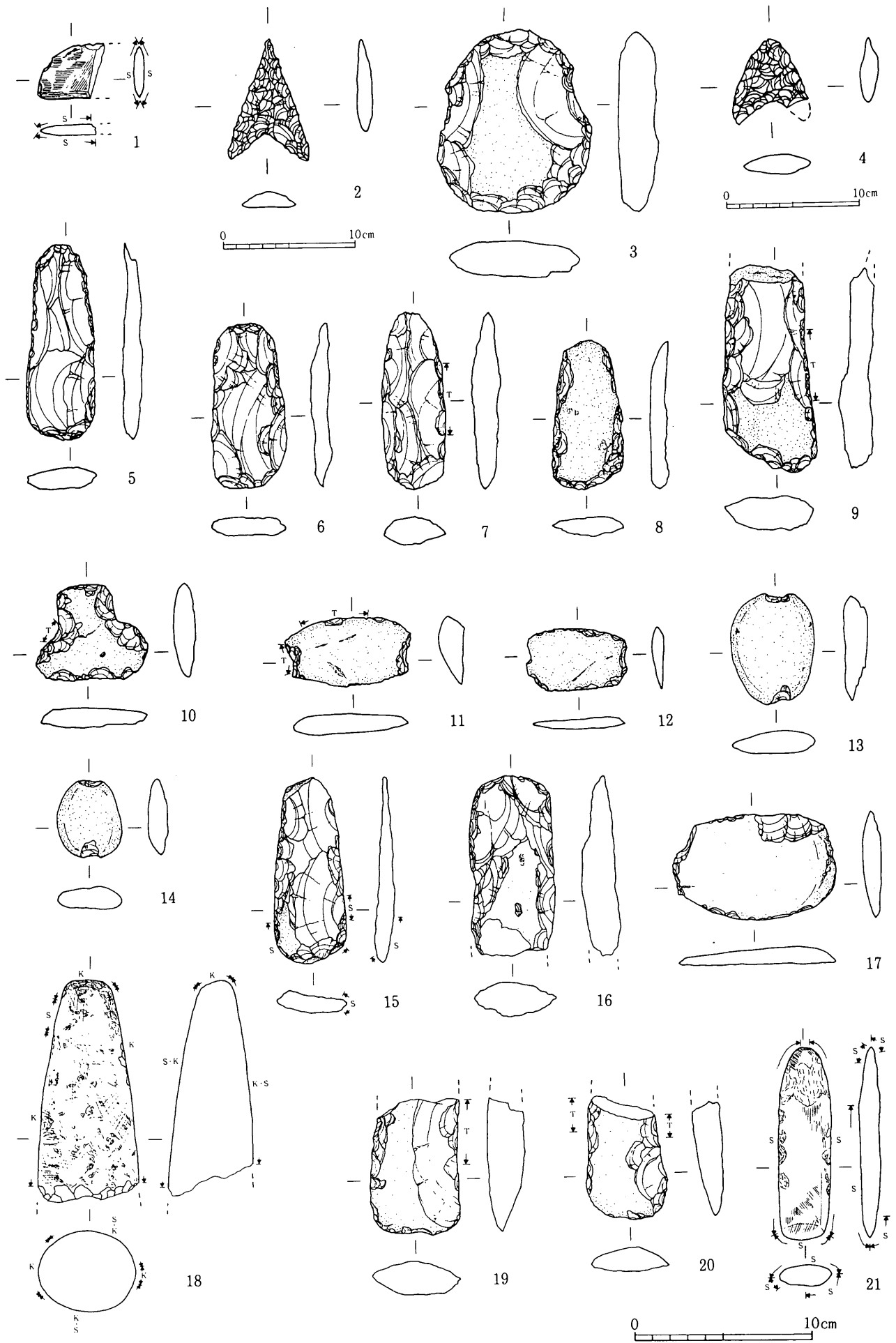
- |     |      |      |      |       |      |    |       |
|-----|------|------|------|-------|------|----|-------|
| 1~5 | SB75 | 8~10 | SB91 | 12~17 | SB98 | 20 | SB100 |
| 6・7 | SB77 | 11   | SB92 | 18・19 | SB99 |    |       |





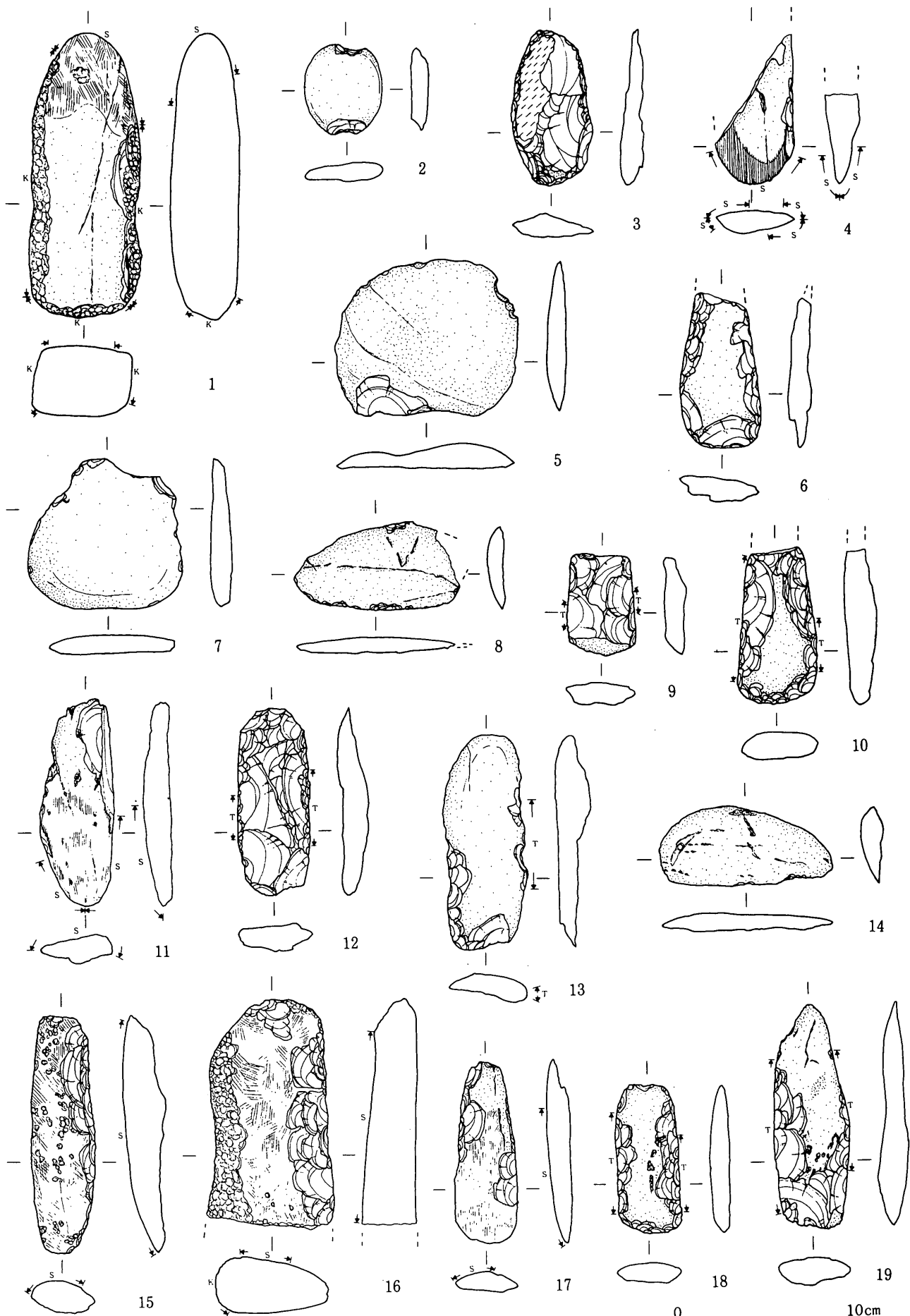
第101図 SB時期外出土遺物

- |        |          |           |            |
|--------|----------|-----------|------------|
| 1 SB14 | 3・4 SB33 | 6・7 SB79  | 11~15 SB87 |
| 2 SB31 | 5 SB77   | 8~10 SB85 |            |



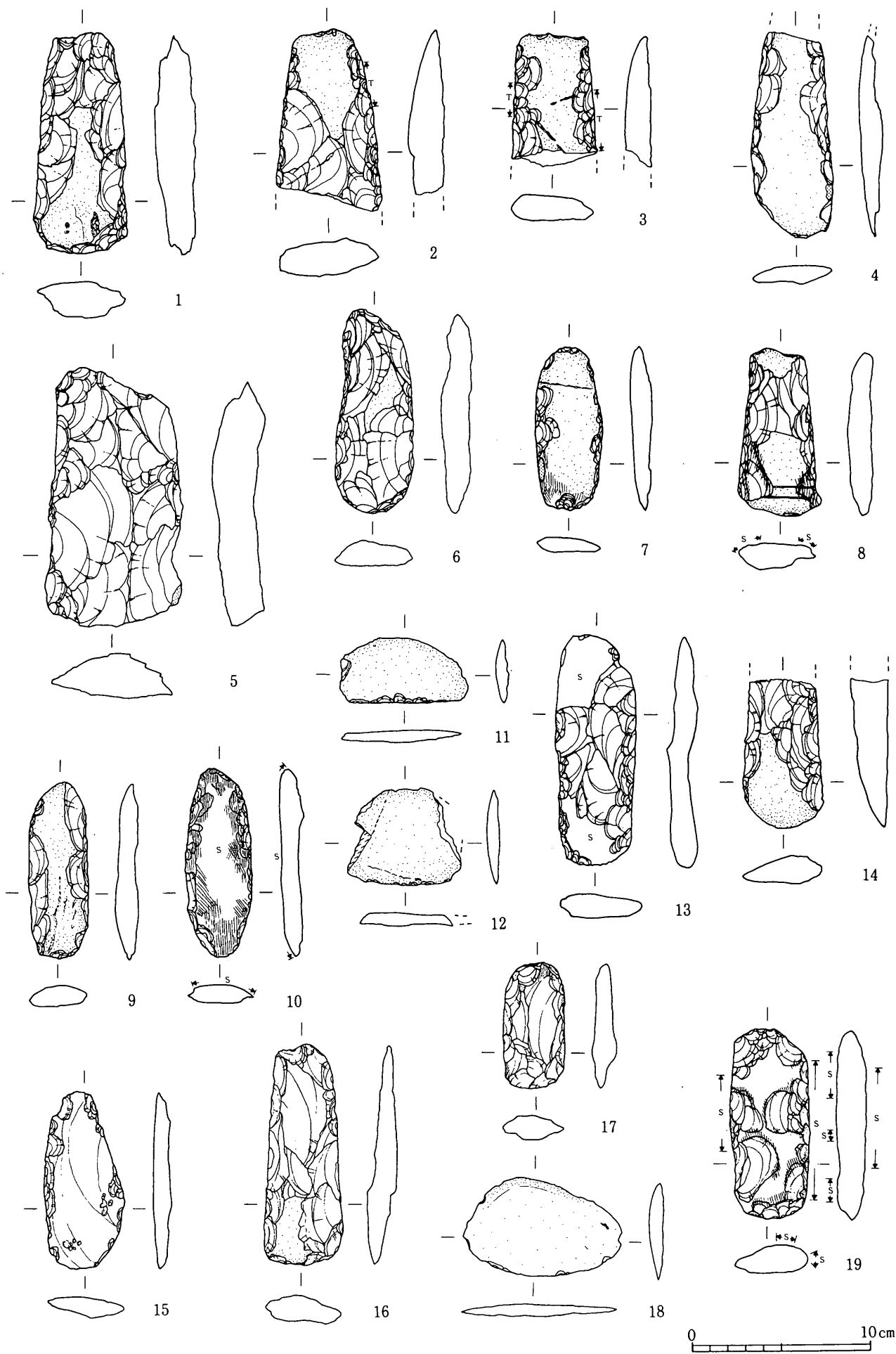
第102図 SB・SI出土遺物

1・2	SB11	4	SB39	15~18	SB52
3	SB27	5~14	SB41	19~21	SI01



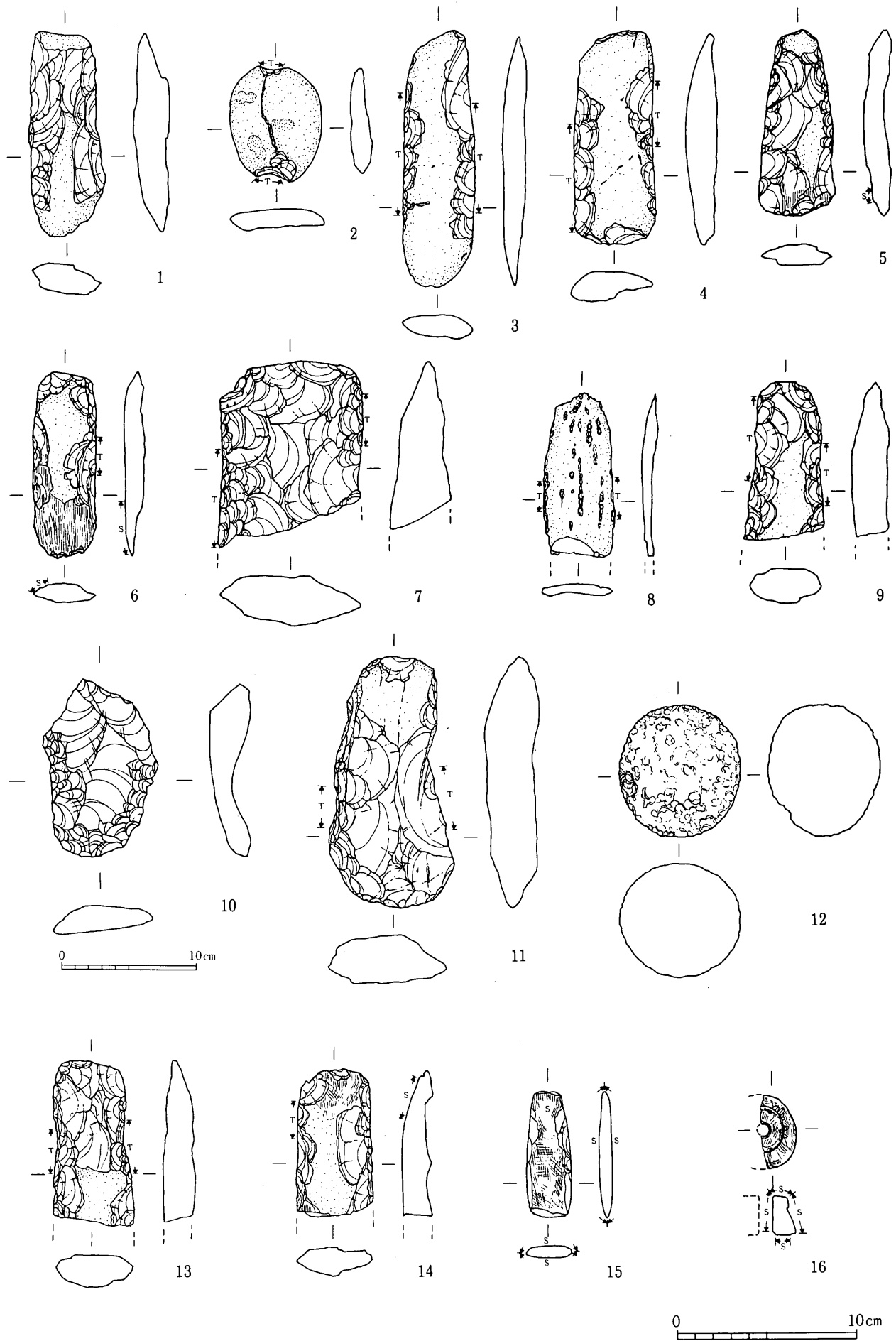
第103圖 SI・SK出土遺物

- |     |      |       |      |   |      |      |      |    |      |
|-----|------|-------|------|---|------|------|------|----|------|
| 1・2 | SI01 | 4     | SK02 | 6 | SK05 | 8    | SK09 | 11 | SK15 |
| 3   | SK01 | 5     | SK04 | 7 | SK06 | 9・10 | SK12 | 12 | SK16 |
| 13  | SK20 | 15・16 | SK28 |   |      |      |      |    |      |
| 14  | SK26 | 17    | SK33 |   |      |      |      |    |      |
|     |      | 18・19 | SK35 |   |      |      |      |    |      |



第104図 SK出土遺物

1~4 SK35 13 SK37 15 SK46 19 SK51  
 5~12 SK36 14 SK42 16~18 SK47



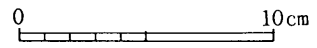
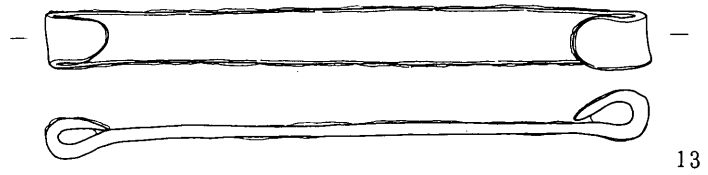
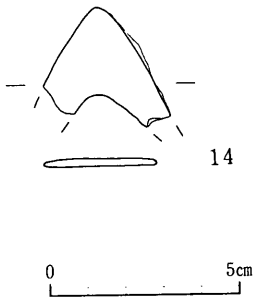
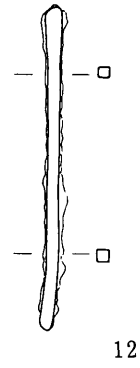
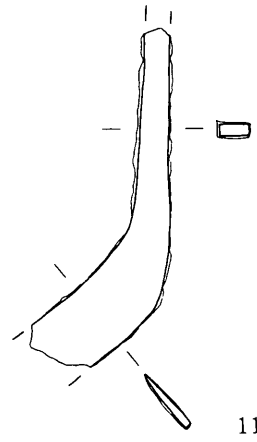
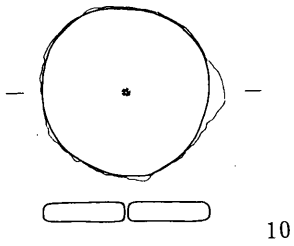
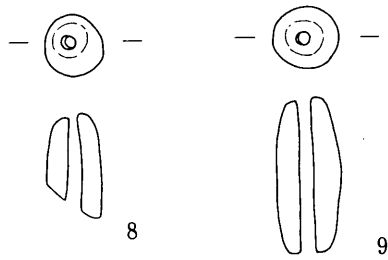
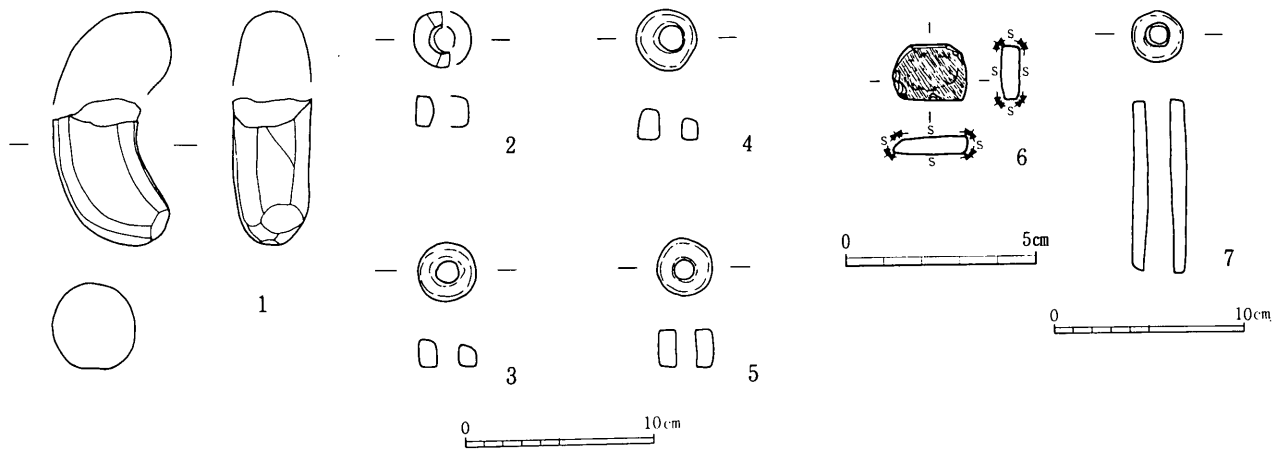
第105図 SK・遺構外出土遺物

1・2 SK53  
3~9 SK54

10 SK57  
11 SK63

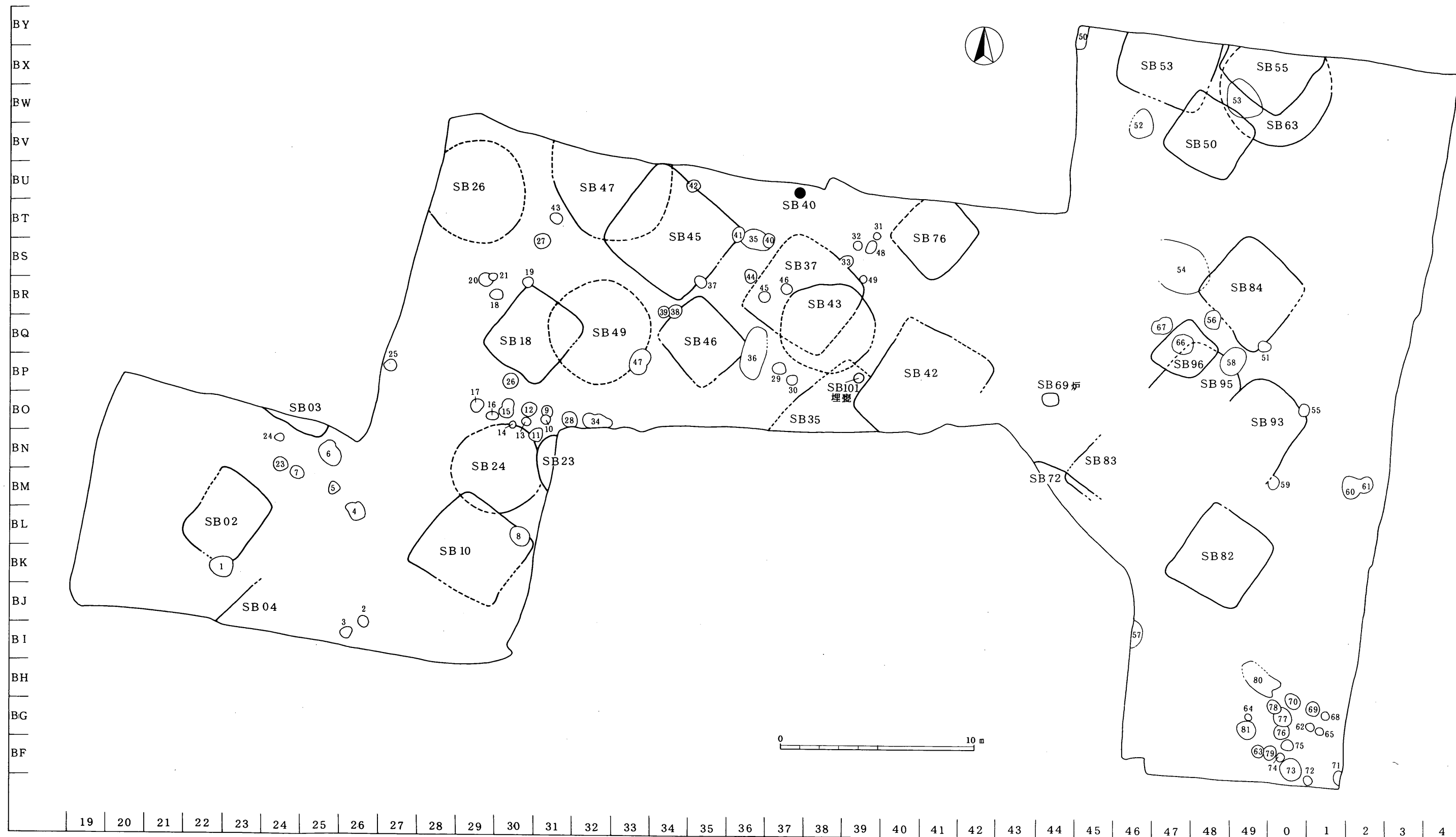
12 SK64  
13~15 SK84

16 遺構外



第106図 石製品・鉄製品

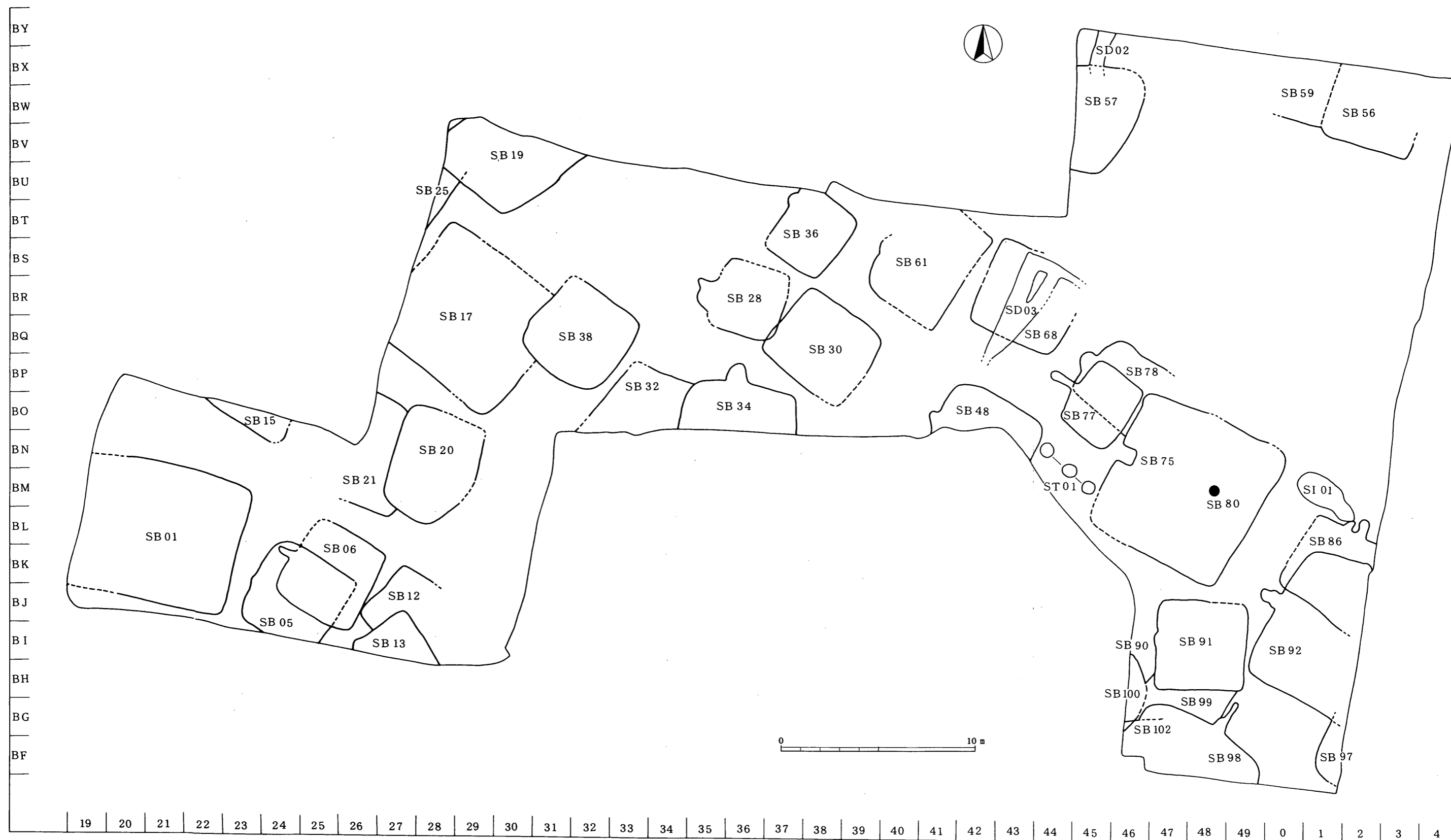
1・2 SB01 5 SB30 7 SB85 10 SB77 12・13 SB87  
 3・4 SB05 6 SB98 8・9 遺構外 11 SB14 14 遺構外



第107図 妙前遺跡 縄文・弥生時代SB, SK 分布図

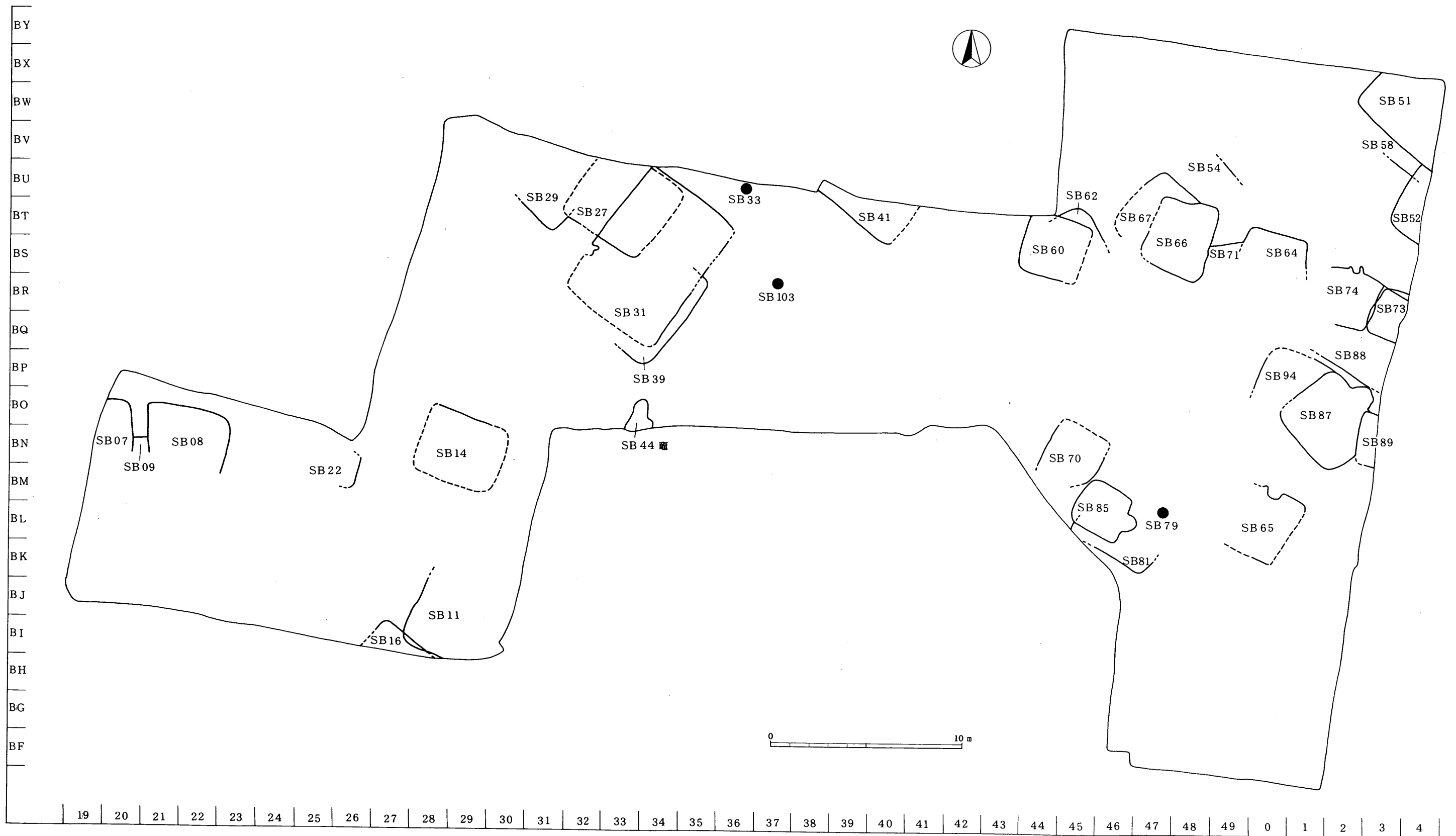






第108図 妙前遺跡 古墳時代SB, ST, SI, SD 分布図





第109図 妙前遺跡 奈良・平安時代SB, 時代不明SB 分布図



# 写真図版





遺跡遠景



調査区全景



調査区 (部分)



調査区 (部分)





調査区（部分）



調査区（部分）



SB26



SB26 埋甕



SB43 埋甕



SB43 炉址



SB49



SB10



SB10 炉址



SB45



SB45 炉址



SB45 炉址



SB46



SB46 炉址



SB82



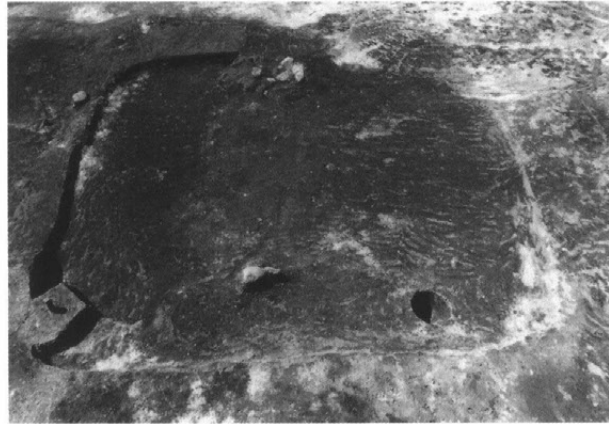
SB82 炉址



SB01



SB01 カマド址



SB06



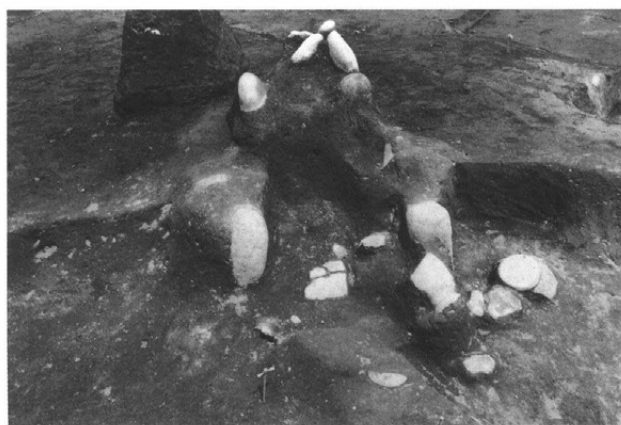
SB06 カマド址



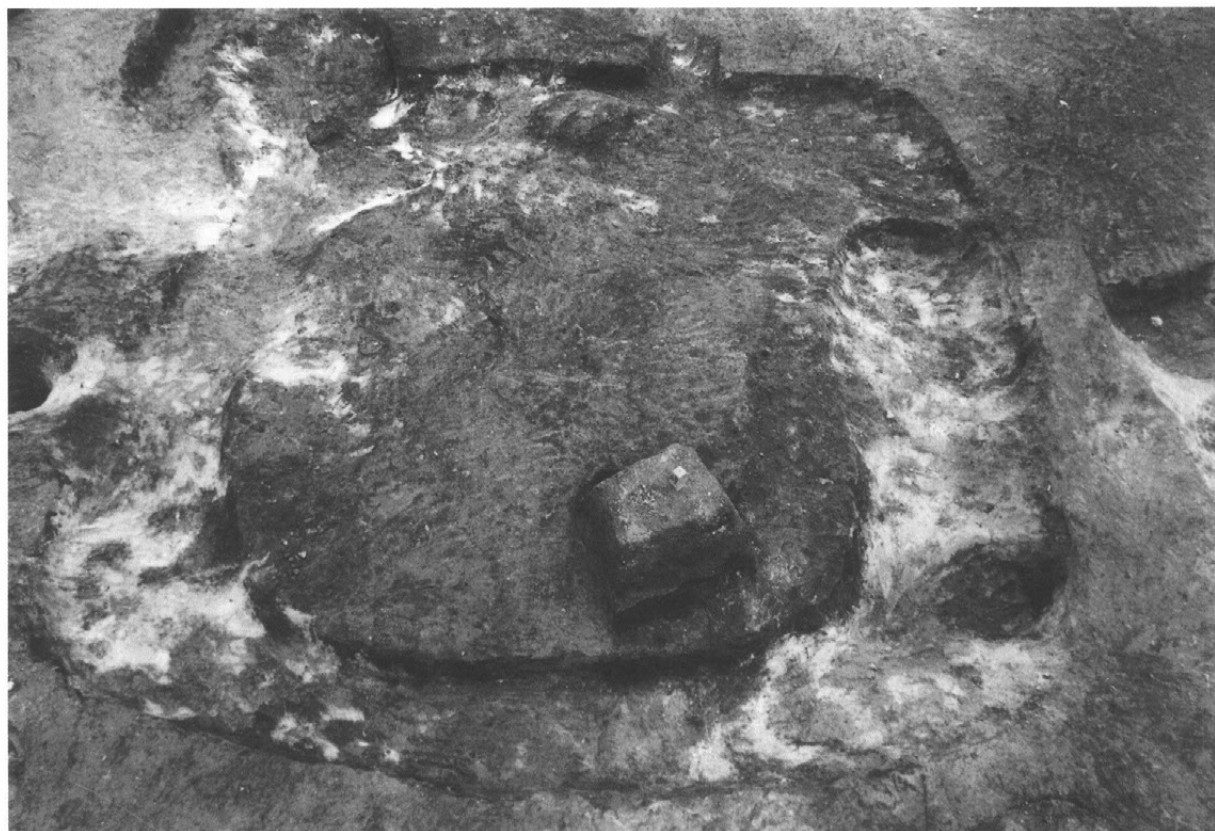
SB17



SB34



SB34 カマド址



SB38



SB61



SB61 カマド址



SB75



SB75 カマド址



SB75 遺物





SB77



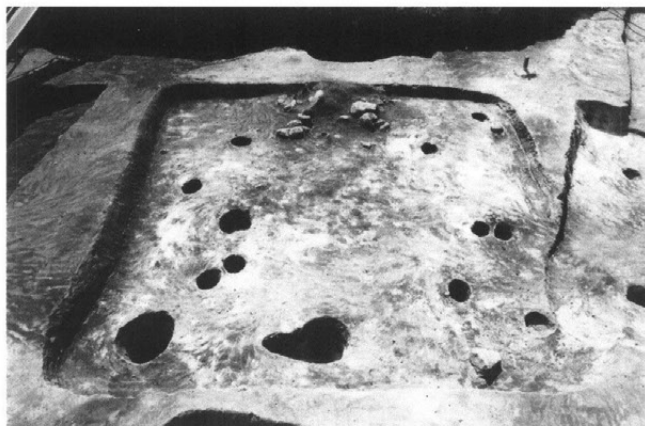
SB77 カマド址



SB86



SB86 カマド址



SB91



SB91 カマド址



SB14



SB14 カマド址



SB74



SB74 カマド址



SB74 カマド址



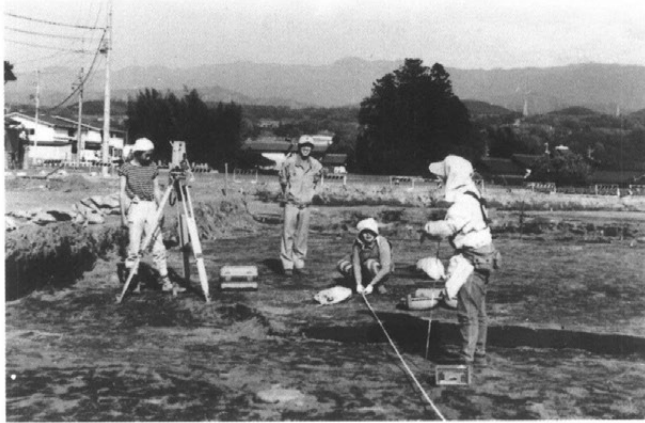
SB74 カマド址



SB85



SB85 カマド址



測量スナップ



重機作業スナップ



調査スナップ



調査スナップ

# 報告書抄録

ふりがな	みょうぜんいせき							
書名	妙前遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
編著者名	吉川 金利							
編集機関	長野県飯田市教育委員会							
所在地	〒395-0002 長野県飯田市上郷飯沼3145番地 ☎ 0265-53-4545							
発行年月日	西暦2001年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
みょうぜん 妙前遺跡	いだしまつおあらい 飯田市松尾新井 5934	2053	168 松16	35° 29' 53"	137° 51' 14"	平成10年3月17日 から 平成10年7月9日	1,323㎡	療育施設建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
妙前遺跡	集落址	縄文時代中期 弥生時代後期 古墳時代後期 奈良・平安時代	竪穴住居址 10 竪穴住居址 22 竪穴住居址 35 竪穴住居址 19	縄文土器 縄文石器 土偶 弥生土器 弥生石器 土師器 須恵器 灰釉陶器 円面硯 勾玉 白玉 石製模造品 鉄鎌	縄文時代中期後葉・弥生時代後期・古墳時代後期・奈良時代・平安時代の集落の一部を調査 各時代共に当地を代表する大規模な集落遺跡のひとつ 沖積地にある縄文時代中期後葉期の集落は、当地としては希少な立地条件にある			

---

みょう ぜん い せき  
妙 前 遺 跡

調査報告書

2001年3月 発行

編集・発行 長野県飯田市上郷飯沼3145番地  
長野県飯田市教育委員会  
印刷 飯田共同印刷(株)

---

